



MX822、MX826、XM7355、XM7370 MFP

ユーザーズガイド

2024 年 7 月

www.lexmark.com

機種タイプ:

7465

モデル:

436、496、836、896

目次

安全に関する情報.....	7
表記規則.....	7
製品ステートメント.....	7
プリンタについての確認.....	10
プリンタに関する情報を見つける.....	10
プリンタのシリアル番号を確認する.....	11
プリンタの設置場所を選択する.....	11
プリンタ構成.....	12
ケーブルを接続する.....	14
操作パネルを使用する.....	16
電源ボタンとインジケータランプの状態について理解する.....	16
ホーム画面のアプリケーションをセットアップして使用する.....	18
ホーム画面を使用する.....	18
ホーム画面をカスタマイズする.....	19
サポートされるアプリケーション.....	19
[ID カードコピー] を設定する.....	19
ショートカットを作成する.....	20
ディスプレイのカスタマイズを使用する.....	20
スキャンセンターを設定する.....	21
デバイスクォータを設定する.....	21
QR コードジェネレータを使用する.....	22
ECO 設定を行う.....	22
カスタマサポートを使用する.....	22
クラウドコネクタプロファイルを作成する.....	22
ブックマークを管理する.....	23
連絡先を管理する.....	24
アクセシビリティ機能をセットアップして使用する.....	26
拡大モードを有効にする.....	26
音声ガイダンスを有効にする.....	26
音声ガイダンスのスピーチ速度を調整する.....	26
ジェスチャを使用して画面を操作する.....	26
ディスプレイのキーボードを使用する.....	27

音声のパスワードまたは個人 ID 番号を有効にする.....	27
用紙と特殊用紙をセットする.....	28
特殊用紙のサイズとタイプを設定する.....	28
ユニバーサル用紙設定を構成する.....	28
550 枚トレイに用紙をセットする.....	28
2100 枚トレイに用紙をセットする.....	31
多目的フィーダーに用紙をセットする.....	36
トレイのリンク.....	37
用紙サポート.....	38
サポートされている用紙サイズ.....	38
サポートされている用紙タイプ.....	40
サポートされている用紙の重さ.....	42
使用できない用紙.....	43
再生紙を使用する.....	44
印刷.....	45
コンピュータから印刷する.....	45
モバイルデバイスから印刷する.....	45
フラッシュドライブから印刷する.....	47
サポートされているフラッシュメモリとファイルタイプ.....	48
コンフィデンシャルジョブを設定する.....	49
コンフィデンシャルジョブおよびその他の保留ジョブを印刷する.....	49
クラウドコネクタプロファイルからの印刷.....	50
フォントサンプルリストを印刷する.....	50
ディレクトリリストを印刷する.....	50
印刷ジョブを中止する.....	51
コピー.....	52
自動原稿フィーダーと原稿台を使用する.....	52
コピーを作成する.....	52
写真をコピーする.....	52
レターヘッド紙にコピーする.....	52
用紙の両面にコピーする.....	53
コピーを縮小または拡大する.....	53
丁合印刷する.....	53

コピーの区切りとしてセパレータ紙を挿入する.....	53
1 枚の用紙に複数ページをコピーする.....	53
ショートカットコピーを作成する.....	54
E メールで送信する.....	55
自動原稿フィーダーと原稿台を使用する.....	55
E メール SMTP 設定を構成する.....	55
E メールを送信する.....	62
E メールショートカットを作成する.....	63
FAX.....	64
自動原稿フィーダーと原稿台を使用する.....	64
プリンタを設定して FAX を送信する.....	64
Fax を送信する.....	72
FAX をスケジュール設定する.....	73
FAX 宛先のショートカットを作成する.....	73
FAX の解像度変更.....	74
FAX の濃度を調整する.....	74
FAX ログを印刷する.....	74
迷惑 FAX のブロック.....	74
FAX の保留.....	74
Fax の転送.....	75
スキャン.....	76
自動原稿フィーダーと原稿台を使用する.....	76
コンピュータへのスキャン.....	76
FTP サーバーへのスキャンデータの送信.....	77
スキャンしてネットワークフォルダに送信する.....	78
FTP ショートカットを作成する.....	78
フラッシュドライブにスキャンする.....	78
クラウドコネクタプロファイルにスキャンする.....	79
プリンタメニューを理解する.....	80
メニューマップ.....	80
デバイス.....	81
印刷.....	94
用紙.....	102

コピー	105
FAX	108
E メール	120
FTP	127
USB ドライブ	131
ネットワーク/ポート	137
セキュリティ	148
レポート	155
ヘルプ	156
トラブルシューティング	157
メニュー設定ページを印刷する	157
プリンタを保護する	158
セキュリティスロットの場所	158
プリンタメモリを消去する	158
プリンタハードディスクメモリを消去する	158
プリンタのハードディスクを暗号化する	159
出荷時初期設定を復元する	159
揮発性に関する記述	159
プリンタのメンテナンス	161
消耗品通知を設定する	161
E メールアラートをセットアップする	161
レポートを表示する	161
スピーカー音量の調整	162
ネットワーク	162
シリアル印刷を設定する (Windows のみ)	166
プリンタ部品の清掃	166
部品と消耗品を注文する	180
消耗品を交換する	183
プリンタを移動する	209
電力と用紙を節約する	210
リサイクル	211
紙詰まりを取り除く	212
紙詰まりを防止する	212
紙詰まりの場所を確認する	213

トレイの紙詰まり.....	215
ドア A の紙詰まり.....	215
ドア C の紙詰まり.....	218
標準排紙トレイの紙詰まり.....	219
多目的フィーダーの紙詰まり.....	220
ADF(自動原稿フィーダー)内の紙詰まり.....	221
4トレイメールボックス内の紙詰まり.....	223
オフセットスタッカまたはホチキスフィニッシャの紙詰まり.....	224
ホチキス、穴パンチフィニッシャの紙詰まり.....	226
ホチキスフィニッシャ内のホチキス詰まり.....	227
ホチキス、穴パンチフィニッシャ内のホチキス詰まり.....	230
問題に対処する.....	233
印刷品質の問題.....	233
印刷の問題.....	234
プリンタが応答していない.....	263
フラッシュメモリを読み取れない.....	264
USB ポートを有効にする.....	264
ネットワーク接続の問題.....	264
ハードウェアオプションの問題.....	266
消耗品の問題.....	268
給紙の問題.....	269
E メールの問題.....	273
FAX に関するトラブル.....	274
スキャンに関するトラブル.....	278
カスタマサポートに問い合わせる.....	284
アップグレードと移行.....	285
ハードウェア.....	285
ソフトウェア.....	306
ファームウェア.....	309
通知.....	310
索引.....	317

安全に関する情報


表記規則


メモ: メモは、役立つ情報を示します。


注意: 注意は、製品本体またはソフトウェアに障害を与える可能性のある場合を示します。


警告: 警告は、人体に損傷を与える可能性のある、潜在的に危険な状況を示します。


以下の警告文があります。

 **注意—傷害の恐れあり:** 損傷の危険性を示します。


 **注意—感電危険:** 感電の危険性を示します。


 **注意—表面高温:** 接触した場合、火傷を起こす危険性を示します。


 **注意—転倒危険:** 押しつぶしの危険性を示します。


 **注意—挟み込み危険:** 動作している部品の間にはさまれる危険があることを示します。


製品ステートメント


 **注意—傷害の恐れあり:** 火災や感電の危険を避けるため、製品の近くにあって簡単にアクセスでき、正しく接地され、定格を守ったコンセントに電源コードを接続してください。


 **注意—傷害の恐れあり:** 火災や感電の危険を避けるため、製品に同梱されている電源コード、または製造元が代替品として認可した電源コードのみを使用してください。


 **注意—傷害の恐れあり:** 本製品をご使用の際は、延長コードや、複数コンセントの電源タップ、多口の延長プラグ、UPS 機器に接続しないでください。このようなタイプのアクセサリは、レーザープリンタを接続すると簡単に電力容量を超過してしまい、火災、機器の故障、プリンタの性能低下などの原因になる可能性があります。












 **注意—傷害の恐れあり:** 本製品とともに使用できるのは、プリンタと付属の電源コードの間に適切に接続できる Lexmark インラインサージプロテクタのみです。Lexmark 以外のサージプロテクタを使用すると、火災、物的損傷、プリンタの性能低下などが起こるおそれがあります。


 **注意—傷害の恐れあり:** 火災発生の恐れがないように、本製品を公共電話回線ネットワークに接続する場合は、26 AWG 以上の太さの電気通信ケーブル (RJ-11) のみを使用してください。オーストラリアで使用する場合、ケーブルはオーストラリア通信メディア庁によって承認されているものである必要があります。

 **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、本製品を水に濡れる恐れのある場所に置いたり、そのような場所で使用しないでください。

 **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、雷雨時には、本製品のセットアップや、電源コード、FAX、電話など、電氣的な接続を行わないでください。

 **注意—傷害の恐れあり:** 電源コードを切断したり、結んだり、束ねたり、傷を付けたりしないでください。また、コードの上に重いものを置いたりしないでください。電源コードがこすれたり、引っ張られたりする状態で使用しないでください。電源コードを家具や壁などの間に挟まないでください。以上のことを守らないと、火災や感電の原因になる恐れがあります。電源コードが以上の状態になっていないか、定期的に確認してください。確認の前には、電源コードをコンセントから抜いてください。

-  **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、イーサネットおよび電話線の接続など、すべての外部接続が表示どおりのポートに正しく行われていることを確認してください。
-  **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、プリンタの設置後にコントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアやメモリデバイスを取り付ける場合、作業を行う前にプリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。
-  **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、雷のときは、FAX を使用しないでください。
-  **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、プリンタの外側の掃除を始める前に電源コードをコンセントから抜き、プリンタのすべてのケーブルを外します。
-  **注意—傷害の恐れあり:** プリンタの重量が 20 kg (44 ポンド) 以上ある場合、安全に持ち上げるには 2 名以上の人が必要になることがあります。
-  **注意—傷害の恐れあり:** プリンタを移動するときは、けがやプリンタの破損を避けるため、以下のガイドラインに従ってください。
- すべてのドアとトレイが閉じられていることを確認します。
 - プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。
 - プリンタからコードやケーブル類をすべて取り外します。
 - プリンタに別途フロアスタンド型オプショントレイまたは排紙オプションが取り付けられている場合は、それらを取り外してからプリンタを移動します。
 - プリンタにキャスターベースがある場合は、慎重に新しい場所に移動します。しきいや床の割れ目を通るときは注意してください。
 - プリンタにキャスターベースがなく、オプションのトレイまたは排紙オプションで構成されている場合は、排紙オプションを取り外してからプリンタをトレイから取り外します。どのオプションの場合も、プリンタと同時に持ち上げないでください。
 - 必ずプリンタの持ち手を使用してプリンタを持ち上げます。
 - プリンタの移動に台車を使用する場合は、プリンタの底面全体を載せられる台車を使用してください。
 - オプションの移動に台車を使用する場合は、オプション全体を載せられる台車を使用してください。
 - プリンタは直立状態に保ってください。
 - 急激な動きは避けてください。
 - 下に置くときにプリンタの下に指が入らないようにしてください。
 - プリンタの周囲に十分なスペースがあることを確認します。
-  **注意—転倒危険:** プリンタまたは MFP に 1 つ以上のオプションを取り付ける場合は、けがを防ぐためにキャスターベース、ファニチャ、または他のフィーチャを使用して安定させる必要があります。サポートされる構成の詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。
-  **注意—転倒危険:** 本機が不安定にならないように、用紙トレイは個別にセットしてください。その他のすべてのトレイは必要になるまで閉じた状態にします。
-  **注意—表面高温:** プリンタの内部は高温になっている場合があります。高温になったコンポーネントで火傷などを負わないように、表面が冷えてから触れてください。
-  **注意—挟み込み危険:** 挟み込みを防止するため、このラベルが貼られている作業領域では、十分注意してください。挟み込みによる負傷は、ギア、ドア、トレイ、およびカバーなどの動作している部品の周りで起こる可能性があります。
-  **注意—傷害の恐れあり:** 本製品はレーザーを使用しています。『ユーザーズガイド』に記載されている手順以外の制御、調整などを行うと、有害な放射にさらされる恐れがあります。

 **注意—傷害の恐れあり：**この製品に使用されているリチウム電池は、交換を前提としていません。リチウム電池の交換を誤ると破裂する危険性があります。リチウム電池の再充電、分解、焼却は行わないでください。使用済みのリチウム電池を廃棄する際は、製造元の指示およびお使いの地域の法律に従ってください。

本機は、特定のメーカーのコンポーネントとともに使用した場合に、安全性に関する厳しい世界標準を満たすように設計、テスト、承認されています。一部の部品の安全性に関する機能は開示されていない場合があります。メーカーは、他の交換部品の使用については責任を負わないものとします。

取扱説明書に記載以外の事項については、サービス担当者にお尋ねください。


本製品は印刷処理において印刷用紙を加熱するため、この熱が原因で用紙から有害ガスが発生する可能性があります。操作説明書に記載されている、用紙選択についてのセクションをよく読み、有害ガスが放出されないようにしてください。

この製品は、通常の操作中に少量のオゾンが発生する可能性があるため、推奨される被爆制限値をはるかに下回るレベルまでオゾンの濃度を抑制するよう設計されたフィルタが取り付けられています。非常に頻繁に使用してもオゾンの濃度レベルが高くないよう、この製品は換気のよいエリアに設置し、製品の保守説明に記載されているとおり、オゾンおよび排気フィルタを交換してください。フィルタに関する記述が製品の保守説明に見当たらない場合、この製品には交換が必要なフィルタが搭載されていないことを意味します。

この手引きを大切に保管してください。

プリンタについての確認

プリンタに関する情報を見つける

検索する場所	入手先
初期設定の手順	詳細については、プリンタに同梱されているセットアップマニュアルを参照してください。
<ul style="list-style-type: none"> プリンタソフトウェア 印刷または FAX ドライバ プリンタファームウェア ユーティリティ 	www.lexmark.com/downloads にアクセスし、プリンタ機種を検索して、[タイプ]メニューで必要なドライバ、ファームウェア、またはユーティリティを選択します。
<ul style="list-style-type: none"> 用紙および特殊用紙を選択して保存する 用紙をセットする プリンタ設定を構成する ドキュメントおよび写真を表示して印刷する ネットワーク上でプリンタを構成する プリンタの手入れと保守を実施する 問題に対処して解決する 	<p>インフォメーションセンター—https://infoserve.lexmark.com にアクセスします。</p> <p>使い方ビデオ—https://infoserve.lexmark.com/idv/ を参照してください。</p> <p>[ヘルプ]メニューページ—プリンタのファームウェアのガイドを参照するか、http://support.lexmark.com を参照してください。</p> <p>タッチ画面ガイド—http://support.lexmark.com を参照してください。</p>
プリンタのユーザー補助機能のセットアップと設定	Lexmark アクセシビリティガイド— http://support.lexmark.com を参照してください。
プリンタソフトウェアの使用に関するヘルプ情報	<p>Microsoft Windows または Macintosh のオペレーティングシステムのヘルプ—プリンタソフトウェアプログラムまたはアプリケーションを開き、[ヘルプ]をクリックします。</p> <p> をクリックすると、状況に対応した情報が表示されます。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> ヘルプシステムはプリンタソフトウェアとともに自動的にインストールされます。 オペレーティングシステムに応じて、プリンタソフトウェアは、プリンタのプログラムフォルダまたはデスクトップにあります。
<ul style="list-style-type: none"> マニュアル ライブチャットサポート E メールサポート 電話サポート 	<p>http://support.lexmark.com を参照してください。</p> <p>メモ: 国または地域を選択してから、製品を選択し、該当するサポートサイトを表示します。お住まいの国または地域を担当するサポートの連絡先情報については、Web サイトまたはプリンタに同梱されている書面の保証書でご確認ください。</p> <p>カスタマサポートにお問い合わせの際には、次の情報を手元に用意しておいてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ご購入の場所と日付 プリンタタイプとシリアル番号 <p>詳細については、「プリンタのシリアル番号を確認する」、11 ページ を参照してください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 安全情報 規制情報 保証情報 環境情報 	<p>保証情報は国または地域によって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 米国—プリンタに同梱されている『限定保証宣言』を参照するか、http://support.lexmark.com を参照してください。 その他の国および地域—プリンタに同梱されている書面の保証書をご覧ください。 <p>『製品情報ガイド』—詳細については、プリンタに同梱されているマニュアルを参照するか、http://support.lexmark.com を参照してください。</p>

プリンタのシリアル番号を確認する

1 ドア A を開きます。



2 プリンタの左側でシリアル番号を探します。



プリンタの設置場所を選択する

- トレイ、カバー、ドアを開くためのスペースを十分確保し、ハードウェアオプションを取り付けます。
- プリンタをコンセントの近くにセットします。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

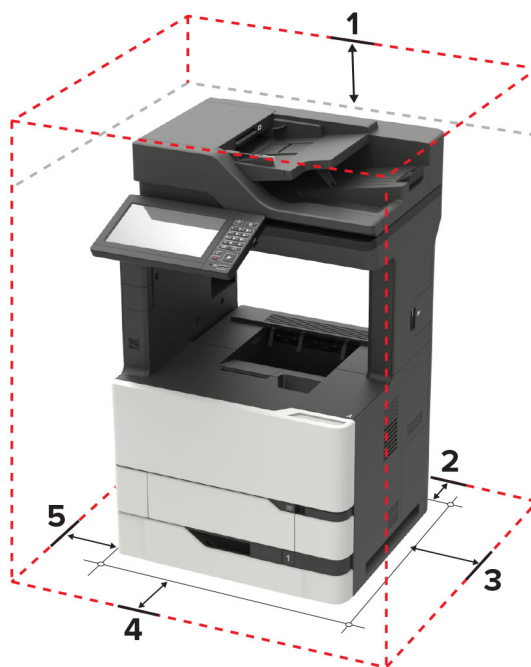
⚠ 注意—感電危険: 感電の危険を避けるため、本製品を水に濡れる恐れのある場所に置いたり、そのような場所で使用しないでください。

- 室内の空気の流れが最新版の ASHRAE 62 基準または CEN Technical Committee 156 基準を満たしていることを確認します。
- 設置面が平らかつ丈夫で、安定していることを確認します。
- プリンタを以下の状態に保ちます。
 - 清潔で乾燥した、ほこりのない状態にする。
 - ホチキスの針や紙クリップを近くに置かない。

- － エアコン、ヒーター、換気装置の風が直接当たらないようにする。
- － 直射日光、極度の湿気を避ける。
- 推奨温度になるように観察し、変動しないようにする。

周辺温度	10 ～ 32.2°C (50 ～ 90°F)
保管温度	-40 ～ 43.3°C (-40 ～ 110°F)

- 適切な通気を保つために、プリンタの周囲に以下のスペースを確保することをお勧めします。



1	上部	152 mm (6 インチ)
2	背面	152 mm (6 インチ)
3	右側	152 mm (6 インチ)
4	正面	406 mm (16 インチ) メモ: プリンタの前面に必要な最小スペースは 75 mm (3 インチ) です。
5	左側	152 mm (6 インチ)

プリンタ構成

⚠ 注意—転倒危険: プリンタまたは MFP に 1 つ以上のオプションを取り付ける場合は、けがを防ぐためにキャスタベース、ファニチャ、または他のフィーチャを使用して安定させる必要があります。サポートされる構成の詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。

⚠ 注意—転倒危険: 本機が不安定にならないように、用紙トレイは個別にセットしてください。その他のすべてのトレイは必要になるまで閉じた状態にします。

オプションの 550 枚、または 2100 枚トレイを追加して、プリンタを構成できます。(⇒ [「550 枚トレイを取り付ける」](#)、[297 ページ](#)、または [「2100 枚トレイを取り付ける」](#)、[298 ページ](#))。

基本モデル



1	ADF(自動原稿フィーダー)トレイ
2	ADF 排紙トレイ
3	標準排紙トレイ
4	多目的フィーダー
5	標準の 550 枚トレイ
6	操作パネル
7	ADF

構成されたモデル



	ハードウェアオプション	代替ハードウェアオプション
1	4 排紙トレイメールボックス	<ul style="list-style-type: none"> オフセットスタッカ ホチキスフィニッシャ ホチキス、穴パンチフィニッシャ
2	2100 枚トレイ	550 枚トレイ
3	キャスターベース	キャスターベース
4	550 枚トレイ	2100 枚トレイ
5	ホチキスフィニッシャ	<ul style="list-style-type: none"> 4 排紙トレイメールボックス ホチキス、穴パンチフィニッシャ オフセットスタッカ

オプションのトレイを使用する場合：

- 2100 枚トレイで構成されている場合は、必ずキャスターベースを使用してください。
- 2100 枚トレイは必ず構成の下部でなければなりません。
- 2100 枚トレイが取り付けられている場合、オプションの 550 枚トレイは使用できません。
- プリンタは、オプションのカセットを 2 つまで装着できます。
- プリンタには 1 度に 1 台のフィニッシャのみを取り付けることができます。

ケーブルを接続する

⚡ 注意—感電危険： 感電の危険を避けるため、雷雨時には本機のセットアップや、電源コード、FAX 機能、電話などの電氣的接続またはケーブル接続を行わないでください。

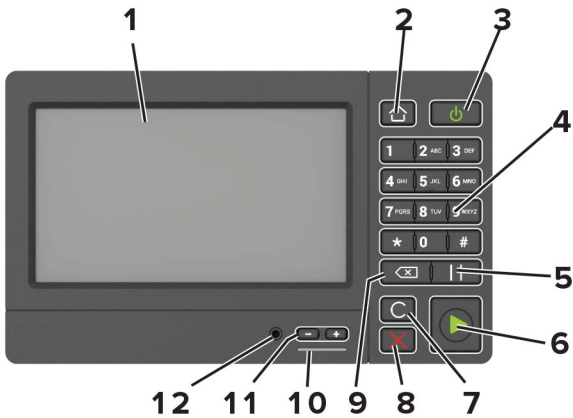
- ⚠ 注意—傷害の恐れあり:** 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くにある、アクセスしやすい、正しく接地されていて、適切な定格を持つコンセントに電源コードを接続します。
- ⚠ 注意—傷害の恐れあり:** 火災や感電の危険を避けるため、製品に同梱されている電源コード、または製造元の正規の交換品のみを使用してください。
- ⚠ 注意—傷害の恐れあり:** 火災発生の恐れがないように、本製品を公共電話回線ネットワークに接続する場合は、26 AWG 以上の太さの電気通信ケーブル (RJ-11) のみを使用してください。オーストラリアのユーザーは、オーストラリア通信メディア庁 (Australian Communications and Media Authority) が承認するケーブルを必ず使用してください。

警告—破損の恐れあり: データの損失やプリンタの誤動作の発生を防ぐため、印刷を実行している間は、USB ケーブル、ワイヤレスネットワークアダプタ、またはプリンタの以下のエリアに触れないでください。



	プリンタポート	機能
1	電源コードソケット	プリンタを正しく接地されたコンセントに接続します。
2	USB プリンタポート	プリンタをコンピュータに接続します。
3	イーサネットポート	プリンタをネットワークに接続します。
4	USB ポート	キーボードまたは互換性のあるオプションを接続します。
5	EXT ポート メモ: 一部のプリンタ機種でのみ使用できます。	追加デバイス (電話または留守番電話) をプリンタおよび電話回線に接続します。プリンタ用の専用 Fax 回線がなく、この接続方法が国または地域でサポートされている場合には、このポートを使用します。
6	LINE ポート メモ: 一部のプリンタ機種でのみ使用できます。	標準壁ジャック (RJ-11)、DSL フィルタ、または VoIP アダプタ、または Fax を送受信するために電話回線にアクセスできるその他のアダプタ経由で、プリンタをアクティブな電話回線に接続します。

操作パネルを使用する



項目	目的
1 ディスプレイ	<ul style="list-style-type: none"> プリンタのメッセージと消耗品の状態を表示します。 プリンタを設定して操作します。
2 [ホーム]ボタン	ホーム画面に移動します。
3 電源ボタン	<ul style="list-style-type: none"> プリンタの電源のオン/オフを切り替えます。 メモ: プリンタの電源を切るには、電源ボタンを 5 秒間押し続けます。 プリンタのスリープモードまたは休止モードを設定します。 スリープモードまたは休止モードからプリンタを復帰します。
4 キーパッド	入力欄に数字または記号を入力します。
5 [ポーズ]ボタン	FAX 番号にダイヤルポーズを入れます。
6 [スタート]ボタン	選択されているモードに応じて、ジョブを開始します。
7 [すべてクリア]または[リセット]ボタン	コピー、FAX、スキャンなどの機能の初期設定をリセットします。
8 [ストップ]または[キャンセル]ボタン	現在のジョブを停止します。
9 バックスペースボタン	カーソルを後ろに移動し、入力欄の文字を削除します。
10 インジケータランプ	プリンタの状態を確認します。
11 音量ボタン	ヘッドセットまたはスピーカーの音量を調整します。
12 ヘッドセットまたはスピーカーポート	ヘッドセットまたはスピーカーを接続します。 メモ: プリンタ機器によりこの機能が無いものもあります。

電源ボタンとインジケータランプの状態について理解する

インジケータランプ	プリンタの状態
オフ	プリンタがオフまた休止モードです。
青	プリンタは、準備ができていないかデータの処理中です。
赤	ユーザーによるプリンタ操作が必要です。

電源ボタンのランプ	プリンタの状態
オフ	プリンタはオフか、準備ができているか、データの処理中です。
黄色で点灯	プリンタはスリープモードです。
黄色で点滅	プリンタは休止モードです。

ホーム画面のアプリケーションをセットアップして使用する

ホーム画面を使用する

メモ: ホーム画面のカスタマイズ設定、管理者設定、およびアクティブな内蔵ソリューションによっては、ホーム画面が異なって表示される場合があります。



タッチ		目的
1	コピー	コピーを作成します。
2	E メール	E メールを送信します。
3	設定	プリンタのメニューを表示します。
4	Fax	FAX を送信します。
5	アドレス帳	プリンタの他のアプリケーションがアクセスできる連絡先リストを管理します。
6	状況/消耗品	<ul style="list-style-type: none"> プリンタで処理を続行するために操作が必要な場合には、必ずプリンタ警告またはエラーメッセージが表示されます。 プリンタ警告またはメッセージの詳細と解決方法を示します。 メモ: ホーム画面の上部にあるセクションをタッチしてこの設定にアクセスすることもできます。
7	USB ドライブ	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュメモリ上の写真やドキュメントを印刷します。 写真やドキュメントをスキャンしてフラッシュメモリに保存します。
8	ジョブ表示	実行中の印刷ジョブをすべて表示します。 メモ: ホーム画面の上部にあるセクションをタッチしてこの設定にアクセスすることもできます。
9	保持されたジョブ	プリンタメモリに待ちの印刷ジョブを表示します。
10	ショートカットセンター	すべてのショートカットを整理します。
11	アプリのプロファイル	アプリケーションのプロファイルにアクセスします。
12	スキャンプロファイル	ドキュメントをスキャンして、直接コンピュータに保存します。
13	FTP	ドキュメントをスキャンして、直接 FTP サーバーに保存します。

タッチ		目的
14	ブックマーク	すべてのブックマークを整理します。
15	言語を変更	ディスプレイの言語を変更します。

ホーム画面をカスタマイズする

- 1 操作パネルで、[設定] > [デバイス] > [ホーム画面アイコンの表示]の順にタッチします。
- 2 ホーム画面に表示させたいアイコンを選択します。
- 3 変更を適用します。

サポートされるアプリケーション

アプリケーション	プリンタ機種
スキャンセンター	MX822、MX826、XM7355、XM7370
ショートカットセンター	MX822、MX826、XM7355、XM7370
カードコピー	MX822、MX826、XM7355、XM7370
ディスプレイのカスタマイズ	MX822、MX826、XM7355、XM7370
クラウドコネクタ	MX822、MX826、XM7355、XM7370
カスタマサポート	XM7355、XM7370
デバイスコォータ	XM7355、XM7370
QR コード	XM7355、XM7370
エコ設定	XM7355、XM7370

[ID カードコピー] を設定する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [アプリ] > [ID カードコピー] > [設定]の順にクリックします。

メモ:

- [アイコンの表示]が有効になっていることを確認します。
- E メール設定とネットワーク共有設定が設定されていることを確認します。
- 1 枚のカードをスキャンするときには、必ずカラーの場合で解像度が 200 dpi 以下、モノクロの場合で 400 dpi 以下になるようにします。
- 複数のカードをスキャンするときには、必ずカラーの場合で解像度が 150 dpi 以下、モノクロの場合で 300 dpi 以下になるようにします。

3 変更を適用します。

メモ: 複数のカードをスキャンするには、プリンタのハードディスクが必要です。

ショートカットを作成する

1 ホーム画面で、[ショートカットセンター]をタッチします。

メモ: アイコンと名前が変更されている可能性があります。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

2 いずれかのプリンタ機能を選択し、[ショートカットを作成]をタッチします。

メモ: セキュア E メール機能はサポートされていません。

3 設定を行い、[保存]をタッチします。

4 ショートカットの一意の名前を入力します。

メモ: ホーム画面で名前がクリッピングされるのを避けるには、25 文字以内で入力します。

5 [OK]をタッチします。

アプリケーションによって、一意のショートカット番号が自動的に生成されます。ショートカットを起動するには、#を押してからショートカット番号を押します。

ディスプレイのカスタマイズを使用する

アプリケーションを使用する前に、以下を確認してください。

- EWS で、[アプリ] > [ディスプレイのカスタマイズ] > [設定]をクリックします。
- スクリーンセーバー、スライドショー、壁紙の設定を有効にして設定します。

スクリーンセーバーとスライドショーのイメージを管理する

1 [スクリーンセーバーとスライドショーのイメージ]セクションで、イメージを追加、編集、または削除します。

メモ:

- 最大 10 個のイメージを追加できます。
- 有効にすると、エラー、警告、またはクラウドベースの通知がある場合のみ、スクリーンセーバーに状態アイコンが表示されます。

2 変更を適用します。

壁紙のイメージを変更する

1 ホーム画面で、[壁紙を変更]をタッチします。

2 使用するイメージを選択します。

3 変更を適用します。

フラッシュメモリからスライドショーを実行する

- 1 フラッシュメモリを USB ポートに挿入します。
- 2 ホーム画面から[スライドショー]をタッチします。
イメージがアルファベット順で表示されます。

メモ: スライドショーが開始された後はフラッシュメモリを取り外すことができますが、イメージはプリンタ内に保存されていません。スライドショーが停止した場合は、フラッシュメモリを再度挿入するとイメージが表示されます。

スキャンセンターを設定する

- 1 ホーム画面で、[スキャンセンター]をタッチします。
- 2 送信先を選択および作成してから、設定を構成します。

メモ:

- ネットワーク送信先を作成するときは、エラーが発生しなくなるまで設定を検証し、調整するようにしてください。
- 内蔵 Web サーバーで作成された送信先だけが保存されます。詳細については、ソリューションに同梱されているマニュアルを参照してください。

- 3 変更を適用します。

デバイスクォータを設定する

メモ:

- このアプリケーションは、一部のプリンタ機種でのみサポートされています。詳細については、[「サポートされるアプリケーション」](#)、19 ページ を参照してください。
- アプリケーションにアクセスするには、管理者権限が必要になることがあります。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [アプリ] > [デバイスクォータ] > [設定]をクリックします。
- 3 [ユーザーアカウント]セクションで、ユーザーを追加または編集し、ユーザーの数量割当を設定します。
- 4 変更を適用します。

メモ: アプリケーションとそのセキュリティ設定を行う方法に関する情報については、『デバイスクォータ管理者ガイド』を参照してください。

QR コードジェネレータを使用する

メモ:

- このアプリケーションは、一部のプリンタ機種でのみサポートされています。詳細については、[「サポートされるアプリケーション」、19 ページ](#) を参照してください。
- アプリケーションにアクセスするには、管理者権限が必要になることがあります。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [アプリ] > [QR コードジェネレータ] > [設定]をクリックします。

- 3 次のいずれかを実行します。

- 初期設定の QR コード値を選択します。
- QR コード値を入力します。

- 4 変更を適用します。

ECO 設定を行う

メモ: このアプリケーションは、一部のプリンタ機種でのみサポートされています。詳細については、[「サポートされるアプリケーション」、19 ページ](#) を参照してください。

- 1 ホーム画面で、[ECO 設定]をタッチします。
- 2 ECO モードを設定するか、または省電力モードのスケジュールを設定します。

カスタマサポートを使用する

メモ: このアプリケーションは、一部のプリンタ機種でのみサポートされています。詳細については、[「サポートされるアプリケーション」、19 ページ](#) を参照してください。

- 1 プリンタのホーム画面で、[カスタマサポート]をタッチします。
- 2 情報を印刷または E メール送信します。

メモ: アプリケーション設定に関する情報については、『カスタマサポート管理者ガイド』を参照してください。

クラウドコネクタプロファイルを作成する

メモ: このアプリケーションは、特定の国または地域でのみ使用できます。詳細については、Lexmark の担当者に問い合わせてください。

- 1 ホーム画面で、[クラウドコネクタ]をタッチします。
- 2 クラウドサービスプロバイダを選択します。

- 3 [作成]または  をタッチします。
- 4 一意のプロファイル名を入力します。
メモ: プロファイルを保護するために PIN を作成することをお勧めします。
- 5 [OK]をタッチして、認証コードをメモします。
メモ: 認証コードは 24 時間のみに有効です。
- 6 Web ブラウザを開き、<https://lexmark.cloud-connect.co> にアクセスします。
- 7 [次へ]をクリックして、利用規約に同意します。
- 8 認証コードを入力し、[接続]をクリックします。
- 9 クラウドサービスプロバイダのアカウントにログインします。
- 10 権限を付与します。
メモ: 認証プロセスを完了するために、72 時間以内にプロファイルを開きます。

ブックマークを管理する

ブックマークを作成する

サーバーまたは Web 上に保存されている、頻繁にアクセスするドキュメントを印刷する場合は、ブックマークを使用します。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。
メモ:
 - プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
 - プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。
- 2 [ブックマーク] > [ブックマークを追加]の順にクリックして、ブックマーク名を入力します。
- 3 アドレスのプロトコルの種類を選択し、以下のいずれかの手順を実行します。
 - HTTP および HTTPS の場合は、作成するブックマークの URL を入力します。
 - HTTPS の場合、IP アドレスの代わりにホスト名を使用してください。例えば、「123.123.123.123/sample.pdf」の代わりに「myWebsite.com/sample.pdf」を入力します。また、ホスト名がサーバー証明書の共通名 (CN) の値と一致していることも確認します。サーバー証明書の CN 値の取得の詳細については、Web ブラウザのヘルプ情報を参照してください。
 - FTP の場合は、FTP アドレスを入力します。たとえば、「myServer/myDirectory」と入力します。FTP ポートを入力します。コマンドを送信する場合は、ポート 21 が初期設定のポートです。
 - SMB の場合は、ネットワークフォルダのアドレスを入力します。例えば、「myServer/myShare/myFile.pdf」と入力します。ネットワークドメイン名を入力します。
 - 必要に応じて、FTP および SMB の認証タイプを選択します。ブックマークへのアクセスを制限するには、PIN を入力します。

メモ: アプリケーションでは、以下のファイルタイプがサポートされています。PDF、JPEG、TIFF、HTML ベースの Web ページ。DOCX や XLSX など、その他のファイルタイプは一部のプリンタ機種でサポートされています。

4 [保存]をクリックします。

フォルダを作成する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [ブックマーク] > [フォルダを追加]の順にクリックして、フォルダ名を入力します。

メモ: フォルダへのアクセスを制限するには、PIN を入力します。

3 [保存]をクリックします。

メモ: フォルダ内にフォルダやブックマークを作成することができます。ブックマークを作成するには、[「ブックマークを作成する」](#)、[23 ページ](#)を参照してください。

連絡先を管理する

連絡先を追加する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [アドレス帳]をクリックします。

3 [連絡先]セクションから連絡先を追加します。

メモ: 1 つまたは複数のグループに連絡先を割り当てることができます。

4 必要に応じて、アプリケーションアクセスを許可するためにログイン方式を指定します。

5 変更を適用します。

グループを追加する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [アドレス帳]をクリックします。

3 [連絡先グループ]セクションからグループ名を追加します。

メモ: グループに 1 つまたは複数の連絡先を割り当てることができます。

4 変更を適用します。

連絡先またはグループを編集する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [アドレス帳]をクリックします。

3 次のいずれかを実行します。

- [連絡先]セクションで連絡先名をクリックして、情報を編集します。
- [連絡先グループ]セクションでグループ名をクリックして、情報を編集します。

4 変更を適用します。

連絡先またはグループを削除する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [アドレス帳]をクリックします。

3 次のいずれかを実行します。

- [連絡先]セクションで、削除する連絡先を選択します。
- [連絡先グループ]セクションで、削除するグループ名を選択します。

アクセシビリティ機能をセットアップして使用する

拡大モードを有効にする

- 1 操作パネルで、音声メッセージが聞こえるまで **5** キーを長押しします。
- 2 **[拡大モード]**を選択します。
- 3 **[OK]**を選択します。

拡大した画面を操作する方法の詳細については、[「ジェスチャを使用して画面を操作する」](#)、26 ページを参照してください。

音声ガイダンスを有効にする

操作パネルから

- 1 音声メッセージが聞こえるまで **5** キーを長押しします。
- 2 **[OK]**を選択します。

キーボードから

- 1 音声メッセージが聞こえるまで **5** キーを長押しします。
- 2 **Tab** キーを押してフォーカスカーソルを**[OK]**ボタンに移動し、**Enter** キーを押します。

メモ:

- 音声ガイダンスは、ヘッドホンヘッドホンジャックに挿入しても有効になります。
- 音量を調整するには、操作パネルの下部で音量ボタンを使用します。

音声ガイダンスのスピーチ速度を調整する

- 1 ホーム画面で、**[設定]** > **[デバイス]** > **[アクセシビリティ]** > **[スピーチ速度]**を選択します。
- 2 スピーチ速度を選択します。

ジェスチャを使用して画面を操作する

メモ:

- 音声ガイダンスを有効にしている場合のみ、ジェスチャで操作できます。
- 拡大とパンのジェスチャを使用するには、**[拡大]**を有効にします。
- 文字の入力と特定の設定の調整を行うには、物理キーボードを使用します。

ジェスチャ	機能
ダブルタップ	画面でオプションまたは項目を選択します。
トリプルタップ	文字とイメージを拡大/縮小します。

ジェスチャ	機能
右または下にスワイプ	画面で次の項目に移動します。
左または上にスワイプ	画面で前の項目に移動します。
パン	画面の限界を超えて拡大してイメージの特定の部分を表示します。 メモ: このジェスチャでは、拡大/縮小したイメージをドラッグするために 2 本の指で操作する必要があります。
上にスワイプして左	アプリケーションを終了してホーム画面に戻ります。
下にスワイプして左	<ul style="list-style-type: none">• ジョブを中止します。• 前の設定に戻ります。• 設定または値を変更せずに、表示された画面を終了します。
上にスワイプして下	音声のプロンプトを繰り返します。

ディスプレイのキーボードを使用する

次の手順を 1 つ以上実行します。

- 指をキーにドラッグすると、その文字が発音されます。
- 画面から指をはなしてその文字を入力するか、フィールドに文字を打ち込みます。
- 文字を削除するには、**Backspace** キーを押します。
- 入力フィールドの内容を聞くには、**Tab** キーを押して次に **Shift + Tab** キーを押します。

音声のパスワードまたは個人 ID 番号を有効にする

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [アクセシビリティ] > [パスワード/PIN を発声]を選択します。
- 2 設定を有効にします。

用紙と特殊用紙をセットする

特殊用紙のサイズとタイプを設定する

トレイが自動的に普通紙のサイズを検知します。特殊用紙(ラベル、厚紙、封筒など)の場合は次のようにします。

- 1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。
[設定] > [用紙] > [トレイ構成] > [用紙のサイズ/タイプ] > で給紙源を選択
- 2 特殊用紙のサイズとタイプを設定します。

ユニバーサル用紙設定を構成する

- 1 ホーム画面で、[設定] > [用紙] > [メディアの構成] > [ユニバーサル設定]をタッチします
- 2 設定を行います。

550 枚トレイに用紙をセットする

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 本機が不安定にならないように、用紙トレイは個別にセットしてください。その他のすべてのトレイは必要になるまで閉じた状態にします。

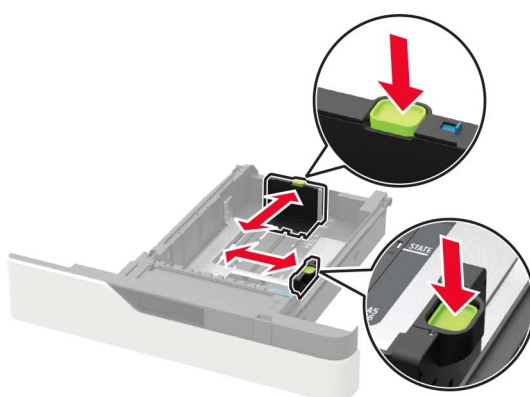
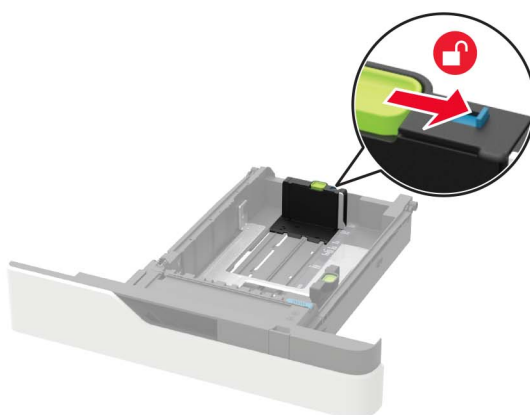
- 1 トレイを取り外します。

メモ: 紙詰まりを防ぐために、プリンタがビジー状態の間はトレイを取り外さないでください。

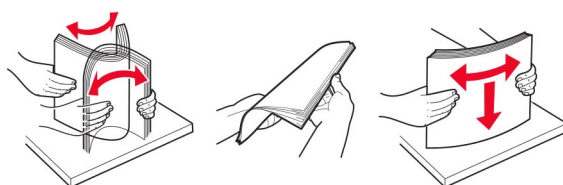


- 2 セットする用紙のサイズに合わせてガイドを調整します。

メモ: トレイの下部にあるインジケータで、ガイドの位置合わせをします。



3 ほぐしたり、パラパラめくったり、端をそろえたりしてから用紙をセットします。



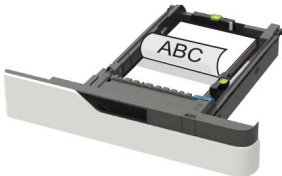

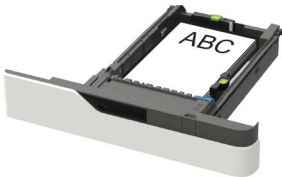

4 印刷面を下にして、用紙の束をセットしたら、用紙ガイドが用紙にぴったりと合っていることを確認します。





- 用紙をトレイにスライドしないでください。
- 紙詰まりを避けるために、重ねた用紙の高さが、指定されている高さの上限を超えないようにします。



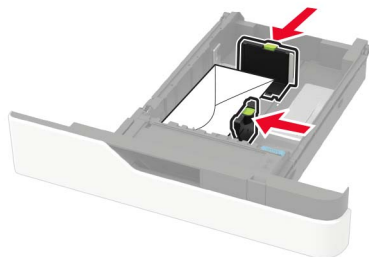
- オプションのホチキスフィニッシャが取り付けられているかどうかに応じて、正しい方法でレターヘッド紙をセットします。

オプションのホチキスフィニッシャを使用しない場合	オプションのホチキスフィニッシャを使用する場合
 <p>片面印刷</p>	 <p>片面印刷</p>
 <p>両面印刷</p>	 <p>両面印刷</p>

- 穴あき用紙をセットする場合は、用紙の長辺の穴がトレイの右側にくるようにします。

片面印刷	両面印刷
	

- フラップ面を上にして、トレイの左側に封筒をセットします。



警告—破損の恐れあり: 切手、留め金、スナップ、窓、つや出し加工された内張り、封かん用口糊の付いた封筒は使用しないでください。

- 5 トレイを挿入します。
- 6 操作パネルから用紙サイズとタイプを設定し、セットされた用紙に一致させます。

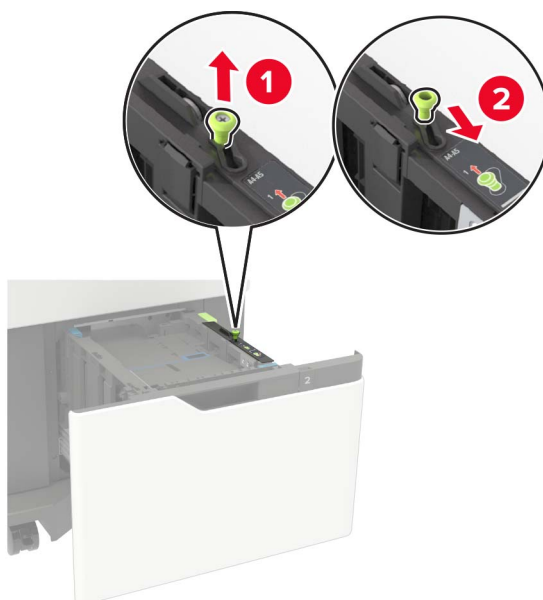
2100 枚トレイに用紙をセットする

⚠ 注意—転倒危険: 本機が不安定にならないように、用紙トレイは個別にセットしてください。その他のすべてのトレイは必要になるまで閉じた状態にします。

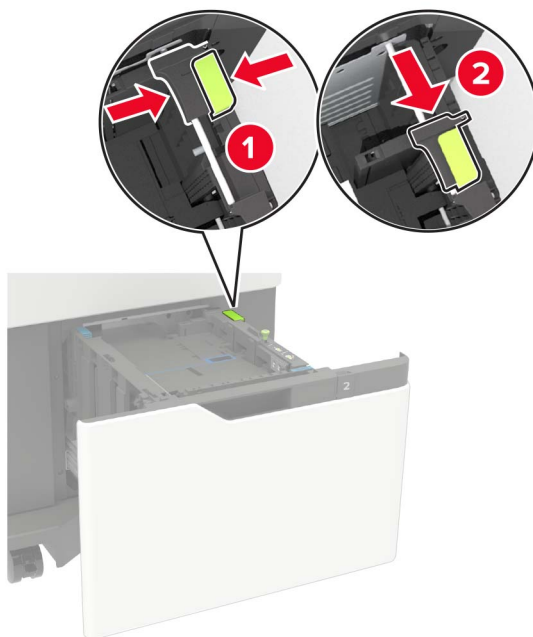
- 1 トレイを引き出します。
- 2 ガイドを調整します。

A5 サイズの用紙をセットする

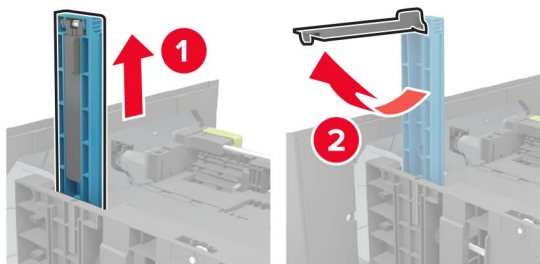
- a 幅ガイドを引き上げ、A5 の位置までスライドします。



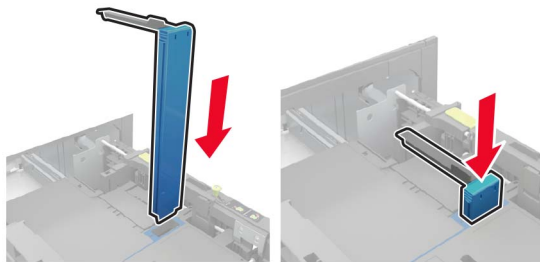
- b** 長さガイドのタブをつまみ、所定の位置でカチッと音がするまで、A5 用紙の位置までスライドします。



- c** A5 長さガイドをホルダーから取り外します。



- d** ガイドを指定のスロットに挿入し、カチッと音がするまで押し込みます。

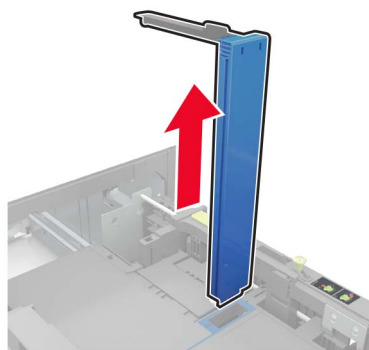


A4、レター、リーガル、オフィシオ、フォリオサイズの下紙をセットする

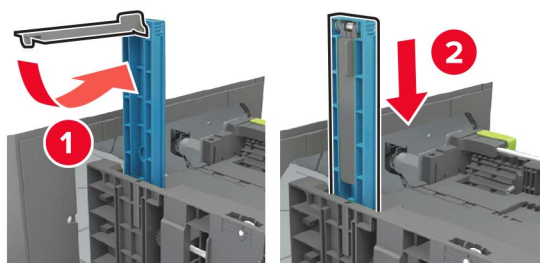
a 幅ガイドを引き上げ、セットしている下紙のサイズに合った正しい位置までスライドします。



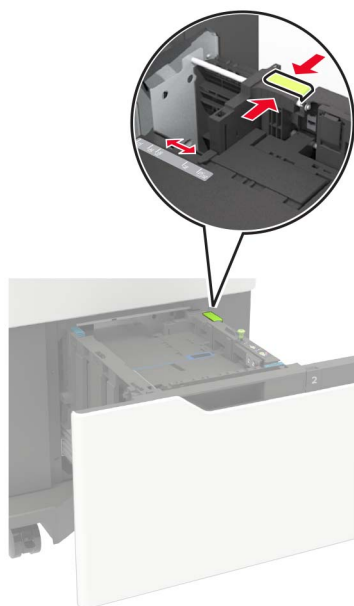
b A5 長さガイドがまだ取り付けられている場合は、取り外します。ガイドが取り付けられていない場合は、[手順 d、34 ページ](#)に進みます。



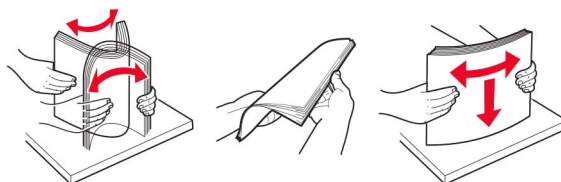
c A5 長さガイドをホルダーに入れます。



- d 長さガイドをつまんで、セットする用紙のサイズに合った正しい位置までスライドします。



- 3 ほぐしたり、パラパラめくったり、端をそろえたりしてから用紙をセットします。



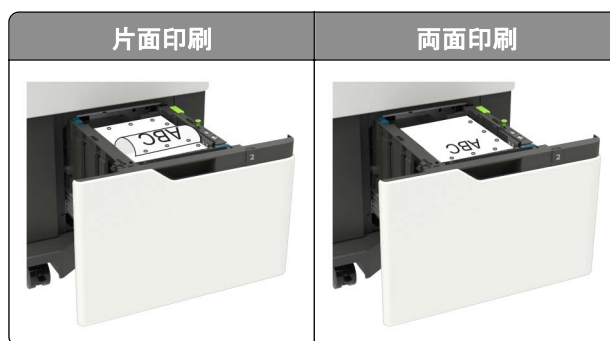
- 4 印刷面を下にして、用紙の束をセットします。

- オプションのホチキスフィニッシャが取り付けられているかどうかに応じて、正しい方法でレターヘッド紙をセットします。

オプションのホチキスフィニッシャを使用しない場合	オプションのホチキスフィニッシャを使用する場合
	
片面印刷	片面印刷

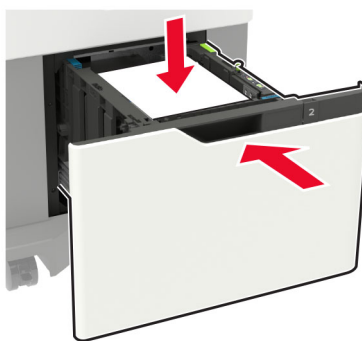


- 穴あき用紙をセットする場合は、用紙の長辺の穴がトレイの右側にくるようにします。



5 トレイを挿入します。

メモ: 用紙の束を下に押しながらトレイを挿入します。



6 操作パネルから用紙サイズとタイプを設定し、セットされた用紙に一致させます。

多目的フィーダーに用紙をセットする

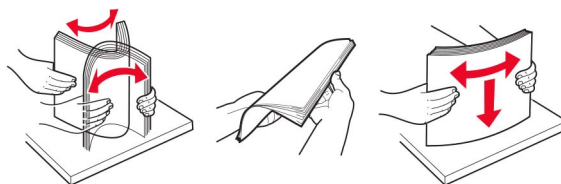
1 多目的フィーダーを開きます。



2 セットする用紙のサイズに合わせてガイドを調整します。



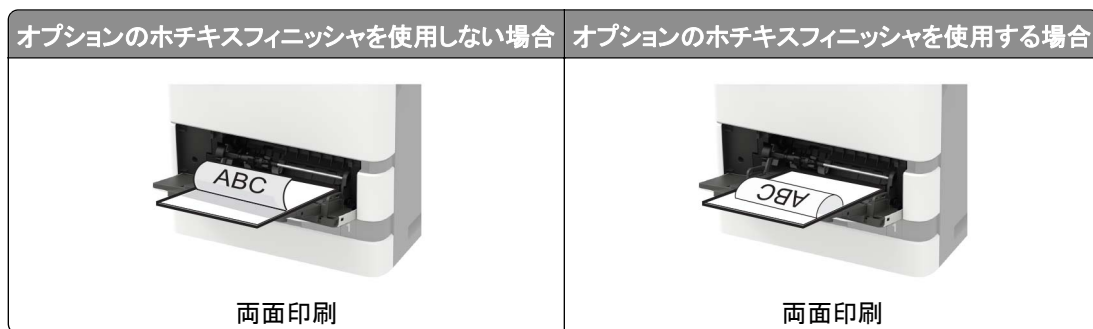
3 ほぐしたり、パラパラめくったり、端をそろえたりしてから用紙をセットします。



4 印刷面を上に向けて用紙をセットしてください。

- オプションのホチキスフィニッシャが取り付けられているかどうかに応じて、正しい方法でレターヘッド紙をセットします。

オプションのホチキスフィニッシャを使用しない場合	オプションのホチキスフィニッシャを使用する場合
	
片面印刷	片面印刷



- 穴あき用紙をセットする場合は、用紙の長辺の穴が用紙ガイドの右側にくるようにします。



- フラップ面を下にして、用紙ガイドの左側に封筒をセットします。

警告—破損の恐れあり: 切手、留め金、スナップ、窓、つや出し加工された内張り、封かん用口糊の付いた封筒は使用しないでください。

- 5 操作パネルから用紙サイズとタイプを設定し、セットされた用紙に一致させます。

トレイのリンク

- 1 ホーム画面で、[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [給紙口を選択します]をタッチします。
- 2 リンクしているトレイと同じ用紙サイズと用紙タイプを設定します。
- 3 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [構成設定メニュー] > [トレイ構成設定] > [同一用紙サイズのトレイのリンク]をタッチします。
- 4 [自動]をタッチします。

トレイとのリンクを解除するには、同じ用紙サイズと用紙タイプの設定を持つトレイが他にないことを確認してください。

警告—破損の恐れあり: フューザーの温度は、指定した用紙タイプによって異なります。印刷の問題を回避するには、プリンタの用紙タイプの設定をトレイにセットした用紙に合わせます。

用紙サポート

サポートされている用紙サイズ

プリンタでサポートされる用紙タイプ

用紙サイズ	標準またはオプションの 550 枚トレイ	オプションの 2100 枚トレイ	多目的フィーダー	両面印刷
A4 210 x 297 mm (8.3 x 11.7 インチ)	✓	✓	✓	✓
A5 LEF¹ 210 x 148 mm (8.3 x 5.8 インチ)	✓	✓	✓	✓
A5 SEF 148 x 210 mm (5.8 x 8.3 インチ)	✓	X	✓	X
A6 105 x 148 mm (4.1 x 5.8 インチ)	✓	X	✓	✓
JIS B5 182 x 257 mm (7.2 x 10.1 インチ)	✓	X	✓	✓
オフィシオ(メキシコ) 216 x 340 mm (8.5 x 13.4 インチ)	✓	✓	✓	✓
ステートメント 140 x 216 mm (5.5 x 8.5 インチ)	✓	X	✓	✓
エグゼクティブ 184 x 267 mm (7.3 x 10.5 インチ)	✓	X	✓	✓
レター 216 x 279 mm (8.5 x 11 インチ)	✓	✓	✓	✓
リーガル 216 x 356 mm (8.5 x 14 インチ)	✓	✓	✓	✓
フォリオ 216 x 330 mm (8.5 x 13 インチ)	✓	✓	✓	✓
ユニバーサル 105 x 148 mm (4.1 x 5.8 インチ) ~ 216 x 356 mm (8.5 x 14 インチ)	✓	X	✓	✓
7 3/4 封筒(Monarch)³ 98 x 191 mm (3.9 x 7.5 インチ)	✓	X	✓	X
9 封筒 98 x 225 mm (3.9 x 8.9 インチ)	✓	X	✓	X

¹ A5 短辺給紙(SEF)を超えるサイズの場合は、A5 長辺給紙(LEF)をお勧めします。

² 101.6 mm (4.5 インチ)よりも幅の広い封筒の場合、しわができることがあります。この用紙タイプが使用可能か必ずテストしてください。

用紙サイズ	標準またはオプションの 550 枚トレイ	オプションの 2100 枚トレイ	多目的フィーダー	両面印刷
10 封筒 ² 105 x 241 mm(4.1 x 9.5 インチ)	✓	X	✓	X
DL 封筒 ² 110 x 220 mm(4.3 x 8.7 インチ)	✓	X	✓	X
C5 封筒 ² 162 x 229 mm(6.4 x 9 インチ)	✓	X	✓	X
B5 封筒 ² 176 x 250 mm(6.9 x 9.8 インチ)	✓	X	✓	X
その他の封筒 ² 98.4 x 162 mm(3.9 x 6.4 インチ) ~ 176 x 250 mm (6.9 x 9.8 インチ)	✓	X	✓	X

¹ A5 短辺給紙(SEF)を超えるサイズの場合は、A5 長辺給紙(LEF)をお勧めします。
² 101.6 mm (4.5 インチ)よりも幅の広い封筒の場合、しわがでることがあります。この用紙タイプが使用可能か必ずテストしてください。

出力オプションまたはフィニッシュによりサポートされている用紙サイズ

用紙サイズ	オフセット スタッカ	4 排紙トレイ イメールボックス	ホチキスフィニッシュ		ホチキス、穴パンチフィニッシュ		
			スタッカ	ホチキス	スタッカ	ホチキス	穴パンチ
A4 210 x 297 mm(8.3 x 11.7 インチ)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
A5 LEF 210 x 148 mm(8.3 x 5.8 インチ)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	X
A5 SEF 148 x 210 mm(5.8 x 8.3 インチ)	✓	✓	✓	X	✓	X	X
A6 105 x 148 mm(4.1 x 5.8 インチ)	✓	✓	X	X	X	X	X
JIS B5 182 x 257 mm(7.2 x 10.1 インチ)	✓	✓	✓	X	✓	X	X
オフィシオ(メキシコ) 216 x 340 mm(8.5 x 13.4 インチ)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ステートメント 140 x 216 mm(5.5 x 8.5 インチ)	✓	✓	✓	X	✓	X	X
エグゼクティブ 184 x 267 mm(7.3 x 10.5 インチ)	✓	✓	✓	X	✓	X	X
レター 216 x 279 mm(8.5 x 11 インチ)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

用紙サイズ	オフセット スタッカ	4 排紙トレイ メールボックス	ホチキスフィニッシュ		ホチキス、穴パンチフィニッシュ		
			スタッカ	ホチキス	スタッカ	ホチキス	穴パンチ
リーガル 216 x 356 mm(8.5 x 14 インチ)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✗
フォリオ 216 x 330 mm(8.5 x 13 インチ)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ユニバーサル 105 x 148 mm(4.1 x 5.8 インチ) ~ 216 x 356 mm (8.5 x 14 インチ)	✓	✓	✗	✗	✗	✗	✗
7 3/4 封筒 (Monarch) 98 x 191 mm(3.9 x 7.5 インチ)	✓	✗	✗	✗	✗	✗	✗
9 封筒 98 x 225 mm(3.9 x 8.9 インチ)	✓	✗	✗	✗	✗	✗	✗
10 封筒 105 x 241 mm(4.1 x 9.5 インチ)	✓	✗	✗	✗	✗	✗	✗
DL 封筒 110 x 220 mm(4.3 x 8.7 インチ)	✓	✗	✗	✗	✗	✗	✗
C5 封筒 162 x 229 mm(6.4 x 9 インチ)	✓	✗	✗	✗	✗	✗	✗
B5 封筒 176 x 250 mm(6.9 x 9.8 インチ)	✓	✗	✗	✗	✗	✗	✗
その他の封筒 98.4 x 162 mm(3.9 x 6.4 インチ) ~ 176 x 250 mm (6.9 x 9.8 インチ)	✓	✗	✗	✗	✗	✗	✗

サポートされている用紙タイプ

プリンタでサポートされている用紙タイプ

用紙タイプ	標準またはオプションの 550 枚トレイ	オプションの 2100 枚トレイ	多目的フィーダー	両面印刷
普通紙	✓	✓	✓	✓
厚紙	✓	✗	✓	✓
OHP フィルム ¹	✓	✗	✓	✗
ラベル紙	✓	✗	✓	✗

¹ OHP フィルムがくっつかないようにするには、印刷の上限を 20 ページまでにしてください。3 分後に後続のページが印刷されます。

用紙タイプ	標準またはオプションの 550 枚トレイ	オプションの 2100 枚トレイ	多目的フィーダー	両面印刷
ボンド紙	✓	✓	✓	✓
封筒	✓	X	✓	X
ラフ紙封筒	✓	X	✓	X
レターヘッド紙	✓	✓	✓	✓
事前印刷用紙	✓	✓	✓	✓
カラー用紙	✓	X	✓	✓
軽量紙	✓	X	✓	✓
重量紙	✓	X	✓	✓
ラフ紙/コットン紙	✓	X	✓	✓
カスタム紙種 [x]	✓	X	✓	✓

¹ OHP フィルムがくっつかないようにするには、印刷の上限を 20 ページまでにしてください。3 分後に後続のページが印刷されます。

出力オプションまたはフィニッシャによりサポートされている用紙タイプ

用紙タイプ	オフセットスタッカー	4 排紙トレイメールボックス	ホチキスフィニッシャ		ホチキス、ホールパンチフィニッシャ		
			スタッカ	ホチキス	スタッカ	ホチキス	ホールパンチ
普通紙	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
厚紙	✓	X	X	X	X	X	X
OHP フィルム	✓	X	✓	X	✓	X	X
ラベル紙	✓	X	X	X	X	X	X
ボンド紙	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
封筒	✓	X	X	X	X	X	X
ラフ紙封筒	✓	X	X	X	X	X	X
レターヘッド紙	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
事前印刷用紙	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
カラー用紙	✓	X	X	X	X	X	X

用紙タイプ	オフセットスタッカー	4 排紙トレイメールボックス	ホチキスフィニッシャ		ホチキス、ホールパンチフィニッシャ		
			スタッカ	ホチキス	スタッカ	ホチキス	ホールパンチ
軽量紙	✓	X	X	X	X	X	X
重量紙	✓	X	X	X	X	X	X
ラフ紙/コットン紙	✓	X	X	X	X	X	X
カスタム紙種 [x]	✓	X	X	X	X	X	X

サポートされている用紙の重さ

プリンタでサポートされている用紙重量

用紙タイプと重量	標準またはオプションの 550 枚トレイ	オプションの 2100 枚トレイ	多目的フィーダー	両面印刷
普通紙またはボンド紙 ¹ 60 ~ 176 g/m ² 縦目 (16 ~ 47 ポンドのボンド紙)	✓	✓	✓	✓
厚紙 203 g/m ² 縦目 (125 ポンドのボンド紙)	✓	X	✓	✓
厚紙 199 g/m ² 縦目 (110 ポンドのボンド紙)	✓	X	✓	✓
厚紙 176 g/m ² 縦目 (65 ポンドのボンド紙)	✓	X	✓	✓
OHP フィルム 138 ~ 146 g/m ² 縦目 (37 ~ 39 ポンドのボンド紙)	✓	X	✓	X
ラベル紙 180 g/m ² (48 ポンドのボンド紙)	✓	X	✓	✓
統合フォーム ² 140 ~ 175 g/m ² (37 ~ 47 ポンドのボンド紙)	✓	X	✓	✓
統合フォーム 75 ~ 135 g/m ² (20 ~ 36 ポンドのボンド紙)	✓	X	✓	✓
封筒 ³ 60 ~ 105 g/m ² (16 ~ 28 ポンドのボンド紙)	✓	X	✓	✓
¹ 176 g/m ² (47 ポンド) を超える場合には、横目の用紙をお勧めします。 ² 圧力に敏感な部分が最初にプリンタに入る必要があります。 ³ 28 lb ポンドの封筒は、コットン含有率が 25% に制限されます。				

出力オプションまたはフィニッシャによりサポートされる用紙重量

用紙タイプと重量	オフセットスタッカ	4 排紙トレイメールボックス	ホチキスフィニッシャ		ホチキス、穴パンチフィニッシャ		
			スタッカ	ホチキス	スタッカ	ホチキス	穴パンチ
普通紙またはボンド紙 60 ~ 176 g/m ² 縦目 (16 ~ 47 ポンドのボンド紙)	✓	X	✓	X	✓	X	X
普通紙またはボンド紙 60 ~ 90 g/m ² の縦目 (16 ~ 24 ポンドのボンド紙)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
厚紙 203 g/m ² 縦目 (125 ポンドのボンド紙)	✓	X	✓	X	✓	X	X
厚紙 199 g/m ² 縦目 (110 ポンドのボンド紙)	✓	X	✓	X	✓	X	X
厚紙 176 g/m ² 縦目 (65 ポンドのボンド紙)	✓	X	X	X	X	X	X
厚紙 163 g/m ² 縦目 (90 ポンドのボンド紙)	✓	X	✓	X	✓	X	X
OHP フィルム 138 ~ 146 g/m ² 縦目 (37 ~ 39 ポンドのボンド紙)	✓	X	✓	X	✓	X	X
ラベル紙 180 g/m ² (48 ポンドのボンド紙)	✓	X	X	X	X	X	X
統合フォーム 140 ~ 175 g/m ² (37 ~ 47 ポンドのボンド紙)	✓	X	X	X	X	X	X
統合フォーム 75 ~ 135 g/m ² (20 ~ 36 ポンドのボンド紙)	✓	X	X	X	X	X	X
封筒 60 ~ 105 g/m ² (16 ~ 28 ポンドのボンド紙)	✓	X	X	X	X	X	X

使用できない用紙

次の種類の用紙は、プリンタで使用しないでください。

- カーボン紙なしでコピーの作成に使用される化学処理済みの用紙。これらは、ノーカーボン紙、感圧複写紙 (CCP)、カーボン不要 (NCR) 紙とも呼ばれます。
- プリンタを汚染する可能性のある化学薬品を使用して事前印刷された用紙。
- プリンタフューザーの温度の影響を受ける可能性のある事前印刷用紙。
- ±2.3 mm (±0.09 インチ) よりも高い精度で位置合わせする必要がある事前印刷用紙。例えば、光学式文字認識 (OCR) フォームなどです。

場合によっては、ソフトウェアアプリで位置合わせを調整することで、このようなフォームにも正常に印刷できます。

- コート紙 (消去可能ボンド紙)、合成紙、または感熱紙。
- 縁がぎざぎざな用紙、表面のきめが粗い用紙、ざらつきのある用紙、カールした用紙。
- EN12281:2002 (欧州) に準拠していない用紙。

- 重量が 60g/m² (16 ポンド) 未満の用紙。
- マルチパートフォームまたはマルチパートドキュメント。

再生紙を使用する

Lexmark は、さまざまなオプションをお客様に提供することで、紙の使用による環境負荷の低減に取り組んでいます。これを実現する方法の一つが、再生紙を使用できるか確認するために製品をテストすることです。具体的には、30%、50%、100% の再生紙をテストできます。Lexmark は、再生紙がバージンパルプを使用する用紙と同等の性能をプリンタで発揮できるように取り組んでいます。オフィス機器での用紙利用に関する公式な規格は存在しませんが、Lexmark は欧州規格 EN 12281 を最低限の特性基準として用いています。広範なテストを行うことができるように、テストのための用紙には北米、ヨーロッパ、アジアの 100% 再生紙を使用し、試験は相対湿度 8~80% で実施されています。両面印刷についてもテストを行っています。再生可能素材、リサイクル素材、非塩素系素材を使用した事務用の用紙を使用できます。

印刷

コンピュータから印刷する

メモ: ラベル紙、厚紙、封筒の場合、プリンタで用紙のサイズとタイプを設定してからドキュメントを送信してください。

- 1 印刷するドキュメントで、[印刷]ダイアログボックスを開きます。
- 2 必要に応じて、設定を調整します。
- 3 ドキュメントを印刷します。

モバイルデバイスから印刷する

Lexmark モバイル印刷を使用してモバイルデバイスから印刷する

Lexmark™ モバイル印刷では、サポートされている Lexmark プリンタにドキュメントや画像を直接送信できます。

- 1 ドキュメントを開いてから、ドキュメントを Lexmark モバイル印刷に送信または共有します。



メモ: サードパーティ製アプリケーションの中には、送信機能または共有機能をサポートしていないものもあります。詳細については、アプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。

- 2 プリンタを選択します。
- 3 ドキュメントを印刷します。

Mopria プリントサービスを使用してモバイルデバイスから印刷する

Mopria® プリントサービスは、Android™ バージョン 5.0 以降が実行されているモバイルデバイス用の、モバイル印刷ソリューションです。お好きな Mopria 認定プリンタへ直接印刷できます。


メモ: 必ず、Google Play™ ストアから Mopria プリントサービスアプリケーションをダウンロードし、モバイルデバイスで有効にしてください。

- 1 Android モバイルデバイスで対応アプリケーションを起動するか、ファイルマネージャでドキュメントを選択します。
- 2  > [印刷]をタップします。
- 3 プリンタを選択し、必要に応じて設定を調整します。
- 4  をタップします。

AirPrint を使用してモバイルデバイスから印刷する

AirPrint ソフトウェア機能は、Apple デバイスから AirPrint 認定プリンタへ直接印刷することができる、モバイル印刷ソリューションです。




メモ:

- Apple デバイスとプリンタが同じネットワークに接続していることを確認しますネットワークが複数のワイヤレスハブに接続している場合、両方のデバイスが同じサブネットに接続されていることを確認します。
 - このアプリケーションは、一部の Apple デバイスのみでサポートされています。
- 1 モバイルデバイスで、ファイルマネージャからドキュメントを選択するか、互換性のあるアプリケーションを起動します。
 - 2  > [印刷]をタップします。
 - 3 プリンタを選択し、必要に応じて設定を調整します。
 - 4 ドキュメントを印刷します。

Wi-Fi Direct® を使用してモバイルデバイスから印刷する

wifi ダイレクト® は、お好きな wifi ダイレクト対応のプリンタへ印刷することができる、印刷サービスです。

メモ: モバイルデバイスがプリンタのワイヤレスネットワークに接続されていることを確認してください。(⇒ [「プリンタにモバイルデバイスを接続する」](#)、164 ページ)

- 1 モバイルデバイスで対応アプリケーションを起動するか、ファイルマネージャでドキュメントを選択します。
- 2 モバイルデバイスに応じて、次の手順のいずれかを実行します。
 -  > [印刷]をタップします。
 -  > [印刷]をタップします。
 -  > [印刷]をタップします。
- 3 プリンタを選択し、必要に応じて設定を調整します。
- 4 ドキュメントを印刷します。

フラッシュドライブから印刷する

1 フラッシュメモリをセットします。



メモ:

- エラーメッセージが表示されているときにフラッシュドライブを挿入しても、フラッシュドライブはプリンタで認識されません。
- フラッシュドライブを挿入したときに、プリンタで他の印刷ジョブが処理されていた場合には、画面に[ビジー]が表示されます。

2 画面から、印刷するドキュメントをタッチします。

必要に応じて、印刷設定を構成します。

3 次のように印刷ジョブを送信します。

他の文書を印刷するときは、[USB ドライブ]をタッチします。

警告—破損の恐れあり: データの損失やプリンタの誤動作を防ぐため、メモリデバイスから印刷またはデータの読み書きを行っている間は、フラッシュメモリまたはプリンタの図で示した範囲に手を触れないでください。



サポートされているフラッシュメモリとファイルタイプ

フラッシュメモリ

- Lexar JumpDrive S70 (16GB および 32GB)
- SanDisk Cruzer (16GB および 32GB)
- PNY Attache (16GB および 32GB)

メモ:

- プリンタは、フルスピード規格の高速 USB フラッシュメモリをサポートしています。
- USB フラッシュメモリで、FAT (File Allocation Table) システムをサポートしている必要があります。

ファイルタイプ

文書

- PDF (バージョン 1.7 以前)
- HTML
- XPS
- Microsoft file formats (.doc、.docx、.xls、.xlsx、.ppt、.pptx)

イメージ

- .dcx
- .gif
- .JPEG または .jpg
- .bmp
- .pcx
- .TIFF または .tif
- .png

コンフィデンシャルジョブを設定する

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。
[設定] > [セキュリティ] > [コンフィデンシャル印刷設定]

- 2 設定します。

使用	目的
無効暗証番号許容回数	無効な PIN を入力できる回数を設定します。 メモ: この上限回数に達すると、該当するユーザー名に対する印刷ジョブが削除されます。
コンフィデンシャルジョブ期限切れ	コンフィデンシャル印刷ジョブの有効期限を設定します。 メモ: 待ちのコンフィデンシャルジョブは、手動でリリースするか削除するまでプリンタに保存されます。
期限切れジョブの繰り返し	繰り返し印刷ジョブの有効期限を設定します。 メモ: 待ちの繰り返しジョブは、再印刷のためにプリンタのメモリに保存されます。
期限切れジョブの確認	残りのコピーを印刷する前に、コピーを実行する有効期限を設定します。 メモ: 確認印刷を最初に 1 部印刷し、間違いがないかどうかを確認してから残りの部数を印刷します。
期限切れジョブの予約	予約印刷ジョブがプリンタに保存される有効期限を設定します。 メモ: 保留ジョブは、印刷後に自動的に削除されます。
すべてのジョブを保留にする	すべての印刷ジョブを保留にするように、プリンタを設定します。
重複ドキュメントを維持	同じファイル名を持つすべてのドキュメントを印刷するようにプリンタを設定します。

コンフィデンシャルジョブおよびその他の保留ジョブを印刷する

Windows の場合

- 1 ドキュメントを開いている状態で、[ファイル] > [印刷]をクリックします。
- 2 プリンタを選択し、[プロパティ]、[基本設定]、[オプション]、または[設定]をクリックします。
- 3 [印刷して保持]をクリックします。
- 4 [印刷して保持]を使用する]を選択して、ユーザー名を割り当てます。
- 5 印刷ジョブの種類(コンフィデンシャル、繰り返し、予約、確認)を選択します。
[コンフィデンシャル]を選択した場合は、個人 ID 番号(PIN)で印刷ジョブを保護します。
- 6 [OK]または[印刷]をクリックします。
- 7 プリンタのホーム画面から、印刷ジョブをリリースします。
 - コンフィデンシャル印刷ジョブの場合は、[保留ジョブ] > ユーザー名を選択 > [コンフィデンシャル] > PIN を入力 > 印刷ジョブを選択 > 設定 > [印刷]をタッチします。
 - その他の印刷ジョブの場合は、[保留ジョブ] > ユーザー名を選択 > 印刷ジョブを選択 > 設定 > [印刷]をタッチします。

Macintosh の場合

AirPrint を使用する

- 1 ドキュメントが開いている状態で、[ファイル] > [印刷]の順に選択します。
- 2 プリンタを選択し、[原稿の向き]メニューの後にあるドロップダウンメニューから[PIN 印刷]を選択します。
- 3 [PIN で印刷]を有効にしてから、4 桁の PIN を入力します。
- 4 [印刷]をクリックします。
- 5 プリンタのホーム画面から、印刷ジョブをリリースします。[保留ジョブ] > コンピュータ名を選択 > [コンフィデンシャル] > PIN を入力 > 印刷ジョブを選択 > [印刷]をタッチします。

プリントドライバを使用する

- 1 ドキュメントが開いている状態で、[ファイル] > [印刷]の順に選択します。
- 2 プリンタを選択し、[原稿の向き]メニューの後にあるドロップダウンメニューから[印刷して保持]を選択します。
- 3 [コンフィデンシャル印刷]を選択してから、4 桁の PIN を入力します。
- 4 [印刷]をクリックします。
- 5 プリンタのホーム画面から、印刷ジョブをリリースします。[保留ジョブ] > コンピュータ名を選択 > [コンフィデンシャル] > 印刷ジョブを選択 > PIN を入力 > [印刷]をタッチします。

クラウドコネクタプロファイルからの印刷

- 1 ホーム画面で、[クラウドコネクタ]をタッチします。
- 2 クラウドサービスプロバイダを選択し、プロファイルを選択します。
メモ: クラウドコネクタプロファイルの作成の詳細については、[「クラウドコネクタプロファイルを作成する」、22 ページ](#)を参照してください。
- 3 [印刷]をタッチして、ファイルを選択します。
必要に応じて、設定を変更します。
メモ: サポートされているファイルが選択されていることを確認します。
- 4 ドキュメントを印刷します。

フォントサンプルリストを印刷する

- 1 ホーム画面で、[設定] > [レポート] > [印刷] > [フォント一覧を印刷]をタッチします。
- 2 [PCL フォント]または[PS フォント]をタッチします。

ディレクトリリストを印刷する

ホーム画面で、[設定] > [レポート] > [印刷] > [印刷ディレクトリ]をタッチします。

印刷ジョブを中止する

プリンタコントロールパネル

- 1 ホーム画面で、[ジョブのキュー]をタッチします。

メモ: ホーム画面の上部にあるセクションをタッチしてこの設定にアクセスすることもできます。


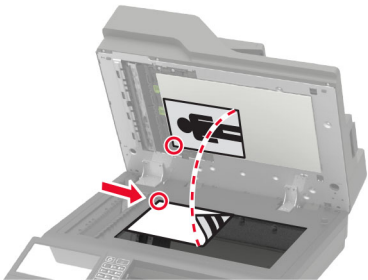
- 2 キャンセルするジョブを選択します。

コンピュータから

- 1 オペレーティングシステムに応じて、次のいずれかの手順に従います。
 - プリンタフォルダを開き、プリンタを選択します。
 - [アップル]メニューの[システム基本設定]から該当プリンタを選びます。
- 2 キャンセルするジョブを選択します。

コピー

自動原稿フィーダーと原稿台を使用する

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿台
 <ul style="list-style-type: none"> • 複数ページの原稿や両面印刷の原稿の場合、ADF を使用します。 • スキャンする面を上にして原稿をセットします。複数ページの文書の場合は、セットする前に用紙の先端をそろえてください。 • セットする用紙の幅に合わせて ADF ガイドを調整します。 	 <ul style="list-style-type: none"> • 1 ページの文書、本のページ、小さいもの(葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの(雑誌の切り抜きなど)には原稿台を使用します。 • 原稿を下向きにして、矢印のある隅にセットします。

コピーを作成する


- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。

メモ: 画面が途切れることを防止するには、原稿と印刷物の用紙サイズが同じであることを確認してください。

- 2 ホーム画面から[コピー]をタッチして、コピー部数を指定します。

必要に応じて、コピー設定を調整します。

- 3 ドキュメントをコピーします。

メモ: クイックコピーを実行するには、操作パネルで  を押します。

写真をコピーする

- 1 写真を原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面で、[コピー] > [原稿の種類] > [原稿の画質] > [写真]をタッチします。
- 3 [原稿の種類]をタッチして、元の写真に最適な設定を選択します。
- 4 写真をコピーします。

レターヘッド紙にコピーする

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面から[コピー] > [原稿サイズ]をタッチ > 原稿のサイズを指定します。

- 3 [用紙選択]をタッチしてから、レターヘッド紙をセットした給紙トレイを選択します。
レターヘッド紙を手差しトレイにセットしている場合は、次のメニューを選択します。
[用紙選択] > [手差しトレイ] > 用紙サイズを選択 > [レターヘッド紙]を選択します。
- 4 ドキュメントをコピーします。

用紙の両面にコピーする

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面で、[コピー] > [両面片面選択]をタッチします。
- 3 設定を調整します。
- 4 ドキュメントをコピーします。

コピーを縮小または拡大する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面から、次のメニューを選択します。
[コピー] > [拡大縮小] > で拡大縮小の値を指定
メモ: [拡大縮小]を設定してから、原稿または出力のサイズを変更すると、拡大縮小の値は[自動]に戻ります。
- 3 ドキュメントをコピーします。

丁合印刷する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面で、[コピー] > [ソート(1 部ごと)] > [オン「1,2,1,2,1,2」]をタッチします。
- 3 ドキュメントをコピーします。

コピーの区切りとしてセパレータ紙を挿入する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面で、[コピー] > [セパレータ紙]をタッチします。
- 3 設定を調整します。
- 4 コピージョブを送信します。

1 枚の用紙に複数ページをコピーする

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面で、[コピー] > [ページ/面]をタッチします。


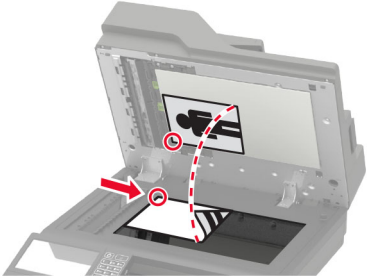
- 3 設定を調整します。
- 4 ドキュメントをコピーします。

ショートカットコピーを作成する

- 1 ホーム画面から[コピー]をタッチします。
- 2 設定を行い、★ をタッチします。
- 3 ショートカットを作成します。

E メールで送信する

自動原稿フィーダーと原稿台を使用する

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿台
 <ul style="list-style-type: none"> • 複数ページの原稿や両面印刷の原稿の場合、ADF を使用します。 • スキャンする面を上にして原稿をセットします。複数ページの文書の場合は、セットする前に用紙の先端をそろえてください。 • セットする用紙の幅に合わせて ADF ガイドを調整します。 	 <ul style="list-style-type: none"> • 1 ページの文書、本のページ、小さいもの(葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの(雑誌の切り抜きなど)には原稿台を使用します。 • 原稿を下向きにして、矢印のある隅にセットします。

E メール SMTP 設定を構成する

スキャンしたドキュメントを E メールで送信するように、簡易メール転送プロトコル(SMTP)設定を構成します。設定は、E メールサービスプロバイダによって異なります。

開始する前に、プリンタがネットワークに接続されていること、ネットワークがインターネットに接続されていることを確認してください。

プリンタの[設定]メニューを使用する

1 ホーム画面で、[設定] > [E メール] > [E メール設定]の順にタッチします。

2 設定を行います。

メモ:

- パスワードの詳細については、[E メールサービスプロバイダに問い合わせください](#)。
- リストにない E メールサービスプロバイダの場合は、プロバイダに連絡して設定を問い合わせます。

内蔵 Web サーバーを使用する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [E メール]をクリックします。

3 [E メール設定]セクションで、設定を構成します。

メモ:

- パスワードの詳細については、[E メールサービスプロバイダに問い合わせください](#)。
- リストにない E メールサービスプロバイダの場合は、プロバイダに連絡して設定を問い合わせます。

4 [保存]をクリックします。

E メールサービスプロバイダ

- [AOL メール](#)
- [Comcast メール](#)
- [Gmail](#)
- [iCloud メール](#)
- [Mail.com](#)
- [NetEase メール\(mail.126.com\)](#)
- [NetEase メール\(mail.163.com\)](#)
- [NetEase メール\(mail.yeah.net\)](#)
- [Outlook Live](#)
- [QQ メール](#)
- [Sina メール](#)
- [Sohu メール](#)
- [Yahoo! メール](#)
- [Zoho メール](#)

メモ:

- 指定された設定を使用してエラーが発生した場合は、E メールサービスプロバイダにお問い合わせください。
- リストにない E メールサービスプロバイダの場合は、プロバイダにお問い合わせください。

AOL メール

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.aol.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	587
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	アプリのパスワード メモ: アプリのパスワードを作成するには、 AOL アカウントのセキュリティページ にアクセスしてアカウントにログインし、[アプリのパスワードを生成する]をクリックします。

Comcast メール

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.comcast.net
一次 SMTP ゲートウェイポート	587
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	アカウントパスワード

Gmail™

メモ: Google アカウントで 2 段階認証が有効になっていることを確認します。2 段階認証を有効にするには、[Google アカウントのセキュリティ](#) ページに移動してアカウントにログインし、[Google にサインイン] セクションで [2 段階認証プロセス] をクリックします。

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.gmail.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	587
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	アプリのパスワード メモ: <ul style="list-style-type: none"> • アプリのパスワードを作成するには、Google アカウントセキュリティページ にアクセスしてアカウントにログインし、[Google にサインイン] セクションで [アプリパスワード] をクリックします。 • [アプリパスワード] は、2 段階認証が有効になっている場合にのみ表示されます。

iCloud メール

メモ: アカウントで 2 段階認証が有効になっていることを確認します。

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.mail.me.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	587
Use SSL/TLS	必須

設定	値
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	アプリのパスワード メモ: アプリのパスワードを作成するには、 iCloud アカウント管理 ページにアクセスしてアカウントにログインし、[セキュリティ] セクションで [パスワードの生成] をクリックします。

Mail.com

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.mail.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	587
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	アカウントパスワード

NetEase メール (mail.126.com)

メモ: アカウントで SMTP サービスが有効になっていることを確認します。サービスを有効にするには、NetEase メールのホームページで、[設定] > [POP3/SMTP/IMAP] をクリックし、[IMAP/SMTP] サービスまたは [POP3/SMTP] サービスのいずれかを有効にします。

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.126.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	465
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	認証パスワード メモ: 認証パスワードは、IMAP/SMTP サービスまたは POP3/SMTP サービスが有効になっている場合に提供されます。

NetEase メール(mail.163.com)

メモ: アカウントで SMTP サービスが有効になっていることを確認します。サービスを有効にするには、NetEase メールのホームページで、[設定] > [POP3/SMTP/IMAP]をクリックし、[IMAP/SMTP]サービスまたは[POP3/SMTP]サービスのいずれかを有効にします。

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.163.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	465
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	認証パスワード メモ: 認証パスワードは、IMAP/SMTP サービスまたは POP3/SMTP サービスが有効になっている場合に提供されます。

NetEase メール(mail.yeah.net)

メモ: アカウントで SMTP サービスが有効になっていることを確認します。サービスを有効にするには、NetEase メールのホームページで、[設定] > [POP3/SMTP/IMAP]をクリックし、[IMAP/SMTP]サービスまたは[POP3/SMTP]サービスのいずれかを有効にします。

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.yeah.net
一次 SMTP ゲートウェイポート	465
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	認証パスワード メモ: 認証パスワードは、IMAP/SMTP サービスまたは POP3/SMTP サービスが有効になっている場合に提供されます。

Outlook Live

これらの設定は、outlook.com および hotmail.com の E メールドメインに適用されます。

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.office365.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	587
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	<p>アカウントパスワードまたはアプリのパスワード</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 2 段階認証が無効なアカウントの場合は、アカウントパスワードを使用します。 2 段階認証が有効になっているアカウントの場合は、アプリのパスワードを使用します。アプリのパスワードを作成するには、Outlook Live アカウントの管理ページに移動し、アカウントにログインします。

QQ メール

メモ: アカウントで SMTP サービスが有効になっていることを確認します。サービスを有効にするには、QQメールのホームページで、[Settings] > [Account] の順にクリックします。

[POP3/IMAP/SMTP/Exchange/CardDAV/CalDAV Service] セクションで、**POP3/SMTP サービス**または**IMAP/SMTP サービス**のいずれかを有効にします。

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.qq.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	587
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	<p>認証コード</p> <p>メモ: 認証コードを生成するには、QQ Mail ホームページで[設定] > [アカウント]をクリックし、[POP3/IMAP/SMTP/Exchange/CardDAV/CalDAV サービス]セクションで[認証コードの生成]をクリックします。</p>

Sina メール

メモ: アカウントで POP3/SMTP サービスが有効になっていることを確認します。サービスを有効にするには、Sina メールのホームページで、[設定] > [その他の設定] > [ユーザーエンド POP/IMAP/SMTP] の順にクリックし、POP3/SMTP サービスを有効にします。

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.sina.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	587
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	認証コード メモ: 認証コードを作成するには、Eメールのホームページで、[設定] > [その他の設定] > [ユーザーエンド POP/IMAP/SMTP] の順にクリックし、[認証コードの状態] を有効にします。

Sohu メール

メモ: アカウントで SMTP サービスが有効になっていることを確認します。サービスを有効にするには、SOHU メールのホームページで、[オプション] > [設定] > [POP3/SMTP/IMAP] をクリックし、IMAP/SMTP サービスまたは POP3/SMTP サービスのいずれかを有効にします。

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.sohu.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	465
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	独立したパスワード メモ: 独立したパスワードは、IMAP/SMTP サービスまたは POP3/SMTP サービスが有効になっている場合に提供されます。

Yahoo! メール

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.mail.yahoo.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	587

設定	値
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	アプリのパスワード メモ: アプリのパスワードを作成するには、 Yahoo アカウントのセキュリティページ にアクセスしてアカウントにログインし、[アプリのパスワードを生成する]をクリックします。

Zoho メール

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.zoho.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	587
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	アカウントパスワードまたはアプリのパスワード メモ: <ul style="list-style-type: none"> 2 段階認証が無効なアカウントの場合は、アカウントパスワードを使用します。 2 段階認証が有効になっているアカウントの場合は、アプリのパスワードを使用します。アプリのパスワードを作成するには、Zoho メールのアカウントセキュリティページに移動してアカウントにログインし、[アプリケーション固有のパスワード]セクションで[新しいパスワードの生成]をクリックします。

E メールを送信する

開始する前に、SMTP 設定が構成されていることを確認します。詳細については、「[E メール SMTP 設定を構成する](#)」、55 ページを参照してください。

操作パネルを使用する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面から[E メール]をタッチして、必要な情報を入力します。
- 3 必要に応じて、出力ファイルタイプを設定します。
- 4 E メールを送信します。

ショートカット番号を使用する


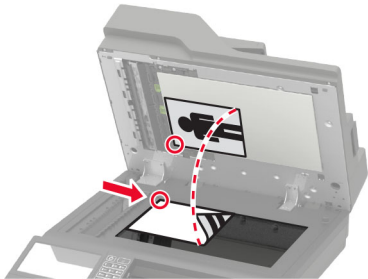
- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面で、[ショートカットセンター] > [E メール]の順にタッチします。
- 3 ショートカット番号を選択します。
- 4 E メールを送信します。

E メールショートカットを作成する

- 1 ホーム画面で[E メール]をタッチします。
- 2 設定を行い、★ をタッチします。
- 3 ショートカットを作成します。

FAX

自動原稿フィーダーと原稿台を使用する

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿台
 <p>ADF (Automatic Document Feeder) diagram showing a document being fed into the top of the machine.</p> <ul style="list-style-type: none"> • 複数ページの原稿や両面印刷の原稿の場合、ADF を使用します。 • スキャンする面を上にして原稿をセットします。複数ページの文書の場合は、セットする前に用紙の先端をそろえてください。 • セットする用紙の幅に合わせて ADF ガイドを調整します。 	 <p>Original Document Stage diagram showing a document being placed on the flatbed scanner.</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 ページの文書、本のページ、小さいもの(葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの(雑誌の切り抜きなど)には原稿台を使用します。 • 原稿を下向きにして、矢印のある隅にセットします。

プリンタを設定して FAX を送信する

メモ:

- 以下の接続方法は、一部の国と地域でのみご利用できます。
- プリンタの初期設定時には、[FAX 機能]チェックボックスや後で設定する他の機能をオフにして、[続行]を選択します。
- FAX 機能が有効になっていても設定が完了していない場合、インジケータランプが赤く点滅することがあります。

警告—破損の恐れあり: データの損失やプリンタの誤動作の発生を防ぐため、実際に FAX を送受信している間は、ケーブルや下記に示すプリンタの部分に触らないでください。



サポートされている FAX

プリンタ機種	アナログ FAX	etherFAX ¹	FAX サーバー	Fax over IP (FoIP) ²
MX822ade	✓	✓	✓	✓
MX822adtfe	✓	✓	✓	✓
MX822adx	✓	✓	✓	✓
MX822de	x	✓	✓	✓
MX826ade	✓	✓	✓	✓
MX826adtfe	✓	✓	✓	✓
MX826adx	✓	✓	✓	✓
MX826de	x	✓	✓	✓
XM7355	✓	✓	✓	✓
XM7335b	✓	✓	✓	✓
XM7335bi	x	✓	✓	✓
XM7335i	x	✓	✓	✓
XM7370	✓	✓	✓	✓
XM7370i	x	✓	✓	✓

¹ サブスクリプションが必要です。詳細については、<https://www.etherfax.net/lexmark> をご覧いただくか、プリンタの販売店までお問い合わせください。

² インストール済みのライセンスバンドルが必要です。詳細については、プリンタの販売店までお問い合わせください。

アナログ FAX を使用した FAX 機能の設定

メモ:

- この機能は、一部のプリンタ機種でのみ使用できます。
- 一部の接続方法は、一部の国と地域でのみ利用できます。
- FAX 機能が有効になっていても設定が完了していない場合、インジケータランプが赤く点滅することがあります。
- TCP/IP 環境がない場合、操作パネルを使用して FAX を設定します。

警告—破損の恐れあり: データの損失やプリンタの誤動作の発生を防ぐため、実際に FAX を送受信している間は、ケーブルや下記に示すプリンタの部分に触らないでください。



プリンタの[設定]メニューを使用する

- 1 ホーム画面で、[設定] > [FAX] > [FAX 設定] > [一般 FAX 設定]の順にタッチします。
- 2 設定を行います。

内蔵 Web サーバーを使用する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- ホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [FAX] > [FAX 設定] > [一般 FAX 設定]をクリックします。
- 3 設定を行います。
- 4 変更を適用します。

etherFAX を使用した FAX 機能の設定

メモ:

- プリンタファームウェアを最新バージョンにアップデートする必要があります。詳細については、[「ファームウェアを更新する」、309 ページ](#)を参照してください。
- 適切なライセンスバンドルがプリンタにインストールされている必要があります。詳細については、etherFAX にお問い合わせください。
- プリンタが etherFAX ポータルに登録されていることを確認します。詳細については、<https://www.etherfax.net/lexmark>
- 登録時にはプリンタのシリアル番号が必要です。シリアル番号を確認するには、[「プリンタのシリアル番号を確認する」、11 ページ](#)を参照してください。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- ホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [FAX] > [FAX 設定] > [一般 FAX 設定]をクリックします。

メモ: [FAX 設定]は、[FAX モード]が[FAX]に設定されている場合にのみ表示されます。

3 [FAX 名]フィールドに一意の名前を入力します。

4 [FAX 番号]フィールドに、etherFAX から提供される FAX 番号を入力します。

5 [FAX の転送]メニューで[etherFAX]を選択します。

6 変更を適用します。

FAX サーバーを使用した FAX 機能の設定

メモ:

- この機能を使用すると、E メール受信をサポートしている FAX サービスプロバイダに FAX メッセージを送信できます。
- この機能は、送信 FAX メッセージのみをサポートしています。FAX 受信をサポートするには、プリンタでアナログ FAX、etherFAX、または Fax over IP (FoIP) など、デバイスベースの FAX が設定されていることを確認してください。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- ホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [FAX]の順にクリックします。

3 [FAX モード]メニューから[FAX サーバー]を選択し、[保存]をクリックします。

4 [FAX サーバー設定]をクリックします。

5 [送信先形式]フィールドに、「[#]@myfax.com」と入力します。ここで、[#] は FAX 番号、myfax.com は FAX プロバイダドメインです。

メモ:

- 必要に応じて、[返信アドレス]、[件名]、または[メッセージ]フィールドを設定してください。
- プリンタで FAX メッセージを受信するには、デバイスベースの FAX 受信設定を有効にしてください。デバイスベースの FAX が設定されていることを確認してください。

6 [保存]をクリックします。

7 [FAX サーバー E メール設定]をクリックし、以下のいずれかを行います。

- [E メール SMTP サーバーを使用]を有効にします。

メモ: E メール SMTP 設定が設定されていない場合(⇒[「E メール SMTP 設定を構成する」](#)、55 ページ)。

- SMTP 設定を設定します。詳細については、E メールサービスプロバイダにお問い合わせください。

8 変更を適用します。

標準電話回線を使用して FAX を設定する

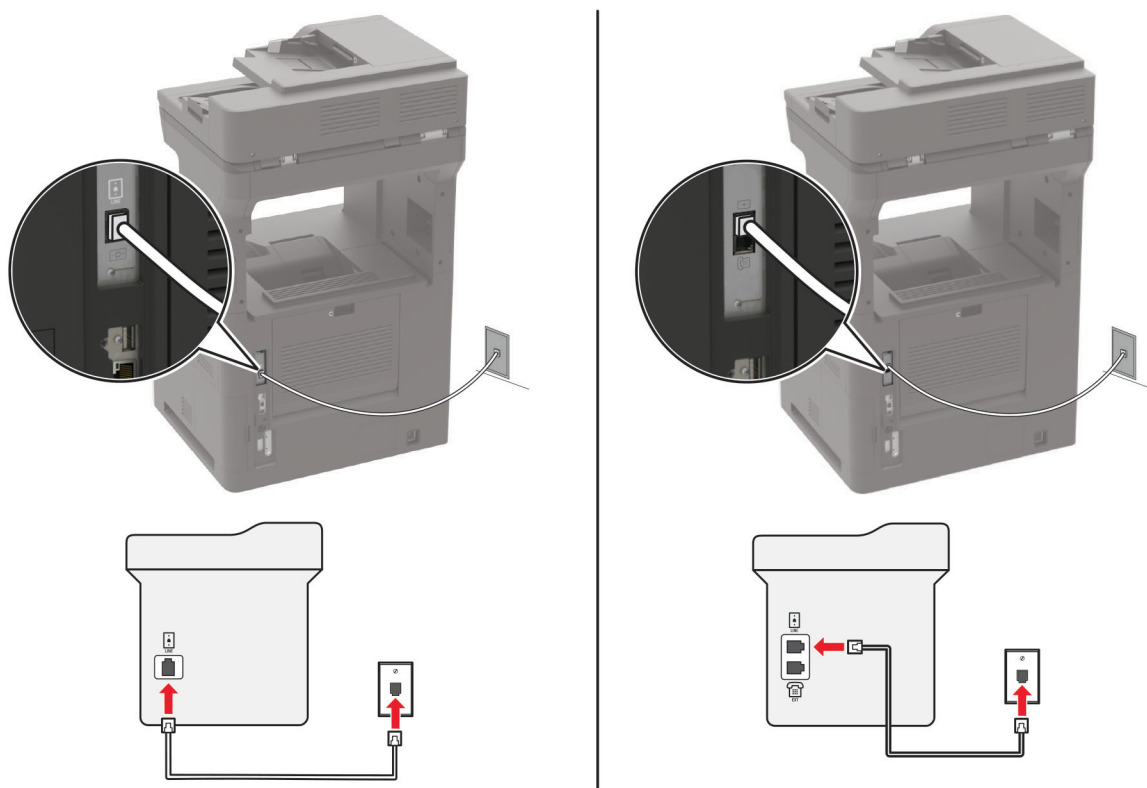
メモ: これらの手順は、アナログ FAX をサポートしているプリンタにのみ適用されます。詳細については、「[サポートされている FAX](#)」、65 ページ を参照してください。

⚠ 注意—感電危険: 感電の危険を避けるため、雷雨時には本機のセットアップや、電源コード、FAX 機能、電話などの電氣的接続またはケーブル接続を行わないでください。

⚠ 注意—感電危険: 雷雨時には、感電の危険を避けるため、FAX 機能を使用しないでください。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災発生の恐れがないように、本製品を公共電話回線ネットワークに接続する場合は、26 AWG 以上の太さの電気通信ケーブル (RJ-11) のみを使用してください。オーストラリアのユーザーは、オーストラリア通信メディア庁 (Australian Communications and Media Authority) が承認するケーブルを必ず使用してください。

セットアップ 1: プリンタが専用 FAX 回線に接続されている場合



- 1 電話ケーブルの一方の端をプリンタの LINE ポートに接続します。
- 2 ケーブルのもう一方の端を、現在ご使用のアナログ電話のコンセントに接続します。

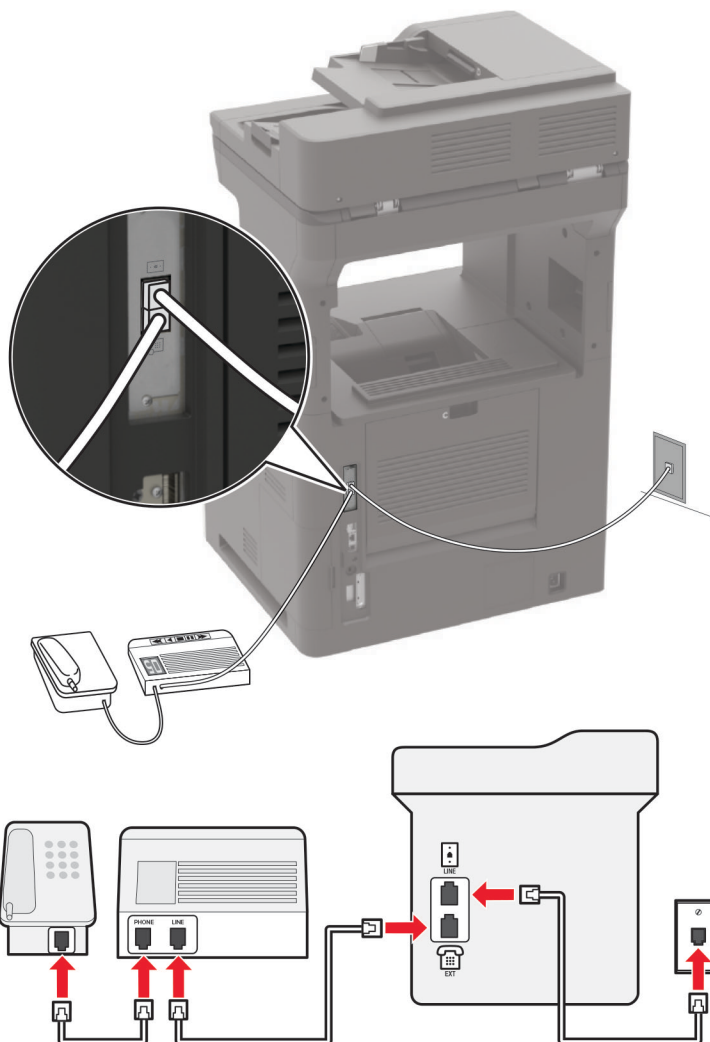
メモ:

- FAX を自動 ([自動応答] を [オン] に設定) または手動 ([自動応答] を [オフ] に設定) で受信するようにプリンタを設定できます。
- FAX を自動的に受信する場合は、応答するまでの呼び出し回数を設定してください。

セットアップ 2: プリンタが留守番電話機と回線を共有している場合

メモ: 着信識別サービスに加入している場合は、プリンタに正しい着信音を設定していることを確認します。間違った着信音を設定すると、FAX を自動受信するように設定していたとしてもプリンタは FAX を受信しません。

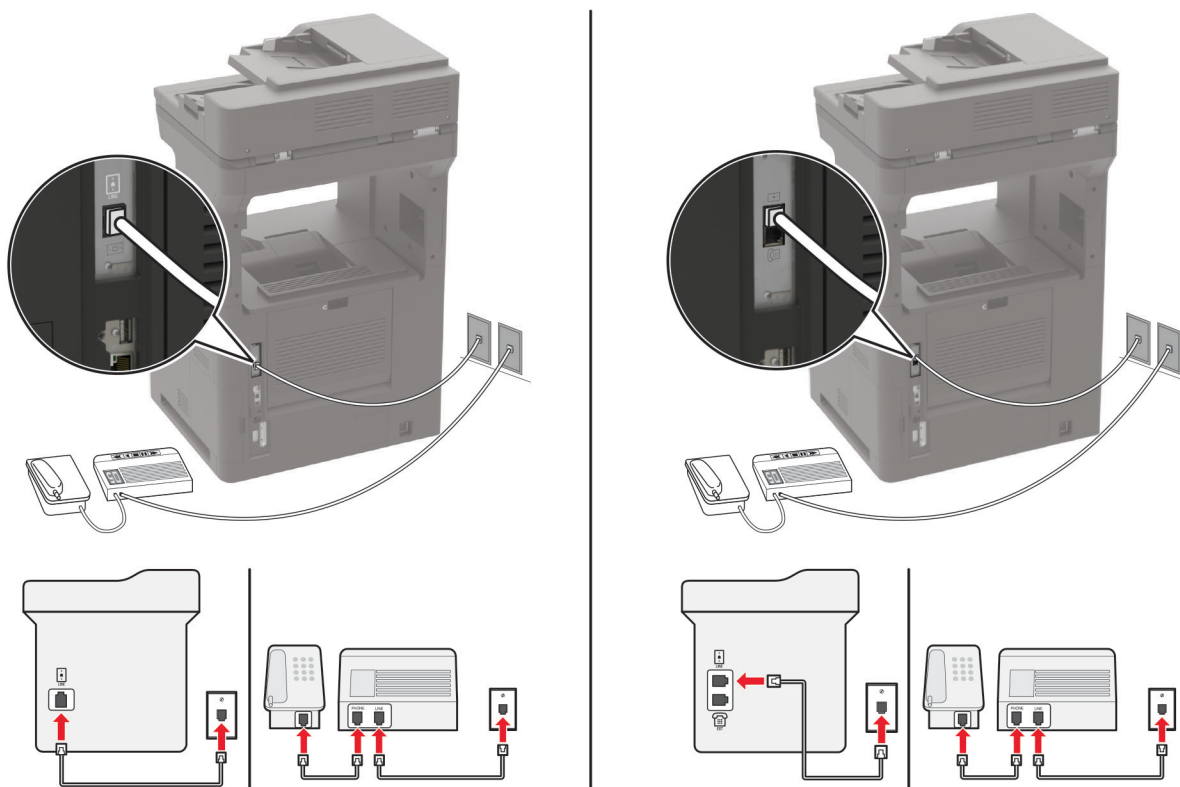
同じ電話コンセントに接続されている場合



メモ: これらの手順は、EXT ポートおよび LINE ポートを持つプリンタにのみ適用されます。

- 電話ケーブルの一方の端をプリンタの LINE ポートに接続します。
- ケーブルのもう一方の端を、アクティブなアナログ電話回線ジャックに接続します。
- 留守番電話をプリンタの電話ポートに接続します。

別々の電話回線ジャックに接続されている場合



- 1 電話ケーブルの一方の端をプリンタの LINE ポートに接続します。
- 2 ケーブルのもう一方の端を、アクティブなアナログ電話回線ジャックに接続します。

メモ:

- お使いの電話回線で 1 つの電話番号しか持っていない場合は、FAX を自動で受信するようにプリンタを設定します。
- 留守番電話が応答してから着信音が 2 回鳴った後でプリンタが応答するように、プリンタを設定します。たとえば、留守番電話が着信音 4 回で応答する場合は、プリンタの[呼び出し回数]設定を 6 回に設定します。

異なる電話のモジュラージャックとプラグを使用する国または地域で FAX を設定する

メモ: これらの手順は、アナログ FAX をサポートしているプリンタにのみ適用されます。詳細については、「[サポートされている FAX](#)」、65 ページを参照してください。

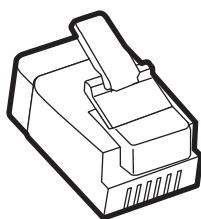
⚠ 注意—感電危険: 感電の危険を避けるため、雷雨時には本機のセットアップや、電源コード、FAX 機能、電話などの電氣的接続またはケーブル接続を行わないでください。

⚠ 注意—感電危険: 雷雨時には、感電の危険を避けるため、FAX 機能を使用しないでください。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災発生の恐れがないように、本製品を公共電話回線ネットワークに接続する場合は、26 AWG 以上の太さの電気通信ケーブル(RJ-11)のみを使用してください。オーストラリアのユーザーは、オーストラリア通信メディア庁(Australian Communications and Media Authority)が承認するケーブルを必ず使用してください。

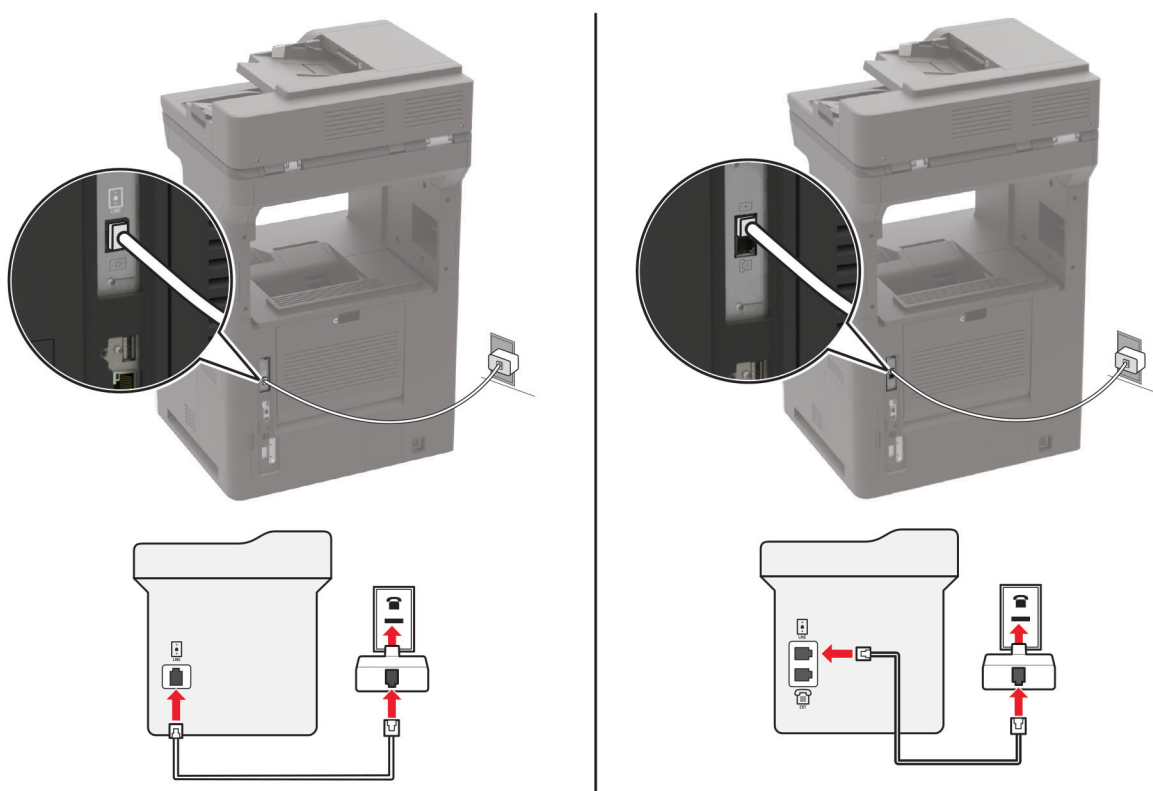
ほとんどの国または地域で標準として採用されているモジュージャックは、RJ-11 です。ファシリティ内のモジュージャックまたは機器がこのタイプの接続に互換性がない場合は、電話アダプタを使用します。お住まいの国または地域のアダプタがプリンタに含まれておらず、別途購入する必要がある場合があります。

プリンタの電話ポートにアダプタプラグが取り付けられている場合があります。シリアルまたはカスケード式電話システムに接続している場合、プリンタの電話ポートからアダプタプラグを取り外さないでください。



部品名	部品番号
Lexmark アダプタプラグ	40X8519

プリンタを RJ-11 以外のモジュージャックに接続する



- 1 電話ケーブルの一方の端をプリンタの LINE ポートに接続します。
- 2 もう一方の端を RJ-11 アダプタに接続し、アダプタをモジュージャックに接続します。
- 3 RJ-11 以外のコネクタを使用した別のデバイスを同じモジュージャックに接続する場合は、直接電話アダプタに接続します。

着信識別サービスへの接続

着信識別サービスを使用すると、1つの電話回線で複数の電話番号を持つことができます。各電話番号がそれぞれ異なる着信音パターンに割り当てられます。

メモ: これらの手順は、アナログ FAX をサポートしているプリンタにのみ適用されます。詳細については、[「サポートされている FAX」、65 ページ](#) を参照してください。

- 1 ホーム画面で、[設定] > [FAX] > [FAX 設定] > [FAX 受信設定] > [管理者用設定] > [受信の設定]の順にタッチします。
- 2 着信音パターンを選択します。

FAX の日時を設定する

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、[「プリンタを設定して FAX を送信する」、64 ページ](#) を参照してください。

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [基本設定] > [日付/時刻] > [設定]の順にタッチします。
- 2 設定を行います。

夏時間を設定する

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、[「プリンタを設定して FAX を送信する」、64 ページ](#) を参照してください。

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [基本設定] > [日付/時刻] > [設定]の順にタッチします。
- 2 [タイムゾーン]メニューで、[(UTC+時差)カスタム]を選択します。
- 3 設定を行います。

Fax を送信する

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、[「プリンタを設定して FAX を送信する」、64 ページ](#) を参照してください。

操作パネルを使用する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面から、[FAX]をタッチし、必要な情報を入力します。
必要に応じて、設定を調整します。
- 3 FAX を送信します。

コンピュータを使用する

開始する前に、FAX ドライバがインストールされていることを確認してください。詳細については、[「FAX ドライバをインストールする」、307 ページ](#) を参照してください。

Windows の場合

- 1 FAX するドキュメントで、[印刷]ダイアログを開きます。
- 2 プリンタを選択し、[プロパティ]、[基本設定]、[オプション]、または[設定]をクリックします。
- 3 [FAX] > [FAX を有効化] > [FAX 送信前に FAX 設定を常に表示]をクリックして、受信者番号を入力します。
必要に応じて、その他の FAX 設定を変更します。
- 4 FAX を送信します。

Macintosh の場合

- 1 ドキュメントが開いている状態で、[ファイル] > [印刷]の順に選択します。
- 2 名前の後に「- Fax」が追加されているプリンタを選択します。
- 3 [宛先]フィールドに送信先番号を入力します。
必要に応じて、その他の FAX 設定を変更します。
- 4 FAX を送信します。

FAX をスケジュール設定する

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、[「プリンタを設定して FAX を送信する」](#)、64 ページを参照してください。

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面から[FAX] > [宛先]をタッチ > FAX 番号を入力 > [完了]をタッチします。
- 3 [送信時刻]をタッチして日付/時刻を設定し、[OK]をタッチします。
- 4 FAX を送信します。

FAX 宛先のショートカットを作成する

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、[「プリンタを設定して FAX を送信する」](#)、64 ページを参照してください。

- 1 ホーム画面で、[FAX] > [送信先]をタッチします。
- 2 送信先の番号を入力してから、[終了]をタッチします。
- 3 ★ をタッチします。
- 4 ショートカットを作成します。

FAX の解像度変更

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、[「プリンタを設定して FAX を送信する」](#)、64 ページを参照してください。

- 1 原稿を ADFトレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面から、**[FAX]**をタッチし、必要な情報を入力します。
- 3 **[解像度]**をタッチして、設定を調整します。
- 4 FAX を送信します。

FAX の濃度を調整する

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、[「プリンタを設定して FAX を送信する」](#)、64 ページを参照してください。

- 1 原稿を ADFトレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面から、**[FAX]**をタッチし、必要な情報を入力します。
- 3 **[濃度]**をタッチして、設定を調整します。
- 4 FAX を送信します。

FAX ログを印刷する

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、[「プリンタを設定して FAX を送信する」](#)、64 ページを参照してください。

- 1 ホーム画面で、**[設定]** > **[レポート]** > **[FAX]**の順にタッチします。
- 2 **[FAX ジョブログ]**または**[FAX 通信ログ]**をクリックします。

迷惑 FAX のブロック

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、[「プリンタを設定して FAX を送信する」](#)、64 ページを参照してください。

- 1 ホーム画面で、**[設定]** > **[FAX]** > **[FAX 設定]** > **[FAX 受信設定]** > **[管理者用設定]**をタッチします。
- 2 **[無記名の FAX をブロック]**を**[オン]**に設定します。

FAX の保留

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、[「プリンタを設定して FAX を送信する」](#)、64 ページを参照してください。

- 1 ホーム画面で、**[設定]** > **[FAX]** > **[FAX 設定]** > **[FAX 受信設定]** > **[FAX 保持]**をタッチします。
- 2 モードを選択します。

Fax の転送

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、[「プリンタを設定して FAX を送信する」](#)、64 ページを参照してください。

1 宛先ショートカットを作成します。

a ホーム画面で、**[ショートカットセンター]**をタッチします。

メモ: アイコンと名前が変更されている可能性があります。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

b いずれかのプリンタ機能を選択し、**[ショートカットを作成]**をタッチします。

c 設定を行い、**[保存]**をタッチします。

d ショートカットの一意の名前を入力します。

e **[OK]**をタッチします。

メモ: ショートカット番号を書き留めます。

2 ホーム画面で、**[設定]** > **[FAX]** > **[FAX 設定]** > **[FAX 受信設定]** > **[管理者用設定]**をタッチします。


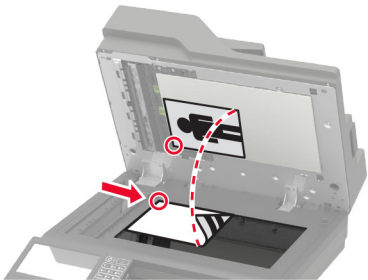
3 **[FAX 転送]**をタッチしてから、**[転送]**または**[印刷して転送]**をタッチします。

4 **[転送先]**をタッチして、宛先を選択します。

5 宛先タイプを選択し、宛先のショートカット番号を入力します。

スキャン

自動原稿フィーダーと原稿台を使用する

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿台
 <ul style="list-style-type: none"> • 複数ページの原稿や両面印刷の原稿の場合、ADF を使用します。 • スキャンする面を上にして原稿をセットします。複数ページの文書の場合は、セットする前に用紙の先端をそろえてください。 • セットする用紙の幅に合わせて ADF ガイドを調整します。 	 <ul style="list-style-type: none"> • 1 ページの文書、本のページ、小さいもの(葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの(雑誌の切り抜きなど)には原稿台を使用します。 • 原稿を下向きにして、矢印のある隅にセットします。

コンピュータへのスキャン

開始する前に、次の点を確認してください。

- プリンタのファームウェアが更新されている詳細については、[「ファームウェアを更新する」、309 ページ](#) を参照してください。
- コンピュータとプリンタが同じネットワークに接続されている

Windows の場合

Lexmark ScanBack ユーティリティを使用する

- 1 コンピュータから Lexmark ScanBack ユーティリティを実行し、[次へ]をクリックします。

メモ: ユーティリティをダウンロードするには、www.lexmark.com/downloads にアクセスします。

- 2 [設定]をクリックし、プリンタの IP アドレスを追加します。

メモ: プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

- 3 [閉じる] > [次へ]をクリックします。

- 4 原稿のサイズを選択し、[次へ]をクリックします。

- 5 ファイル形式とスキャン解像度を選択し、[次へ]をクリックします。

- 6 一意のスキャンプロファイル名を入力し、[次へ]をクリックします。

- 7 スキャンした原稿を保存する場所を参照し、ファイル名を作成して、[次へ]をクリックします。

メモ: スキャンプロファイルを再利用するには、[ショートカットを作成]を有効にして、一意のショートカット名を作成します。

- 8 [終了]をクリックします。

- 9 原稿を、自動原稿フィーダの中、または原稿台の上にセットします。
- 10 プリンタのホーム画面で、**[スキャンプロファイル]**をタッチしてから、スキャンプロファイルを選択します。

メモ: [スキャンプロファイル]が有効になっていることを確認します。ホーム画面で、**[設定] > [デバイス] > [ホーム画面アイコンの表示] > [スキャンプロファイル] > [ディスプレイ]**の順にタッチします。

[Windows FAX とスキャン]を使用する

メモ: プリンタがコンピュータに追加されていることを確認します。詳細については、[「コンピュータにプリンタを追加する」](#)、307 ページ を参照してください。

- 1 原稿を、自動原稿フィーダの中、または原稿台の上にセットします。
- 2 コンピュータで、**[Windows FAX とスキャン]**を開きます。
- 3 [ソース]メニューからスキャナソースを選択します。
- 4 必要に応じて、スキャン設定を変更します。
- 5 原稿をスキャンします。

Macintosh の場合

メモ: プリンタがコンピュータに追加されていることを確認します。詳細については、[「コンピュータにプリンタを追加する」](#)、307 ページ を参照してください。

- 1 原稿を、自動原稿フィーダの中、または原稿台の上にセットします。
- 2 コンピュータから以下のいずれかの手順を実行します。
 - **イメージキャプチャ**を開きます。
 - **[プリンタとスキャナ]**を開き、プリンタを選択します。**[スキャン] > [スキャナを開く]**をクリックします。
- 3 [スキャナ]ウィンドウで、次の手順の内 1 つ以上を実施します。
 - スキャンした原稿の保存先を選択します。
 - 原稿のサイズを選択します。
 - ADF からスキャンするには、[スキャン]メニューから**[原稿フィーダ]**を選択するか、**[原稿フィーダの使用]**を有効化します。
 - 必要に応じて、スキャン設定を構成します。
- 4 **[スキャン]**をクリックします。

FTP サーバーへのスキャンデータの送信

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面から、**[FTP]**をタッチし、必要な情報を入力します。
- 3 必要に応じて、その他の FTP 設定を変更します。
- 4 FTP ジョブを送信します。

スキャンしてネットワークフォルダに送信する

1 ドキュメントを ADF トレイの中、または原稿台の上にセットします。

2 ホーム画面で、[スキャンセンター]をタッチします。

メモ: アイコンと名前が変更されている可能性があります。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

3 次のいずれかを実行します。

- 宛先を選択します。

メモ: SFTP の場合は、ポート番号を 22 に設定します。

- ショートカットを使用するには、★ をタッチして、リストからショートカットを選択します。

4 原稿をスキャンします。

FTP ショートカットを作成する

1 ホーム画面で[FTP]をタッチします。

2 FTP サーバーアドレスを入力して、★ をタッチします。

3 ショートカットを作成します。

フラッシュドライブにスキャンする

1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。

2 フラッシュメモリをセットします。



3 [USB にスキャン]をタッチし、必要に応じて設定を調整します。

メモ:

- スキャンした文書をフォルダに保存するには、[スキャン先]をタッチしてフォルダを選択し、[ここにスキャン]をタッチします。
- [USBドライブ]画面が表示されない場合は、操作パネルで[USBドライブ]をタッチします。

4 原稿をスキャンします。

警告—破損の恐れあり: データの損失やプリンタの誤動作を防ぐため、メモリデバイスからの印刷やデータ読み書きの最中は、フラッシュメモリや、プリンタの図で示した範囲に手を触れないでください。



クラウドコネクタプロフィールにスキャンする

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面で、[クラウドコネクタ]をタッチします。
- 3 クラウドサービスプロバイダを選択し、プロフィールを選択します。
メモ: クラウドコネクタプロフィールの作成の詳細については、[「クラウドコネクタプロフィールを作成する」](#)、22 ページを参照してください。
- 4 [スキャン]をタッチして、ファイル名と宛先フォルダを割り当てます。
- 5 [ここにスキャン]をタッチします。
必要に応じて、スキャン設定を変更します。
- 6 原稿をスキャンします。

プリンタメニューを理解する

メニューマップ

デバイス	<ul style="list-style-type: none"> • 基本設定 • エコモード • 遠隔操作パネル • 通知 • 電源管理 • 匿名データの収集 	<ul style="list-style-type: none"> • アクセシビリティ • 工場出荷状態に復元 • メンテナンス • ホーム画面アイコンの表示 • このプリンタについて
印刷する	<ul style="list-style-type: none"> • レイアウト • 仕上げ • セットアップ • 印刷品質 • ジョブアカウント • XPS 	<ul style="list-style-type: none"> • PDF • PostScript • PCL • HTML • 画像
用紙	<ul style="list-style-type: none"> • トレイ構成設定 • 用紙構成 	<ul style="list-style-type: none"> • 排紙トレイ構成設定
コピー	コピー初期設定	
Fax	FAX 初期設定	
E メール	<ul style="list-style-type: none"> • E メール設定 • E メール初期値設定 	<ul style="list-style-type: none"> • Web リンク設定
FTP	FTP 初期値設定	
USB ドライブ	<ul style="list-style-type: none"> • フラッシュドライブスキャン 	<ul style="list-style-type: none"> • フラッシュドライブ印刷
ネットワーク/ポート	<ul style="list-style-type: none"> • ネットワークの概要 • ワイヤレス • wifi ダイレクト • イーサネット • TCP/IP • SNMP • IPSec 	<ul style="list-style-type: none"> • 802.1x • LPD 設定 • HTTP/FTP の設定 • ThinPrint • USB • 外部ネットワークアクセスの制限
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> • ログイン方式 • USB デバイスのスケジュール • セキュリティ監査ログ • ログイン制限 • コンフィデンシャル印刷設定 	<ul style="list-style-type: none"> • ディスク暗号化 • 一時データファイルの消去 • ソリューション LDAP 設定 • その他
レポート	<ul style="list-style-type: none"> • メニュー設定ページ • デバイス • 印刷する 	<ul style="list-style-type: none"> • ショートカット • Fax • ネットワーク

ヘルプ	<ul style="list-style-type: none"> すべてのガイドを印刷 モノクロ品質ガイド 接続ガイド コピーガイド E メールガイド FAX ガイド 	<ul style="list-style-type: none"> FTP ガイド 情報ガイド 用紙ガイド 移動ガイド 印刷品質ガイド 消耗品ガイド
問題に対処する	印刷品質テストページ	スキャナを清掃する

デバイス

基本設定

メニュー項目	説明
表示言語	ディスプレイに表示されるテキストの言語を設定します。
国／地域	プリンタが動作するように、設定する国または地域を特定します。
初期設定を実行 オフ＊ オン	セットアップウィザードを実行します。
キーボード キーボードタイプ	キーボードタイプとして言語を選択します。 メモ: [キーボードタイプ]の値がすべて表示されなかったり、表示するには特殊なハードウェアを取り付けたりする必要がある場合もあります。
ホーム画面に表示する情報 表示テキスト 1 (IP アドレス＊) 表示テキスト 2 (日付/時間＊) カスタムテキスト 1 カスタムテキスト 2	ホーム画面に表示する情報を指定します。
日付/時刻 設定 現在の日時 日時を手動設定 日付形式 (MM-DD-YYYY＊) 時刻形式 (12 時間表示 AM/PM＊) タイムゾーン (UTC-5: 00＊) ネットワークタイムプロトコル NTP を有効化 (オン＊) NTP サーバー 認証を有効化	プリンタの日付/時刻およびネットワークタイムプロトコルを設定します。
用紙サイズ インチ＊ メートル法	用紙サイズの測定方法を指定します。 メモ: 用紙サイズの初期設定は、初期設定ウィザードで選択した国や地域によって決まります。
画面明るさ 20 ～ 100% (100＊)	ディスプレイの明るさを調整します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク (＊) は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
フラッシュドライブアクセス 有効 * 無効	フラッシュメモリへのアクセスを有効にします。
背景削除を許可 オフ オン *	下地調整を可能にするかどうかを指定します。
ユーザー定義ジョブスキャンを許可 オフ オン *	コピー、スキャン、FAX で[カスタムジョブスキャン]設定を表示するかどうかを指定します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
原稿台連続スキャンの抑制 オフ * オン	あらゆる種類のジョブで原稿台では単一のページをスキャンするようにプリンタを設定します。 メモ: フラットベッドのシングルスキャンを実行した後に、プリンタは指示の表示に代わってホーム画面に戻ります。
排紙部の照明 オフ オン *	内蔵の排紙部の照明またはオプションの排紙トレイのインジケータライトを有効にします。
タッチスクリーンのタッチ音の設定 ボタンのフィードバック(オン *) ボリューム(5 *)	<ul style="list-style-type: none"> ボタンの押下、パネルの操作、用紙セットの要請、エラーの通知の際に、音で注意を促します。 フィードバックのボリュームを調整します。
画面タイムアウト 5 ~ 300 秒(60 *)	ディスプレイにホーム画面が表示されるまでのアイドルタイム、またはユーザーアカウントが自動的にログアウトされるまでのアイドルタイムを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

エコモード

メニュー項目	説明
印刷 両面片面選択 片面 * 両面	用紙の片面に印刷するか両面に印刷するかを指定します。
印刷 割り付けるページ数 オフ * 2 アップ 3 アップ 4 アップ 6 アップ 9 アップ 12 アップ 16 アップ	複数のページ画像を 1 枚の用紙の片面に印刷します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
印刷 トナーの濃さ 1-10(8*)	文字画像の明るさや濃度を指定します。
コピー 両面片面選択 片面->片面* 片面を両面に 両面を片面に 両面を両面に	原稿に応じてスキャン動作を指定します。
コピー 割り付けるページ数 オフ* 縦 2 アップ 縦 4 アップ 横 2 アップ 横 4 アップ	原稿に応じてスキャン動作を指定します。
コピー 濃さ 1 ~ 9(5*)	スキャンした文字画像の濃度を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

遠隔操作パネル

メニュー項目	説明
外部 VNC 接続 許可しない* 許可する	外部の Virtual Network Computing(VNC)クライアントをリモート操作パネルに接続します。
認証タイプ なし* 標準認証	VNC クライアントサーバーにアクセスする際の認証タイプを設定します。
VNC パスワード	VNC クライアントサーバーに接続するためのパスワードを指定します。 メモ: このメニュー項目は、[認証タイプ]が[標準認証]に設定されている場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

通知

メニュー項目	説明
エラーランプ オフ オン*	プリンタエラーの発生時にインジケータランプが点灯するように設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ADF セットピープ オフ オン*	ADF に用紙をセットしたときに音が鳴るようにします。
警報制御 オフ 1 回* 連続	プリンタでユーザーの操作が必要なときに、アラームを鳴らす回数を設定します。
消耗品 消耗品の推定を表示 (Show Supply Estimates) 寿命を表示* 推定を表示しない (Do not show estimates)	消耗品の寿命を表示します。
消耗品 消耗品残量低下時のアラーム (オフ*) ホチキス警報 (オフ*) ホールパンチ警報 (オフ*)	トナーカートリッジの残量が少ないとき、ホチキスカートリッジが空になったとき、ホールパンチのレセプタクルが満杯が取り付けられていないときに、アラームを鳴らす回数を設定します。 メモ: [ホチキス警報]および[ホールパンチ警報]は、出力オプションがインストールされている場合にのみ表示されます。
E メールアラートを設定 E メール設定 一次 SMTP ゲートウェイ プライマリ SMTP ゲートウェイポート (25*) 二次 SMTP ゲートウェイ セカンダリ SMTP ゲートウェイポート (25*) SMTP タイムアウト (30 秒*) 返信アドレス SMTP の初期設定返信アドレスを常に使用する (オフ*) SSL/TLS を使用 (無効*) 信頼済み証明書を使用 (オン*) SMTP サーバ認証 (認証なし*) デバイスから送信される E メール (なし*) ユーザーから送信される E メール (なし*) Active Directory デバイス 資格証明書を使用 (オフ*) デバイスのユーザー ID デバイスのパスワード Kerberos 5 レルム NTLM ドメイン [SMTP サーバが設定されていません]を無効にする (オフ*)	プリンタの E メールを設定します。
E メールアラートを設定 E メールリストとアラートを設定 E メールリスト 1 E メールリスト 2 E メールイベント	E メールアドレスを指定し、E メールアラートイベントを有効にします。 メモ: このメニュー項目は、Embedded Web Server でのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
エラー防止 ADF 重送センサー オフ オン *	ADF で 1 度に複数枚の用紙が給紙されるときに検出します。
エラー防止 紙づまりアシスト オフ オン *	詰まった用紙を取り除いた後に、空白ページまたは部分的に印刷されたページを自動的に排出するようプリンタを設定します。
エラー防止 自動続行 オフ オン * (5 秒)	ユーザーの操作を必要とするような特定のプリンタの状態が解消されたら、プリンタがジョブの処理や印刷を自動的に続行するようにします。
エラー防止 自動再起動 自動再起動 アイドル時に再起動 常に再起動 * 再起動しない	エラー発生時にプリンタを再起動するように設定します。
エラー防止 自動再起動 最大自動再起動 1 ~ 20 (2 *)	プリンタが実行可能な自動再起動回数を指定します。
エラー防止 自動再起動 自動再起動までの時間 1 ~ 525600 秒 (720 *)	プリンタが自動的に再起動するまでの時間を設定します。
エラー防止 自動再起動 自動再起動カウンタ	再起動カウンタの読み取り専用情報を表示します。
エラー防止 自動再起動 自動再起動カウンタをリセット キャンセル 続行	自動再起動カウンタをリセットします。
エラー防止 「用紙が短すぎます」エラーを表示 オン 自動クリア *	「用紙が短すぎます」エラーが発生した場合に、プリンタにメッセージを表示するかどうかを設定します。 メモ: セットされている用紙のサイズが短いことを示します。
エラー防止 ページ保護 オフ * オン	印刷の前に、ページ全体をメモリで処理するように設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
紙詰まりしたページの再印刷 紙づまり回復 オフ オン 自動 *	紙詰まりが発生したページを再印刷するかどうかを設定します。
紙詰まりしたページの再印刷 ADF 紙詰まり時の再開位置 ジョブレベル ページレベル *	紙詰まりの解決後にスキャンジョブを再開する方法を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

電源管理

メニュー項目	説明
スリープモードプロファイル スリープモードから印刷 印刷後も起動状態を維持する 印刷後にスリープモードにする *	印刷後にプリンタを待機中モードのままにするか、スリープモードに戻すかを設定します。
タイムアウト時間 スリープモード 1 ~ 120 分 (15 *)	プリンタがスリープモードになるまでのアイドル時間を設定します。
タイムアウト時間 休止モード 無効 1 時間 2 時間 3 時間 6 時間 1 日 2 日 3 日 * 1 週間 2 週間 1 か月	プリンタの電源が切れるまでの時間を設定します。
タイムアウト時間 ネットワーク接続時の休止モード 休止モードにする 休止モードにしない *	有効なイーサネット接続が存在する間にプリンタの電源を切るために休止モードを設定します。
電力モードの定期実行 スケジュール 新しいスケジュールを追加	プリンタのスリープモードまたは休止モードをスケジュールします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

匿名データの収集

メニュー項目	説明
<div>匿名データの収集</div> <div>デバイス使用量およびパフォーマンスに関する情報 なし*</div>	<div>プリンタ使用方法およびパフォーマンスに関する情報を Lexmark へ送信します。</div> <div>メモ: [匿名データ送信時間]は、[匿名データの収集]を[デバイス使用量およびパフォーマンス]に設定した場合にのみ表示されます。</div>
<div>匿名データ送信時間</div> <div>開始時間 停止時刻</div>	
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

アクセシビリティ

メニュー項目	説明
重複したキー操作の間隔 0 ~ 5(0*)	接続したキーボードで連続で押されたキーをプリンタに無視させる間隔を秒単位で設定します。
キーリピートまでの待ち時間 0.25 ~ 5(1*)	反復キーが繰り返しを開始するまでの遅延の初期時間を秒単位で設定します。 メモ: このメニュー項目は、キーボードがプリンタに接続されている場合にのみ表示されます。
キーリピートの間隔 0.5 ~ 30(30*)	反復キーを 1 秒間に押す回数を設定します。 メモ: このメニュー項目は、キーボードがプリンタに接続されている場合にのみ表示されます。
画面タイムアウトを延長 オフ* オン	期限切れになった場合にホーム画面に戻らず、ユーザーが同じ場所に留まって[画面タイムアウト]がリセットされます。
ヘッドホンの音量 1 ~ 10(5*)	ヘッドホンの音量を調整します。 メモ: このメニュー項目は、ヘッドホンがプリンタに接続されている場合にのみ表示されます。
ヘッドホン接続時に音声ガイダンスを有効化 オフ* オン	ヘッドホンがプリンタに接続されている場合に、音声ガイダンスを有効にします。
パスワード/PIN を発声 オフ* オン	発声されたパスワードまたは個人 ID 番号を認識するようにプリンタを設定します。 メモ: このメニュー項目は、ヘッドホンまたはスピーカーがプリンタに接続されている場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
スピーチ速度 とても遅い 遅い 標準 * 速い より速い 非常に速い 高速 非常に高速 最速	音声ガイダンスのスピーチ速度を設定します。 メモ: このメニュー項目は、ヘッドホンまたはスピーカーがプリンタに接続されている場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

工場出荷状態に復元

メニュー項目	説明
設定を復元 すべての設定を復元 プリンタ設定を復元 ネットワーク設定を復元 FAX 設定を復元 アプリ設定を復元	プリンタの初期状態のデフォルト設定を復元します。

メンテナンス

設定メニュー

メニュー項目	説明
USB 設定 USB PnP 1 * 2	プリンタの USB ドライバモードを変更して、PC との互換性を向上させます。
USB 設定 ローカルに USB スキャン オフ オン *	USB デバイスドライバを USB シンプルデバイス(単一インターフェイス)として表示するのか、USB 複合デバイス(複数インターフェイス)として表示するのかを設定します。
USB 設定 USB 速度 フル 自動 *	USB ポートがフルスピードで動作するように設定し、USB ポートの高速機能を無効化します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
トレイ構成設定 サイズ検知 トレイ [x] 検知 オフ オン *	トレイにセットされている用紙サイズを自動的に感知するように設定します。
トレイ構成設定 トレイのリンク 自動 * オフ	同じ用紙タイプと用紙サイズが設定されているトレイをリンクするように、プリンタを設定します。
トレイ構成設定 トレイ挿入時のメッセージ表示 オフ 不明サイズのみ * 常に印刷	トレイを挿入した後で、用紙サイズとタイプを選択するメッセージを表示します。
トレイ構成設定 A5 読み込み方向 短辺 長辺 *	すべての給紙トレイで A5 サイズの用紙のセット方向の初期値を決定します。
トレイ構成設定 用紙の給紙トレイ 自動 * 多目的フィーダ 手差し用紙	用紙をセットするよう要求されたときに、ユーザーがセットする給紙トレイを設定します。
トレイ構成設定 封筒の給紙トレイ 自動 * 多目的フィーダ 手動封筒	封筒をセットするよう要求されたときに、ユーザーがセットする給紙トレイを設定します。
トレイ構成設定 用紙変更時のアクション ユーザーに確認 * 続行 セットされている用紙を使用	用紙または封筒関連の変更を求めるプロンプトを解決するようにプリンタを設定します。
レポート メニュー設定ページ イベントログ イベントログサマリ ヘルスチェック統計	プリンタメニュー設定、状態、イベントログに関するレポートを印刷します。
消耗品使用量とカウンタ 消耗品使用履歴をクリア	消耗品ページカウンタをリセット、または印刷済みページ合計を表示します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
プリンタエミュレーション PPDS エミュレーション オフ * オン	PPDS データストリームを認識して使用するようプリンタを設定します。
プリンタエミュレーション PS オフ オン *	PS データストリームを認識して使用するようプリンタを設定します。
プリンタエミュレーション エミュレータセキュリティ ページタイムアウト 0 ~ 60(60 *)	エミュレーション中のページタイムアウトを設定します。
プリンタエミュレーション エミュレータセキュリティ ジョブ後にエミュレータをリセット オフ * オン	印刷ジョブ後にエミュレータをリセットします。
プリンタエミュレーション エミュレータセキュリティ プリンタメッセージアクセスの無効化 オフ オン *	エミュレーション中のプリンタメッセージへのアクセスを無効化します。
FAX 設定 FAX 節電サポート スリープしない スリープする 自動 *	プリンタが独自に判断してスリープモードになるよう FAX を設定します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
FAX 設定 FAX 保存場所 NAND ハード ディスク *	すべての FAX の保存場所を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。 このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
印刷の構成 フォントのシャープ度 0 ~ 150(24 *)	フォントデータの印刷時に高周波数スクリーンを使用する場合の、文字ポイントサイズの最高値を設定します。 たとえば、値が 24 の場合、サイズが 24 ポイント以下のすべてのフォントで高周波数スクリーンが使用されます。
印刷の構成 印刷濃度 1 ~ 5(3 *) コピー濃度 1 ~ 5(3 *)	ドキュメントを印刷またはコピーする際のトナー濃度を調整します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
印刷の構成 A4 フューザー 圧縮 * クリップ	レターサイズ用の紙に印刷するときのフューザーの動作を設定します。
デバイスの操作 静音モード オフ * オン	プリンタを静音モードで動作するように設定します。 メモ: この設定を有効にすると、プリンタ全体のパフォーマンスが低下します。
デバイスの操作 セーフモード オフ * オン	既知の問題が発生しても、プリンタを特別なモードで動作させ、できるだけ多くの機能の提供を続行するかどうかを設定します。 たとえば、[オン]に設定した場合、両面モーターが機能していないときには、両面印刷ジョブであっても、文書は片面に印刷されます。
デバイスの操作 最小コピーメモリ 20 MB * 30 MB 50 MB 80 MB 100 MB	コピージョブを保存するために、最小限のメモリ割り当てを設定します。
デバイスの操作 カスタムメッセージをクリア	デフォルトのカスタムメッセージ、または代替のカスタムメッセージにユーザーが定義した文字列が消去されます。
デバイスの操作 クラウドからのメッセージをすべて消去	リモートからインストールされたメッセージが消去されます。
デバイスの操作 エラー画面の自動表示 オフ オン *	[画面タイムアウト]設定で指定した時間、ホーム画面のままプリンタを使用しない状態が続くと、ディスプレイに既存のエラーメッセージが表示されます。
デバイスの操作 高速コピー時に向きの設定を使用 オフ * オン	クイックコピージョブを送信する場合に、プリンタで[コピー]メニューの[用紙の向き]設定を使用できるようにします。
アプリ設定 LES アプリケーション オフ オン *	Lexmark 組み込みソリューション (LES) アプリケーションを有効にします。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> [オン]に設定すると、この設定は内蔵アプリケーションには影響しません。 このメニュー項目は、Embedded Web Server でのみ表示されます。
スキャナ設定 スキャナ手動登録 印刷簡易テスト	簡易テストのターゲットページを印刷します。 メモ: ターゲットページで余白の幅が全周で均等になっていることを確認します。均等になっていない場合は、プリンタの余白をリセットする必要があります。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
スキャナ設定 スキャナ手動登録 正面 ADF 登録 背面 ADF 登録 フラットベッド登録	ADF、原稿台、またはコントローラボードを交換したら、フラットベッドと ADF を手動で登録します。
スキャナ設定 メンテナンスカウンタをリセット ADF メンテナンスカウンタをリセット	ADF メンテナンスキットの交換後、カウンタをリセットします。
スキャナ設定 フチ縮小 フラットベッドフチ消去(3*) ADF フチ消去(3*)	ADF またはフラットベッドスキャンジョブの周囲にある非印刷領域のサイズをミリ単位で設定します。
スキャナ設定 ADF 傾き補正 ADF 電子デスキュー(オン*)	ADF からスキャンされたドキュメントの傾きを抑制します。
スキャナ設定 スキャナを無効化 有効* 無効 ADF 無効	スキャナが正常に動作しない場合に、スキャナを無効にします。
スキャナ設定 TIFF バイトオーダー CPU エンディアン* リトルエンディアン ビッグエンディアン	TIFF 形式のスキャン出力のバイトオーダーを設定します。
スキャナ設定 正確な Tiff RowsPerStrip オン* オフ	TIFF 形式のスキャン出力の RowsPerStrip タグ値を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

未使用時の消去

メニュー項目	説明
未使用時の消去 前回のプリンタメモリ消去 前回消去したハードディスク	プリンタのメモリまたはハードディスクの前回の消去がいつだったかを示します。 メモ: [前回消去したハードディスク]は、ハードディスクが取り付けられている場合にのみ表示されます。

メニュー項目	説明
未使用時の消去 不揮発性メモリにあるすべての情報を消去 すべてのプリンタおよびネットワーク設定を消去 すべてのアプリとアプリ設定を消去 すべてのショートカットとショートカット設定を消去 ハードディスクのすべての情報を消去 ダウンロードを消去(すべてのマクロ、フォント、PPO などを消去) バッファリングされたジョブを消去 保留中のジョブを消去	不揮発性メモリのすべての情報およびハードディスクの情報を消去します。 メモ: [ハードディスクのすべての情報を消去]は、ハードディスクが取り付けられている場合にのみ表示されます。

ホーム画面アイコンの表示

メニュー	説明
ホーム画面アイコンの表示 コピー E メール Fax 状況/消耗品 ジョブ表示 言語を変更 ショートカットセンター アドレス帳 ブックマーク 保持されたジョブ USB FTP スキャンプロファイル アプリのプロファイル ディスプレイのカスタマイズ スキャンセンター ID カードコピー	ホーム画面に表示するアイコンを指定します。

このプリンタについて

メニュー項目	説明
アセットタグ	プリンタのシリアル番号を示します。
プリンタの設置場所	プリンタの設置場所を特定します。最大文字数は 63 文字です。
テクニカルサポートに	プリンタ名をカスタマイズします。最大文字数は 63 文字です。
設定ファイルを USB にエクスポート	設定ファイルをフラッシュメモリにエクスポートします。
圧縮ログを USB にエクスポート	圧縮ログファイルをフラッシュメモリにエクスポートします。
ログの送信 キャンセル 送信	診断情報を Lexmark に送信します。

印刷

レイアウト

メニュー項目	説明
両面片面選択 片面 * 両面	用紙の片面に印刷するか両面に印刷するかを指定します。
反転スタイル 長辺 * 短辺	両面印刷を実行する場合は、用紙のどちらの辺を綴じるかを決定します。
白紙ページ 印刷する 印刷しない *	印刷ジョブに含まれる白紙ページを印刷します。
丁合印刷 オフ(1,1,1,2,2,2) オン(1,2,1,2,1,2)	特にジョブを複数部印刷する場合は、印刷ジョブのページをページ順に積み重ねます。
セパレータ紙 なし * 各部の間 各ジョブの間 各ページの間	印刷時に空白の挿入紙を挿入します。
区切り紙給紙源 トレイ [x](1 *) 多目的フィーダー	区切り紙の給紙源を指定します。
ページ集約 オフ * 2 アップ 3 アップ 4 アップ 6 アップ 9 アップ 12 アップ 16 アップ	複数のページ画像を 1 枚の用紙の片面に印刷します。
集約順 横方向 * 横方向(右から) 縦方向(左から) 縦方向(右から)	[ページ集約]メニューを使用するときに、複数ページの画像の位置を指定します。
原稿セット方向 自動 * 横長 縦長	[ページ集約]メニューを使用するときに、複数ページの画像の向きを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ページ枠 なし * ソリッド(塗りつぶし)	[ページ集約]メニューを使用するときに、各ページの画像に枠線を印刷します。
部数 1 ~ 9999(1 *)	各印刷ジョブのコピー部数を指定します。
印刷領域 標準 * ページに合わせる 用紙全体	1 枚の用紙の印刷領域を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

仕上げ

メニュー項目	説明
ステープルジョブ オフ * 1 ホチキス、左上隅 2 ホチキス、左 1 ホチキス、右上隅 2 ホチキス、上 1 ホチキス、左下隅 2 ホチキス、下 1 ホチキス、右下隅 2 ホチキス、右	すべての印刷ジョブのホチキスの位置を指定します。 メモ: このメニュー項目は、フィニッシャが取り付けられている場合にのみ表示されます。
ホチキスのテスト 開始	ホチキスフィニッシャが正常に機能しているかどうかを確認します。 メモ: このメニュー項目は、フィニッシャが取り付けられている場合にのみ表示されます。
ホールパンチ オフ * オン	出力紙の端にホールパンチを行います。 メモ: このメニュー項目は、マルチポジションステープル、ホールパンチフィニッシャが取り付けられている場合にのみ表示されます。
ホールパンチモード 2 穴 3 穴 4 穴	出力紙のホールパンチモードを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 米国向けは 3 穴 です。の出荷時初期設定です。米国以外の出荷時の初期設定は 4 穴です。 このメニュー項目は、マルチポジションステープル、ホールパンチフィニッシャが取り付けられている場合にのみ表示されます。
オフセットページ なし * 各部の間 各ジョブの間	各印刷ジョブまたは印刷ジョブの各コピーの出力をオフセットします。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> [各コピー部数の間]では、[部単位]が[オン「1,2,1,2,1,2」]に設定されている場合、印刷ジョブが部単位で排紙されます。[部単位]が[オフ「1,1,1,2,2,2」]に設定されている場合、1 ページ目の束、2 ページ目の束のように、印刷したページの束ごとにずらして排紙されます。 印刷する部数に関係なく、[各ジョブの間]は、印刷ジョブ全体で、同じオフセット位置です。 このメニュー項目は、マルチポジションステープル、ホールパンチフィニッシャが取り付けられている場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

セットアップ

メニュー項目	説明
プリンタ言語 PCL エミュレーション * PS	プリンタ言語を設定します。 メモ: プリンタで設定した標準言語にかかわらず、ソフトウェアから他の言語の印刷データを送信できます。
待機中のジョブ オフ * オン	消耗品を必要とする印刷ジョブを保持し、不足している消耗品を必要としないジョブが印刷できるようにします。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
ジョブ保留タイムアウト 0 ~ 255 (30 *)	使用できないリソースを必要とするジョブを保持し、印刷キュー内の他のジョブの印刷を続行する前に、プリンタがユーザーの操作を待つ時間を秒単位で設定します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
ダウンロード先 RAM * ディスク	プリンタにダウンロードされたフォントやマクロなど、すべての常駐リソースを保存する場所を指定します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
リソース保存 オフ * オン	利用可能なメモリよりも多くの領域を必要とするジョブを受信した場合に、フォントやマクロなどのダウンロードされたリソースをプリンタでどのように処理するかを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [オフ]に設定すると、メモリが必要になるまで、ダウンロードされたリソースは保持されます。使用していないプリンタ言語に関連するリソースは削除されます。 • [オン]に設定すると、プリンタはすべての言語スイッチでダウンロード済みの常駐リソースをすべて保持します。必要に応じて、プリンタは常駐リソースを削除するのではなく、メモリ不足のメッセージを表示します。
[全て印刷]の順序 アルファベット順 * 新しい順 古い順	[すべて印刷]が選択されたとき、保持およびコンフィデンシャルジョブをどの順序で印刷するかを指定します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。

印刷品質

メニュー項目	説明
印刷解像度 300 dpi 600 dpi * 1200 dpi 1200 イメージ品質 2400 Image Q	印刷出力におけるテキストと画像の解像度を設定します。 メモ: 解像度は、ドット/インチ(dpi)または画質で指定します。
ピクセルブースト オフ * フォント 水平 垂直 双方向	特定領域のピクセル数を増やして鮮明度を高めることで、テキストと画像を見やすくすることができます。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。

メニュー項目	説明
トナーの濃さ 1 ～ 10(8*)	文字画像の明るさや濃度を指定します。
ハーフトーン 標準* 詳細	印刷出力を向上して鋭いエッジの滑らかな線にします。
明るさ -6 ～ 6(0*)	印刷出力の明るさを調整します。
コントラスト 0 ～ 5(0*)	印刷出力のコントラストを調整します。
灰色補正 自動* 普通	イメージに適用されるコントラスト補正を調整します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

ジョブアカウント

メニュー項目	説明
ジョブアカウント オフ* オン	プリンタで受信した印刷ジョブのログを作成するかどうかを設定します。 メモ: このメニュー項目は、フラッシュメモリまたはハードディスクが取り付けられているときにのみ表示されます。
ジョブアカウントのログ回数 毎日 毎週 毎月*	プリンタでログファイルを作成する頻度を指定します。
最後に行うログ操作 なし* 現在のログを E メールで送信 現在のログを E メールで送信して削除 現在のログをポスト 現在のログをポストして削除	頻度のしきい値を経過したときに、プリンタが行う処理を指定します。 メモ: このメニュー項目の動作をいつ実行させるかは、[ジョブアカウント情報のログ周期]で指定します。
ニアフルの状態をログ オフ オン(5)*	プリンタがニアフル時のログ操作を実行する前に、ログファイルの最大サイズを指定します。 メモ: このメニュー項目は、フラッシュメモリまたはハードディスクが取り付けられているときにのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ニアフル時のログ操作 なし * 現在のログを E メールで送信 現在のログを E メールで送信して削除 最も古いログを E メール送信して削除 現在のログをポスト 現在のログをポストして削除 最も古いログを送信して削除 現在のログを削除 最も古いログを削除 現在のログ以外すべて削除 すべてのログを削除	ハードディスクがほぼ満杯になったときのプリンタの動作を指定します。 メモ: このメニュー項目の動作をいつ実行させるかは、[ニアフルの状態をログ]にて指定します。
フル時のログ操作 なし * 現在のログを E メールで送信して削除 最も古いログを E メール送信して削除 現在のログをポストして削除 最も古いログを送信して削除 現在のログを削除 最も古いログを削除 現在のログ以外すべて削除 すべてのログを削除	ハードディスクの使用領域が上限 (100 MB) に達したときに、プリンタが行う処理を指定します。
ログ記録用 URL	プリンタによるジョブアカウント情報のログの記録先を指定します。
ログを送信するための E メールアドレス	ジョブアカウントのログを送信する E メールアドレスを指定します。
ログファイルのプレフィックス	ログファイルに使用するプレフィックスを指定します。 メモ: [TCP/IP]メニューで現在設定されているホスト名が、ログファイルの初期設定のプレフィックスとして使用されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク (*) は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

XPS

メニュー項目	説明
エラーページを印刷 オフ * オン	エラー情報を含むテストページを印刷します。
最小線幅 1 ~ 30 (2 *)	1200 dpi で印刷されるすべてのジョブの最小ストローク幅を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク (*) は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

PDF

メニュー項目	説明
用紙に合わせて印刷 オフ* オン	選択した用紙サイズに合わせてページの内容を拡大/縮小します。
注釈 印刷 印刷しない*	PDF 内の注釈を印刷するかどうかを指定します。
PDF エラーを印刷 オフ オン*	PDF エラーの印刷を有効にします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

PostScript

メニュー項目	説明
PS エラーを印刷 オフ* オン	PostScript® エラーを説明するページを印刷します。 メモ: エラーが発生した場合、ジョブの処理が停止し、プリンタによりエラーメッセージが印刷されて、残りの印刷ジョブがキャンセルされます。
最小線幅 1 ~ 30(2*)	最小線幅を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 1200 dpi で印刷されるジョブでは、この値がそのまま使用されます。 4800 CQ で印刷されるジョブでは、この値の半分が使用されます。
PS スタートアップモードをロック オフ オン*	SysStart ファイルを無効化します。
イメージ平滑化 オフ* オン	解像度が低いイメージのコントラストやシャープネスを強調します。 メモ: この設定は、解像度が 300 dpi 以上のイメージには効果ありません。
フォント優先順位 内蔵* フラッシュメモリ/ハードディスク	フォントの検索順序を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> [内蔵]に設定すると、要求されたフォントがプリンタメモリで検索されてから、フラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクで検索されます。 [フラッシュ/ディスク]に設定すると、要求されたフォントがフラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクで検索されてから、プリンタメモリで検索されます。 このメニュー項目は、フラッシュメモリまたはハードディスクが取り付けられているときにのみ表示されます。
データ待ち時間 オフ オン*(40 秒)	印刷ジョブをキャンセルする前に、プリンタが他のデータを待つことを有効にします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

PCL

メニュー項目	説明
フォントソース 内蔵 * ディスク フラッシュメモリ すべて	初期設定のフォント選択項目を含むソースを選択します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [フラッシュメモリ]および[ハード ディスク]は、フラッシュメモリまたはハードディスクが取り付けられているときにのみ表示されます。 • [フラッシュメモリ]および[ハード ディスク]を表示するには、読み取り保護または書き込み保護されていないことを確認してください。
フォント名 Courier *	指定したフォントソースからフォントを選択します。
シンボルセット 10U PC-8 *	各フォント名のシンボルセットを指定します。 メモ: シンボルセットは英数字、句読点、および特殊記号の組み合わせです。シンボルセットは、科学的な文章内の数学記号など、異なる言語またはプログラムをサポートします。
ピッチ 0.08 ~ 100(10 *)	固定幅または等幅フォントのピッチを指定します。 メモ: ピッチとは、横方向 1 インチあたりの固定スペース文字の数のことです。
用紙の向き 縦 * 横長 縦の反転 * 横の反転	ページに印刷される文字や画像の向きを指定します。
1 ページ当たりの行数 1 ~ 255	PCL® データストリームで印刷される各ページのテキストの行数を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • このメニュー項目によって、ページの初期設定の余白間に選択した数の要求される行を印刷させる縦方向の送りを有効にします。 • 60 が米国向けの出荷時初期設定です。64 が米国以外の出荷時初期設定です。
PCL5 の最小線幅 1 ~ 30(2 *)	1200 dpi で印刷されるすべてのジョブの最初の最小ストローク幅を設定します。
PCLXL の最小線幅 1 ~ 30(2 *)	
A4 サイズの幅 198 mm * 203 mm	A4 サイズの用紙の論理ページ幅を設定します。 メモ: 論理ページとは、データが印刷される物理的な用紙上のスペースのことです。
LF 後に CR を自動実行 オフ * オン	改行制御コマンドの後にキャリッジリターンを実行するよう設定します。 メモ: キャリッジリターンは、同じ線上の最初の位置にカーソルを移動するようにプリンタに命令するメカニズムです。
CR 後に LF を自動実行 オフ * オン	キャリッジリターン制御コマンドの後に改行を実行するよう設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
トレイ番号変更 多目的フィーダー割り当て トレイ[x]割り当て 手差し用紙割り当て 手差し封筒を割り当て 出荷時標準設定を表示 標準設定に戻す	<ul style="list-style-type: none"> 給紙トレイの割り当てが異なる別の印刷ドライバやカスタムアプリケーションで動作するようにプリンタを設定し、特定の給紙トレイを使用するようにします。 各給紙トレイに割り当てられている出荷時初期設定値を表示します。 トレイ番号変更の値を出荷時初期設定に復元します。
印刷タイムアウト オフ オン * (90 秒)	指定した時間アイドル状態が続いた場合に印刷ジョブを終了するようにプリンタを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

HTML

メニュー項目	説明
フォント名 回 *	HTML ドキュメントの印刷時に使用するフォントを設定します。
フォントサイズ 1 ~ 255(12 *)	HTML ドキュメントの印刷時に使用するフォントサイズを設定します。
拡大縮小 1 ~ 400%(100 *)	印刷用に HTML ドキュメントを拡大/縮小します。
用紙の向き 縦 * 横長	HTML ドキュメントのページの向きを設定します。
余白 8 ~ 255 mm(19 *)	HTML ドキュメントのページ余白を設定します。
下地 印刷しない 印刷 *	HTML ドキュメントの背景情報またはグラフィックスを印刷します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

イメージ

メニュー項目	説明
自動調整 オン オフ *	イメージで利用可能な最適な用紙サイズと向きの設定を選択します。 メモ: [オン]に設定した場合、このメニュー項目では、イメージの拡大縮小と向きの設定は上書きされます。
反転 オフ * オン	モノクロ 2 階調のイメージを反転します。 メモ: このメニュー項目は、GIF または JPEG イメージ形式には適用されません。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
倍率変更 左上隅に固定 自動調整 * 中央に固定 高さ/幅に合わせる 高さに合わせる 幅に合わせる	印刷領域に合わせてイメージを調整します。 メモ: [自動調整]を[オン]に設定すると、[倍率変更]は自動的に[自動調整]に設定されます。
原稿の向き 縦 * 横 縦の反転 横の反転	ページに印刷される文字やグラフィックスの向きを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

用紙

トレイ構成設定

メニュー項目	説明
標準設定給紙源 トレイ [x](1*) 多目的フィーダ 手差し用紙 手動封筒	すべての印刷ジョブの給紙トレイを設定します。
用紙サイズ/タイプ トレイ [x] 多目的フィーダ 手差し用紙 手動封筒	各給紙トレイにセットされている用紙サイズまたは用紙タイプを指定します。
代替サイズ オフ ステートメント/A5 レター/A4 上記のすべて *	要求したサイズの用紙が給紙トレイにセットされていない場合に、指定のサイズの用紙を代替で使用するかどうかを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> [オフ]に設定すると、必要なサイズの用紙をセットするように画面に指示が表示されます。 [ステートメント/A5]に設定すると、ステートメントがセットされている場合は A5 サイズのドキュメントがステートメントに印刷され、A5 がセットされている場合はステートメントサイズのドキュメントが A5 に印刷されます。[ステートメント/A5]は、Embedded Web Server でのみ表示されます。 [レター/A4]に設定すると、レターがセットされている場合は A4 サイズのドキュメントがレターに印刷され、A4 がセットされている場合はレターサイズのドキュメントが A4 に印刷されます。 [上記のすべて]に設定すると、レター/A4 の代替が行われます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
MP を構成する トレイ* 手差し 1 番目	<p>多目的フィーダの動作を決定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • [トレイ]を選択すると、多目的フィーダが自動給紙トレイとして設定されます。 • [手差し]を選択すると、多目的フィーダが手差しフィーダによる印刷ジョブ専用として設定されます。 • [優先]を選択すると、多目的フィーダが優先給紙トレイとして設定されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

用紙構成

ユニバーサル設定

メニュー項目	説明
測定単位 インチ ミリメートル	<p>ユニバーサル用紙の長さの単位を指定します。</p> <p>メモ: [インチ]が米国向けの出荷時初期設定です。[ミリメートル]がその他の国の出荷時初期設定です。</p>
縦長の横の長さ 3 ~ 52 インチ(8.5*) 76 ~ 1321 mm(216*)	ユニバーサル用紙の縦長の幅を設定します。
縦長の縦の長さ 3 ~ 52 インチ(14*) 76.2 ~ 1321 mm(356*)	ユニバーサル用紙の縦長の高さを設定します。
給紙方向 短辺* 長辺	<p>プリンタで、短辺または長辺方向で用紙を選択するかどうかを設定します。</p> <p>メモ: [長辺]は、サポートされる最大幅よりも最大幅が短い場合にのみ表示されます。</p>
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

カスタムスキャンサイズ

メニュー項目	説明
カスタムスキャンサイズ [x] スキャンサイズ名 幅 1 ~ 8.5 インチ(8.5*) 25.4 ~ 215.9 mm(215.9*) 高さ 1 ~ 25 インチ(14*) 25.4 ~ 635 mm(355.6*) 用紙の向き 縦* 横長 2 スキャン/面 オフ* オン	スキャンサイズ名を割り当てて、スキャン設定を構成します。

用紙の種類

メニュー項目	説明
普通紙 厚紙 OHP フィルム 再生紙 ラベル ビニールラベル ボンド 封筒 粗い封筒 レターヘッド プレプリント カラー用紙 軽量紙 重量紙 ラフ/コットン紙 カスタム紙タイプ[X]	用紙の表面の粗さ、重さ、向きを指定します。

排紙トレイ構成設定

メニュー項目	説明
排紙トレイ 標準排紙トレイ * 排紙トレイ [x]	排紙トレイを指定します。
排紙トレイの設定 メールボックス * リンク リンクオプション タイプ割り当て	排紙トレイの動作モードを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> メールボックスでは、標準排紙トレイとオプションの排紙トレイを個別に選択できます。 [リンク]に設定すると、すべての排紙トレイを 1 つの大きな排紙トレイのようにリンクできます。 [リンクオプション]に設定すると、すべてのオプションの排紙トレイを 1 つの大きな出力排紙トレイとして扱います。 [タイプ割り当て]では、各用紙タイプを排紙トレイまたはリンクされた排紙トレイセットに割り当てます。
カスタム排紙トレイ名 標準排紙トレイ 排紙トレイ [x]	排紙トレイに名前を割り当てます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

コピー

コピー初期設定

メニュー項目	説明
内容の種類 文字 文字/写真 * 写真 グラフィックス	原稿のコンテンツに基づいて、出力結果を向上させます。
内容のソース モノクロレーザー * カラーレーザー インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿のソースに基づいて、出力結果を向上させます。
印刷面 片面->片面 * 片面を両面に 両面を片面に 両面を両面に	原稿に応じてスキャン動作を指定します。
セパレータ紙 なし * 各部の間 各ジョブの間 各ページの間	印刷時に空白の挿入紙を入れるかどうかを指定します。
区切り紙給紙源 トレイ [x] (1 *) 多目的フィーダ	区切り紙の給紙源を指定します。
割り付けるページ数 オフ * 縦 2 in 1 縦 4 in 1 横 2 in 1 横 4 in 1	1 枚の用紙の片面に印刷するページ数を指定します。
ページ枠を印刷 オフ * オン	単一のページに複数のページを印刷する場合に、各イメージの周囲に枠線を配置します。
丁合印刷 オフ [1,1,1,2,2,2] オン [1,2,1,2,1,2] *	順番を維持して複数部を印刷します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク (*) は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
オフセットページ なし * 各部の間 各ジョブの間	各印刷ジョブまたは印刷ジョブの各コピーの出力をオフセットします。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [各コピー部数の間]では、[部単位]が[オン「1,2,1,2,1,2」]に設定されている場合に、印刷ジョブのコピーごとにずらして排紙します。[部単位印刷]が[1,1,1,2,2,2]に設定されている場合は、すべての1ページやすべての2ページなど、印刷ページセットがずらして排紙されます。 • 印刷する部数に関係なく、[各ジョブの間]は、印刷ジョブ全体で、同じオフセット位置です。 • このメニュー項目はステープルフィニッシャーがある場合にのみ表示されます。
ステープル オフ * 1 ホチキス、左上隅 2 ホチキス、左 1 ホチキス、右上隅 2 ホチキス、上 1 ホチキス、左下隅 2 ホチキス、下 1 ホチキス、右下隅 2 ホチキス、右	すべての印刷ジョブのホチキスの位置を指定します。 メモ: このメニュー項目はステープルフィニッシャーがある場合にのみ表示されます。
パンチ オフ * 2 穴 3 穴	すべての印刷ジョブのパンチモードを設定します。 メモ: このメニュー項目はステープルフィニッシャーがある場合にのみ表示されます。
[コピー元]のサイズ	原稿の用紙サイズを設定します。 メモ: [レター]は米国向けの出荷時初期設定です。[A4]はその他の国の出荷時初期設定です。
[コピー先]の給紙源 トレイ [x] (1 *) 多目的フィーダ 自動サイズ調整	コピージョブの給紙源を指定します。
濃さ 1 ~ 9 (5 *)	スキャンした画像の濃度を調整します。
コピー部数 1 ~ 9999 (1 *)	コピー部数を指定します。
ヘッダー/フッター ヘッダー(左) ヘッダー(中央) ヘッダー(右) フッター(左) フッター(中央) フッター(右)	スキャン画像のヘッダー/フッターの情報を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
オーバーレイ コンフィデンシャル コピー ドラフト 緊急 カスタム オフ*	各コピーに印刷するオーバーレイテキストを指定します。
カスタムオーバーレイ	[オーバーレイ]メニューで[ユーザー定義]テキストを入力します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

詳細イメージング

メニュー項目	説明
カラードロップアウト カラー削除(なし*) 赤色 初期しきい値(128*) 緑色 初期しきい値(128*) 青色 初期しきい値(128*)	スキャン中にドロップアウトさせるカラーを指定し、そのカラーのドロップアウト設定を調整します。
コントラスト 原稿内容に最適な設定* 0~5	スキャンした画像のコントラストを指定します。
背景削除 下地の検出(自動*) レベル(0*)	原稿から背景色や画像ノイズを削除します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> [自動]では、原稿から背景色を削除します。 [固定]では、写真から画像ノイズを削除します。
自動中央揃え オフ* オン	コンテンツをページの中央に合わせます。
左右反転 オフ* オン	原稿を左右反転した画像を作成します。
ネガイメージ オフ* オン	原稿のネガイメージを作成します。
シャドウ描写 -4 ~ 4(0*)	原稿のシャドウ調整を行います。
端から端までスキャン オフ* オン	原稿を端から端までスキャンします。
シャープネス 1 ~ 5(3*)	スキャン画像のシャープネスを調整します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

管理者用設定

メニュー項目	説明
OHP フィルム区切り紙 オフ オン*	各 OHP フィルムの間に白紙を挿入します。
優先コピーを許可 オフ オン*	印刷ジョブに割り込んでコピーを行います。
カスタムジョブスキャン オフ* オン	プリンタで最初の原稿のセットをスキャンするための設定を指定して、同じ設定または異なる設定で次の原稿のセットのスキャンを行うようにします。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
ショートカットとして保存を許可 オフ オン*	コピー設定をショートカットとして保存します。
ADF の傾きを調整 オフ* オン	ADF からドキュメントをスキャンして傾いた画像を調整するようにプリンタを設定します。
サンプルコピー オフ* オン	残りのコピーを印刷する前に、品質を確認するためのサンプルコピーを印刷します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

FAX

FAX 初期設定

FAX モード

メニュー項目	説明
FAX モード Fax FAX サーバー 無効	FAX モードを選択します。 メモ: 出荷時初期設定は、プリンタ機種によって変わる場合があります。

FAX 設定

一般 FAX 設定

メニュー項目	説明
FAX 名	お使いの FAX 機を識別します。
FAX 番号	FAX 番号を識別します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
Fax ID FAX 名 FAX 番号 *	FAX 受信者に FAX 名または FAX 番号を通知します。
メモリ割当て すべて受信 ほとんど受信 均等に使用 * ほぼ送信完了 すべて送信	FAX 送受信用に割り当てられる内蔵プリンタメモリの容量を設定します。 メモ: このメニュー項目により、メモリバッファ状態や FAX の失敗を防ぎます。
FAX をキャンセル 許可する * 許可しない	送信 FAX を送信前にキャンセルしたり、受信 FAX を印刷終了前にキャンセルしたりします。
FAX 番号のマスキング オフ * 左から 右から	送信 FAX 番号をマスキングする形式を指定します。
マスキングする桁数 0 ~ 58(0 *)	送信 FAX 番号をマスクする桁数を指定します。
接続回線の検出を有効化 オン * オフ	電話回線がプリンタに接続されているかどうかを確認します。 メモ: プリンタの電源をオンにしたときと通話前に、検出が行われます。
FAX 互換性の最適化	他の FAX 機との互換性を最適化するために、プリンタの FAX 機能を設定します。
FAX の転送 T.38 アナログ G.711 etherFAX	FAX の転送方式を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> このメニュー項目は、etherFAX または Fax over IP (FoIP) ライセンスバンドルがプリンタにインストールされている場合にのみ表示されます。 出荷時初期設定は、プリンタ機種によって変わる場合があります。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

HTTPS FAX 設定

メモ: このメニューは、[FAX の転送]が[etherFAX]に設定されている場合にのみ表示されます。

メニュー項目	説明
HTTPS サービス URL	etherFAX サービス URL を指定します。
HTTPS プロキシ	プロキシサーバーの URL を指定します。
HTTPS プロキシユーザー	プロキシサーバーのユーザー名とパスワードを指定します。
HTTPS プロキシパスワード	
FAX 送信の暗号化 無効 有効 * 必須	送信 FAX メッセージの暗号化を有効にします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
FAX 受信の暗号化 無効 有効 * 必須	受信 FAX メッセージの暗号化を有効にします。
HTTPS FAX 状態	etherFAX の通信状況を表示します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

FAX 送信設定

メニュー項目	説明
解像度 標準 * ファイン スーパーファイン ウルトラファイン	スキャンした画像の解像度を設定します。 メモ: 解像度を高くするほど FAX 送信にかかる時間が長くなり、多くのメモリが必要になります。
原稿サイズ [用紙サイズのリスト](大きさ混在*)	原稿のサイズを指定します。
用紙の向き 縦 * 横長	原稿の向きを指定します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
印刷面 オフ * 短辺 長辺	原稿の両面をスキャンする場合に、原稿の向きを指定します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
内容の種類 文字 * 文字/写真 写真 グラフィックス	原稿のコンテンツに基づいて、出力結果を向上させます。
内容のソース モノクロレーザー * カラーレーザー インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿のソースに基づいて、出力結果を向上させます。
濃さ 1 ~ 9(5*)	スキャンした画像の濃度を調整します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
PABX 経由 オン オフ*	ダイヤルトーンを認識するまで待つことなく FAX 番号をダイヤルするようにプリンタを設定します。 メモ: 構内自動交換機(PABX)は、単一のアクセス番号で外部発信者に複数の回線を提供できる電話網です。
ダイヤルモード トーン* パルス	FAX 送受信のダイヤルモードを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

詳細イメージング

メニュー項目	説明
カラーバランス シアン - 赤 -4 ~ 4(0*) マゼンタ - 緑 -4 ~ 4(0*) イエロー - 青 -4 ~ 4(0*)	スキャンする際のカラーの彩度を調整します。
カラードロップアウト カラー削除(なし*) 赤色 初期しきい値(128*) 緑色 初期しきい値(128*) 青色 初期しきい値(128*)	スキャン中にドロップアウトさせるカラーを指定し、そのカラーのドロップアウト設定を調整します。
コントラスト 原稿内容に最適な設定* 0 1 2 3 4 5	出力のコントラストを設定します。
背景削除 レベル -4 ~ 4(0*)	スキャン画像における背景の濃さを調節します。
左右反転 オフ* オン	原稿を左右反転した画像を作成します。
ネガイメージ オフ* オン	原稿のネガイメージを作成します。
シャドウ描写 -4 ~ 4(0*)	スキャン画像におけるシャドウ部の濃さを調節します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
端から端までスキャン オン オフ*	原稿の端までスキャンできます。
シャープネス 1 ~ 5(3*)	スキャン画像のシャープネスを調整します。
色温度 -4 ~ 4(0*)	寒色の強い出力を生成するか暖色の強い出力を生成するかを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

管理者用設定

メニュー項目	説明
カラー FAX スキャン有効化 初期設定でオフ* 初期設定でオン 使用しない 常に使用	FAX のカラー スキャンを有効化します。
自動リダイヤル 0 ~ 9(5*)	受信側 FAX 機器のアクティビティレベルに応じて、リダイヤル回数を調整します。
リダイヤル間隔 1 ~ 200 分(3*)	FAX が正常に送信される確率を高めるために、リダイヤル再試行までの間隔を長くします。
ECM を有効化 オン* オフ	FAX ジョブのエラー修正モード (ECM) を有効にします。 メモ: FAX 送信処理において、電話回線ノイズや信号強度劣化により発生したエラーを ECM が検出して修正します。
FAX スキャンを有効化 オン* オフ	プリンタでスキャンした原稿を FAX します。
PC-FAX オン* オフ	プリンタドライバによる FAX 送信を許可します。
ショートカットとして保存を許可 オン* オフ	FAX 番号をショートカットとしてプリンタに保存します。
速度優先 33600* 14400 9600 4800 2400	FAX 送信の最大速度を設定します。
カスタムジョブスキャン オフ* オン	初期設定でカスタムジョブのスキャンをオンにします。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
スキャンプレビュー オフ* オン	ディスプレイにスキャンのプレビューを表示します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
ADF の傾きを調整 オフ* オン	スキャンした画像の傾きを微調整します。
カラー FAX からモノクロ FAX への自動変換 オン* オフ	すべてのカラー送信 FAX を白黒 2 値に変換します。
FAX 番号を確認 オフ* オン	ユーザーに FAX 番号を確認するように求めます。
ダイヤルプレフィックス	外線発信番号を設定します。
ダイヤルプレフィックスルール	ダイヤルプレフィックスルールを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

FAX 受信設定

メニュー項目	説明
待機中の FAX ジョブ なし* トナー トナーと消耗品	利用できない特定のリソースを要求する FAX ジョブを印刷キューから削除します。
呼び出し回数 1 ~ 25(3*)	受信 FAX の呼び出し回数を設定します。
自動縮小 オン* オフ	ページに合わせて受信 FAX を縮小します。
給紙源 トレイ [x] 自動*	受信 FAX を印刷する際に使用するトレイを指定します。
印刷面 オン オフ*	用紙の両面に印刷します。
セパレータ紙 なし* 出力前 出力後	印刷時に空白の挿入紙を入れるかどうかを指定します。
区切り紙給紙源 トレイ [X](1*)	区切り紙の給紙源を指定します。
排紙トレイ 標準排紙トレイ	受信 FAX の排紙トレイを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
FAX のフッター オン オフ*	受信 FAX の各ページの下に、送信情報を印刷します。
FAX フッター日時スタンプ 受信 * 印刷する	受信 FAX の各ページの下部に、タイムスタンプを印刷します。
ステープル オフ* 1 ステープル 2 ステープル	印刷した FAX の出力紙をホッチキスで留めます。 メモ: このメニュー項目はフィニツシャがある場合にのみ表示されます。
FAX 保留 FAX 保留モード オフ* 常にオン 手差し スケジュール	受信 FAX がリリースされるまで印刷を保留します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

管理者用設定

メニュー項目	説明
FAX 受信を有効化 オン* オフ	FAX を受信するようにプリンタを設定します。
カラー FAX 受信を有効化 オン* オフ	FAX をカラーで受信するようにプリンタを設定します。
発信者番号表示を有効化 オン オフ*	受信 FAX の送信元の番号を表示します。
無記名の FAX をブロック オン オフ*	ステーション ID または FAX ID が設定されていないデバイスから送信された FAX の着信を拒否します。
禁止された FAX 一覧 禁止された FAX を追加	ブロックする電話番号を指定します。
受信の設定 すべて* 1 回のみ受信 2 回のみ受信 3 回のみ受信 1 回または 2 回のみ受信 1 回または 3 回のみ受信 2 回または 3 回のみ受信	受信 FAX 専用の着信音パターンを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
自動応答 オン * オフ	FAX を自動で受信するようにプリンタを設定します。
FAX 転送 印刷 * 印刷して転送 転送	受信 FAX を転送するかどうかを指定します。
転送先 宛先 1 宛先 2	受信 FAX の転送先を指定します。 メモ: このメニュー項目は、[FAX 転送]が[印刷して転送]または[転送]に設定されている場合にのみ表示されます。
速度優先 33600 * 14400 9600 4800 2400	FAX の送信最大ビット速度を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

FAX 送付状ページ

メニュー項目	説明
FAX 送付状ページ 初期設定でオフ * 初期設定でオン 使用しない 常に使用	FAX 送付状ページの設定を構成します。
宛先を含める オフ * オン	
送信者を含める オフ * オン	
送信元	
[メッセージを含む]フィールド オフ * オン	
本文:	
ロゴを含む オフ * オン	
フッターを含める[x] オフ * オン	
フッター[x]	
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

FAX ログ設定

メニュー項目	説明
送信ログ周期 常時 * 実行しない エラー時のみ	プリンタで送信ログを作成する頻度を指定します。
送信ログ操作 印刷する オフ オン * E メール オフ * オン	FAX の正常送信および送信エラーのログを印刷または E メール送信します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
受信エラーログ 印刷しない * エラー時に印刷	FAX 受信エラーのログを印刷します。
自動印刷ログ オン * オフ	すべての FAX アクティビティを印刷します。
給紙源を記録 トレイ [x] (1 *)	ログを印刷する際に使用する給紙トレイを指定します。
ログ表示 リモート FAX 名 * ダイヤルした番号	リモート FAX 名または FAX 番号で送信者を特定します。
ジョブログを有効化 オン * オフ	すべての FAX ジョブの概要を表示します。
通話ログを有効化 オン * オフ	FAX 発信履歴の概要を表示します。
ログ排出トレイ 標準排紙トレイ * 排紙トレイ [x]	印刷したログの排紙トレイを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

スピーカー設定

メニュー項目	説明
スピーカーモード 常にオフ * 常にオン 接続されるまでオン	FAX のスピーカーモードを設定します。
スピーカー音量 小 * 高	FAX のスピーカー音量を調整します。
着信音量 オフ * オン	着信音を有効にします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

FAX サーバー設定

一般 FAX 設定

メニュー項目	説明
送信先形式	FAX 送信先を指定します。 メモ: FAX 番号を使用する場合は、番号の前にシャープ(#)を入力します。
返信アドレス	FAX を送信するための返信アドレスを指定します。
件名	FAX の件名とメッセージを指定します。
メッセージ	
アナログ受信を有効化 オフ* オン	アナログ FAX を受信するようにプリンタを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

FAX サーバー E メール設定

メニュー項目	説明
E メール SMTP サーバーを使用 オン* オフ	ファックスの送受信では、Eメールの簡易メール転送プロトコル(SMTP)を使用します。 メモ: [オン]に設定すると、[FAX サーバー E メール設定]メニュー以外の設定は表示されません。
一次 SMTP ゲートウェイ	プライマリ SMTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
一次 SMTP ゲートウェイポート 1 ~ 65535(25*)	プライマリ SMTP サーバーのポート番号を入力します。
二次 SMTP ゲートウェイ	セカンダリまたはバックアップ SMTP サーバーのサーバー IP アドレスまたはホスト名を入力します。
二次 SMTP ゲートウェイポート 1 ~ 65535(25*)	セカンダリまたはバックアップ SMTP サーバーのサーバーポート番号を入力します。
SMTP タイムアウト 5 ~ 30(30*)	SMTP サーバーが応答しない場合にプリンタがタイムアウトするまでの時間を設定します。
返信アドレス	FAX を送信するための返信アドレスを指定します。
Use SSL/TLS 無効* 交渉 必須	暗号化されたリンクを使用して FAX を送信するかどうかを指定します。
信頼済み証明書を使用 オフ オン*	SMTP サーバーにアクセスする際の信頼済み証明書を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
SMTP サーバー認証 使用しない * Login/Plain NTLM CRAM-MD5 Digest-MD5 Kerberos 5	SMTP サーバーの認証タイプを設定します。
デバイスから送信される E メール なし * デバイスの SMTP 証明書を使用	デバイスから送信される E メールに資格情報が必要かどうかを指定します。
ユーザーから送信される E メール なし * デバイスの SMTP 証明書を使用 ログインしているユーザー ID とパスワードを使用 セッション E メールアドレスとパスワードを使用 ユーザーに確認	ユーザーから送信される E メールに資格情報が必要かどうかを指定します。
Active Directory デバイス資格証明書を使用 オフ * オン	SMTP サーバーに接続するために、ユーザー資格情報とグループ送信先を有効にします。
デバイスのユーザー ID	SMTP サーバーに接続する際のユーザー ID とパスワードを指定します。
デバイスのパスワード	
Kerberos 5 レルム	Kerberos 5 認証プロトコルのレルムを指定します。
NTLM ドメイン	NTLM セキュリティプロトコルのドメイン名を指定します。
[SMTP サーバーが設定されていません]エラーを無効にする オフ * オン	[SMTP サーバーが設定されていません]エラーメッセージを非表示にします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

FAX サーバースキャン設定

メニュー項目	説明
イメージ形式 TIFF (.tif) PDF (.pdf) * XPS (.xps)	スキャン画像のファイル形式を指定します。
内容の種類 文字 * 文字/写真 写真 グラフィックス	原稿のコンテンツに基づいて、出力結果を向上させます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
内容のソース モノクロレーザー * カラーレーザー インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿のソースに基づいて、出力結果を向上させます。
FAX 解像度 標準 * ファイン スーパーファイン ウルトラファイン	FAX の解像度を設定します。
印刷面 オフ * 短辺 長辺	原稿の両面をスキャンする場合に、原稿の向きを指定します。
濃さ 1 ~ 9(5 *)	出力の濃さを設定します。
用紙の向き 縦 * 横長	ページに印刷される文字や画像の向きを指定します。
原稿サイズ [用紙サイズのリスト]	原稿の用紙サイズを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [大きさ混在]は米国向けの出荷時初期設定です。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。 • この設定は、お使いのプリンタ機種によって異なります。
複数ページ TIFF を使用 オフ オン *	単一ページ TIFF ファイルと複数ページ TIFF ファイルのどちらを使用するかを選択します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

E メール

E メール設定

メニュー項目	説明
一次 SMTP ゲートウェイ	E メール送信に使用するプライマリ SMTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
一次 SMTP ゲートウェイポート 1 ~ 65535 (25*)	プライマリ SMTP サーバーのポート番号を入力します。
二次 SMTP ゲートウェイ	セカンダリまたはバックアップ SMTP サーバーのサーバー IP アドレスまたはホスト名を入力します。
二次 SMTP ゲートウェイポート 1 ~ 65535 (25*)	セカンダリまたはバックアップ SMTP サーバーのサーバーポート番号を入力します。
SMTP タイムアウト 5 ~ 30 秒 (30*)	SMTP サーバーが応答しない場合にプリンタがタイムアウトするまでの時間を設定します。
返信アドレス	E メールの返信アドレスを指定します。
SMTP の初期設定返信アドレスを常に使用する オン オフ*	SMTP サーバーの初期設定返信アドレスを常に使用します。
Use SSL/TLS 無効* 交渉 必須	暗号化されたリンクを使用して E メールを送信するかどうかを指定します。
信頼済み証明書を使用 オフ オン*	SMTP サーバーにアクセスする際に、信頼済み証明書が必要となります。
SMTP サーバー認証 使用しない* Login/Plain NTLM CRAM-MD5 Digest-MD5 Kerberos 5	SMTP サーバーの認証タイプを設定します。
デバイスから送信される E メール なし* デバイスの SMTP 証明書を使用	デバイスから送信される E メールに資格情報が必要かどうかを指定します。
ユーザーから送信される E メール なし* デバイスの SMTP 証明書を使用 ログインしているユーザー ID とパスワードを使用 セッション E メールアドレスとパスワードを使用 ユーザーに確認	ユーザーから送信される E メールに資格情報が必要かどうかを指定します。
Active Directory デバイス資格証明書を使用 オフ* オン	ユーザーから送信される E メールに資格情報が必要かどうかを指定します。
デバイスのユーザー ID	SMTP サーバーに接続する際のユーザー ID とパスワードを指定します。
デバイスのパスワード	
Kerberos 5 レルム	Kerberos 5 認証プロトコルのレルムを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
NTLM ドメイン	NTLM セキュリティプロトコルのドメイン名を指定します。
[SMTP サーバーが設定されていません]エラーを無効にする オフ* オン	[SMTP サーバーが設定されていません]エラーメッセージを非表示にします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

E メール初期値設定

メニュー項目	説明
件名:	Eメールの件名とメッセージを指定します。
本文:	
ファイル名	スキャンしたドキュメントのファイル名を指定します。
形式 JPEG (.jpg) PDF (.pdf) * TIFF (.tif) XPS (.xps) TXT (.txt) RTF (.rtf) DOCX (.docx) CSV (.csv)	スキャンしたドキュメントのファイル形式を指定します。 メモ: メニュー項目は、お使いのプリンタ機種によって異なります。
グローバル OCR 設定 認識済み言語 自動回転 しみ除去 自動コントラスト補正	光学式文字認識 (OCR) の設定を行います。 メモ: このメニュー項目は、OCR ソリューションを購入してインストールしている場合にのみ表示されます。
PDF 設定 PDF バージョン (1.5 *) アーカイブバージョン (A-1a *) 高圧縮 (オフ *) セキュア (オフ *) アーカイブ (PDF/A) (オフ *)	スキャンしたドキュメントの PDF 設定を行います。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> [PDF バージョン] が 1.4 に設定されている場合にのみ、[アーカイブバージョン] および [アーカイブ (PDF/A)] がサポートされます。 [高圧縮] は、ハードディスクが取り付けられている場合にのみ表示されます。
内容の種類 文字 文字/写真 * 写真 グラフィックス	原稿のコンテンツタイプに基づいて、出力結果を向上させます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
内容のソース モノクロレーザー * カラーレーザー インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿のコンテンツソースに基づいて、出力結果を向上させます。
カラー モノクロ グレー カラー * 自動	ファイルのコンテンツをカラーまたはモノクロでキャプチャするようにプリンタを設定します。
解像度 75 dpi 150 dpi * 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	スキャンした画像の解像度を設定します。
濃さ 1 ~ 9(5 *)	スキャンした画像の濃度を調整します。
用紙の向き 縦 * 横長	原稿の向きを指定します。
原稿サイズ 大きさ混在 *	原稿の用紙サイズを設定します。
印刷面 オフ * 短辺 長辺	原稿の両面をスキャンする場合に、原稿の向きを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

詳細イメージング

メニュー項目	説明
カラーバランス シアン(0*) マゼンタ(0*) イエロー(0*)	シアン、マゼンタ、イエローのカラー濃度を調整します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
カラードロップアウト カラードロップアウト なし * 赤 緑色 青 赤色 標準しきい値 0 ~ 255(128 *) 緑色 標準しきい値 0 ~ 255(128 *) 青色 標準しきい値 0 ~ 255(128 *)	スキャン中にドロップアウトさせるカラーを指定し、そのカラーのドロップアウト設定を調整します。
自動カラー検出 カラー感度 1 ~ 9(5 *) 判別範囲 1 ~ 9(5 *) E メールビット深度 1 ビット * 8 ビット 最小スキャン解像度 75 dpi 150 dpi 200 dpi 300 dpi *	自動カラー検出の設定を行います。
JPEG 品質 原稿内容に最適な設定 * 5 ~ 95	スキャンした画像の JPEG 品質を設定します。
コントラスト 原稿内容に最適な設定 * 0~5	スキャンした画像のコントラストを指定します。
背景削除 下地の検出 自動 * 固定 レベル -4 ~ 4(0 *)	原稿から背景色や画像ノイズを削除します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [自動]では、原稿から背景色を削除します。 • [固定]では、写真から画像ノイズを削除します。
左右反転 オフ * オン	原稿を左右反転した画像を作成します。
ネガイメージ オフ * オン	原稿のネガイメージを作成します。
シャドウ描写 -4 ~ 4(0 *)	スキャンした画像のシャドウ調整を行います。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
端から端までスキャン オフ* オン	原稿を端から端までスキャンします。
シャープネス 1 ~ 5(3*)	スキャンした画像のシャープネスを調整します。
色温度 -4 ~ 4(0*)	原稿から青みの強い出力または赤みの強い出力を生成します。
空白ページ 空白ページの削除(削除しない*) 空白ページの感度(5*)	原稿の空白ページに対するスキャンの相対感度を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

管理者用設定

メニュー項目	説明
Eメールの最大送信サイズ 0 ~ 65535(0*)	各 Eメールのファイルサイズの上限を設定します。
サイズのエラーメッセージ	Eメールがファイルサイズの上限を超えた場合、プリンタから送信されるエラーメッセージを指定します。 メモ: 1,024 文字以下で入力します。
送信先を制限	指定されたリストにあるドメイン名にのみ Eメールの送信を制限します。 メモ: カンマを使用して、各ドメインを区切ります。
自分にコピーを送信 表示しない* 初期設定でオン 初期設定でオフ 常にオン	自分自身に Eメールのコピーを送信します。
自分の Eメールのみを許可 オフ* オン	自分にのみ Eメールを送信するようにプリンタを設定します。
cc: /bcc:を使用 オフ* オン	Eメールの CC および BCC を有効にします。
複数ページ TIFF を使用 オフ オン*	複数の TIFF 画像 から 1 つの TIFF ファイルへのスキャンを有効にします。
TIFF 圧縮 JPEG LZW*	TIFF ファイルの圧縮タイプを指定します。
テキスト標準設定 5 ~ 95(75*)	スキャンするコンテンツの文字品質を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
文字/写真標準設定 5 ～ 95(75*)	スキャンするコンテンツの文字と写真の品質を設定します。
写真標準設定 5 ～ 95(50*)	スキャンするコンテンツの写真の品質を設定します。
ADF の傾きを調整 オフ* オン	ADF からドキュメントをスキャンして傾いた画像を調整するようにプリンタを設定します。
送信ログ ログを印刷* ログを印刷しない エラー時のみ印刷	E メールスキャンの送信ログを印刷します。
給紙源を記録 トレイ [x](1*) 多目的フィーダー	E メールログを印刷する際の給紙トレイを指定します。
カスタムジョブスキャン オフ* オン	プリンタで最初の原稿のセットをスキャンするための設定を指定して、同じ設定または異なる設定で次の原稿のセットのスキャンを行うようにします。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
スキャンプレビュー オフ オン*	原稿のスキャンのプレビューを表示します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
ショートカットとして保存を許可 オフ オン*	E メールアドレスをショートカットとして保存します。
送信される画像 添付ファイル* Web リンク	E メールに含まれる画像の送信方法を指定します。
送信後に E メール情報をリセットする オフ オン*	E メールを送信した後、[宛先]、[件名]、[メッセージ]、[ファイル名]フィールドを初期値にリセットします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

Web リンク設定

メニュー項目	説明
サーバー	E メールに含まれる画像をホストしているサーバーの資格情報を指定します。
ログイン	
パスワード	
パス	
ファイル名	
Web リンク	

FTP

FTP 初期値設定

メニュー項目	説明
形式 JPEG (.jpg) PDF (.pdf) * TIFF (.tif) XPS (.xps) TXT (.txt) RTF (.rtf) DOCX (.docx) CSV (.csv)	スキャン画像のファイル形式を指定します。 メモ: メニュー項目は、お使いのプリンタ機種によって異なります。
グローバル OCR 設定 認識済み言語 自動回転 しみ除去 自動コントラスト補正	光学式文字認識 (OCR) の設定を行います。 メモ: このメニュー項目は、OCR ソリューションを購入してインストールしている場合にのみ表示されます。
PDF 設定 PDF バージョン (1.5 *) アーカイブバージョン (A-1a *) 高圧縮 (オフ *) セキュア (オフ *) アーカイブ (PDF/A) (オフ *)	スキャン画像の PDF 設定を行います。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [PDF バージョン] が 1.4 に設定されている場合にのみ、[アーカイブバージョン] および [アーカイブ (PDF/A)] がサポートされます。 • [高圧縮] は、ハードディスクが取り付けられている場合にのみ表示されます。
内容の種類 文字 文字/写真 * 写真 グラフィックス	原稿のコンテンツタイプに基づいて、出力結果を向上させます。
内容のソース モノクロレーザー * カラーレーザー インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿のコンテンツソースに基づいて、出力結果を向上させます。
カラー モノクロ グレー カラー * 自動	ファイルのコンテンツをカラーまたはモノクロでキャプチャするようにプリンタを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク (*) は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
解像度 75 dpi 150 dpi * 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	スキャンした画像の解像度を設定します。
濃さ 1 ～ 9(5*)	スキャンした画像の濃度を調整します。
用紙の向き 縦 * 横長	原稿の向きを指定します。
原稿サイズ 大きさ混在 *	原稿の用紙サイズを設定します。
印刷面 オフ * 長辺 短辺	原稿の両面をスキャンするときに、原稿の向きを指定します。
ファイル名	スキャン画像のファイル名を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

詳細イメージング

メニュー項目	説明
カラーバランス シアン(0*) マゼンタ(0*) イエロー(0*)	シアン、マゼンタ、イエローのカラー濃度を調整します。
カラードロップアウト カラードロップアウト なし * 赤 * 緑 * 青 * 赤色 標準しきい値 0 ～ 255(128*) 緑色 標準しきい値 0 ～ 255(128*) 青色 標準しきい値 0 ～ 255(128*)	スキャン中にドロップアウトさせるカラーを指定し、そのカラーのドロップアウト設定を調整します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
自動カラー検出 カラー感度 1 ～ 9(5*) 判別範囲 1 ～ 9(5*) FTP ビット深度 1 ビット* 8 ビット 最小スキャン解像度 75 dpi 150 dpi 200 dpi 300 dpi*	自動カラー検出の設定を行います。
JPEG 品質 原稿内容に最適な設定* 5 ～ 95	スキャンした画像の JPEG 品質を設定します。
コントラスト 原稿内容に最適な設定* 0 1 2 3 4 5	スキャンした画像のコントラストを指定します。
背景削除 下地の検出 自動* 固定 レベル -4 ～ 4(0*)	原稿から背景色や画像ノイズを削除します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [自動]では、原稿から背景色を削除します。 • [固定]では、写真から画像ノイズを削除します。
左右反転 オフ* オン	原稿を左右反転した画像を作成します。
ネガイメージ オフ* オン	原稿のネガイメージを作成します。
シャドウ描写 -4 ～ 4(0*)	スキャンした画像のシャドウ調整を行います。
端から端までスキャン オフ* オン	原稿の端までスキャンできます。
シャープネス 1 ～ 5(3*)	スキャンした画像のシャープネスを調整します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
色温度 -4 ~ 4(0*)	原稿から青みの強い出力または赤みの強い出力を生成します。
空白ページ 空白ページの削除 削除しない* 削除 空白ページの感度 1 ~ 9(5*)	原稿の空白ページに対するスキンの相対感度を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

管理者用設定

メニュー項目	説明
テキスト標準設定 5 ~ 95(75*)	スキャンした画像の文字の品質を設定します。
文字/写真標準設定 5 ~ 95(75*)	スキャンした画像の文字と写真の品質を設定します。
写真標準設定 5 ~ 95(50*)	スキャン画像の写真の品質を設定します。
複数ページ TIFF を使用 オン* オフ	複数の TIFF 画像 から 1 つの TIFF ファイルへのスキャンを有効にします。
TIFF 圧縮 LZW* JPEG	TIFF ファイルの圧縮タイプを指定します。
送信ログ ログを印刷* ログを印刷しない エラー時のみ印刷	FTP スキャンの送信ログを印刷します。
給紙源を記録 トレイ [x](1*) 多目的フィーダ	FTP ログを印刷する際の給紙トレイを指定します。
ログ排出トレイ 標準排紙トレイ* 排紙トレイ[x]	印刷する FTP ログの排紙トレイを指定します。
カスタムジョブスキャン オフ* オン	初期設定でカスタムジョブのスキャンをオンにします。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
スキャンプレビュー オフ オン*	ディスプレイにスキャンのプレビューを表示します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ショートカットとして保存を許可 オフ オン*	FTP アドレスをショートカットとして保存します。
ADF の傾きを調整 オフ* オン	ADF からドキュメントをスキャンして傾いた画像を調整するようにプリンタを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

USB ドライブ

フラッシュドライブスキャン

メニュー項目	説明
形式 JPEG (.jpg) PDF (.pdf) * TIFF (.tif) XPS (.xps) TXT (.txt) RTF (.rtf) DOCX (.docx) CSV (.csv)	スキャン画像のファイル形式を指定します。 メモ: メニュー項目は、お使いのプリンタ機種によって異なります。
グローバル OCR 設定 認識済み言語 自動回転 しみ除去 自動コントラスト補正	光学式文字認識(OCR)の設定を行います。 メモ: このメニュー項目は、OCR ソリューションを購入してインストールしている場合にのみ表示されます。
PDF 設定 PDF バージョン(1.5*) アーカイブバージョン(A-1a*) 高圧縮(オフ*) セキュア(オフ*) アーカイブ(PDF/A)(オフ*)	スキャン画像の PDF 設定を行います。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> [PDF バージョン]が 1.4 に設定されている場合にのみ、[アーカイブバージョン]および[アーカイブ(PDF/A)]がサポートされます。 [高圧縮]は、ハードディスクが取り付けられている場合にのみ表示されます。
内容の種類 文字 文字/写真* 写真 グラフィックス	原稿のコンテンツタイプに基づいて、出力結果を向上させます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
内容のソース モノクロレーザー * カラーレーザー インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿のコンテンツソースに基づいて、出力結果を向上させます。
カラー モノクロ グレー カラー * 自動	ファイルのコンテンツをカラーまたはモノクロでキャプチャするようにプリンタを設定します。
解像度 75 dpi 150 dpi * 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	スキャンした画像の解像度を設定します。
濃さ 1 ~ 9(5 *)	スキャンした画像の濃度を調整します。
用紙の向き 縦 * 横長	原稿の向きを指定します。
原稿サイズ 大きさ混在 *	原稿の用紙サイズを設定します。
印刷面 オフ * 長辺 短辺	原稿の両面をスキャンする場合に、原稿の向きを指定します。
ファイル名	スキャン画像のファイル名を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

詳細イメージング

メニュー項目	説明
カラーバランス シアン(0 *) マゼンタ(0 *) イエロー(0 *)	シアン、マゼンタ、イエローのカラー濃度を調整します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
カラードロップアウト カラードロップアウト なし * 赤 緑色 青 赤色 標準しきい値 0 ~ 255(128 *) 緑色 標準しきい値 0 ~ 255(128 *) 青色 標準しきい値 0 ~ 255(128 *)	スキャン中にドロップアウトさせるカラーを指定し、そのカラーのドロップアウト設定を調整します。
自動カラー検出 カラー感度 1 ~ 9(5 *) 判別範囲 1 ~ 9(5 *) スキャンビット深度 1 ビット * 8 ビット 最小スキャン解像度 75 dpi 150 dpi 200 dpi 300 dpi *	自動カラー検出の設定を行います。
JPEG 品質 原稿内容に最適な設定 * 5 ~ 95	スキャンした画像の JPEG 品質を設定します。
コントラスト 原稿内容に最適な設定 * 0 ~ 5	スキャンした画像のコントラストを指定します。
背景削除 下地の検出 自動 * 固定 レベル(0 *)	原稿から背景色や画像ノイズを削除します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [自動]では、原稿から背景色を削除します。 • [固定]では、写真から画像ノイズを削除します。
左右反転 オフ * オン	原稿を左右反転した画像を作成します。
ネガイメージ オフ * オン	原稿のネガイメージを作成します。
シャドウ描写 -4 ~ 4(0 *)	スキャンした画像のシャドウ調整を行います。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
端から端までスキャン オフ* オン	原稿を端から端までスキャンします。
シャープネス 1 ~ 5(3*)	スキャンした画像のシャープネスを調整します。
色温度 -4 ~ 4(0*)	原稿から青みの強い出力または赤みの強い出力を生成します。
空白ページ 空白ページの削除 削除しない* 削除 空白ページの感度 1 ~ 9(5*)	原稿の空白ページに対するスキャンの相対感度を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

管理者用設定

メニュー項目	説明
テキスト標準設定 5 ~ 95(75*)	スキャンした画像の文字の品質を設定します。
文字/写真標準設定 5 ~ 95(75*)	スキャンした画像の文字または写真の品質を設定します。
写真標準設定 5 ~ 95(50*)	スキャンした画像の写真の品質を設定します。
複数ページ TIFF を使用 オフ オン*	複数の TIFF 画像 から 1 つの TIFF ファイルへのスキャンを有効にします。
TIFF 圧縮 LZW* JPEG	TIFF ファイルの圧縮タイプを指定します。
カスタムジョブスキャン オフ* オン	初期設定でカスタムジョブのスキャンをオンにします。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
スキャンプレビュー オフ オン*	ディスプレイにスキャンのプレビューを表示します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
ADF の傾きを調整 オフ* オン	ADF からドキュメントをスキャンして傾いた画像を調整するようにプリンタを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

フラッシュドライブ印刷

メニュー項目	説明
コピー部数 1 ~ 9999 (1*)	コピー部数を設定します。
給紙源 トレイ [x] (1*) 多目的フィーダー 手差し用紙 手動封筒	印刷ジョブの給紙トレイを設定します。
丁合印刷 (1,1,1) (2,2,2) (1,2,3) (1,2,3)*	特にジョブを複数部印刷する場合は、印刷ジョブのページをページ順に積み重ねます。
印刷面 片面* 両面	用紙の片面に印刷するか両面に印刷するかを指定します。
ステープル オフ* 1 ホチキス、左上隅 2 ホチキス、左 1 ホチキス、右上隅 2 ホチキス、上 1 ホチキス、左下隅 2 ホチキス、下 1 ホチキス、右下隅 2 ホチキス、右	すべての印刷ジョブのホチキスの位置を指定します。 メモ: このメニュー項目はステープルフィニッシャーがある場合にのみ表示されます。
穴パンチ オフ* 2 穴 3 穴	すべての印刷ジョブのパンチモードを設定します。 メモ: このメニュー項目はステープルフィニッシャーがある場合にのみ表示されます。
オフセットページ なし* 各部の間 各ジョブの間	各印刷ジョブまたは印刷ジョブの各コピーの出力をオフセットします。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [各コピー部数の間]では、[部単位印刷]がオン「1,2,1,2,1,2」に設定されている場合は、部単位ごとにずらして排紙します。[部単位印刷]がオフ「1,1,1,2,2,2」に設定されている場合は、1 ページ目の東、2 ページ目の東のように、印刷したページの東ごとにずらして排紙します。 • 印刷する部数に関係なく、[各ジョブの間]は、印刷ジョブ全体で、同じオフセット位置です。 • このメニュー項目はステープルフィニッシャーがある場合にのみ表示されます。
反転スタイル 長辺* 短辺	両面印刷を実行する場合は、用紙のどちらの辺を綴じるかを決定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ページ集約 オフ* 2 ページ/面 3 ページ/面 4 ページ/面 6 ページ/面 9 ページ/面 12 ページ/面 16 ページ/面	複数のページ画像を 1 枚の用紙の片面に印刷します。
集約順 横方向* 横方向(右から) 縦方向(右から) 縦方向(左から)	[ページ集約]メニューを使用するときに、複数ページの画像の位置を指定します。
原稿セット方向 自動* 横長 縦長	[ページ集約]メニューを使用するときに、複数ページの画像の向きを指定します。
ページ枠 なし* ソリッド(塗りつぶし)	[ページ集約]メニューを使用するときに、各ページの画像に枠線を印刷します。
セパレータ紙 オフ* 各部の間 各ジョブの間 各ページの間	印刷時に空白の挿入紙を挿入します。
区切り紙給紙源 トレイ [x](1*) 多目的フィーダー	区切り紙の給紙源を指定します。
空白ページ 印刷しない* 印刷する	印刷ジョブで空白ページを印刷します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

ネットワーク/ポート

ネットワークの概要

メニュー項目	説明
アクティブアダプタ 自動 * 標準ネットワーク ワイヤレス	ネットワーク接続のタイプを指定します。 メモ: [ワイヤレス]は、ワイヤレスネットワークに接続されているプリンタでのみ使用できます。
ネットワーク状況	プリンタのネットワークの接続状態を表示します。
プリンタにネットワークの状態を表示 オフ オン *	ディスプレイにネットワーク状況を表示します。
速度、通信モード	現在有効になっているネットワークカードの速度を示します。
IPv4	IPv4 アドレスを表示します。
すべての IPv6 アドレス	すべての IPv6 アドレスを表示します。
プリントサーバーをリセット	プリンタへの有効なネットワーク接続すべてをリセットします。 メモ: この設定により、すべてのネットワーク設定が削除されます。
ネットワークジョブのタイムアウト オフ オン * (90 秒)	ネットワークの印刷ジョブがキャンセルされるまでの時間を設定します。
バナーページ オフ * オン	バナーページを印刷します。
ポートの範囲	ポートをブロックしているファイアウォールの背後にあるプリンタに対して、有効なポート範囲を指定します。
ネットワーク接続を有効化 オフ オン *	プリンタのネットワーク接続を有効にします。
LLDP を有効化 オフ * オン	プリンタにリンク層ディスカバリプロトコル(LLDP)を有効にします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

ワイヤレス

メモ: このメニューは、Wi-Fi ネットワークに接続されているプリンタ、またはワイヤレスネットワークアダプタが内蔵されているプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
モバイルアプリを使用した設定	Lexmark モバイルアシスタントを使用して Wi-Fi 接続を設定します。

メニュー項目	説明
プリンタパネルで設定 ネットワークを選択 Wi-Fi ネットワークを追加 ネットワーク名 ネットワークモード インフラストラクチャ ワイヤレスセキュリティモード 無効 * WEP WPA2/WPA - Personal WPA2 - Personal 802.1x - RADIUS	操作パネルを使用して Wi-Fi 接続を設定します。 メモ: 802.1x - RADIUS は、Embedded Web Server からのみ設定できます。
WPS(Wi-Fi Protected Setup) WPS 自動検出 オフ オン * プッシュボタン方式を開始 暗証番号方式を開始	Wi-Fi ネットワークを確立して、ネットワークセキュリティを有効にします。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> WPS 自動検出は、[ワイヤレスセキュリティモード]が[WEP]に設定されている場合にのみ表示されます。 [プッシュボタン方式を開始]を選択した場合、プリンタとアクセスポイント(ワイヤレスルーター)の両方のボタンを一定時間内に押すと、プリンタが Wi-Fi ネットワークに接続されます。 [暗証番号方式を開始]では、プリンタの暗証番号(PIN)がアクセスポイントのワイヤレス設定に入力されると、プリンタが Wi-Fi ネットワークに接続されます。
ネットワークモード BSS の種類 インフラストラクチャ *	ネットワークモードを指定します。
互換性 802.11b/g/n(2.4GHz) * 802.11a/b/g/n/ac(2.4GHz/5GHz) 802.11a/n/ac(5GHz)	Wi-Fi ネットワークの規格を指定します。 メモ: 802.11a/b/g/n/ac(2.4GHz/5GHz)および 802.11a/n/ac(5GHz)は、Wi-Fi オプションがインストールされている場合にのみ表示されます。
ワイヤレスセキュリティモード 無効 * WEP WPA2/WPA - Personal WPA2 - Personal 802.1x - RADIUS	プリンタを Wi-Fi デバイスに接続する際のセキュリティモードを設定します。 メモ: 802.1x - RADIUS は、Embedded Web Server からのみ設定できます。
WEP 認証モード 自動 * オープン 共有	プリンタの WEP(Wireless Encryption Protocol)の種類を設定します。 メモ: このメニュー項目は、[ワイヤレスセキュリティモード]が[WEP]に設定されている場合にのみ表示されます。
WEP キーを設定	安全な Wi-Fi 接続のための WEP パスワードを指定します。
WPA2/WPA - Personal AES	WPA(Wi-Fi Protected Access)を使用した Wi-Fi セキュリティを有効化します。 メモ: このメニュー項目は、[ワイヤレスセキュリティモード]が[WPA2/WPA - Personal]に設定されている場合にのみ表示されます。
事前共有キーを設定	安全な Wi-Fi 接続のためのパスワードを指定します。

メニュー項目	説明
WPA2 - Personal AES	WPA2 を使用した Wi-Fi セキュリティを有効化します。 メモ: このメニュー項目は、[ワイヤレスセキュリティモード]が[WPA2 - Personal]に設定されている場合にのみ表示されます。
802.1x 暗号化モード WPA+ WPA2 *	802.1x 規格を使用した Wi-Fi セキュリティを有効化します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> このメニュー項目は、[ワイヤレスセキュリティモード]が[802.1x - RADIUS]に設定されている場合にのみ表示されます。 802.1x - RADIUS は、Embedded Web Server からのみ設定できます。
IPv4 DHCP を有効化 オン * オフ 静的 IP アドレスを設定 IP アドレス ネットマスク ゲートウェイ	プリンタの IPv4 設定を有効化して設定します。
IPv6 IPv6 を有効化 オン * オフ DHCPv6 を有効化 オン オフ * ステートレスアドレスの自動設定 オン * オフ DNS サーバーアドレス IPv6 アドレスの手動割り当て IPv6 ルーターの手動割り当て アドレスプレフィックス すべての IPv6 アドレス すべての IPv6 ルーターアドレス	プリンタの IPv6 設定を有効化して設定します。
ネットワークアドレス UAA LAA	ネットワークアドレスを表示します。
PCL スマートスイッチ オフ オン *	印刷ジョブが必要な場合、初期設定のプリンタ言語に関係なく、自動的に PCL エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: [PCL スマートスイッチ]がオフの場合、プリンタは受信データを確認せず、設定メニューで指定された初期設定のプリンタ言語が使用されます。
PS スマートスイッチ オフ オン *	印刷ジョブが必要な場合、初期設定のプリンタ言語に関係なく、自動的に PS エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: [PS スマートスイッチ]がオフの場合、プリンタは受信データを確認せず、設定メニューで指定された初期設定のプリンタ言語が使用されます。

メニュー項目	説明
ジョブバッファ オン オフ*	印刷を実行する前に、プリンタのハードディスクに印刷ジョブを一時保存します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
Mac バイナリ PS 自動* オン オフ	Macintosh のバイナリ PostScript の印刷ジョブを処理するように設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [オン]を選択すると、Raw バイナリ PostScript の印刷ジョブが処理されます。 • [オフ]を選択すると、標準プロトコルによって印刷ジョブがフィルタリングされます。

wifi ダイレクト

メニュー項目	説明
wifi ダイレクトを有効化 オン オフ*	Wi-Fi デバイスに直接接続するように、プリンタを設定します。
wifi ダイレクト名	wifi ダイレクトネットワークの名前を指定します。
wifi ダイレクトのパスワード	Wi-Fi 接続時にユーザーを認証および検証するためのパスワードを設定します。
設定ページにパスワードを表示 オフ オン*	ネットワーク設定ページに wifi ダイレクトのパスワードを表示します。
優先チャネル番号 1 ~ 11 自動*	Wi-Fi ネットワークの優先チャネルを設定します。
グループオーナー IP アドレス	グループオーナーの IP アドレスを指定します。
自動受け付けプッシュボタン要求 オフ* オン	ネットワークに自動的に接続する要求を承諾します。 メモ: クライアントの自動承諾はセキュリティ保護されません。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

イーサネット

メニュー項目	説明
ネットワーク速度	アクティブなネットワークアダプタの速度を表示します。
IPv4 DHCP を有効化(オン*) 静的 IP アドレスを設定	IPv4 設定を行います。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
IPv6 IPv6 を有効化(オン*) DHCPv6 を有効化(オフ*) ステートレスアドレスの自動設定(オン*) DNS サーバーアドレス IPv6 アドレスの手動割り当て IPv6 ルーターの手動割り当て アドレスプレフィックス(64*) すべての IPv6 アドレス すべての IPv6 ルーターアドレス	IPv6 設定を行います。
ネットワークアドレス UAA LAA	ネットワークアドレスを指定します。
PCL スマートスイッチ オフ オン*	印刷ジョブが必要な場合、初期設定のプリンタ言語に関係なく、自動的に PCL エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: この設定が無効化されているときは、プリンタは受信データを確認せず、[設定]メニューで指定されている初期設定のプリンタ言語が使用されます。
PS スマートスイッチ オフ オン*	印刷ジョブが必要な場合、初期設定のプリンタ言語に関係なく、自動的に PostScript エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: この設定が無効化されているときは、プリンタは受信データを確認せず、[設定]メニューで指定されている初期設定のプリンタ言語が使用されます。
ジョブバッファ オフ* オン	印刷前にジョブをハードディスクに一時的に保存します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
Mac バイナリ PS 自動* オン オフ	Macintosh のバイナリ PostScript の印刷ジョブを処理するように設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> [自動]を選択すると、Windows または Macintosh オペレーティングシステムを使用するコンピュータからの印刷ジョブを処理します。 [オフ]を選択すると、標準プロトコルによって PostScript 印刷ジョブがフィルタリングされます。
省電力型イーサネット オン オフ 自動*	プリンタがイーサネットネットワークからデータを受信しない場合に、電力消費を節約します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

TCP/IP

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタ、またはプリントサーバーに接続されているプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
ホスト名を設定	現在の TCP/IP ホスト名を設定します。
ドメイン名	ドメイン名を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
DHCP/BOOTP による NTP サーバーの更新を許可 オン* オフ	DHCP および BOOTP クライアントによる、プリンタの NTP 設定の更新を許可します。
ゼロコンフィグレーション名	ゼロコンフィグレーションネットワークのサービス名を指定します。
自動 IP を有効化 オフ* オン	IP アドレスを自動的に割り当てます。
DNS サーバーアドレス	現在のドメイン名システム (DNS) サーバーアドレスを指定します。
バックアップ DNS アドレス	バックアップ DNS サーバーアドレスを指定します。
バックアップ DNS アドレス 2	
バックアップ DNS アドレス 3	
ドメイン検索順序	ドメイン名のリストを指定して、ネットワーク上の異なるドメインに存在するプリンタとそのリソースを確認します。
DDNS を有効化 オフ* オン	動的 DNS 設定を更新します。
DDNS TTL	現在の DDNS 設定を指定します。
初期設定 TTL	
DDNS 更新時間	
mDNS を有効化 オフ オン*	マルチキャスト DNS 設定を更新します。
WINS サーバーアドレス	Windows インターネットネームサービス (WINS) のサーバーアドレスを指定します。
BOOTP を有効化 オフ* オン	BOOTP によるプリンタの IP アドレスの割り当てを許可します。
制限サーバーリスト	TCP/IP 経由でプリンタとの通信を許可する IP アドレスを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none">各 IP アドレスはカンマで区切ります。最大 50 件の IP アドレスを追加できます。
制限サーバーリストのオプション すべてのポートをブロック* 印刷のみをブロック 印刷および HTTP のみをブロック	リストにない IP アドレスのアクセスオプションを指定します。
MTU 256-1500 イーサネット (1500*)	TCP 接続のための最大伝送単位 (MTU) パラメータを指定します。
RAW 印刷ポート 1-65535 (9100*)	ネットワーク上で接続されるプリンタの RAW ポート番号を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク (*) は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
アウトバウンドトラフィックの最高速度 オフ* オン	プリンタの最大転送速度を設定します。 メモ: 有効にすると、この設定のオプションは 100 ~ 1000000 キロビット/秒になります。
TLSv1.0 を有効化 オフ オン*	TLSv1.0 プロトコルを有効にします。
TLSv1.1 を有効化 オフ オン*	TLSv1.1 プロトコルを有効にします。
SSL 暗号リスト	SSL 接続または TLS 接続に使用する暗号アルゴリズムを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

SNMP

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続したプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
SNMP バージョン 1 および 2c 有効 オフ オン* SNMP の設定を許可 オフ オン* PPM MIB を有効化 オフ オン* SNMP コミュニティ	簡易ネットワーク管理プロトコル(SNMP)のバージョン 1 および 2c を設定して、プリンタドライバとアプリケーションをインストールします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
SNMP バージョン 3 有効 オフ オン * コンテキスト名 読み取り/書き込み認証資格情報の設定 ユーザー名 認証パスワード プライバシーパスワード 読み取り専用認証資格情報の設定 ユーザー名 認証パスワード プライバシーパスワード 認証ハッシュ MD5 SHA1 * 最小認証レベル 認証なし、暗号化なし 認証あり、暗号化なし 認証あり、暗号化あり * 暗号化アルゴリズム DES AES-128 *	SNMP バージョン 3 を設定して、プリンタセキュリティをインストールおよび更新します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

IPSec

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続したプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
IPSec を有効化 オフ オン *	IPSec (Internet Protocol Security) を有効にします。
基本構成 初期設定 * 互換性 セキュア	IPSec の基本構成を設定します。
DH (Diffie-Hellman) グループ提案 modp2048 (14) * modp3072 (15) modp4096 (16) modp6144 (17)	IPSec の基本構成を設定します。 メモ: このメニュー項目は、[基本構成]が[互換性]に設定されている場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
提案された暗号化方式 3DES AES *	暗号化方式を設定します。 メモ: このメニュー項目は、[基本構成]が[互換性]に設定されている場合にのみ表示されます。
提案された認証方式 SHA1 SHA256 * SHA512	認証方法を設定します。 メモ: このメニュー項目は、[基本構成]が[互換性]に設定されている場合にのみ表示されます。
IKE SA の寿命(時間) 1 2 4 8 24 *	IKE SA の有効期限を指定します。 メモ: このメニュー項目は、[基本構成]が[セキュア]に設定されている場合にのみ表示されます。
IPsec SA の寿命(時間) 1 2 4 8 * 24	IPsec SA の有効期限を指定します。 メモ: このメニュー項目は、[基本構成]が[セキュア]に設定されている場合にのみ表示されます。
IPsec デバイス証明書	IPsec 証明書を指定します。
事前共有鍵で認証された接続 ホスト [x]	プリンタの認証済みの接続を設定します。
証明書で認証された接続 ホスト [x] アドレス[/サブネット]	
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

802.1x

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続したプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
有効 オフ * オン	アクセスを許可する前に認証を要求するネットワークにプリンタが参加できるようにします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

LPD 構成設定

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続したプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
LPD タイムアウト 0 ~ 65535 秒 (90 *)	タイムアウト値を設定して、Line Printer Daemon (LPD) サーバーが停止または無効な印刷ジョブのために無制限に待機しないようにします。
LPD バナーページ オフ * オン	すべての LPD 印刷ジョブのバナーページを印刷します。 メモ: バナーページは、印刷ジョブの最初のページで、印刷ジョブの区切りとして使用され、印刷ジョブ要求の送信元を識別します。
LPD トレーラページ オフ * オン	すべての LPD 印刷ジョブのトレーラページを印刷します。 メモ: トレーラページは、印刷ジョブの最後のページです。
LPD キャリッジリターン変換 オフ * オン	キャリッジリターン変換を有効にします。 メモ: キャリッジリターンは、同じ線上の最初の位置にカーソルを移動するようにプリンタに命令するメカニズムです。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

HTTP/FTP の設定

メニュー項目	説明
HTTP サーバーを有効化 オフ オン *	EWS にアクセスして、プリンタの監視および管理を行います。
HTTPS を有効化 オフ オン *	ハイパーテキスト転送プロトコルセキュア (HTTPS) を有効にして、プリントサーバーとの間で転送されるデータを暗号化します。
強制 HTTPS 接続 オン オフ *	強制的にプリンタが HTTPS で接続するようにします。
FTP/TFTP を有効化 オフ オン *	FTP/TFTP を使用して、ファイルを送信します。
ローカルドメイン	HTTP および FTP サーバーのドメイン名を指定します。
HTTP プロキシ IP アドレス	HTTP および FTP サーバーの設定を設定します。
FTP プロキシ IP アドレス	
HTTP 標準 IP ポート	
HTTPS デバイス証明書	
FTP 標準 IP ポート	
HTTP/FTP 要求のタイムアウト 1-299 (30 *)	サーバー接続が停止するまでの時間を指定します。
HTTP/FTP 要求の再試行回数 1-299 (3 *)	HTTP/FTP サーバーへの接続を再試行する回数を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

ThinPrint

メニュー項目	説明
ThinPrint を有効化 オフ* オン	ThinPrint を使用して印刷します。
ポート番号 4000 ~ 4999(4000*)	ThinPrint サーバーのポート番号を設定します。
帯域幅(ビット/秒) 100 ~ 1000000(0*)	ThinPrint 環境でデータを転送する速度を設定します。
パケットサイズ(KB) 0 ~ 64000(0*)	データ転送のパケットサイズを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

USB

メニュー項目	説明
PCL スマートスイッチ オフ オン*	USB ポート経由で受信された印刷ジョブが必要な場合、初期設定のプリンタ言語に関係なく、PCL エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: この設定が無効化されているときは、プリンタは受信データを確認せず、[設定]メニューで指定されている初期設定のプリンタ言語が使用されます。
PS スマートスイッチ オフ オン*	USB ポート経由で受信された印刷ジョブが必要な場合、初期設定のプリンタ言語に関係なく、PostScript エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: この設定が無効化されているときは、プリンタは受信データを確認せず、[設定]メニューで指定されている初期設定のプリンタ言語が使用されます。
ジョブバッファ オフ* オン	印刷前にジョブをハードディスクに一時的に保存します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
Mac バイナリ PS 自動* オン オフ	Macintosh のバイナリ PostScript の印刷ジョブを処理するように設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> [自動]を選択すると、Windows または Macintosh オペレーティングシステムを使用するコンピュータからの印刷ジョブを処理します。 [オフ]を選択すると、標準プロトコルによって PostScript 印刷ジョブがフィルタリングされます。
USB ポートを有効化 オフ オン*	前面 USB ドライブポートを有効にします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

外部ネットワークアクセスの制限

メニュー項目	説明
外部ネットワークアクセスの制限 オフ* オン	ネットワークサイトへのアクセスを制限します。
外部ネットワークアドレス	制限されたアクセスでのネットワークアドレスを指定します。
通知を送信する E メールアドレス	ログに記録されたイベントの通知を送信する E メールアドレスを指定します。
Ping 頻度 1 ~ 300(10*)	ネットワーククエリの間隔を秒単位で指定します。
件名	通知 E メール の件名とメッセージを指定します。
メッセージ	
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

セキュリティ

ログイン方式

権限を管理

メニュー項目	説明
機能アクセス アプリ内のアドレス帳にアクセス アドレス帳を変更 ショートカット管理 プロファイルの作成 ブックマークの管理 フラッシュドライブ印刷 フラッシュドライブスキャン コピー機能 カラードロップアウト E メール機能 Fax 機能 FTP 機能 保留 Fax のリリース 保持されたジョブへのアクセス ユーザープロファイル デバイスのジョブを中止 言語を変更 インターネット印刷プロトコル(IPP) リモートスキャンを開始 B/W 印刷 ネットワークフォルダ - スキャン	プリンタ機能へのアクセスを制御します。

メニュー項目	説明
管理者メニュー セキュリティメニュー ネットワーク/ポートメニュー 用紙メニュー レポートメニュー 機能設定メニュー 消耗品メニュー オプションカードメニュー SE メニュー デバイスメニュー	プリンタメニュー設定へのアクセスを制御します。
デバイス管理 リモート管理 ファームウェア更新 アプリケーション構成設定 操作パネルロック すべての設定をインポート/エクスポート 未使用時の消去 Embedded Web Server へのアクセス	プリンタ管理オプションへのアクセスを制御します。
アプリ 新しいアプリケーション スライドショー 壁紙を変更 スクリーンセーバー ID カードコピー スキャンセンター カスタムスキャンセンター 1 カスタムスキャンセンター 2 カスタムスキャンセンター 3 カスタムスキャンセンター 4 カスタムスキャンセンター 5 カスタムスキャンセンター 6 カスタムスキャンセンター 7 カスタムスキャンセンター 8 カスタムスキャンセンター 9 カスタムスキャンセンター 10 用紙とお気に入り	プリンタのアプリケーションへのアクセスを制御します。

ローカルアカウント

メニュー項目	説明
グループ/権限を管理	プリンタに保存されているすべてのグループを一覧表示します。
ユーザーを追加 ユーザー名/パスワード ユーザー名 パスワード 暗証番号	ローカルアカウントを作成し、プリンタ機能、管理メニュー、プリンタ管理オプション、およびアプリケーションへのアクセス権を指定します。

USB デバイスのスケジュール

メニュー項目	説明
スケジュール 新しいスケジュールを追加	前面 USB ポートへのアクセスをスケジュールします。

セキュリティ監査ログ

メニュー項目	説明
監査を有効化 オフ* オン	セキュリティ監査ログとリモート Syslog にイベントを記録します。
リモート Syslog を有効化 オフ* オン	監査ログをリモートサーバーに送信します。
リモート Syslog サーバー	リモート Syslog サーバーを指定します。
リモート Syslog ポート 1 ~ 65535(514*)	リモート Syslog ポートを指定します。
リモート Syslog 方式 標準 UDP* スプリットトンネリング	ログに記録されたイベントをリモートサーバに送信する Syslog 方式を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
リモート Syslog ファシリティ 0 - カーネルメッセージ 1 - ユーザーレベルメッセージ 2 - メールシステム 3 - システムデーモン 4 - セキュリティ/認証メッセージ * 5 - Syslog で内部的に生成されたメッセージ 6 - ラインプリンタサブシステム 7 - ネットワークニュースサブシステム 8 - UUCP サブシステム 9 - クロックデーモン 10 - セキュリティ/承認メッセージ 11 - FTP デーモン 12 - NTP サブシステム 13 - ログ監査 14 - ログアラート 15 - クロックデーモン 16 - ローカル使用 0(local0) 17 - ローカル使用 1(local1) 18 - ローカル使用 2(local2) 19 - ローカル使用 3(local3) 20 - ローカル使用 4(local4) 21 - ローカル使用 5(local5) 22 - ローカル使用 6(local6) 23 - ローカル使用 7(local7)	リモートサーバーにログイベントを送信する際に、プリンタが使用するファシリティコードを指定します。
ログ記録するイベントの重要度 0 - 緊急 1 - アラート 2 - クリティカル 3 - エラー 4 - 警告 * 5 - 通知 6 - 情報 7 - デバッグ	メッセージとイベントを記録するための優先度レベル条件を指定します。
ログ記録されていないイベントをリモート Syslog サーバーへ送付 オフ * オン	重要度に関係なく、すべてのイベントがリモートサーバーに送信されます。
管理者の E メールアドレス	記録されたイベントの E メール通知が管理者に送信されます。
ログ消去 E メールアラート オフ * オン	ログエントリが削除された場合、E メール通知が管理者に送信されます。
E メールログラップアラート オフ * オン	E メールログラップアラートログが満杯になり、最も古いエントリの上書きが開始される場合、E メール通知が管理者に送信されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ログ保存容量オーバー時の動作 最も古いエントリに上書き* ログを E メール送信し、全エントリを削除	割り当てられたメモリがログで満杯になった場合、ログ保存の問題を解決します。
E メール % フルアラート オフ* オン	割り当てられたメモリがログで満杯になった場合、E メール通知が管理者に送信されます。
ログ容量アラートの通知レベル 1 ~ 99(90*)	
ログエクスポート E メールアラート オフ* オン	ログがエクスポートされた場合、E メール通知が管理者に送信されます。
ログ設定変更 E メールアラート オフ* オン	[監査を有効化]が設定された場合、E メール通知が管理者に送信されます。
ログの改行コード LF(\n)* CR(\r) CRLF(\r\n)	ログファイルの各行の末尾の終了方法を指定します。
エクスポートにデジタル署名を追加 オフ* オン	エクスポートされた各ログファイルにデジタル署名を追加します。
ログをクリア	すべての監査ログを削除します。
ログをエクスポート Syslog(RFC 5424) Syslog(RFC 3164) CSV	セキュリティログをフラッシュメモリにエクスポートします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

ログイン制限

メニュー項目	説明
ログイン失敗許容回数 1 ~ 10(3*)	ユーザーがロックアウトされる前にログイン失敗できる回数を指定します。
ログイン失敗許容時間 1 ~ 60 分(5*)	ユーザーがロックアウトされる前にログイン失敗できる時間枠を指定します。
ロックアウト時間 1 ~ 60 分(5*)	ロックアウト時間を指定します。
Web ログインのタイムアウト 1 ~ 120 分(10*)	ユーザーが自動的にログオフされる前のリモートログインの遅延を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

コンフィデンシャル印刷設定

メニュー項目	説明
無効暗証番号許容回数 2 ～ 10	無効な暗証番号を入力できる回数を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 値を 0 にすると、この設定はオフになります。 • この上限回数に達すると、該当するユーザー名と暗証番号 (PIN) に対する印刷ジョブが削除されます。
コンフィデンシャルジョブ期限切れ オフ * 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	コンフィデンシャル印刷ジョブの有効期限を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • コンフィデンシャル印刷ジョブがプリンタのメモリまたはハードディスクにあるときにこのメニュー項目が変更された場合、それらの印刷ジョブの有効期限は新しい設定値に変更されません。 • プリンタの電源がオフになると、プリンタのメモリにあったコンフィデンシャルジョブはすべて削除されます。
期限切れジョブの繰り返し オフ * 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	繰り返す印刷ジョブの有効期限を設定します。
期限切れジョブの確認 オフ * 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	残りのコピーを印刷する前に、ユーザーが印刷品質を確認するためのコピーの印刷を実行する有効期限を設定します。
期限切れジョブの予約 オフ * 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	後で印刷する予約印刷ジョブがプリンタに保存される有効期限を設定します。
すべてのジョブを保留にする オフ * オン	すべての印刷ジョブを保留にするようにプリンタを設定します。
重複ドキュメントを維持 オフ * オン	同じファイル名の別のドキュメントを、印刷ジョブを上書きせず印刷するようにプリンタを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク (*) は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

ディスク暗号化

メモ: このメニューはハードディスクがある場合にのみ表示されます。

メニュー項目	説明
状態 有効 無効	ディスク暗号化を有効にします。
暗号化を開始	

一時データファイルの消去

メニュー項目	説明
オンボードメモリ内 オフ* オン	プリンタのメモリに保存されているすべてのファイルを削除します。
ハードディスクに保存 1 回のパス消去* 3 回のパス消去 7 回のパス消去	プリンタのハードディスクに保存されているすべてのファイルを削除します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタにハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

ソリューション LDAP 設定

メニュー項目	説明
LDAP 参照を許可 オフ* オン	ドメイン内の異なるサーバーでログインしているユーザーアカウントを検索します。
LDAP 証明書の確認 はい いいえ*	LDAP 証明書の検証を有効にします。

その他

メニュー項目	説明
保護された機能 表示* 非表示	ユーザーに与えられたアクセス権に関係なく、機能アクセス制御(FAC)で保護される機能をすべて表示します。 メモ: [非表示]は、ユーザーがアクセス権を持つ保護された FAC 機能だけを表示します。
印刷許可 オフ* オン	印刷前のユーザーログインを許可します。
初期設定の印刷許可ログイン ユーザー名/パスワード* ユーザー名	印刷許可に関する初期設定のログインを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
セキュリティリセット設定 [[ゲスト]アクセスを有効化 * 効果なし	プリンタにユーザーアクセスを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> ジャンパーは、コントローラボードのロックアイコンの横にあります。 [[ゲスト]アクセスを有効化]を使用すると、すべてのユーザーがプリンタのあらゆる機能にアクセスできます。 効果なしを使用すると、必要とされるセキュリティ情報がない場合に、プリンタにアクセスできないようにすることができます。
最小パスワードの長さ 0 ~ 32	パスワードの長さを指定します。
パスワード/PIN 表示を有効化	パスワードまたは個人 ID 番号を表示します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

レポート

メニュー設定印刷

メニュー項目	説明
メニュー設定印刷	プリンタメニューを含むレポートを印刷します。

デバイス

メニュー項目	説明
デバイス情報	プリンタに関する情報が記載されているレポートを印刷します。
デバイス統計	プリンタ使用方法と消耗品の状態に関するレポートを印刷します。
プロファイル一覧	プリンタに保存されているプロファイルの一覧を印刷します。
監査レポート	プリンタのシリアル番号や機種名を含むレポートを印刷します。

印刷

メニュー項目	説明
フォントを印刷 PCL フォント PS フォント	各プリンタ言語で使用可能なフォントのサンプルと情報を印刷します。
印刷デモ デモページ	プリンタの機能およびサポートされているソリューションが記載されているページを印刷します。
ファイルディレクトリを印刷	フラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクに保存されているリソースを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、フラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクがある場合にのみ表示されます。

ショートカット

メニュー項目	説明
すべてのショートカット	プリンタに保存されているショートカット一覧のレポートを印刷します。
FAX ショートカット	
コピーショートカット	
E メールショートカット	
FTP ショートカット	
ネットワークフォルダのショートカット	

Fax

メモ: このメニューは、FAX が設定されていて、[ジョブログを有効化]が[オン]に設定されている場合にのみ表示されます。

メニュー項目	説明
FAX ジョブのログ	過去 200 件の完了した FAX ジョブに関するレポートを印刷します。
FAX 通信ログ	ダイヤル、受信、ブロックされた過去 100 件の FAX に関するレポートを印刷します。

ネットワーク

メニュー項目	説明
ネットワーク設定ページ	プリンタで設定されているネットワーク設定およびワイヤレス設定が記載されているページを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、ネットワークプリンタ(またはプリントサーバーに接続されているプリンタ)でのみ表示されます。
Wi-Fi Direct に接続されているクライアント	wifi ダイレクトを使用してプリンタに接続されているデバイスのリストを表示するページを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、[wifi ダイレクトを有効化]が[オン]に設定されている場合にのみ表示されます。

ヘルプ

メニュー項目	説明
すべてのガイドを印刷	すべてのガイドを印刷します。
接続ガイド	プリンタをローカル接続(USB)またはネットワーク接続する方法を説明します。
コピーガイド	コピーの作成および設定の構成に関する情報を提供します。
E メールガイド	E メールの送信および設定の構成に関する情報を提供します。
FAX ガイド	FAX の送信および設定の構成に関する情報を提供します。
FTP ガイド	ドキュメントのスキャンおよび設定の構成に関する情報を提供します。
情報ガイド	プリンタのその他の情報源について説明します。
用紙ガイド	用紙および普通紙以外の用紙のセット方法を説明します。

メニュー項目	説明
モノクロ品質ガイド	モノクロ印刷品質の設定を説明します。
移動ガイド	プリンタの移動、配置、搬送について説明します。
印刷品質ガイド	印刷品質の問題を解決する方法を説明します。
消耗品ガイド	消耗品の注文について説明します。

トラブルシューティング

メニュー項目	説明
印刷品質テストページ	サンプルページを印刷し、印刷品質の不良を特定して修正します。
スキャナの清掃	スキャナの清掃手順を印刷します。

メニュー設定ページを印刷する

ホーム画面で、[設定] > [レポート] > [メニュー設定ページ]をタッチします。

プリンタを保護する

セキュリティスロットの場所

プリンタにはセキュリティロック機能があります。大半のノート型パソコンと互換性のあるセキュリティロックを図に示した場所に取り付けて、プリンタの盗難を防止できます。



プリンタメモリを消去する

揮発性メモリまたはバッファされているデータを消去するには、プリンタの電源をオフにします。

非揮発性メモリまたは個々の設定、デバイスおよびネットワークの設定、セキュリティ設定、および組込みソリューションを消去するには、以下を行います。

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [データ完全消去]をタッチします。
- 2 [不揮発性メモリにあるすべての情報を消去]チェックボックスを選択し、[消去]をタッチします。
- 3 [初期設定ウィザードを起動する]または[プリンタをオフラインのままにする]を選択し、[次へ]を押します。
- 4 操作が開始されます。

プリンタハードディスクメモリを消去する

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [データ完全消去]をタッチします。
- 2 [ハードディスクのすべての情報を消去]のチェックボックスを選択し、[消去]をタッチします。
- 3 データを消去する方法を選択します。
- 4 操作が開始されます。

メモ: このプロセスには、数分から 1 時間以上かかります。この間は、プリンタを他の処理に使用できません。

プリンタのハードディスクを暗号化する

このプロセスにより、ハードディスクの内容がすべて消去されます。必要に応じて、暗号化を開始する前にプリンタの重要データをバックアップします。

- 1 ホーム画面で、[設定] > [セキュリティ] > [ディスクの暗号化] > [暗号化を開始する]にタッチします。
- 2 ディスプレイに表示される手順に従います。

メモ:

- データを損失することがないように、暗号化処理中はプリンタの電源を切らないでください。
- このプロセスには、数分から 1 時間以上かかります。この間は、プリンタを他の処理に使用できません。
- 暗号化の完了後、プリンタは自動的に再起動します。

出荷時初期設定を復元する

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [工場出荷時状態に復元]をタッチします。
- 2 [設定を復元]をタッチして > 復元する設定を選択し > [復元]をタッチします。
- 3 操作が開始されます。

揮発性に関する記述

メモリのタイプ	説明
揮発性メモリ	本機では、単純な印刷ジョブやコピージョブ時にユーザーデータを一時的にバッファに格納するために標準的なランダムアクセスメモリ(RAM)を使用します。
不揮発性メモリ	本機では、2つの形態の不揮発性メモリが使用されています。EEPROM および NAND(フラッシュメモリ)の2つの形態の不揮発性メモリが使用されています。両タイプ共、オペレーティングシステム(OS)やプリンタの設定、ネットワーク情報、スキャナやブックマークの設定、組込みソリューションの保存に使用されます。
ハードディスクメモリ	一部のプリンタには、ハードディスクドライブが搭載されている場合があります。プリンタのハードディスクは、各プリンタ固有の機能に対応するように設計されています。ハードディスクがあることにより、複雑な印刷ジョブでバッファに保存されたユーザーデータ、用紙データ、フォントデータをプリンタが保持できます。

次の状況では、取り付けられたプリンタメモリの内容を消去してください。

- プリンタを廃棄する
- プリンタのハードディスクを交換する
- プリンタを別の部門または場所に移動する
- 外部の業者がプリンタを修理する
- プリンタが修理のために社外に搬送される
- プリンタが別の会社売却される

ハードドライブの廃棄

- 消磁 – 磁場を使用してハードドライブをフラッシュし、保存されているデータを消去する
- 破碎 – ハードディスクを物理的に圧縮して構成部品を破壊し、読み取りを不可能にする
- 裁断 – ハードディスクが小さな金属片になるまで物理的に切断する

メモ: すべてのデータの完全な消去を確実にするには、データが保存されていたすべてのハードディスクを物理的に破壊します。

プリンタのメンテナンス

警告—破損の恐れあり: 最適なプリンタのパフォーマンスを維持できない場合や、部品や消耗品を交換できない場合は、プリンタの損傷が生じるおそれがあります。

消耗品通知を設定する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [デバイス] > [通知]をクリックします。
- 3 [消耗品]メニューの[消耗品のカスタム通知]をクリックします。
- 4 各消耗品の通知を選択します。
- 5 変更を適用します。

E メールアラートをセットアップする

消耗品が低下した場合、用紙を交換または追加する必要がある場合、または紙詰まりが発生した場合は、E メールアラートを送信するように設定します。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > > [デバイス] > [通知] > > [E メールアラート設定]の順にクリックし、設定を構成します。

メモ: SMTP 設定の詳細については、E メールプロバイダにお問い合わせください。

- 3 [E メールリストおよびアラートの設定]をクリックし、設定を構成します。
- 4 変更を適用します。

レポートを表示する

- 1 ホーム画面で、[設定] > [レポート]の順にタッチします。
- 2 表示するレポートを選択します。

スピーカー音量の調整

初期設定のヘッドホン音量を調整する

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。
[設定] > [デバイス] > [ユーザー補助機能]

- 2 ヘッドホンの音量を調整します。

メモ: セッションをログアウトした後、またはプリンタがスリープモードや休止モードから復帰したときに、音量は初期設定値にリセットされます。

FAX スピーカー設定を行う

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、[「プリンタを設定して FAX を送信する」](#)、64 ページを参照してください。

- 1 ホーム画面で、[設定] > [FAX] > [FAX 設定] > [スピーカー設定]の順にタッチします。
- 2 以下の操作を実行します。
 - [スピーカーモード]を[常にオン]に設定します。
 - [スピーカー音量]を[大]に設定します。
 - [着信音]を有効にします。

ネットワーク

プリンタを Wi-Fi ネットワークに接続する

アクティブアダプタが自動的に設定されていることを確認します。ホーム画面で、[設定] > [ネットワーク/ポート] > [ネットワークの概要] > [アクティブアダプタ]をタッチします。

操作パネルを使用する

- 1 ホーム画面で、[設定] > [ネットワーク/ポート] > [ワイヤレス] > [プリンタパネルで設定] > [ネットワークを選択]をタッチします。
- 2 Wi-Fi ネットワークを選択して、ネットワークパスワードを入力します。

メモ: Wi-Fi ネットワーク対応のプリンタ機種では、初期セットアップ中に Wi-Fi ネットワークの設定を求めるメッセージが表示されます。

Lexmark モバイルアシスタントを使用する

- 1 お使いのモバイルデバイスに応じて、Google Play ストアまたは App Store から Lexmark モバイルアシスタントアプリケーションをダウンロードします。
- 2 プリンタのホーム画面で、[設定] > [ネットワーク/ポート] > [ワイヤレス] > [モバイルアプリを使用した設定] > [プリンタ ID]をタッチします。

3 モバイルデバイスからアプリケーションを起動して、利用規約に同意します。

メモ: 必要に応じて、権限を付与します。

4 [プリンタに接続] > [Wi-Fi 設定に移動]をタップします。

5 モバイルデバイスをプリンタのワイヤレスネットワークに接続します。

6 アプリケーションに戻り、[Wi-Fi 接続の設定]をタップします。

7 Wi-Fi ネットワークを選択して、ネットワークパスワードを入力します。

8 [完了]をタップします。

WPS(Wi-Fi Protected Setup)を使用してワイヤレスネットワークにプリンタを接続する

はじめに、次の点を確認してください。

- アクセスポイント(ワイヤレスルーター)が WPS(Wi-Fi Protected Setup)認定または互換である。詳細については、お使いのアクセスポイントに付属のマニュアルを参照してください。
- ワイヤレスネットワークアダプタがプリンタに取り付けられている。詳細については、アダプタに付属の説明書を参照してください。
- [アクティブアダプタ]が[自動]に設定されている。ホーム画面で、[設定] > [ネットワーク/ポート] > [ネットワークの概要] > [アクティブアダプタ]をタッチします。

プッシュボタン方式を使用する場合

- 1 ホーム画面で、[設定] > [ネットワーク/ポート] > [ワイヤレス] > [WPS(Wi-Fi Protected Setup)] > [プッシュボタン方式を開始]をタッチします。
- 2 ディスプレイに表示される手順に従います。

個人 ID 番号(PIN)方式を使用する場合

- 1 ホーム画面で、[設定] > [ネットワーク/ポート] > [ワイヤレス] > [WPS(Wi-Fi Protected Setup)] > [暗証番号方式を開始]をタッチします。
- 2 8 桁の WPS PIN をコピーします。
- 3 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにアクセスポイントの IP アドレスを入力します。

メモ:

- IP アドレスを確認するには、アクセスポイントに付属のマニュアルを参照してください。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効化し、Web ページを正しく読み込んでください。

- 4 WPS 設定にアクセスします。詳細については、お使いのアクセスポイントに付属のマニュアルを参照してください。
- 5 8 桁の PIN を入力して、変更を保存します。

wifi ダイレクトを設定する

wifi ダイレクト は、ワイヤレスデバイスがアクセスポイント(ワイヤレスルーター)を使用せずに直接、wifi ダイレクト対応プリンタに接続できるようにする、wifi ベースのピアツーピア技術です。

- 1 ホーム画面で、[設定] > [ネットワーク/ポート] > [wifi ダイレクト]をタッチします。
- 2 設定を行います。
 - [wifi ダイレクトを有効化] - プリンタが独自の wifi ダイレクトネットワークにブロードキャストできるようにします。
 - [wifi ダイレクト名] - wifi ダイレクトのネットワークに名前を割り当てます。
 - [wifi ダイレクトのパスワード] - ピアツーピア接続を使用しているときにワイヤレスセキュリティをネゴシエートするためのパスワードを割り当てます。
 - [設定ページにパスワードを表示] - ネットワーク設定ページにパスワードを表示します。
 - [自動受け付けプッシュボタン要求] - プリンタに接続要求を自動的に受け付けさせます。

メモ: プッシュボタン要求の自動承諾はセキュリティ保護されません。

メモ: wifi ダイレクトネットワークのパスワードを確認するには、ネットワーク設定ページを印刷します。ホーム画面で、[設定] > [レポート] > [ネットワーク] > [ネットワーク設定ページ]の順にタッチします。

プリンタにモバイルデバイスを接続する

モバイルデバイスを接続する前に、wifi ダイレクトが設定されていることを確認してください。詳細については、[「wifi ダイレクトを設定する」](#)、164 ページ を参照してください。

wifi ダイレクトを使用して接続する

メモ: 以下の手順は、Android モバイルデバイスにのみ適用されます。

- 1 モバイルデバイスから、[設定]メニューに移動します。
- 2 Wi-Fi を有効にして、[wifi ダイレクト]をタップします。
- 3 プリンタの wifi ダイレクト名を選択します。
- 4 プリンタ操作パネルの接続を確認します。

Wi-Fi を使用して接続する

- 1 モバイルデバイスから、[設定]メニューに移動します。
- 2 [Wi-Fi]をタップし、プリンタの wifi ダイレクト名を選択します。

メモ: 文字列 DIRECT-xy(x と y は 2 つのランダムな文字)が wifi ダイレクト名の前に追加されます。

- 3 wifi ダイレクトパスワードを入力します。

コンピュータをプリンタに接続する

コンピュータを接続する前に、以下の操作を実行します。

- プリンタで wifi ダイレクト を有効化します。ホーム画面で、[設定] > [ネットワーク/ポート] > [wifi ダイレクト] > [wifi ダイレクトを有効化] > [オン]をタッチします。
- wifi ダイレクトの名前をメモします。ホーム画面で、[設定] > [ネットワーク/ポート] > [wifi ダイレクト] > [wifi ダイレクト名]をタッチします。

- wifi ダイレクトのパスワードをメモします。ホーム画面で、[設定] > [ネットワーク/ポート] > [wifi ダイレクト] > [wifi ダイレクトパスワード]をタッチします。

メモ: wifi ダイレクトの名前とパスワードを設定することもできます。

Windows の場合

- 1 [プリンタとスキャナ]を開き、[プリンタまたはスキャナを追加]をクリックします。
- 2 [wifi ダイレクトプリンタを表示する]をクリックし、プリンタの wifi ダイレクト名を選択します。
- 3 プリンタのディスプレイから、プリンタの 8 桁の PIN をメモします。
- 4 コンピュータに PIN を入力します。

メモ: プリンタドライバがまだインストールされていない場合は、Windows によって適切なドライバがダウンロードされます。

Macintosh の場合

- 1 ワイヤレスアイコンをクリックし、プリンタの wifi ダイレクト名を選択します。

メモ: 文字列 DIRECT-xy(x と y は 2 つのランダムな文字)が wifi ダイレクト名の前に追加されます。

- 2 wifi ダイレクトのパスワードを入力します。

メモ: wifi ダイレクト接続から切断した後で、コンピュータを以前のネットワークに戻します。

Wi-Fi ネットワークの無効化

- 1 ホーム画面で、[設定] > [ネットワーク/ポート] > [ネットワークの概要] > [アクティブアダプタ] > [標準ネットワーク]をタッチします。
- 2 ディスプレイに表示される手順に従います。

内蔵ソリューションポートを取り付けた後でプリンタのポート設定を変更する

メモ:

- 静的な IP アドレスがプリンタに割り当てられている場合は、設定を変更しないでください。
- IP アドレスの代わりにネットワーク名を使用するようにコンピュータが設定されている場合は、設定を変更しないでください。
- 以前はイーサネット接続用に設定されていたプリンタにワイヤレス内蔵ソリューションポート(ISP)を追加する場合は、プリンタをイーサネットネットワークから切り離します。

Windows の場合

- 1 プリンタフォルダを開きます。
- 2 新しい ISP を追加したプリンタのショートカットメニューから、プリンタのプロパティを開きます。
- 3 リストからポートを設定します。
- 4 IP アドレスを更新します。
- 5 変更を適用します。

Macintosh の場合

- 1 アップルメニューの「システム環境設定」から、プリンタの一覧に移動して、「+ > IP」の順に選択します。
- 2 アドレスフィールドに IP アドレスを入力します。
- 3 変更を適用します。

シリアル印刷を設定する (Windows のみ)


- 1 プリンタでパラメータを設定します。
 - a コントロールパネルから、ポート設定のメニューを選択します。
 - b シリアルポート設定のメニューを選択し、必要に応じて、設定を調整します。
 - c 変更を適用します。
- 2 コンピュータでプリンタフォルダを開き、プリンタを選択します。
- 3 [プリンタプロパティ]を開き、リストから[COM ポート]を選びます。
- 4 [デバイスマネージャ]で COM ポートのパラメータを設定します。

メモ:

- シリアル印刷では印刷速度が遅くなります。
- プリンタのシリアルポートにシリアルケーブルが接続されていることを確認します。

プリンタ部品の清掃

プリンタを清掃する

 **注意—感電危険:** プリンタの外部を清掃する際には、感電のリスクを避けるため、コンセントから電源コードを抜き、プリンタに接続されているすべてのケーブルを外してから作業を行ってください。

メモ:

- 数か月に 1 回この作業を実施します。
 - 不適切な取り扱いにより生じたプリンタの損傷は、保証の対象にはなりません。
- 1 プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。
 - 2 標準排紙トレイと手差しトレイから用紙を取り除きます。
 - 3 柔らかいブラシまたは掃除機を使用して、プリンタ周辺の埃、糸くず、用紙の切れ端を取り除きます。
 - 4 水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布を使用して、プリンタの外側を拭きます。

メモ:

- 家庭用クリーナーや洗剤を使用しないでください。プリンタ表面の仕上げを傷つけることがあります。

- 清掃後にプリンタのすべてのエリアが乾いていることを確認してください。

5 電源コードをコンセントに接続し、プリンタの電源をオンにします。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

タッチ画面を清掃する

⚠ 注意—感電危険: プリンタの外部を清掃する際には、感電のリスクを避けるため、コンセントから電源コードを抜き、プリンタに接続されているすべてのケーブルを外してから作業を行ってください。

- 1 プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。
- 2 タッチ画面を、水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布で拭きます。

メモ:

- タッチ画面を傷める可能性がありますので、家庭用洗剤は使用しないでください。
- 清掃後は、タッチ画面が乾燥していることを確認してください。

3 電源コードをコンセントに接続し、プリンタの電源を入れます。

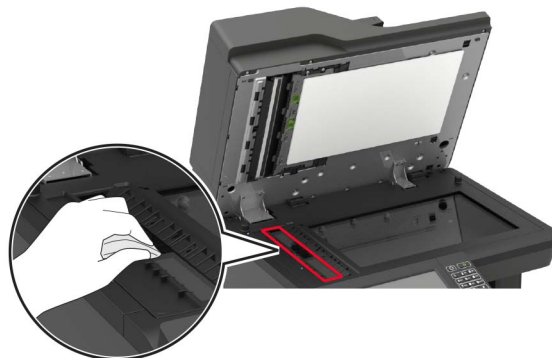
⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くにある、アクセスしやすい、正しく接地されていて、適切な定格を持つコンセントに、電源コードを接続します。

スキャナを清掃する

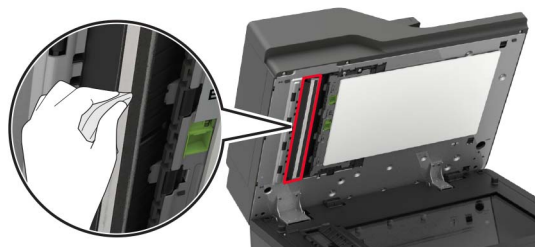
- 1 スキャナカバーを開きます。



- 2 下に示した領域を、水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布で拭きます。
 - ADF ガラス



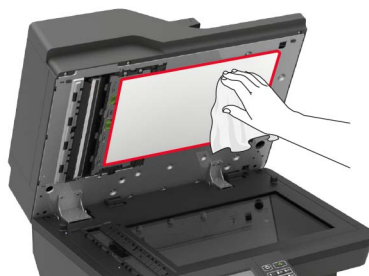
- ADF ガラスパッド



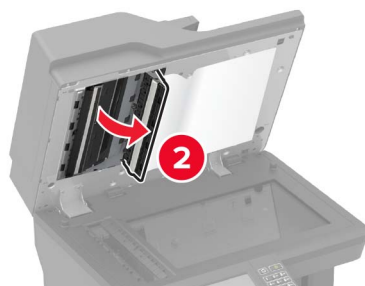
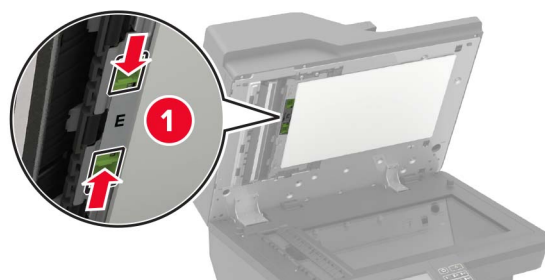
- 原稿台ガラス



- スキャナガラスパッド

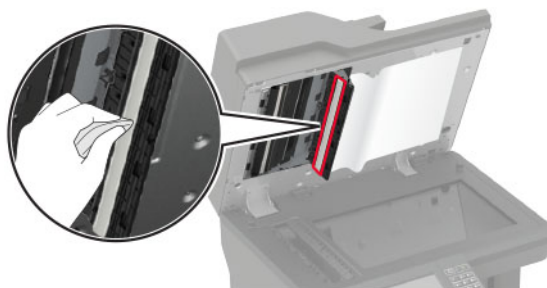


3 ドア E を開きます。

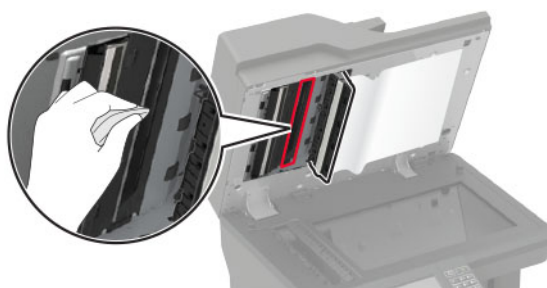


4 下に示した領域を、水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布で拭きます。

- ドア E の ADF ガラスパッド



- ドア E の ADF ガラス



5 ドア E を閉じてから、スキャナカバーを閉じます。

ピックアップを清掃する

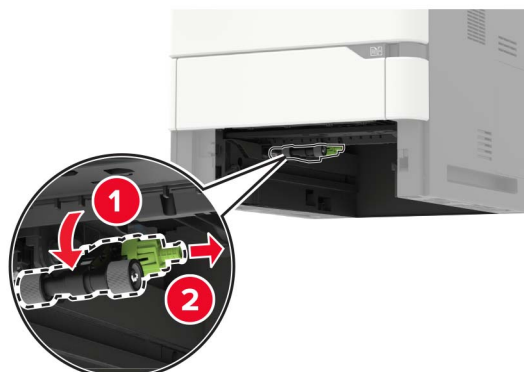
1 プリンタの電源を切ります。

2 トレイを取り外します。

警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。

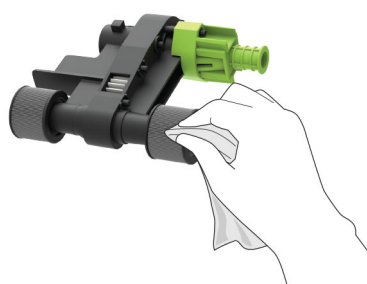


3 ピックローラーを取り外します。

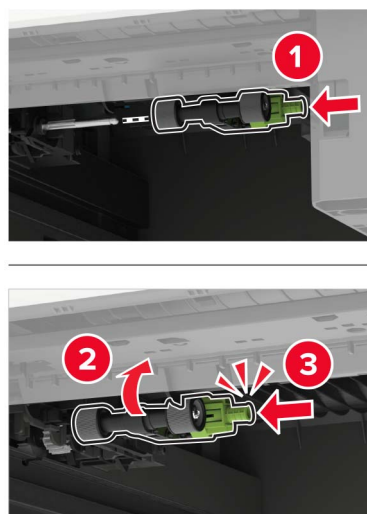


4 ピックタイヤを水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布で拭きます。

メモ: イソプロピルアルコールを布に塗布します。



5 ピックローラーを挿入します。

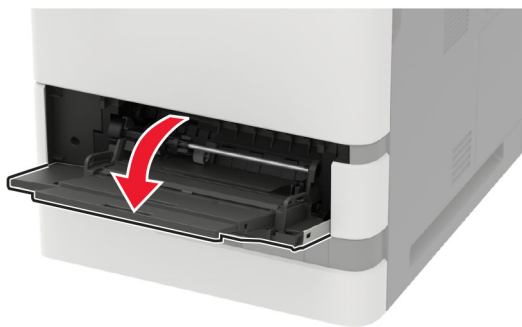


6 トレイを挿入します。

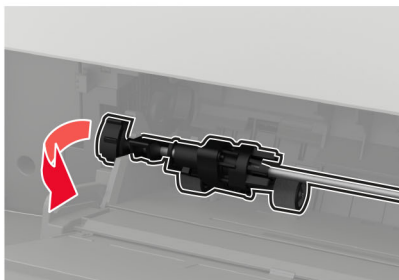
多目的フィーダのピックローラーを清掃する

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 多目的フィーダを開きます。

警告—破損の恐れあり： 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。

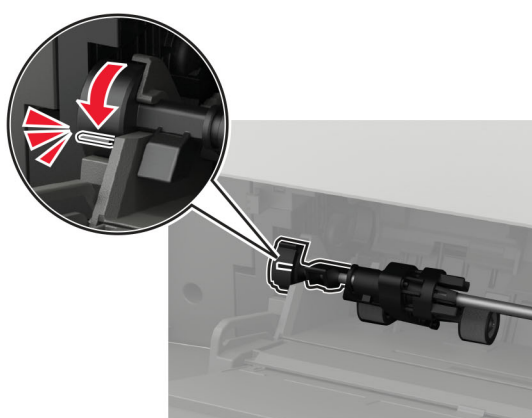
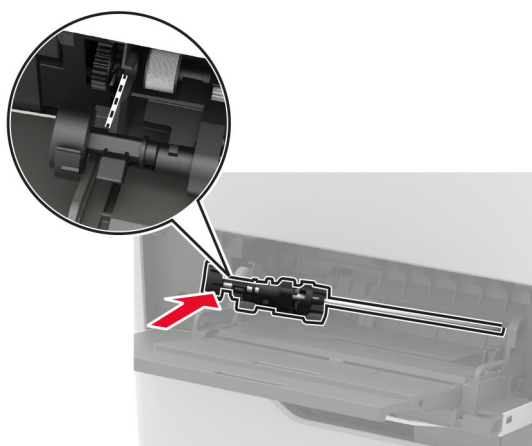
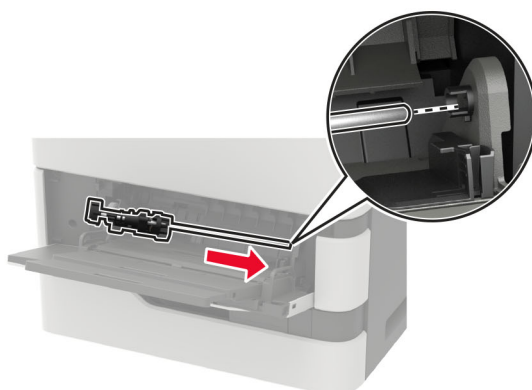


- 3 ピックローラーを取り外します。



- 4 糸くずの出ない柔らかい布にイソプロピルアルコールを塗布し、ピックローラーを拭きます。

5 ピックローラーを挿入します。

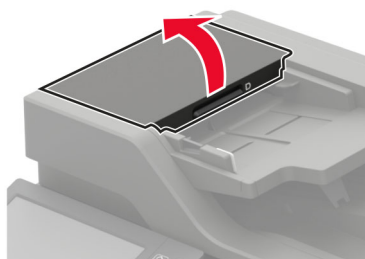


6 多目的フィーダを閉じます。

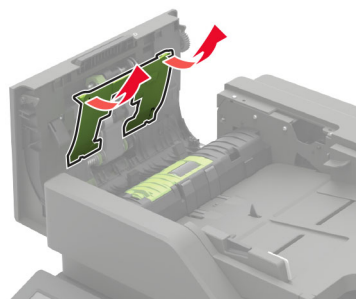
7 プリンタの電源を入れます。

ADF ピックローラーを清掃する

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 ドア D を開きます。

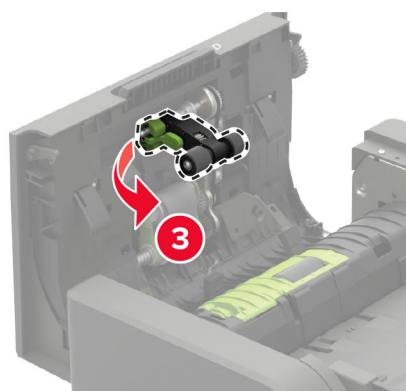
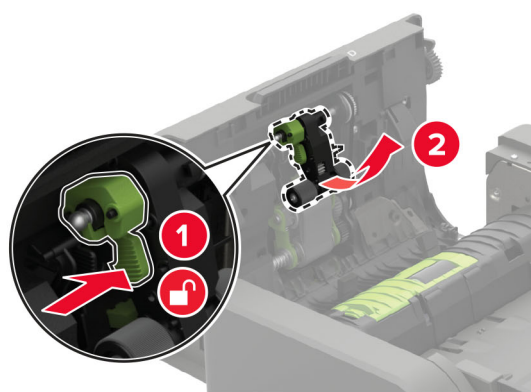


- 3 ADF ピックローラーカバーを取り外します。



- 4 ADF ピックローラーを取り外します。

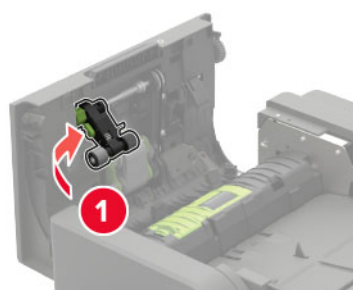
警告—破損の恐れあり: プリンタの一部は、静電気により簡単に損傷します。静電気の記号でマークされた領域の部品またはコンポーネントに触れる前に、記号から離れた領域の金属面を触ります。



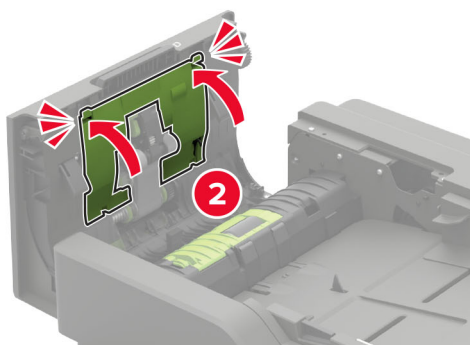
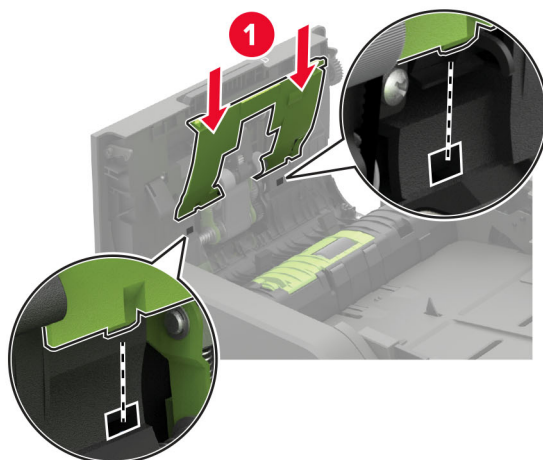
5 糸くずの出ない柔らかい布にイソプロピルアルコールを塗布し、ピックローラーを拭きます。

6 ADF ピックローラーを「カチッ」と音がするまで挿入します。

警告—破損の恐れあり: プリンタの一部は、静電気により簡単に損傷します。静電気の記号でマークされた領域の部品またはコンポーネントに触れる前に、記号から離れた領域の金属面を触ります。



7 ADF ピックローラーカバーを「カチッ」と音ができるまで挿入します。



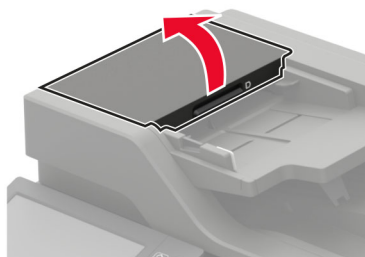
8 ドア D を閉じます。

9 プリンタの電源を入れます。

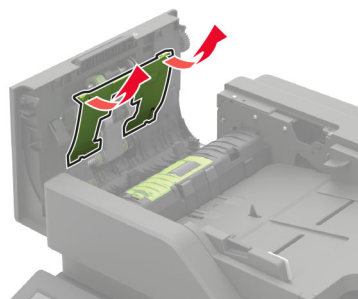
ADF 給紙ローラーを清掃する

1 プリンタの電源を切ります。

2 ドア D を開きます。

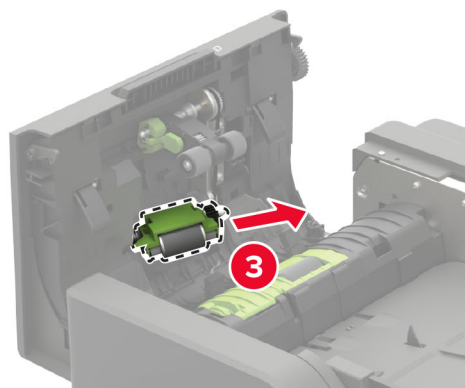
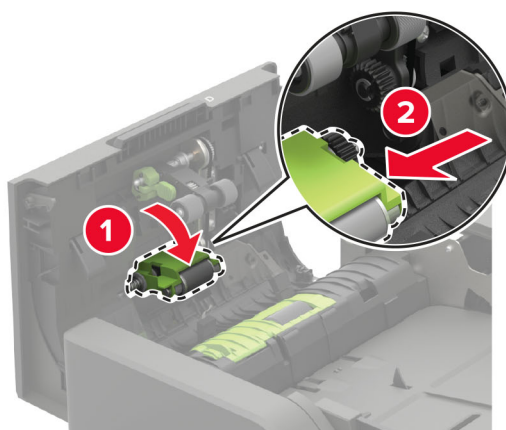


- 3 ADF ピックローラーカバーを取り外します。



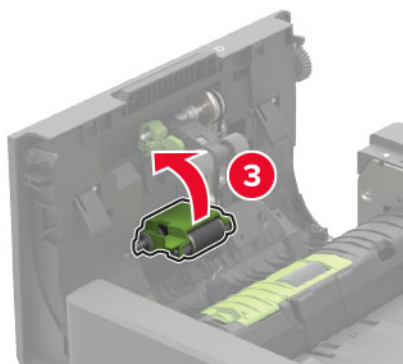
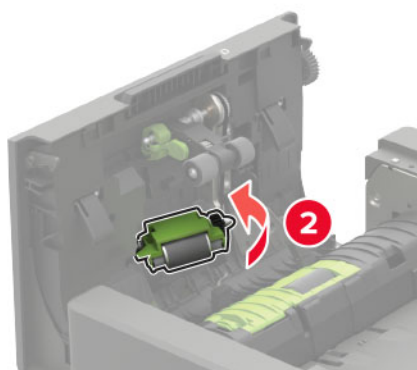
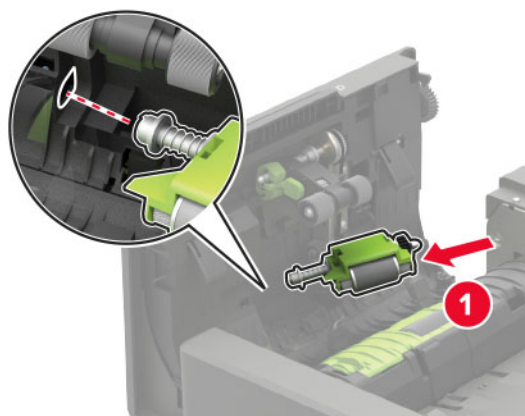
- 4 ADF 給紙ローラーを取り外します。

警告—破損の恐れあり: プリンタの一部は、静電気により簡単に損傷します。静電気の記号でマークされた領域の部品またはコンポーネントに触れる前に、記号から離れた領域の金属面を触ります。

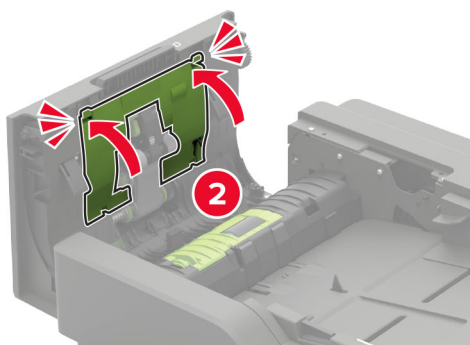
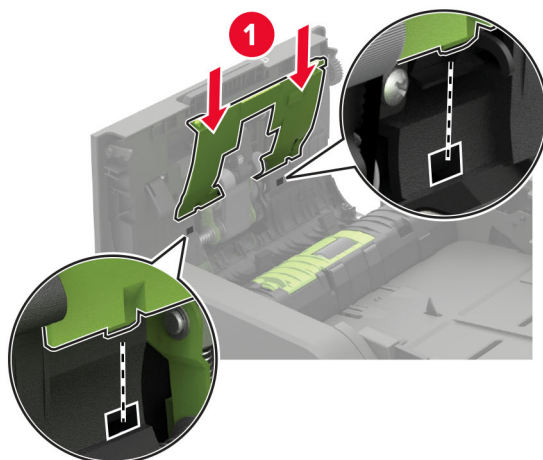


- 5 糸くずの出ない柔らかい布にイソプロピルアルコールを塗布し、ADF 給紙ローラーを拭きます。

6 ADF 給紙ローラーを「カチッ」と音がするまで挿入します。



7 ADF ピックローラーカバーを「カチッ」と音ができるまで挿入します。



8 ドア D を閉じます。

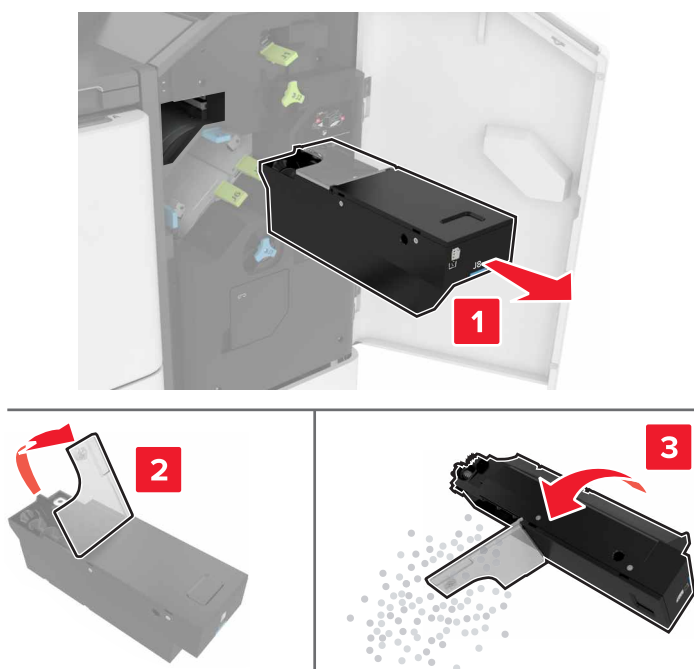
9 プリンタの電源を入れます。

穴パンチボックスを空にする

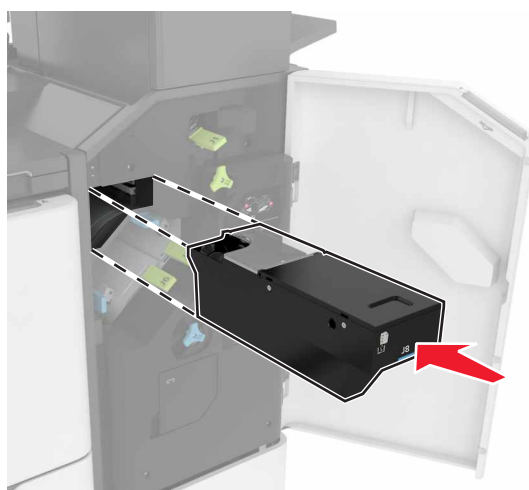
1 ドア J を開きます。



2 穴パンチボックスを取り外して空にします。



3 穴パンチボックスを挿入します。



4 ドア J を閉じます。

部品と消耗品を注文する

米国で部品および消耗品を注文するには、お住まいの地域の Lexmark 認定消耗品販売店について、1-800-539-6275 までお電話でお問い合わせください。他の国または地域については、www.lexmark.com をご覧いただくか、プリンタの販売店までお問い合わせください。

メモ: プリンタの消耗品の耐用期間見積もりは、レターまたは A4 サイズの普通紙を想定しています。

部品と消耗品の状況を確認する

- 1 ホーム画面で、[状態／消耗品]をタッチします。
- 2 確認したい部品または消耗品を選択します。

メモ: ホーム画面の上部にあるセクションをタッチしてこの設定にアクセスすることもできます。

Lexmark の純正部品と純正消耗品を使用する

Lexmark プリンタは Lexmark の純正部品および純正消耗品を使用して最高の機能を発揮するように設計されています。サードパーティ製の消耗品や部品を使用すると、パフォーマンス、信頼性、プリンタの寿命およびイメージングコンポーネントに影響する場合があります。保証の対象にも影響します。サードパーティ製の部品や消耗品の使用による損傷は、保証の対象外となります。すべての寿命インジケータは、純正の部品および消耗品を使用して機能するように設計されており、サードパーティ製の部品や消耗品を使用すると、予期せぬ結果になることがあります。想定された寿命を超えてイメージングコンポーネントを使用すると、Lexmark プリンタや関連するコンポーネントが損傷する可能性があります。

警告—破損の恐れあり: 返却プログラムの契約条項のない消耗品および部品は、リセットして再製造することができません。ただし、純正以外の消耗品または部品を使用したために発生した損傷については、製造元の保証は適用されません。適切に再生されていない消耗品および部品のカウンタをリセットするとプリンタが損傷する可能性があります。消耗品および部品のカウンタをリセットした後で、プリンタにリセットアイテムが存在することを示すエラーが表示される場合があります。

トナーカートリッジを注文する

メモ:

- 推定カートリッジ出力は、ISO/IEC 19752 規格に基づいています。
- 極端に低い印刷比率で長時間印刷すると、実際の印刷数に悪影響を与える可能性があります。

リターンプログラムトナーカートリッジ

項目	米国、カナダ	欧州経済領域	アジア太平洋	中南米	他の欧州諸国、 中東、アフリカ	オーストラリアお よびニュージー ランド	グローバル
リターンプログラム トナーカートリッジ	58D1000	58D2000	58D3000	58D4000	58D5000	58D6000	58D000G
大容量リターンプロ グラムトナーカート リッジ	58D1H00	58D2H00	58D3H00	58D4H00	58D5H00	58D6H00	58D0H0G

¹ 契約管理されたプリンタでのみ使用できます。詳細については、Lexmark 担当者またはシステム管理者に問い合わせてください。

項目	米国、カナダ	欧州経済領域	アジア太平洋	中南米	他の欧州諸国、 中東、アフリカ	オーストラリアお よびニュージー ランド	グローバル
大容量法人向けリ ターンプログラムト ナーカートリッジ ¹	58D1H0E	58D2H0E	58D3H0E	58D4H0E	58D5H0E	58D6H0E	なし
超大容量リターン プログラムトナーカ ートリッジ	58D1X00	58D2X00	58D3X00	58D4X00	58D5X00	58D6X00	58D0X0G
超大容量法人向け リターンプログラム トナーカートリッジ ¹	58D1X0E	58D2X0E	58D3X0E	58D4X0E	58D5X0E	58D6X0E	なし
超特大容量リター ンプログラムトナー カートリッジ	58D1U00	58D2U00	58D3U00	58D4U00	58D5U00	58D6U00	58D0U0G
超特大容量法人向 けリターンプログラ ムトナーカートリ ッジ ¹	58D1U0E	58D2U0E	58D3U0E	58D4U0E	58D5U0E	58D6U0E	なし

¹ 契約管理されたプリンタでのみ使用できます。詳細については、Lexmark 担当者またはシステム管理者に問い合わせてください。

Lexmark XM7355 および XM7370 リターンプログラムトナーカートリッジ

項目	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージー ランド	ヨーロッパ、中東、アフリカ	アジア太平洋	中南米
リターンプログラムトナーカ ートリッジ	25B3086 ¹ 25B3090 ²	25B3101 ¹ 25B3107 ²	25B3121 ¹ 25B3122 ²	25B3128 ¹ 25B3129 ²

¹ Lexmark XM7355 プリンタ機種でのみサポートされています。
² Lexmark XM7370 プリンタ機種でのみサポートされています。

標準トナーカートリッジ

項目	グローバル
超特大容量トナーカートリッジ	58D0UA0

イメージングユニットを注文する

長期間、印刷量がきわめて低い場合、トナーが消耗する前に、イメージングユニットの部品が劣化する可能性があります。

項目	Lexmark 返却プログラム	法人向け返却プログラム*	標準
イメージングユニット	58D0Z00	58D0Z0E	58D0ZA0

* このイメージングユニットは、契約管理されたプリンタでのみ使用できます。詳細については、Lexmark 担当者またはシステム管理者に問い合わせてください。

ホチキスカートリッジを注文する

部品名	部品番号
ホチキスカートリッジ	25A0013

メンテナンスキットを注文する

サポートされているフューザータイプを確認するには、ドア A を開き、トナーカートリッジとイメージングユニットを取り外します。フューザーの前面に表示されている 2 桁のフューザータイプ (00、01 など) を確認します。

警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。

メモ:

- 特定のタイプの用紙を使用するには、メンテナンスキットをより頻繁に交換しなければならない場合があります。
- セパレーターアセンブリ、フューザー、ピックアップローラーアセンブリ、転送ローラーはメンテナンスキットに含まれ、必要に応じて個別に注文および交換できます。
- メンテナンスキットの交換の詳細については、同梱されているマニュアルを参照してください。

リターンプログラムフューザーメンテナンスキット

フューザーメンテナンスキットのタイプ	部品番号
タイプ 00	41X2233
タイプ 01	41X2234
タイプ 02	41X2235
タイプ 03	41X2236
タイプ 04	41X2237
タイプ 11	41X2242
タイプ 13	41X2243
タイプ 32	41X2250
タイプ 33	41X2251
タイプ 35	41X2252
タイプ 36	41X2253

標準フューザーメンテナンスキット

フューザーメンテナンスキットのタイプ	部品番号
タイプ 05	41X2238
タイプ 06	41X2239
タイプ 07	41X2240
タイプ 08	41X2241
タイプ 17	41X2244
タイプ 19	41X2245

ローラーメンテナンスキット

項目	部品番号
プリンタエンジンローラーメンテナンスキット	41X2352

自動原稿フィーダーメンテナンスキット

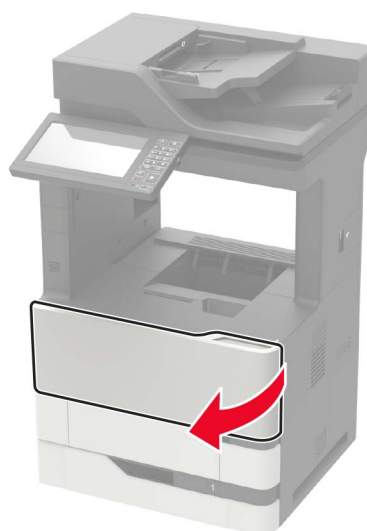
項目	部品番号
ADF メンテナンスキット	41X2351

消耗品を交換する

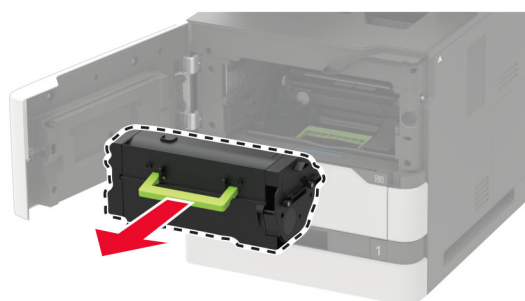
トナーカートリッジの交換

1 ドア A を開きます。

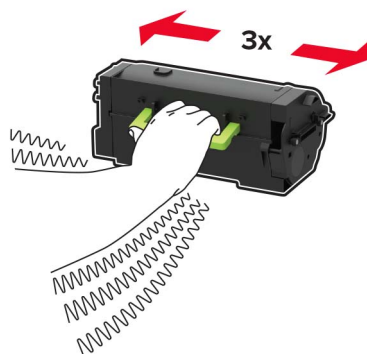
警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。



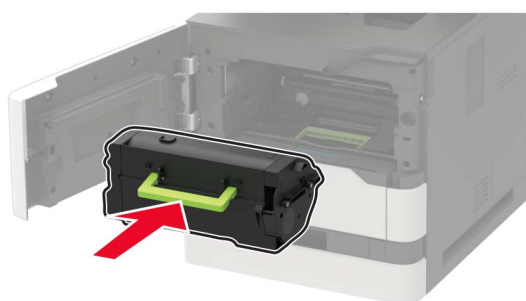
2 使用済みトナーカートリッジを取り外します。



- 3 新しいトナーカートリッジをパッケージから取り出して振り、カートリッジ内のトナーの偏りをなくします。



- 4 新しいトナーカートリッジを挿入します。

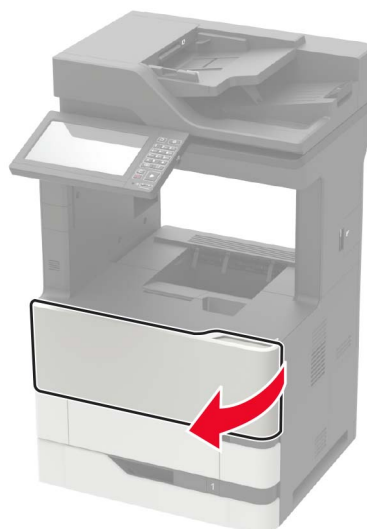


- 5 ドアを閉じます。

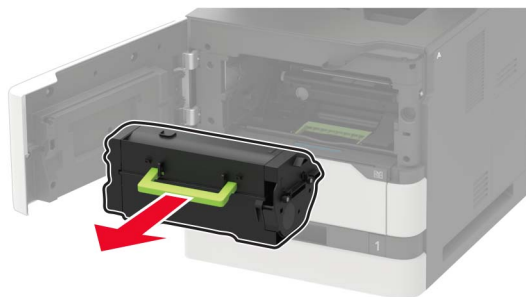
イメージングユニットの交換

- 1 ドア A を開きます。

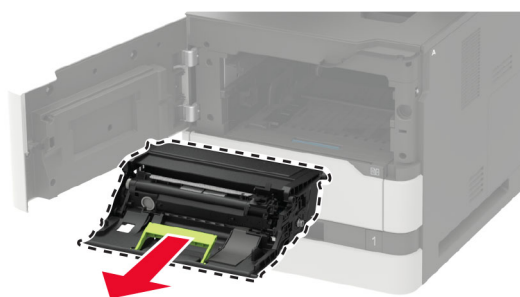
警告—破損の恐れあり： 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。



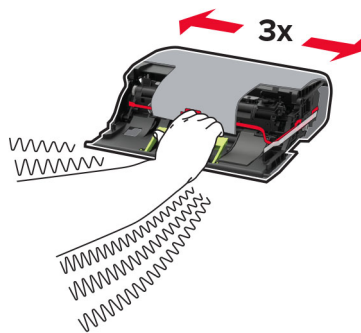
2 トナーカートリッジを取り外します。



3 使用済みイメージングユニットを取り外します。



4 新しいイメージングユニットをパッケージから取り出して振り、カートリッジ内のトナーの偏りをなくします。



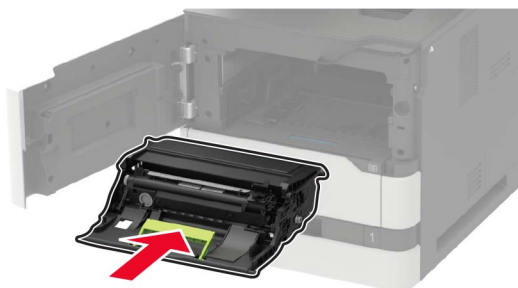
警告—破損の恐れあり： イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。

警告—破損の恐れあり： 感光体ドラムには触らないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。

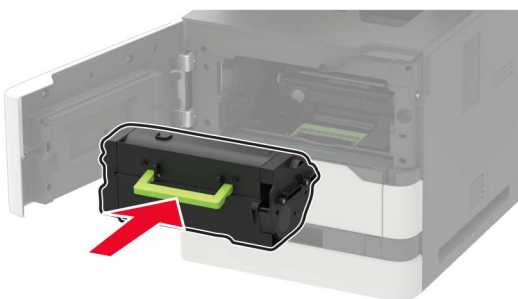


5 梱包材を取り除きます。

6 新しいイメージングユニットを挿入します。




7 トナーカートリッジを挿入します。



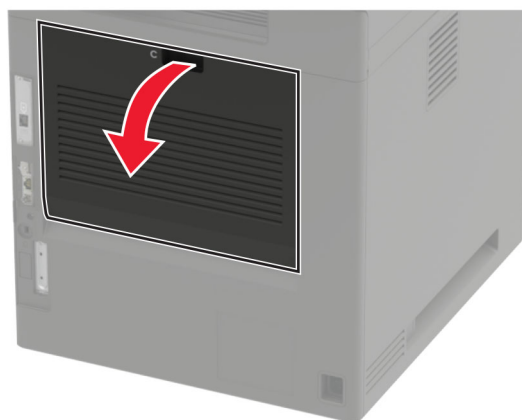
8 ドアを閉じます。

フューザーを交換する

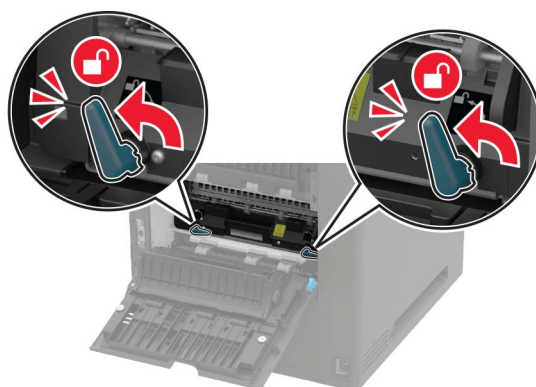
1 ドア C を開きます。

 **注意—表面高温:** プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を減らすため、表面が冷えてから触れるようにしてください。

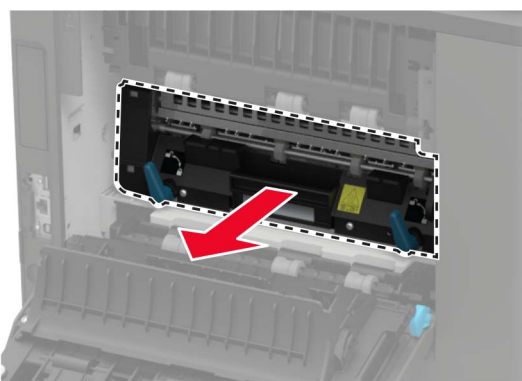
警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。



2 フューザーのロックを解除します。

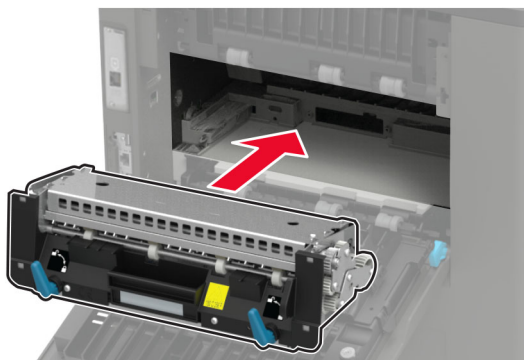


3 使用済みのフューザーを取り外します。

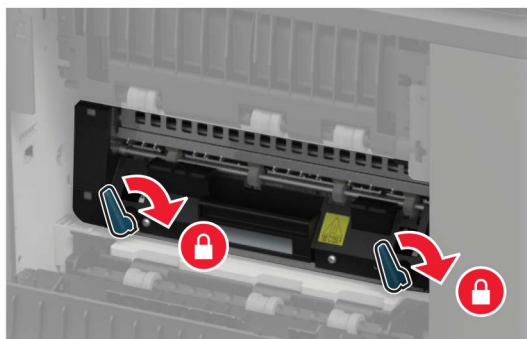


4 新しいフューザーを梱包から取り出します。

5 新しいフューザーを、所定の位置でカチッという音がするまで挿入します。



6 フューザーをロックします。

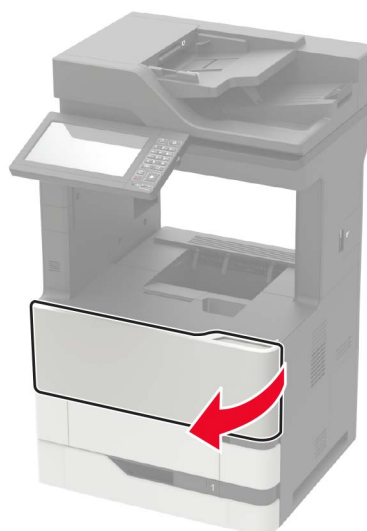


7 ドアを閉じます。

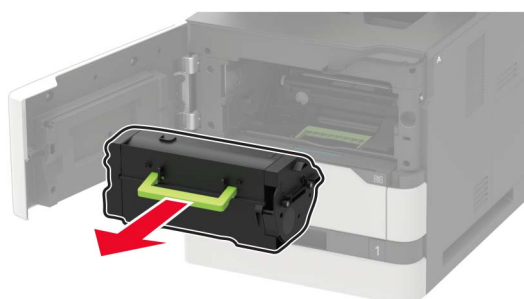
転写ローラーを交換する

1 ドア A を開きます。

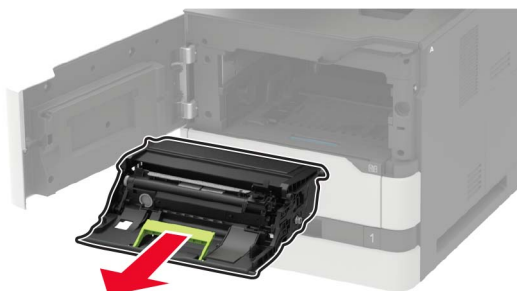
警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。




2 トナーカートリッジを取り外します。

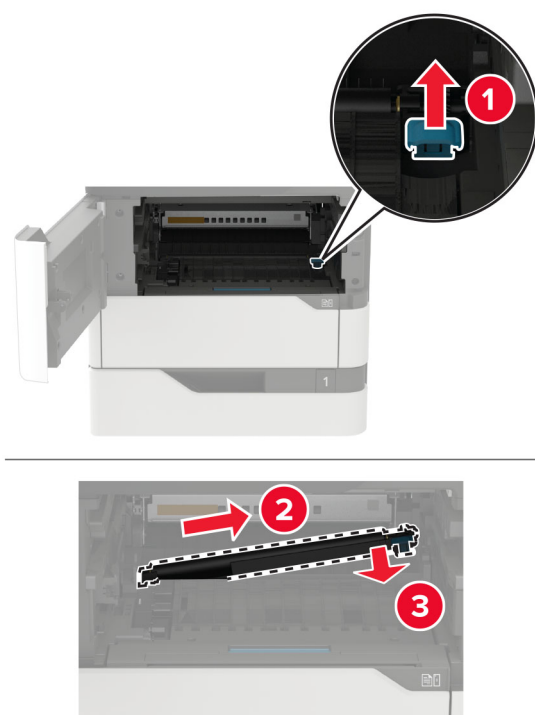


3 イメージングユニットを取り外します。



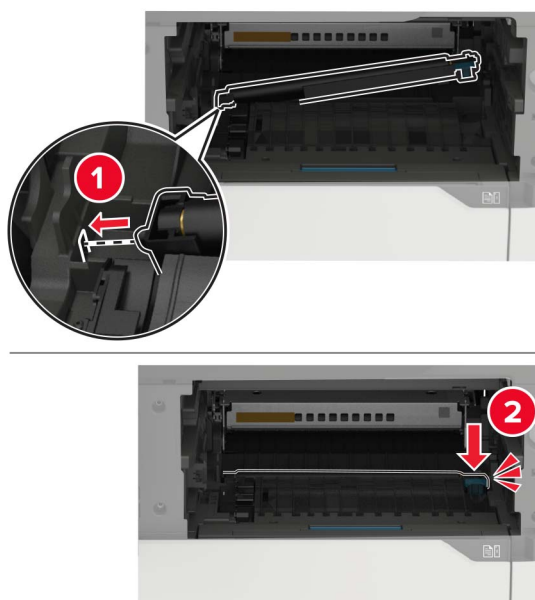
4 使用済みの転写ローラーを取り外します。

 **注意—表面高温:** プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を減らすため、表面が冷えてから触れるようにしてください。

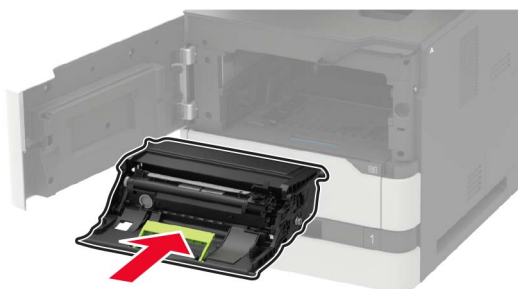


5 新しい転写ローラーを梱包から取り出します。

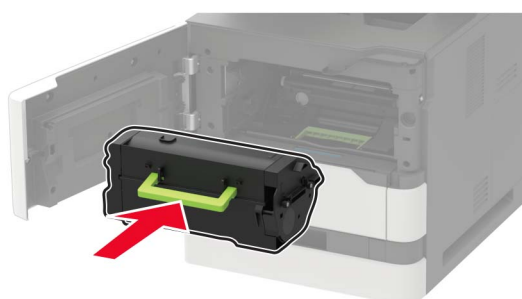
6 新しい転写ローラーを「カチッ」と音がするまで挿入します。



7 イメージングユニットを挿入します。



8 トナーカートリッジを挿入します。



9 ドアを閉じます。

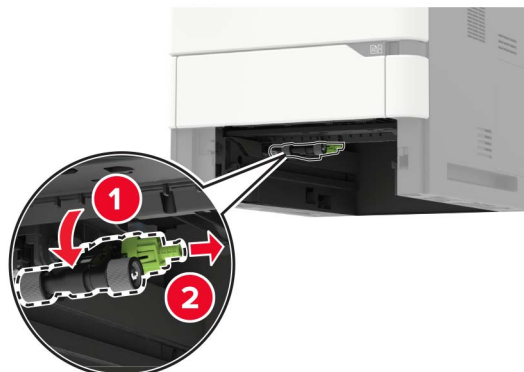
ピックローラーを交換する

1 トレイを取り外します。

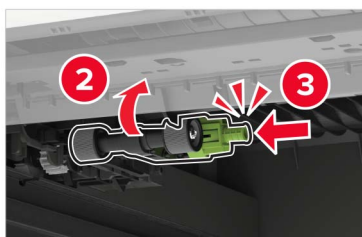
警告—破損の恐れあり： 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。



- 2 使用済みのピックアップローラーを取り外します。



- 3 新しいピックアップローラーを梱包から取り出します。
- 4 新しいピックアップローラーを取り付けます。



- 5 トレイを挿入します。

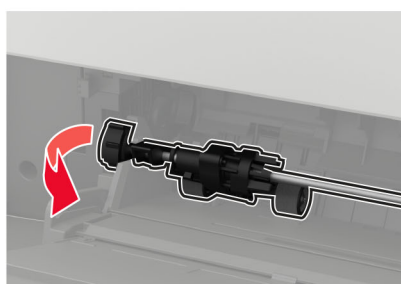
多目的フィーダーのピックアップローラーを交換する

- 1 多目的フィーダーを開きます。

警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。

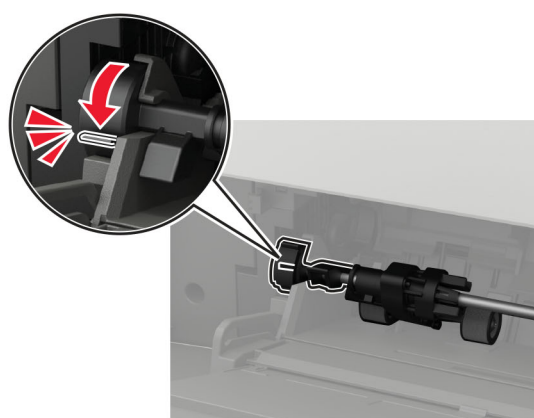
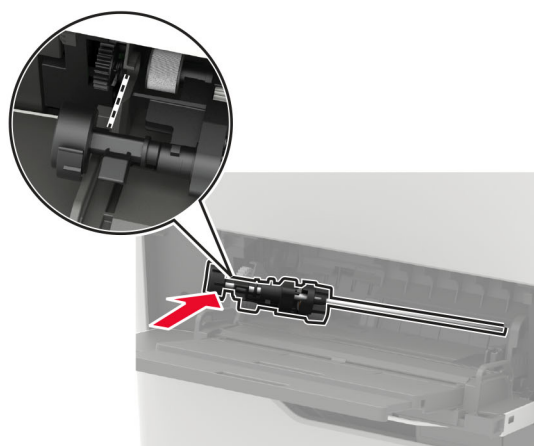
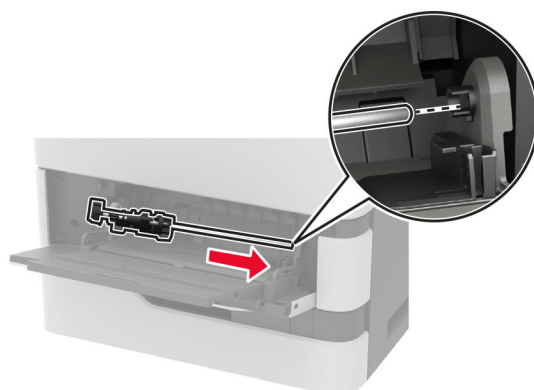


2 使用済みのピックアップローラーを取り外します。



3 新しいピックアップローラーを梱包から取り出します。

4 新しいピックローラーを取り付けます。



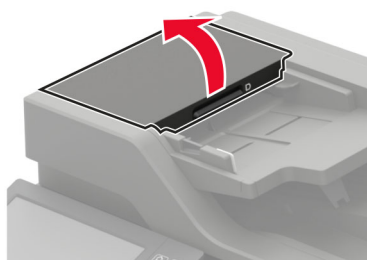
5 多目的フィーダを閉じます。

ADF ピックローラーを交換する

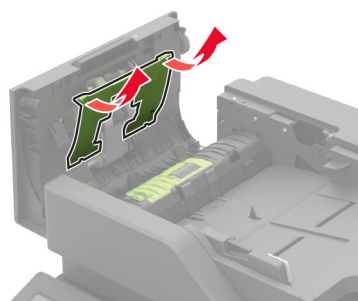
1 プリンタの電源を切ります。

2 ドア D を開きます。

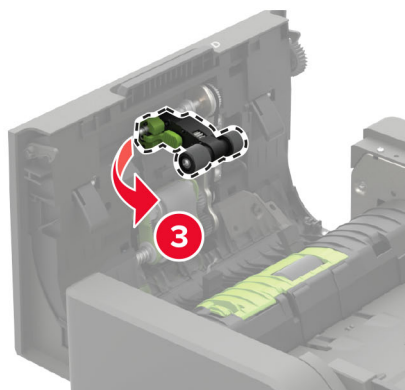
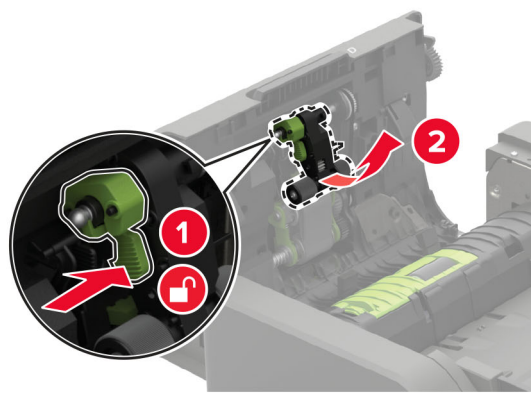
警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。



3 ADF ピックローラーカバーを取り外します。



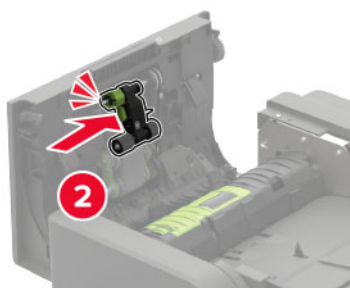
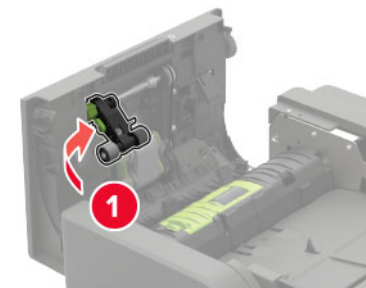
4 使用済みの ADF ピックローラーを取り外します。



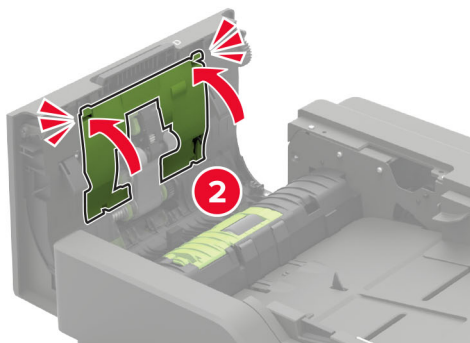
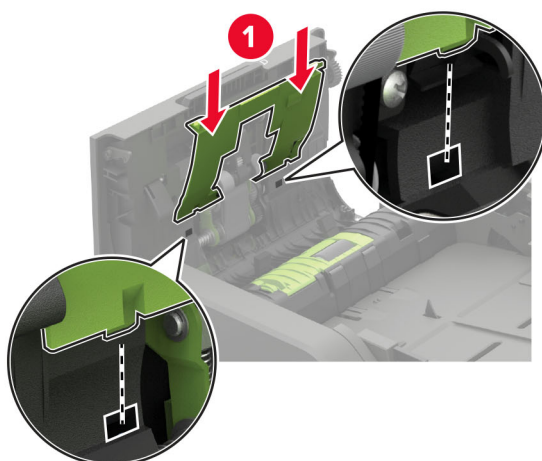
5 新しい ADF ピックローラーを取り出します。

警告—破損の恐れあり: 損傷やプリンタの性能低下を避けるため、清潔な手で部品を取り扱ってください。

6 ADF ピックローラーを「カチッ」と音がするまで挿入します。



7 ADF ピックローラーカバーを「カチッ」と音がするまで挿入します。

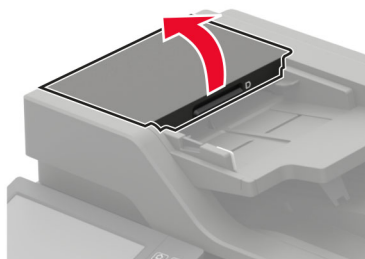


- 8 ドアを閉じます。
- 9 プリンタの電源を入れます。

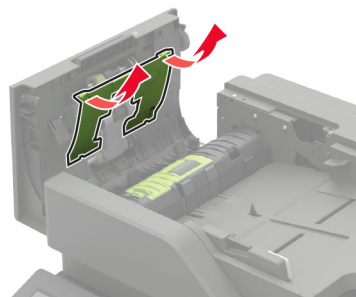
ADF 給紙ローラーを交換する

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 ドア D を開きます。

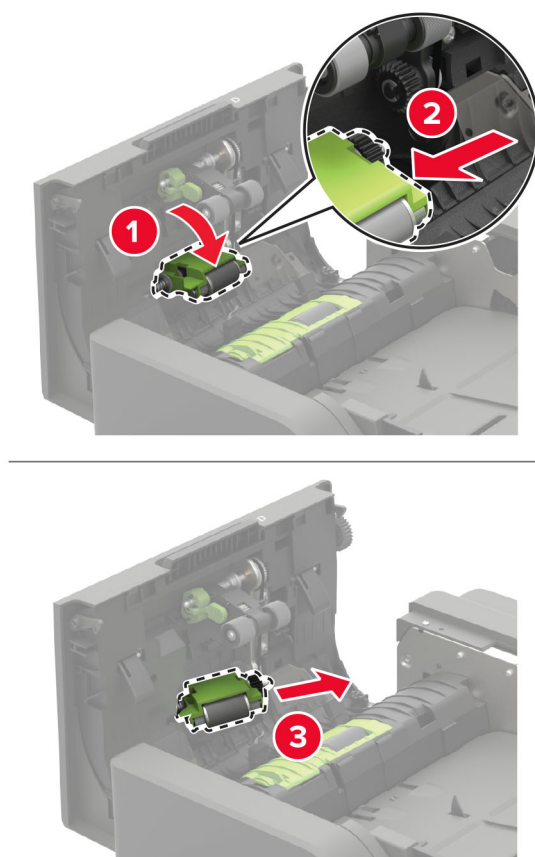
警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。



- 3 ADF ピックローラーカバーを取り外します。



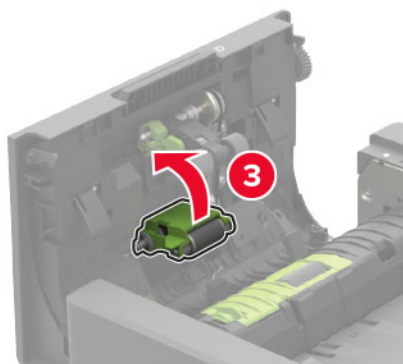
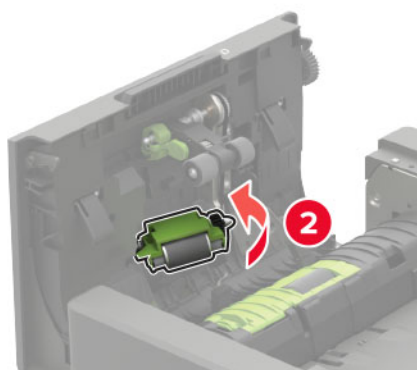
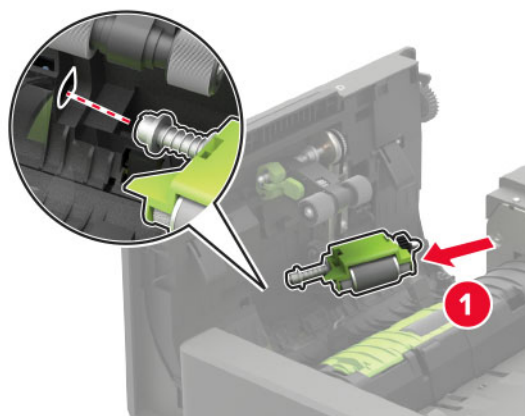
4 使用済みの ADF 給紙ローラーを取り外します。



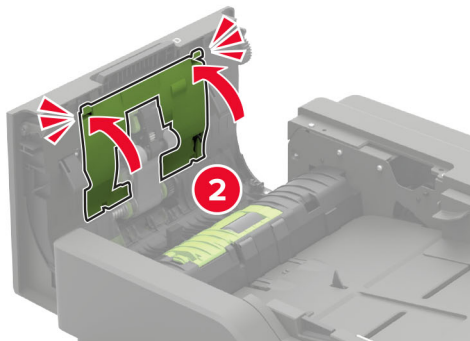
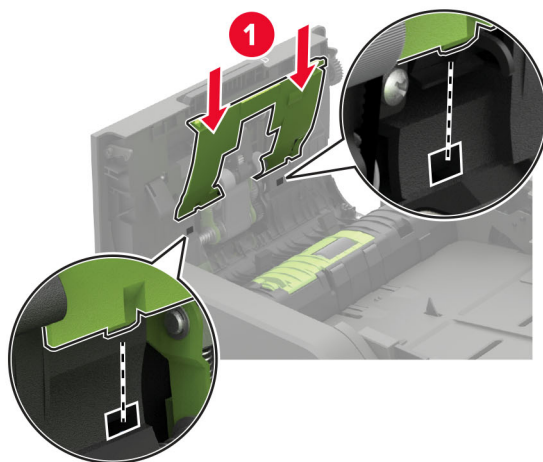
5 新しい ADF 給紙ローラーを取り出します。

警告—破損の恐れあり: 損傷やプリンタの性能低下を避けるため、清潔な手で部品を取り扱ってください。

6 新しい ADF 給紙ローラーを「カチッ」と音がするまで挿入します。



7 ADF ピックローラーカバーを「カチッ」と音がするまで挿入します。



8 ドアを閉じます。

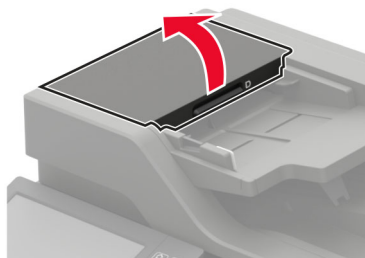
9 プリンタの電源を入れます。

ADF 区切りローラーを交換する

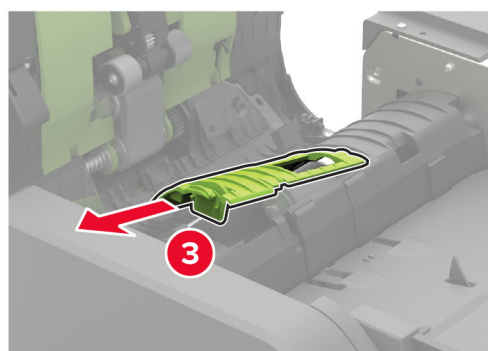
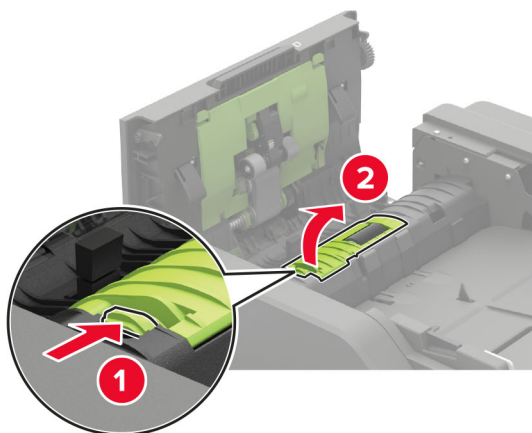
1 プリンタの電源を切ります。

2 ドア D を開きます。

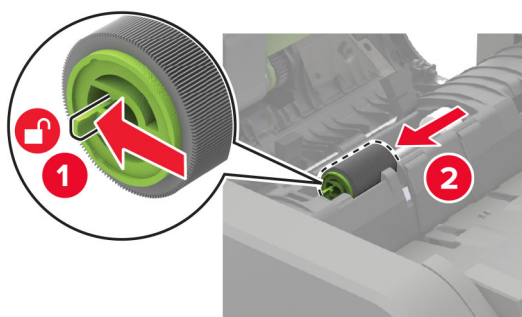
警告—破損の恐れあり： 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。



3 ADF 区切りローラーカバーを取り外します。



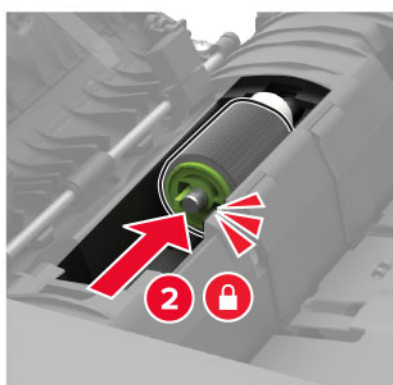
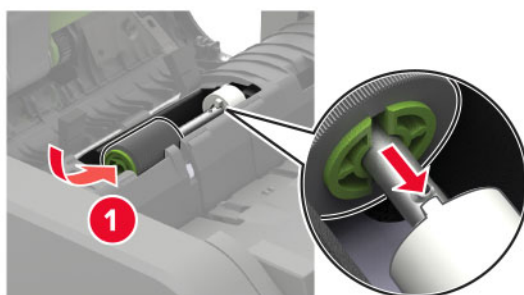
4 使用済みの ADF 区切りローラーを取り外します。



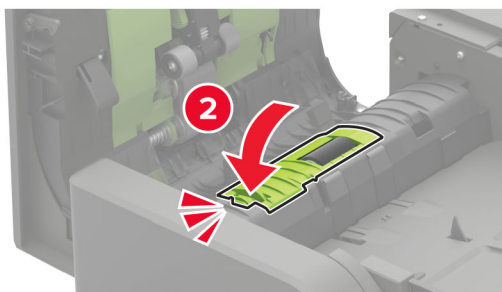
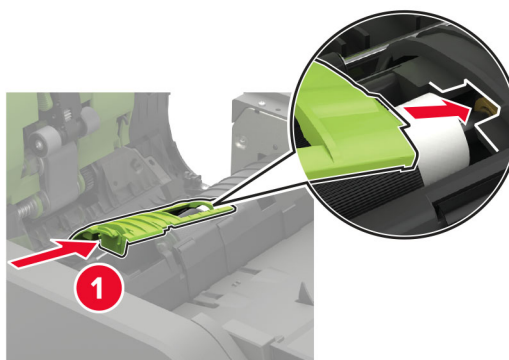
5 新しい ADF セパレーターローラーを開梱します。

警告—破損の恐れあり: 損傷やプリンタの性能低下を避けるため、清潔な手で部品を取り扱ってください。

6 ADF 区切りローラーを「カチッ」と音がするまで挿入します。



7 ADF 区切りローラーカバーを「カチッ」と音がするまで挿入します。

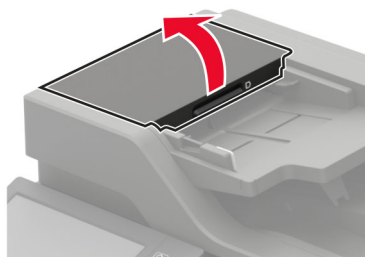


- 8 ドアを閉じます。
- 9 プリンタの電源を入れます。

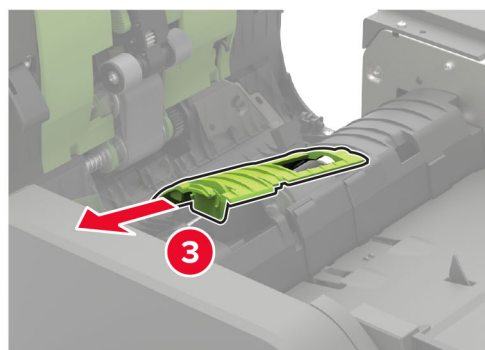
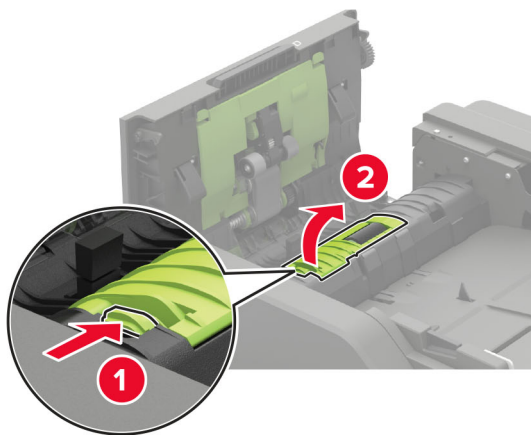
ADF トルクリミッタを交換する

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 ドア D を開きます。

警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。

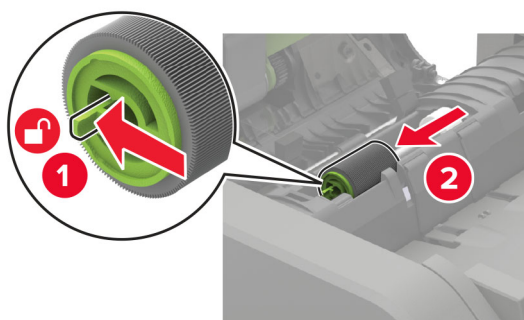


- 3 ADF 区切りローラーカバーを取り外します。

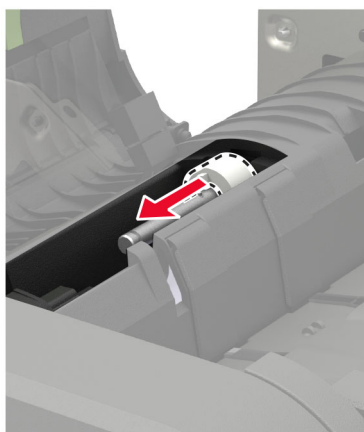


- 4 ADF 区切りローラーを取り外します。

警告—破損の恐れあり: 損傷やプリンタの性能低下を避けるため、清潔な手で部品を取り扱ってください。



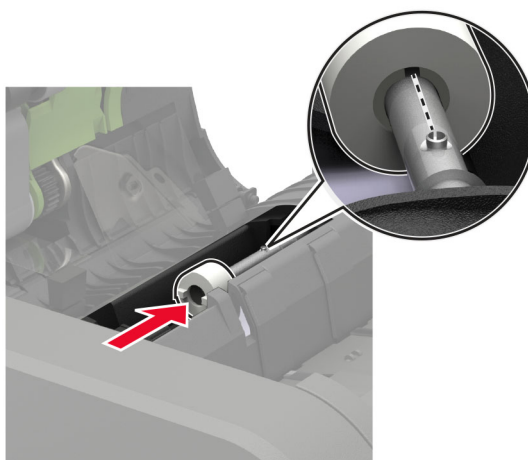
5 使用済みの ADF トルクリミッタを取り外します。



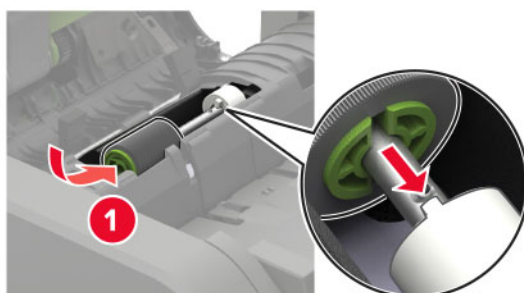
6 新しい ADF トルクリミッタを開梱します。

警告—破損の恐れあり: 損傷やプリンタの性能低下を避けるため、清潔な手で部品を取り扱ってください。

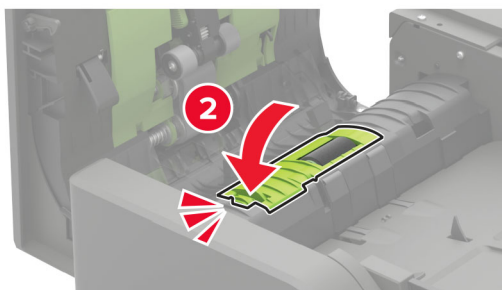
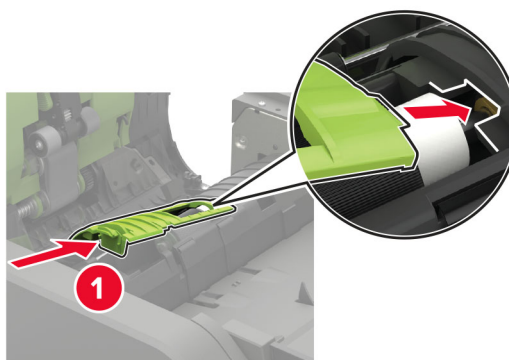
7 新しい ADF トルクリミッタを挿入します。



8 ADF 区切りローラーを「カチッ」と音がするまで挿入します。



9 ADF 区切りローラーカバーを「カチッ」と音がするまで挿入します。



10 ドアを閉じます。

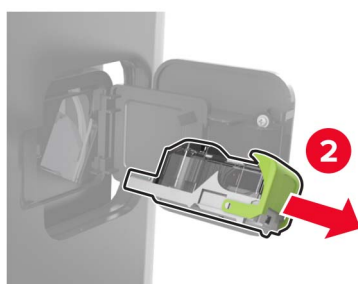
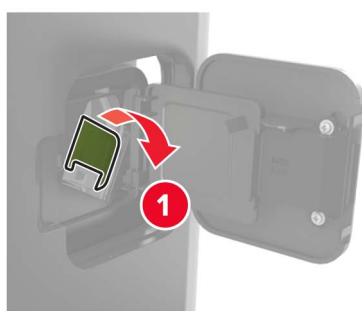
11 プリンタの電源を入れます。

ホチキスフィニッシャのホチキスカートリッジを交換する

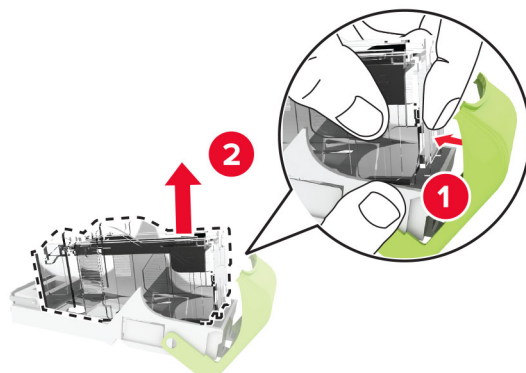
1 ドア F を開きます。



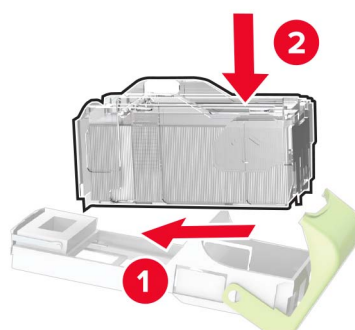
2 ホチキスカートリッジホルダーを取り外します。



3 空のホチキスカートリッジを取り外します。



4 新しいホチキスカートリッジを挿入します。

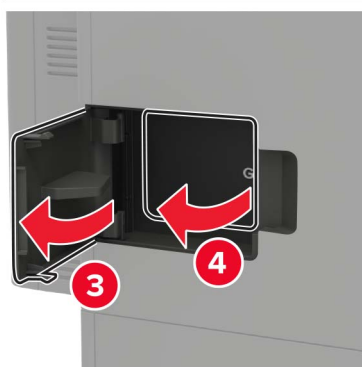
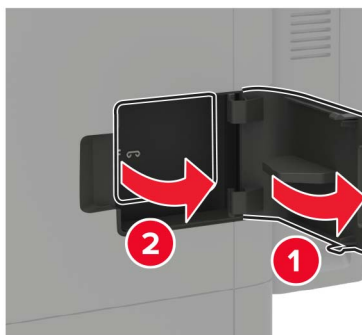


5 ホチキスカートリッジホルダーを挿入します。

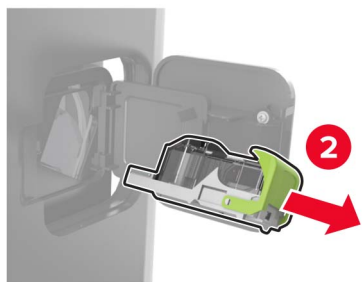
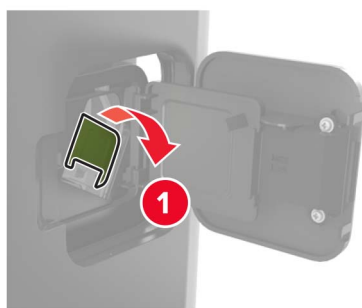
6 ドアを閉じます。

ホチキス、穴パンチフィニッシャのホチキスカートリッジを交換する

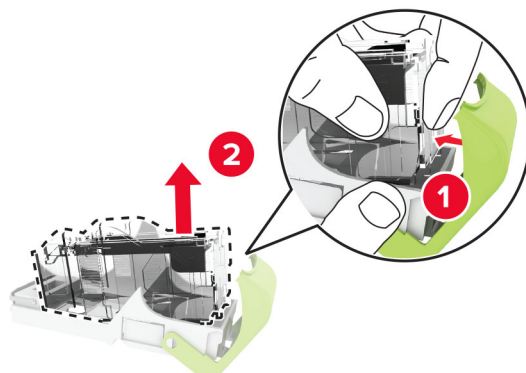
1 交換するホチキスカートリッジに応じて、ドア F またはドア G を開きます。



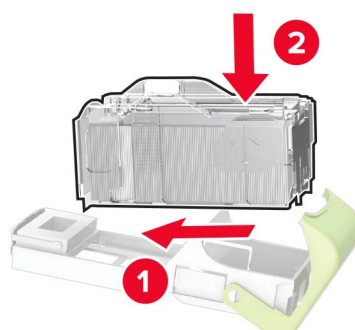
2 ホチキスカートリッジホルダーを取り外します。



3 空のホチキスカートリッジを取り外します。



4 新しいホチキスカートリッジを挿入します。



5 ホチキスカートリッジホルダーを挿入します。

6 ドアを閉じます。

消耗品使用量カウンタをリセットする

1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [構成設定メニュー] > [消耗品使用量とカウンタ]をタッチします。


2 リセットするカウンタを選択します。


警告—破損の恐れあり: 返却プログラムの契約条項のない消耗品および部品は、リセットして再製造することができません。ただし、純正以外の消耗品または部品を使用したために発生した損傷については、製造元の保証は適用されません。適切に再生されていない消耗品および部品のカウンタをリセットするとプリンタが損傷する可能性があります。消耗品および部品のカウンタをリセットした後で、プリンタにリセットアイテムが存在することを示すエラーが表示される場合があります。

プリンタを移動する

プリンタを別の場所に移動する

⚠ 注意—傷害の恐れあり: プリンタの重量が 20 kg (44 ポンド) 以上ある場合、安全に持ち上げるには 2 名以上の人が必要になることがあります。

 **注意—傷害の恐れあり:** 火災や感電の危険を避けるため、製品に同梱されている電源コード、または製造元が代替品として認可した電源コードのみを使用してください。

 **注意—傷害の恐れあり:** プリンタを移動する場合は、けがやプリンタの破損を避けるため、以下のガイドラインに従ってください。

- すべてのドアとトレイが閉じられていることを確認します。
- プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。
- プリンタからコードやケーブル類をすべて取り外します。
- プリンタに別途フロアスタンド型オプショントレイまたは排紙オプションが取り付けられている場合は、それらを取り外してからプリンタを移動します。
- プリンタにキャスターベースがある場合は、慎重に新しい場所に移動します。しきいや床の割れ目を通るときは注意してください。
- プリンタにキャスターベースがなく、オプションのトレイまたは排紙オプションで構成されている場合は、排紙オプションを取り外してからプリンタをトレイから取り外します。どのオプションの場合も、プリンタと同時に持ち上げないでください。
- 必ずプリンタの持ち手を使用してプリンタを持ち上げます。
- プリンタの移動に台車を使用する場合は、プリンタの底面全体を載せられる台車を使用してください。
- ハードウェアオプションの移動に台車を使用する場合は、オプション全体を載せられる台車を使用してください。
- プリンタは直立状態に保ってください。
- 急激な動きは避けてください。
- 下に置くときにプリンタの下に指が入らないようにしてください。
- プリンタの周囲に十分なスペースがあることを確認します。

メモ: 不適切な移動により生じたプリンタの損傷は、保証の対象にはなりません。

プリンタを輸送する

輸送の手順については、<http://support.lexmark.com> にアクセスするか、カスタマサポートにお問い合わせください。

電力と用紙を節約する

節電モードを設定する

スリープモード

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [電源管理] > [タイムアウト時間] > [スリープモード]の順にタッチします。
- 2 プリンタがスリープモードに移行するまでのアイドル時間を設定します。

休止モード

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [電源管理] > [タイムアウト時間] > [休止モード]の順にタッチします。
- 2 プリンタが休止モードに移行するまでのアイドル時間を設定します。

メモ:

- 休止モードを作動させるには、[ネットワーク接続時の休止モード]を[休止モードにする]に設定します。
- プリンタが休止モードの場合、EWS は無効です。

プリンタディスプレイの明るさを調整する

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [基本設定] > [画面明るさ]をタッチします。
- 2 設定を調整します。

消耗品を節約する

- 用紙の両面に印刷します。

メモ: 両面印刷は、プリンタドライバの標準設定です。

- 1 枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷します。
- プレビュー機能を使用して、印刷前にドキュメントがどのように印刷されるか確認します。
- ドキュメントを 1 部だけ印刷し、内容や形式に誤りがないかどうかを確認します。

リサイクル

Lexmark 製品のリサイクルプログラム

Lexmark 製品を返却してリサイクルするには、以下の手順に従います。

- 1 www.lexmark.com/recycle をご覧ください。
- 2 リサイクルする製品を選択します。

メモ: Lexmark 回収プログラムの一覧にないプリンタ消耗品およびハードウェアの場合でも、地元のリサイクルセンターでリサイクルできる場合があります。

Lexmark 製品の梱包材をリサイクルする

Lexmark は梱包材を最小限に抑えるよう絶えず努力しています。より少ない梱包材により、Lexmark プリンタは最も効率的で、かつ環境に配慮した方法で輸送され、梱包材の廃棄量の削減に貢献しています。これらの努力は、温室効果ガスのより少ない排出、省エネルギー、天然資源の節約をもたらします。また、Lexmark では、一部の国と地域で梱包材のリサイクルも行っています。詳細については、www.lexmark.com/recycle で、お住まいの国と地域を選択してください。利用可能な梱包材リサイクルプログラムに関する情報は、製品リサイクルに関する情報の中に含まれています。

Lexmark のダンボール箱は、再生利用する施設がある地域ではすべてリサイクル可能です。その施設は、お住まいの地域にない可能性があります。

Lexmark の梱包材に使用されている発泡スチロールは、再生利用する施設がある地域ではリサイクル可能です。その施設は、お住まいの地域にない可能性があります。

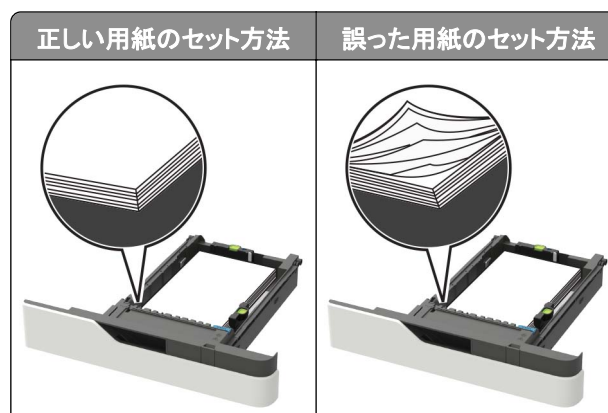
Lexmark にカートリッジを返却する際には、配達時に梱包されていたダンボール箱を再利用できます。そのダンボール箱は Lexmark がリサイクルします。

紙詰まりを取り除く

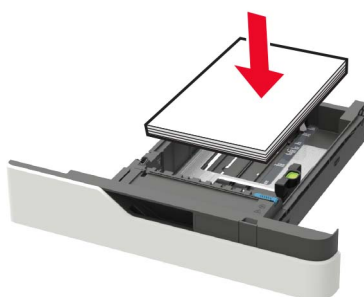
紙詰まりを防止する

用紙を正しくセットする

- 用紙はトレイに平らに置いてください。



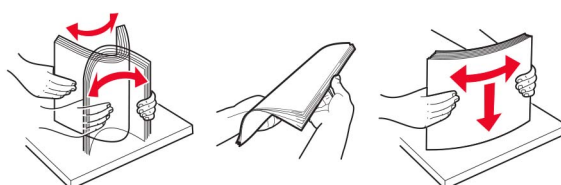
- 印刷中はトレイに用紙をセットしたり、トレイを取り外したりしないでください。
- 過度に多い量の用紙をセットしないでください。重ねた用紙の高さが、指定されている高さの上限を超えないようにします。
- 用紙をトレイにスライドしないでください。図のように用紙をセットします。



- 用紙ガイドが正しい位置にあり、用紙や封筒をきつく挟みすぎでないことを確認します。
- 用紙をセットしたらトレイをしっかりと押し込みます。

推奨用紙を使用する

- 推奨用紙または特殊紙のみを使用します。
- しわ、折り目のある用紙、湿っている用紙、曲がっている用紙、丸まっている用紙をセットしないでください。
- ほぐしたり、パラパラめくったり、端をそろえたりしてから用紙をセットします。

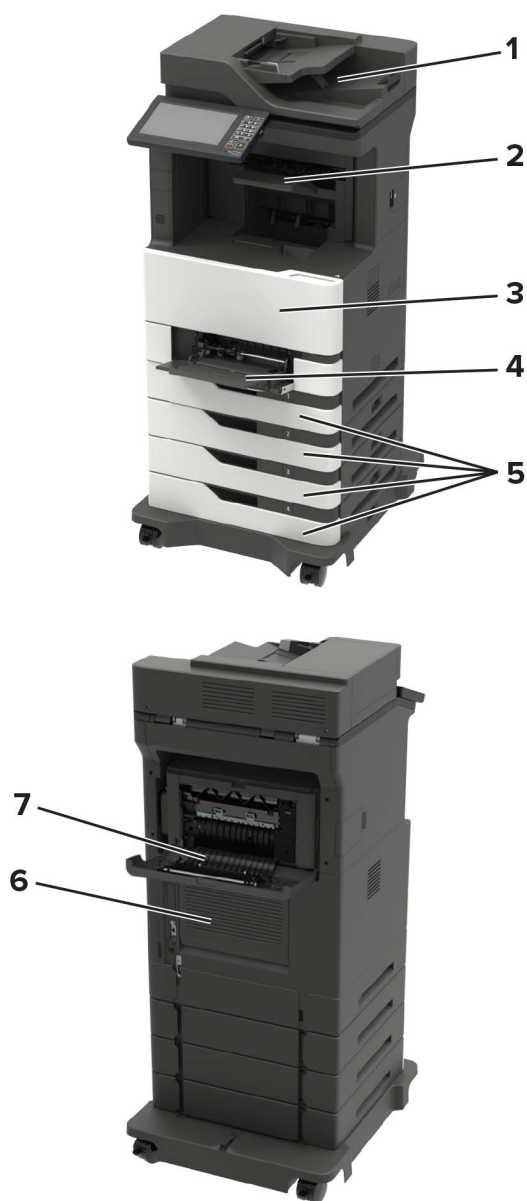


- 手で切った、またはちぎった用紙は使用しないでください。
- 用紙のサイズ、重さ、タイプが異なる用紙を混在させてセットしないでください。
- コンピュータまたはプリンタ操作パネルで、用紙のサイズおよびタイプが適切に設定されていることを確認します。
- 用紙はメーカーの推奨事項に従い保管します。

紙詰まりの場所を確認する

メモ:

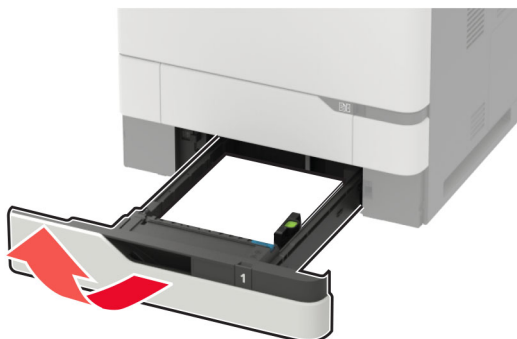
- 紙詰まりアシスト機能がオンに設定されている場合、紙詰まりを起こしたページが取り除かれた後、プリンタは空白ページまたは一部印刷されたページを排出します。空白ページがあるかどうか、印刷済み出力用紙を確認します。
- [紙詰まりしたページの再印刷]が[オン]または[自動]に設定されている場合、プリンタは紙詰まりが発生したページを再印刷します。



紙詰まりの場所	
1	自動原稿フィーダー
2	標準、フィニッシャまたは出力オプション排紙トレイ
3	ドア A
4	多目的フィーダー
5	トレイ
6	ドア C
7	フィニッシャまたは出力オプション背面ドア <ul style="list-style-type: none">• ドア H• ドア N• ドア P

トレイの紙詰まり

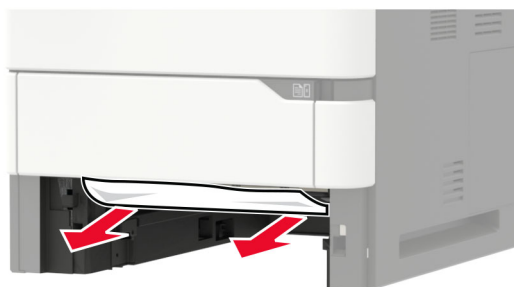
- 1 トレイを取り外します。



警告—破損の恐れあり: オプショントレイの内部のセンサーは、静電気によって故障することがよくあります。トレイにつまった用紙を取り除く前に、金属の表面に手を触れてください。

- 2 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

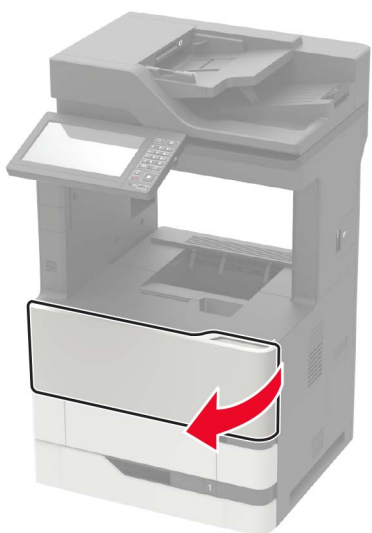


- 3 トレイを挿入します。

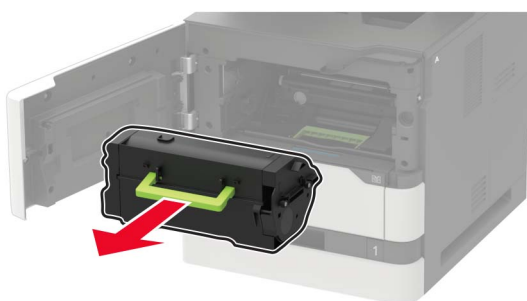
ドア A の紙詰まり

- 1 ドア A を開きます。

警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。



2 トナーカートリッジを取り外します。



3 イメージングユニットを取り外します。

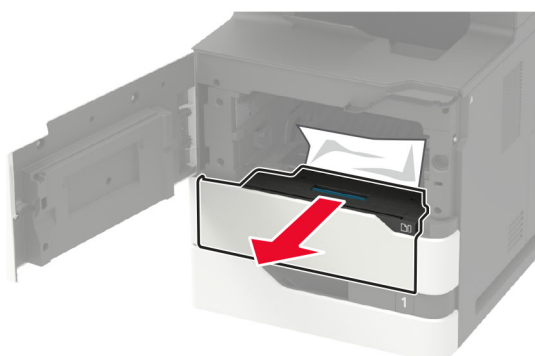


警告—破損の恐れあり：イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。

警告—破損の恐れあり：感光体ドラムには触らないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。

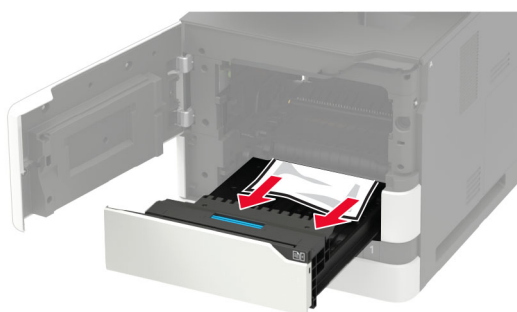


4 両面印刷ユニットを引き出します。



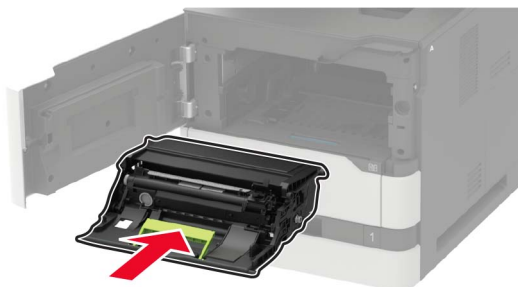
5 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

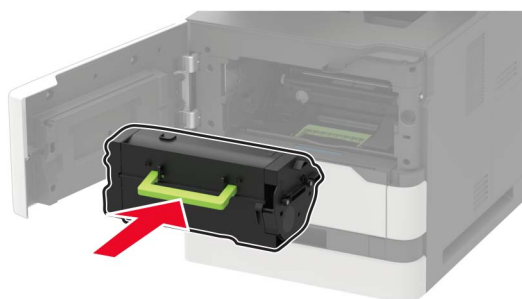


6 両面ユニットを挿入します。

7 イメージングユニットを挿入します。




8 トナーカートリッジを挿入します。



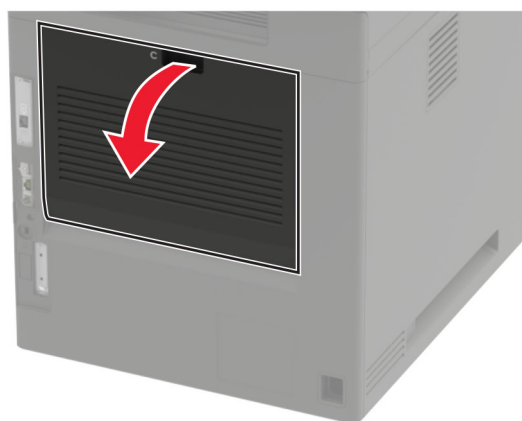
9 ドアを閉じます。

ドア C の紙詰まり

1 ドア C を開きます。

 **注意—表面高温:** プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を減らすため、表面が冷えてから触れるようにしてください。

警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に近づいたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。



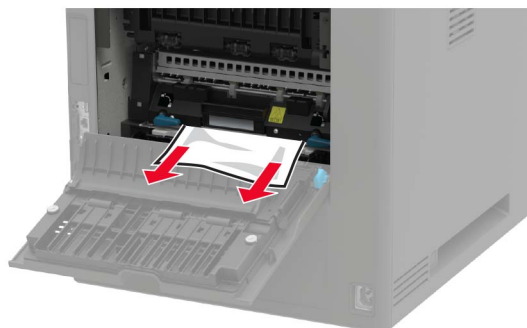
2 詰まっている用紙を次の場所から取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

- フューザーエリア



- フューザーエリアの下部



- 両面印刷エリア



3 ドアを閉じます。

標準排紙トレイの紙詰まり

詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



多目的フィーダーの紙詰まり

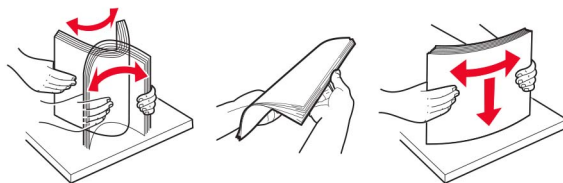
1 多目的フィーダーから用紙を取り除きます。



2 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

3 ほぐしたり、パラパラめくったり、端をそろえたりしてから用紙をセットします。



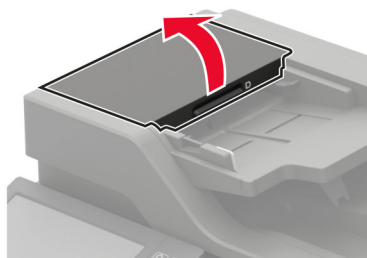
- 4 用紙をセットし直します。



ADF(自動原稿フィーダー)内の紙詰まり

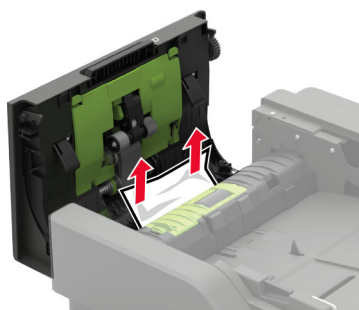
- 1 ADFトレイからすべての原稿を取り除いてください。
- 2 ドア D を開きます。

警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。



- 3 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

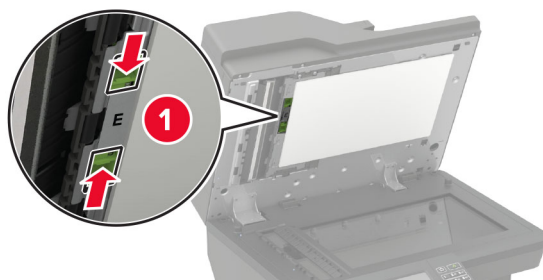


- 4 ドア D を閉じます。

5 スキャナカバーを開きます。

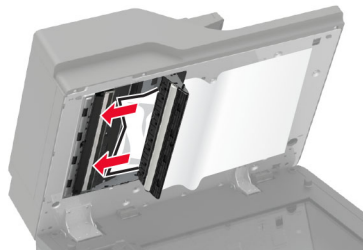


6 ドア E を開きます。



7 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

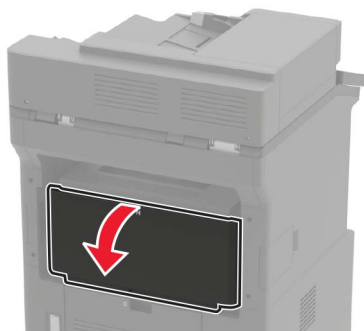


8 ドア E を閉じてから、スキャナカバーを閉じます。

4 トレイメールボックス内の紙詰まり

ドア N の紙詰まり

- 1 ドア N を開きます。



- 2 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

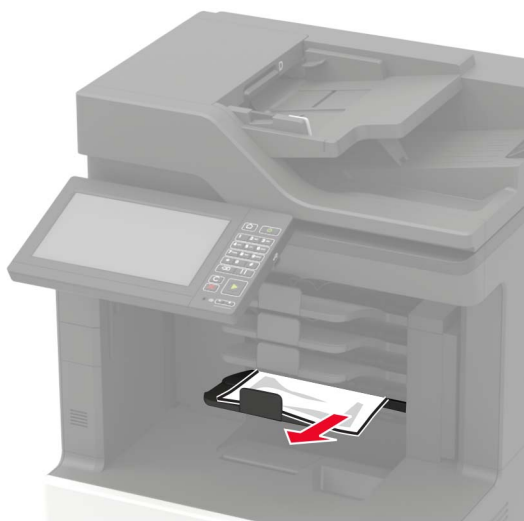


- 3 ドアを閉じます。

メールボックス排紙トレイの紙詰まり

詰まっている用紙を取り除きます。

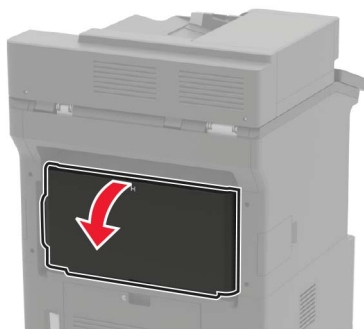
メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



オフセットスタッカまたはホチキスフィニッシャの紙詰まり

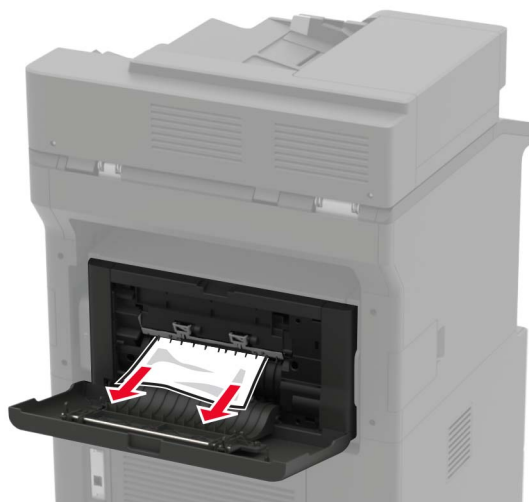
ドア H の紙詰まり

1 ドア H を開きます。



2 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



3 ドアを閉じます。

オフセットスタッカまたはホチキスフィニッシャ排紙トレイの紙詰まり

詰まっている用紙を取り除きます。

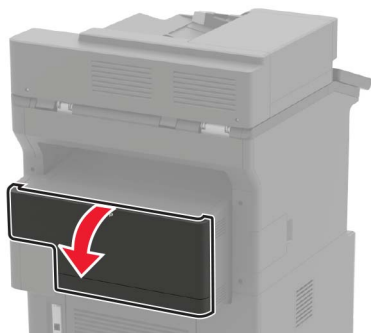
メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



ホチキス、穴パンチフィニッシャの紙詰まり

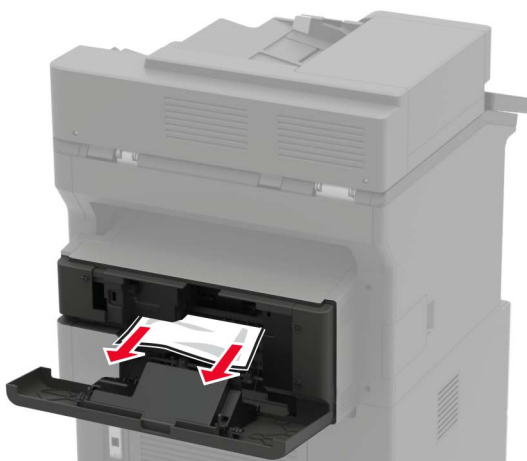
ドア P の紙詰まり

1 ドア P を開きます。



2 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



3 ドアを閉じます。

ホチキス、穴パンチフィニッシャの排紙トレイの紙詰まり

詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

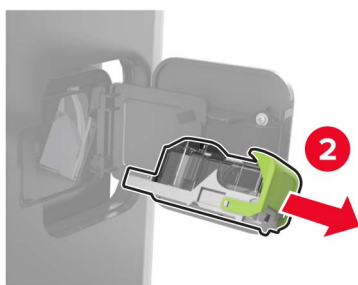
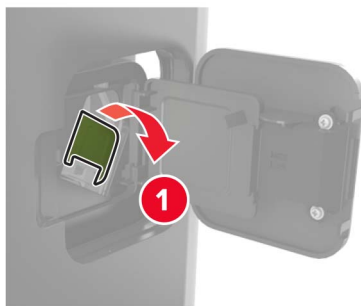


ホチキスフィニッシャ内のホチキス詰まり

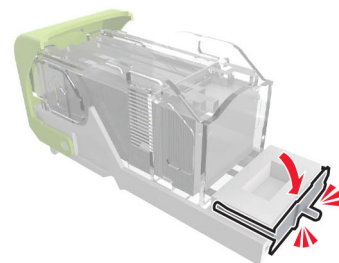
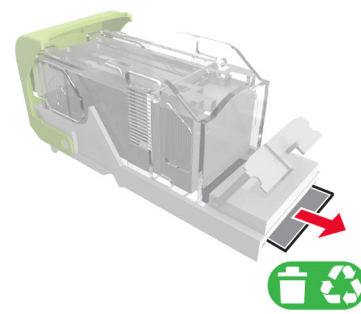
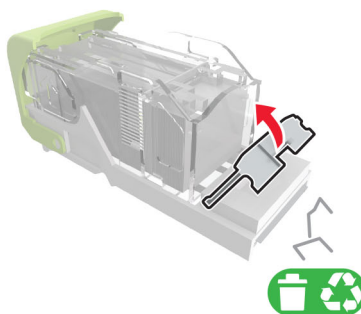
1 ドア F を開きます。



2 ホチキスカートリッジホルダーを取り外します。



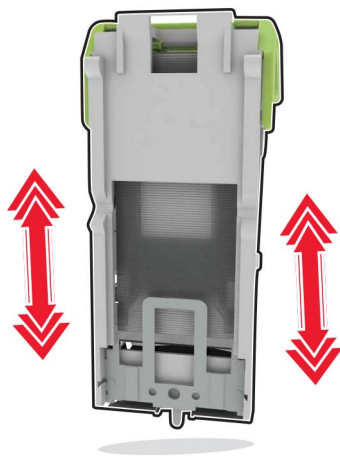
3 外れたホチキスを取り除きます。



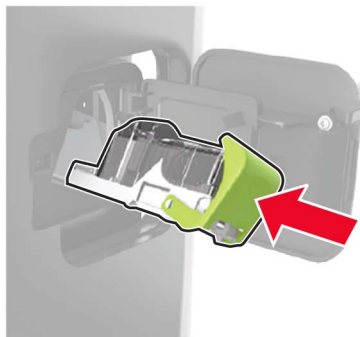
4 ホチキスを金属のブラケットにはめ込みます。



メモ: ホチキスがカートリッジの背面にある場合は、カートリッジを下方方向に揺すって、ホチキスを金属のブラケットの側に寄せます。



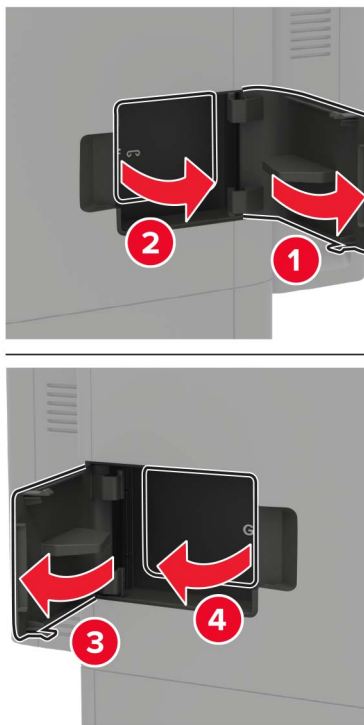
5 カチッと音がするまで、ホチキスカートリッジホルダーを挿入します。



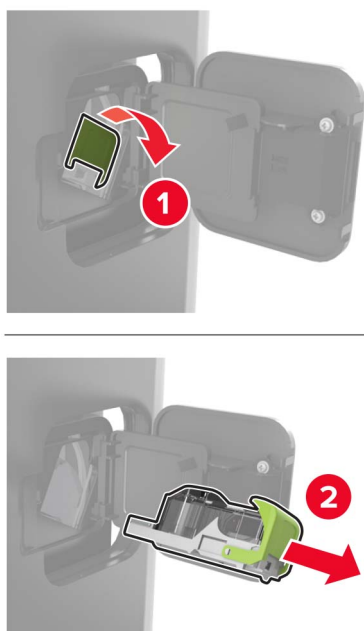
6 ドアを閉じます。

ホチキス、穴パンチフィニッシャ内のホチキス詰まり

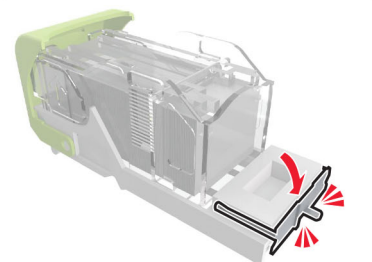
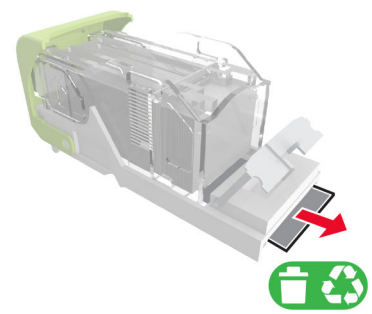
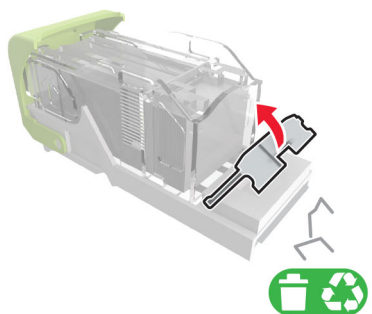
1 ホチキス詰まりの場所に応じて、ドア F またはドア G を開きます。



2 ホチキスカートリッジホルダーを取り外します。



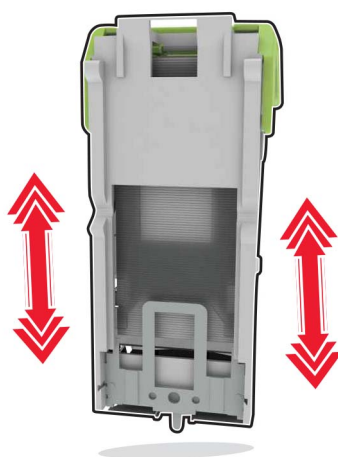
3 外れたホチキスを取り除きます。



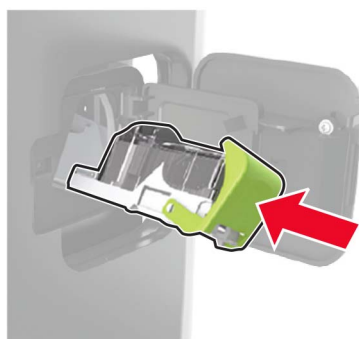
4 ホチキスを金属のブラケットにはめ込みます。



メモ: ホチキスがカートリッジの背面にある場合は、カートリッジを下方向に揺すって、ホチキスを金属のブラケットの側に寄せます。



5 カチッと音がするまで、ホチキスカートリッジホルダーを挿入します。

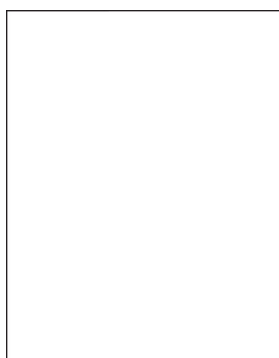


6 ドアを閉じます。

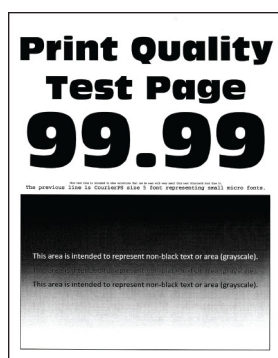
問題に対処する

印刷品質の問題

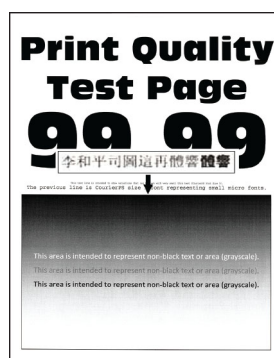
現在発生している印刷品質問題に似ている画像を探して、その下のリンクをクリックして、問題を解決する手順を確認してください。



[「空白または白のページ」、236 ページ](#)
[234 ページ](#)



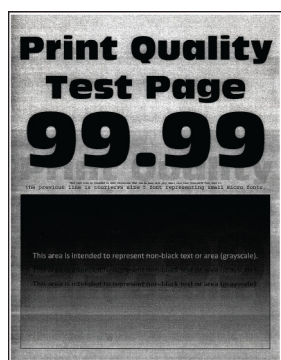
[「印刷が濃い」、236 ページ](#)



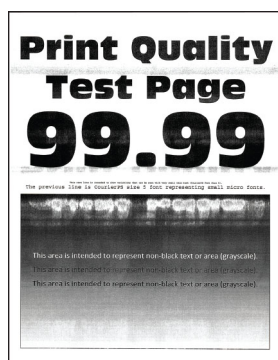
[「細かい線が正しく印刷されない」、237 ページ](#)



[「用紙が折れ曲がったりしわがよったりする」、238 ページ](#)



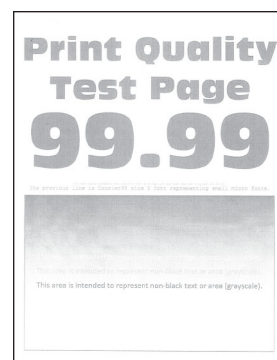
[「グレーの背景」、239 ページ](#)



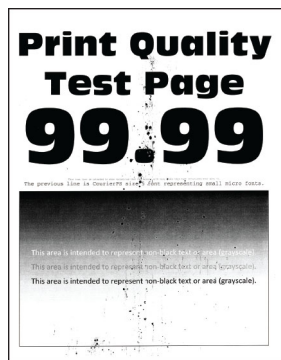
[「横方向の薄い帯」、249 ページ](#)



[「余白が正しくない」、240 ページ](#)



[「印刷が薄い」、241 ページ](#)



[「まだらな印刷やドット」、243 ページ](#)



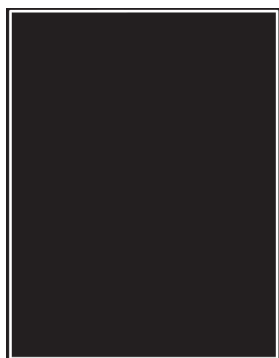
[「用紙のカール」、270 ページ](#)



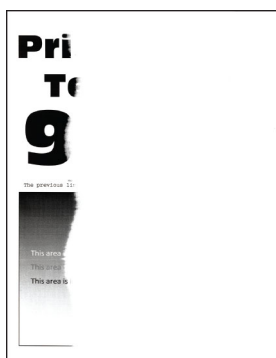
[「印刷が歪むまたは傾く」、244 ページ](#)



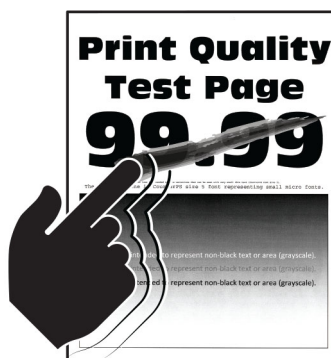
[「印刷不良が繰り返し発生する」、258 ページ](#)



「ページが真っ黒になる」、
245 ページ



「テキストまたは画像が切り取られる」、247 ページ



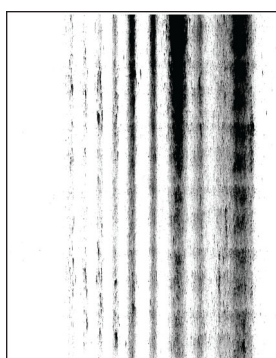
「トナーがはがれ落ちる」、248 ページ



「縦方向の黒い帯」、251 ページ



「縦方向の黒い線またはすじ」、255 ページ



「縦方向の黒いすじが現れて印刷が抜ける」、256 ページ



「縦方向の薄い帯」、250 ページ

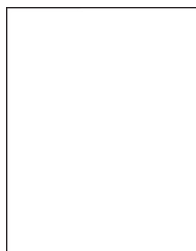



「縦方向の白い線」、251 ページ

印刷の問題

印刷品質が悪い

空白または白のページ




メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。</p> <p>メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>プリンタで空白または白のページが印刷されますか？</p>	<p>手順 2 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 2</p> <p>a イメージングユニットに残っている梱包材をすべて取り外します。</p> <p>1 トナーカートリッジ、イメージングユニットの順に取り外します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下の写真コンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>2 イメージングユニットに破損の兆候がないかを確認します。</p> <p>メモ: フォトコンダクタードラムの接触面の位置がずれたり、曲がったりしていないかを確認します。</p> <p>3 トナーの偏りをなくすために、イメージングユニットをしっかりと振ります。</p> <p>4 イメージングユニット、トナーカートリッジの順に挿入します。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>プリンタで空白または白のページが印刷されますか？</p>	<p>手順 3 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 3</p> <p>転写ローラーが正しく取り付けられているかを確認します。</p> <p>転写ローラーは正しく取り付けられていますか？</p>	<p>手順 5 に進みます。</p>	<p>手順 4 に進みます。</p>
<p>手順 4</p> <p>a 転写ローラーを取り外してから、挿入します。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>プリンタで空白または白のページが印刷されますか？</p>	<p>手順 5 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 5</p> <p>a イメージングユニットを交換します。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>プリンタで空白または白のページが印刷されますか？</p>	<p>カスタマサポート にお問い合わせください。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

印刷が濃い




メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、**[設定]** > **[トラブルシューティング]** > **[印刷品質テストページ]**の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

アクション	はい	いいえ
手順 1 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であることを確認します。 メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が濃いですか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 b トナーの濃さを薄くします。 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [印刷] > [品質] > [トナーの濃さ] c ドキュメントを印刷します。 印刷が濃いですか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a オペレーティングシステム(OS)に応じて、 [印刷設定] または [印刷] ダイアログから用紙タイプを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 • プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ]の順に移動します。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が濃いですか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 用紙の表面が粗いかどうかを確認します。 表面が粗い用紙に印刷していますか？	手順 5 に進みます。	手順 6 に進みます。

アクション	はい	いいえ
手順 5 a きめの粗い用紙を普通紙と交換します。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が濃いですか？	手順 6 に進みます。	問題は解決しました。
手順 6 a 新しいパッケージの用紙をセットします。 メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が濃いですか？	手順 7 に進みます。	問題は解決しました。
手順 7 a イメージングユニットを取り外してから、挿入します。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下の写真コンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が濃いですか？	手順 8 に進みます。	問題は解決しました。
手順 8 a イメージングユニットを交換します。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が濃いですか？	カスタマサポートに お問い合わせください 。	問題は解決しました。

細かい線が正しく印刷されない




メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 細かい線が正しく印刷されませんか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a 印刷品質の設定を調整します。 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [印刷] > [印刷品質] > [ピクセルブースト] > [フォント] 2 トナー濃度を 7 に調節します。操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [印刷] > [印刷品質] b ドキュメントを印刷します。 細かい線が正しく印刷されませんか？	カスタマサポートにお問い合わせください。	問題は解決しました。

用紙が折れ曲がったりしわがよったりする




メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

アクション	はい	いいえ
手順 1 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 用紙が折れ曲がったりしわがよったりしますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。

アクション	はい	いいえ
手順 2 a 新しいパッケージの用紙をセットします。 メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 b ドキュメントを印刷します。 用紙が折れ曲がったりしわがよったりしますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a オペレーティングシステム (OS) に応じて、[印刷設定] または [印刷] ダイアログから用紙タイプを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ] の順に移動します。 b ドキュメントを印刷します。 用紙が折れ曲がったりしわがよったりしますか？	カスタマサポートに お問い合わせください 。	問題は解決しました。

グレーの背景



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ] の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

アクション	はい	いいえ
手順 1 a プリンタの電源を切って 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 b トナーの濃さを薄くします。 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [印刷] > [品質] > [トナーの濃さ] c ドキュメントを印刷します。 グレーの背景が印刷に表示されますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するトナーカートリッジではない場合は、対応するトナーカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 グレーの背景が印刷に表示されますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。

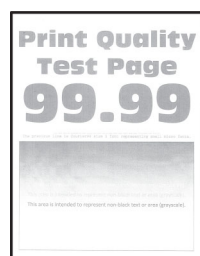
アクション	はい	いいえ
手順 3 a オペレーティングシステム (OS) に応じて、[印刷設定] または [印刷] ダイアログから用紙タイプを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 • プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ] の順に移動します。 b ドキュメントを印刷します。 グレーの背景が印刷に表示されますか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 a イメージングユニットを取り外してから、挿入します。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下の写真コンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b ドキュメントを印刷します。 グレーの背景が印刷に表示されますか？	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 a プリンタのファームウェアを更新します (⇒ 「ファームウェアを更新する」 、309 ページ)。 b ドキュメントを印刷します。 グレーの背景が印刷に表示されますか？	手順 6 に進みます。	問題は解決しました。
手順 6 a イメージングユニットを交換します。 b ドキュメントを印刷します。 グレーの背景が印刷に表示されますか？	カスタマサポートに お問い合わせください 。	問題は解決しました。


余白が正しくない



アクション	はい	いいえ
手順 1 a 用紙ガイドを、セットされている用紙のサイズに合う正しい位置に調整します。 b ドキュメントを印刷します。 余白は正しいですか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a 用紙サイズを設定します。 操作パネルから、次のメニューを選択します。 【設定】 > 【用紙】 > 【トレイ構成設定】 > 【用紙サイズ/タイプ】 b ドキュメントを印刷します。 余白は正しいですか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 a オペレーティングシステム(OS)によって、[印刷設定]または[印刷]ダイアログから用紙サイズを指定します。 メモ: トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 b ドキュメントを印刷します。 余白は正しいですか？	問題は解決しました。	カスタマサポートに お問い合わせください 。

印刷が薄い



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、**【設定】 > 【トラブルシューティング】 > 【印刷品質テストページ】**の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、を押して設定内を移動します。


アクション	はい	いいえ
手順 1 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が薄いですか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。

アクション	はい	いいえ
<p>手順 2</p> <p>a プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。</p> <p>b トナーの濃さを濃くします。 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [印刷] > [品質] > [トナーの濃さ]</p> <p>c ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷が薄いですか？</p>	<p>手順 3 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 3</p> <p>a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 • プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ]の順に移動します。 <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷が薄いですか？</p>	<p>手順 4 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 4</p> <p>a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷設定]または[印刷]ダイアログから印刷解像度を指定します。</p> <p>b 解像度を 600 dpi に設定します。</p> <p>c ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷が薄いですか？</p>	<p>手順 5 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 5</p> <p>a イメージングユニットを取り外します。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になることがあります。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下の写真コンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>b トナーの偏りをなくすために、イメージングユニットをしっかりと振ります。</p> <p>c イメージングユニットを挿入します。</p> <p>d プリンタの電源を切って 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。</p> <p>e ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷が薄いですか？</p>	<p>手順 6 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

アクション	はい	いいえ
手順 6 a トナーカートリッジの状態を確認します。 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [レポート] > [デバイス] > [デバイス統計] b 印刷ページの[消耗品情報]セクションで、トナーカートリッジの状態を確認します。 トナーカートリッジの寿命は近づいていますか？	手順 7 に進みます。	カスタマサポートに お問い合わせください 。
手順 7 a トナーカートリッジを交換します。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が薄いですか？	カスタマサポートに お問い合わせください 。	問題は解決しました。

まだらな印刷やドット



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、**[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]**の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 印刷がまだらになっていますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 トナー漏れの汚れがないか、プリンタをチェックします。 プリンタにトナー漏れはありませんか？	手順 3 に進みます。	カスタマサポートに お問い合わせください 。

対応	はい	いいえ
手順 3 イメージングユニットの状態を確認します。操作パネルから、次のメニューを選択します。 [状態/消耗品] > [消耗品] イメージングユニットの寿命は近づいていますか？	手順 4 に進みます。	カスタマサポート にお問い合わせください 。
手順 4 a イメージングユニットを交換します。 b ドキュメントを印刷します。 印刷がまだらになっていますか？	カスタマサポート にお問い合わせください 。	問題は解決しました。

印刷が歪むまたは傾く




メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。ホーム画面から、**[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]**の順にタッチします。

対応	はい	いいえ
手順 1 a トレイを引き出します。 b 用紙を取り除き、開封直後の印刷用紙をセットします。 メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 c セットする用紙のサイズに合った正しい位置まで、用紙ガイドを握ってスライドさせます。 d トレイを挿入します。 e ドキュメントを印刷します。 印刷が歪んだり傾いたりしていますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a サポートされている用紙で印刷しているかどうかを確認します。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が歪んだり傾いたりしていますか？	カスタマサポートに お問い合わせください 。	問題は解決しました。

ページが真っ黒になる




メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、**[設定]** > **[トラブルシューティング]** > **[印刷品質テストページ]**の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であることを確認します。</p> <p>メモ: 対応するトナーカートリッジではない場合は、対応するトナーカートリッジを取り付けます。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>まだ真っ黒のページが印刷されますか？</p>	<p>手順 2 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 2</p> <p>a イメージングユニットを取り外してから、挿入します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下の写真コンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>まだ真っ黒のページが印刷されますか？</p>	<p>手順 3 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

対応	はい	いいえ
<p>手順 3</p> <p>a イメージングユニットを取り外します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下のフォトコンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>b 残りの梱包材をイメージングユニットからすべて取り外します。</p>  <p>メモ: チャージローラーとフォトコンダクタードラムの間にある障害物をすべて取り除いてください。</p> <p>c イメージングユニットを挿入します。</p> <p>d ドキュメントを印刷します。</p> <p>まだ真っ黒のページが印刷されますか？</p>	<p>手順 4 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 4</p> <p>イメージングユニットに破損の兆候がないかを確認します。</p> <p>イメージングユニットに破損はありませんか？</p>	<p>カスタマサポートにお問い合わせください。</p>	<p>手順 5 に進みます。</p>
<p>手順 5</p> <p>a イメージングユニットを交換します。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>まだ真っ黒のページが印刷されますか？</p>	<p>カスタマサポートにお問い合わせください。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

テキストまたは画像が切り取られる

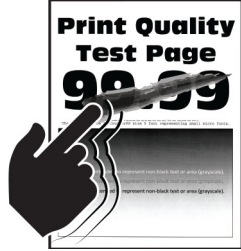



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であることを確認します。</p> <p>メモ: 対応するトナーカートリッジではない場合は、対応するトナーカートリッジを取り付けます。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>テキストまたは画像が切れて印刷されていますか？</p>	<p>手順 2 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 2</p> <p>a イメージングユニットを取り外してから、挿入します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下のフォトコンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>テキストまたは画像が切れて印刷されていますか？</p>	<p>手順 3 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

対応	はい	いいえ
<p>手順 3</p> <p>a イメージングユニットを取り外します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下のフォトコンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>b 残りの梱包材をイメージングユニットからすべて取り外します。</p> <div data-bbox="402 625 776 1136"></div> <p>メモ: チャージローラーとフォトコンダクタードラムの間にある障害物をすべて取り除いてください。</p> <p>c イメージングユニットを挿入します。</p> <p>d ドキュメントを印刷します。</p> <p>テキストまたは画像が切れて印刷されていますか？</p>	<p>手順 4 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 4</p> <p>a イメージングユニットを交換します。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>テキストまたは画像が切れて印刷されていますか？</p>	<p>カスタマサポートにお問い合わせください。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

トナーがはがれ落ちる




メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 トナーは摩擦で簡単にはがれ落ちますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。 b ドキュメントを印刷します。 トナーは摩擦で簡単にはがれ落ちますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a フューザーを取り外してから、挿入します。 b ドキュメントを印刷します。 トナーは摩擦で簡単にはがれ落ちますか？	Contact カスタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

横方向の薄い帯




メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であることを確認します。 メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 横方向の薄い帯が印刷に表示されますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 b ドキュメントを印刷します。 横方向の薄い帯が印刷に表示されますか？	カスタマサポート にお問い合わせください 。	問題は解決しました。

縦方向の薄い帯




メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、**[設定]** > **[トラブルシューティング]** > **[印刷品質テストページ]**の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であることを確認します。 メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 縦方向の薄い帯が印刷に表示されますか？	カスタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

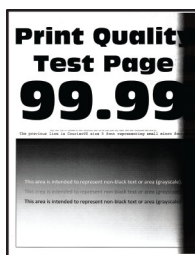
縦方向の白い線




メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 印刷に縦方向の白い線が表示されますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 印刷速度が遅い問題を修正します。詳細については、 「印刷が遅い」、259 ページ を参照してください。 印刷に縦方向の白い線が表示されますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a イメージングユニットを交換します。 b ドキュメントを印刷します。 印刷に縦方向の白い線が表示されますか？	カスタマサポート にお問い合わせください 。	問題は解決しました。

縦方向の黒い帯




メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。</p> <p>メモ: 対応するトナーカートリッジではない場合は、対応するトナーカートリッジを取り付けます。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>縦方向の黒い帯が印刷に表示されますか？</p>	<p>手順 2 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 2</p> <p>a トナーカートリッジ、イメージングユニットの順に取り外します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下の写真コンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>b イメージングユニット、トナーカートリッジの順に取り付けます。</p> <p>c ドキュメントを印刷します。</p> <p>縦方向の黒い帯が印刷に表示されますか？</p>	<p>手順 3 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

対応	はい	いいえ
<p>手順 3</p> <p>a イメージングユニットを取り外します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下のフォトコンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>b 残りの梱包材をイメージングユニットからすべて取り外します。</p> <div data-bbox="402 625 776 1136"></div> <p>メモ: チャージローラーとフォトコンダクタードラムの間にある障害物をすべて取り除いてください。</p> <p>c イメージングユニットを挿入します。</p> <p>d ドキュメントを印刷します。</p> <p>縦方向の黒い帯が印刷に表示されますか？</p>	<p>手順 4 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 4</p> <p>a プリンタの右側に明るい光が入っていないかを確認し、必要に応じてプリンタを移動させます。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>縦方向の黒い帯が印刷に表示されますか？</p>	<p>カスタマサポートにお問い合わせください。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

縦方向の黒い線




メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、**[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]**の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
<p>手順 1 白紙を 1 枚用意し、ADF を使用して両面印刷を行います。</p> <p>縦方向の黒い線またはすじが印刷に表示されますか？</p>	手順 2 に進みます。	手順 3 に進みます。
<p>手順 2 下に示した領域を、水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布で拭きます。</p> <ul style="list-style-type: none">• ADF ガラスパッド(A)および ADF ガラス(B)  <ul style="list-style-type: none">• ADF ガラス(A)およびドア C の ADF ガラスパッド(B)  <p>縦方向の黒い線またはすじが印刷に表示されますか？</p>	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
手順 3 a オペレーティングシステムに応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 • プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ]の順に移動します。 b ドキュメントを印刷します。 縦方向の黒い線またはすじが印刷に表示されますか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 a 新しいパッケージの用紙をセットします。 メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は使用するまで元の包み紙のまま保管してください。 b ドキュメントを印刷します。 縦方向の黒い線またはすじが印刷に表示されますか？	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 a イメージングキットを取り外してから挿入します。 警告—破損の恐れあり: イメージングキットを直射光にさらさないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になることがあります。 警告—破損の恐れあり: イメージングキットの下の感光体ドラムに触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b ドキュメントを印刷します。 縦方向の黒い線またはすじが印刷に表示されますか？	カスタマサポート にお問い合わせください 。	問題は解決しました。

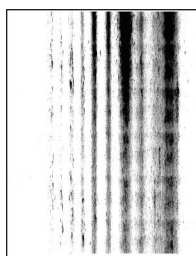
縦方向の黒い線またはすじ




メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するトナーカートリッジではない場合は、対応するトナーカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 縦方向の黒い線またはすじが印刷に表示されますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a イメージングユニットを取り外し、もう一度取り付けます。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になることがあります。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下のフォトコンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b ドキュメントを印刷します。 縦方向の黒い線またはすじが印刷に表示されますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a イメージングユニットを交換します。 b ドキュメントを印刷します。 縦方向の黒い線またはすじが印刷に表示されますか？	カスタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

縦方向の黒いすじが現れて印刷が抜ける




メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、**[設定]** > **[トラブルシューティング]** > **[印刷品質テストページ]**の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>a イメージングユニットを取り外します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下の写真コンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>b 残りの梱包材をイメージングユニットからすべて取り外します。</p>  <p>メモ: チャージローラーとフォトコンダクタードラムの間にある障害物をすべて取り除いてください。</p> <p>c イメージングユニットを挿入します。</p> <p>d ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷物に縦方向の黒いすじが現れて画像が抜けていますか？</p>	<p>手順 2 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 2</p> <p>a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。</p> <p>メモ: 対応するトナーカートリッジではない場合は、対応するトナーカートリッジを取り付けます。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷物に縦方向の黒いすじが現れて画像が抜けていますか？</p>	<p>カスタマサポートにお問い合わせください。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

印刷不良が繰り返し発生する



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 印刷品質テストページを使用して、繰り返し発生する異常の間隔が次の値のいずれかと等しいかどうかを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> • 96.8 mm (3.81 インチ) • 47.8 mm (1.88 インチ) • 28.5 mm (1.12 インチ) 繰り返し発生する異常の間隔は、次の測定値のいずれかと一致していますか？	手順 2 に進みます。	間隔を記録して、 カスタマサポート にお問い合わせください。
手順 2 a イメージングユニットを交換します。 b ドキュメントを印刷します。 印刷不良が繰り返し発生しますか？	Contact カスタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

印刷ジョブが印刷されない

対応	はい	いいえ
手順 1 a 印刷する原稿で[印刷]ダイアログボックスを開き、正しいプリンタが選択されているかどうかを確認します。 b ドキュメントを印刷します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。 b ディスプレイに表示されるエラーメッセージを解決します。 c ドキュメントを印刷します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 3 a ポートが動作し、ケーブルがコンピュータとプリンタにしっかりと接続されていることを確認します。 詳細については、プリンタに同梱されているセットアップマニュアルを参照してください。 b ドキュメントを印刷します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。
手順 4 a プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 b ドキュメントを印刷します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 5 に進みます。
手順 5 a 印刷ドライバを削除してから、再インストールします。 b ドキュメントを印刷します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

印刷が遅い

対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタケーブルがプリンタおよびコンピュータ、プリントサーバー、オプション、またはその他のネットワークデバイスにしっかりと接続されていることを確認します。 印刷に時間がかかりますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a プリンタが静音モードになっていないことを確認します。 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [構成設定メニュー] > [デバイスの操作] > [静音モード]をタッチします。 b ドキュメントを印刷します。 印刷に時間がかかりますか。	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a オペレーティングシステム (OS) に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから印刷解像度を指定します。 b 解像度を 600 dpi に設定します。 c ドキュメントを印刷します。 印刷に時間がかかりますか。	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
<p>手順 4</p> <p>a ホーム画面で、[設定] > [印刷] > [品質] > [印刷解像度]をタッチします。</p> <p>b 解像度を 600 dpi に設定します。</p> <p>c ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷に時間がかかりますか。</p>	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
<p>手順 5</p> <p>a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 • プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。 • 重い用紙は、印刷に時間がかかります。 • レター、A4、リーガルよりも幅の狭い用紙は、印刷に時間がかかることがあります。 <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷に時間がかかりますか。</p>	手順 6 に進みます。	問題は解決しました。
<p>手順 6</p> <p>a [表面の粗さ]と[重さ]のプリンタ設定がセットされている用紙と一致していることを確認します。</p> <p>ホーム画面で、[設定] > [用紙] > [用紙構成] > [用紙の種類]をタッチします。</p> <p>メモ: 粗い用紙および重い用紙は、印刷に時間がかかることがあります。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷に時間がかかりますか。</p>	手順 7 に進みます。	問題は解決しました。
<p>手順 7</p> <p>保留ジョブを削除します。</p> <p>印刷に時間がかかりますか。</p>	手順 8 に進みます。	問題は解決しました。
<p>手順 8</p> <p>a プリンタが過熱していないことを確認します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 長い印刷ジョブの後には、プリンタを十分に冷まします。 • プリンタの推奨周囲温度を守ってください。詳細については、「プリンタの設置場所を選択する」、11 ページを参照してください。 <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷に時間がかかりますか。</p>	カスタマサポートに お問い合わせください 。	問題は解決しました。

トナーの濃さを調整する

- 1 ホーム画面で、[設定] > [印刷] > [印刷品質]をタッチします。
- 2 [トナーの濃さ]メニューで、設定を調整します。

ジョブが誤ったトレイまたは用紙で印刷される


対応	はい	いいえ
手順 1 a 正しい用紙で印刷しているかどうかを確認します。 b ドキュメントを印刷します。 ドキュメントは正しい用紙で印刷されていますか？	手順 2 に進みます。	正しいサイズとタイプの用紙をセットします。
手順 2 a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙サイズと用紙タイプを指定します。 メモ: プリンタ操作パネルで設定した設定を変更することもできます。次のメニューを選択します。 [設定] > [用紙] > [トレイ設定] > [用紙サイズ/タイプ] b セットした用紙と設定が一致していることを確認します。 c ドキュメントを印刷します。 ドキュメントは正しい用紙で印刷されていますか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 a トレイがリンクされていることを確認します。 詳細については、 「トレイのリンク」、37 ページ を参照してください。 b ドキュメントを印刷します。 ドキュメントは正しいトレイから印刷されましたか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

コンフィデンシャルドキュメントおよびその他の保留ドキュメントが印刷されない

対応	はい	いいえ
手順 1 a 操作パネルから、保留ジョブのリストにドキュメントが表示されるかを確認します。 メモ: ドキュメントが一覧表示されない場合、[印刷して保持]オプションを使用してドキュメントを印刷します。 b ドキュメントを印刷します。 ドキュメントは印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。

対応	はい	いいえ
<p>手順 2</p> <p>印刷ジョブに、フォーマットエラーまたは無効なデータが含まれている可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 印刷ジョブを削除し、もう一度送信します。 PDF ファイルの場合、新しいファイルを生成してから、ドキュメントを印刷します。 <p>ドキュメントは印刷されましたか？</p>	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
<p>手順 3</p> <p>インターネットから印刷する場合、プリンタは重複している複数のジョブタイトルを読み取る可能性があります。</p> <p>Windows の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> [印刷設定]ダイアログを開きます。 [印刷して保持]タブで、[[印刷して保持]を使用する]をクリックして、[重複ドキュメントを維持]をクリックします。 PIN を入力して、変更を保存します。 印刷ジョブを送信します。 <p>Macintosh の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> ジョブは保存され、ジョブごとに違う名前が付けられます。 ジョブを個別に送信します。 <p>ドキュメントは印刷されましたか？</p>	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。
<p>手順 4</p> <ol style="list-style-type: none"> 一部の保留ジョブを削除して、プリンタメモリの空き容量を増やします。 ドキュメントを印刷します。 <p>ドキュメントは印刷されましたか？</p>	問題は解決しました。	手順 5 に進みます。
<p>手順 5</p> <ol style="list-style-type: none"> プリンタメモリを増設します。 ドキュメントを印刷します。 <p>ドキュメントは印刷されましたか？</p>	問題は解決しました。	次に問い合わせます： カスタマサポート 。

プリンタが応答していない

対応	はい	いいえ
手順 1 電源コードが電源コンセントに接続されていることを確認します。  注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くでアクセスしやすく、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。 プリンタは応答していますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 コンセントがスイッチやブレーカーなどでオフになっていないことを確認します。 コンセントがスイッチやブレーカーなどでオフになっていますか？	スイッチをオンにするか、ブレーカーをリセットします。	手順 3 に進みます。
手順 3 プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。 プリンタの電源はオンになっていますか？	手順 4 に進みます。	プリンタの電源を入れます。
手順 4 プリンタがスリープモードまたは休止モードになっていないか確認します。 プリンタがスリープモードまたは休止モードになっていませんか？	電源ボタンを押してプリンタを復帰させます。	手順 5 に進みます。
手順 5 プリンタとコンピュータをつなぐケーブルが正しいポートに接続されているかどうかを確認します。 ケーブルは正しいポートに差し込まれていますか？	手順 6 に進みます。	ケーブルを正しいポートに差し込みます。
手順 6 プリンタの電源を切ってハードウェアオプションを取り付けてから、プリンタの電源を入れます。 詳細については、オプションに同梱されているマニュアルを参照してください。 プリンタは応答していますか？	問題は解決しました。	手順 7 に進みます。
手順 7 正しいプリントドライバをインストールします。 プリンタは応答していますか？	問題は解決しました。	手順 8 に進みます。
手順 8 プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 プリンタは応答していますか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

フラッシュメモリを読み取れない

対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタが他の印刷、コピー、スキャン、FAX ジョブを処理中でないか確認します。 プリンタは準備完了状態ですか？	手順 2 に進みます。	プリンタ他のジョブの処理を終了するまで待ちます。
手順 2 フラッシュドライブのサポートを確認します。詳細については、「 サポートされているフラッシュメモリとファイルタイプ 」、48 ページ を参照してください。 フラッシュメモリが対応していますか？	手順 3 に進みます。	対応しているフラッシュメモリを挿入します。
手順 3 a USB ポートが有効になっているかどうかを確認します。詳細については、「 USB ポートを有効にする 」、264 ページ を参照してください。 b フラッシュドライブを取り外してから、挿入します。 プリンタはフラッシュメモリを認識していますか？	問題は解決しました。	カスタマサポートに お問い合わせください 。

USB ポートを有効にする

ホーム画面で、[設定] > [ネットワーク/ポート] > [USB] > [USB ポートを有効にする]をタッチします。

ネットワーク接続の問題

EWS を開けない

アクション	はい	いいえ
手順 1 プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。 プリンタの電源はオンになっていますか？	手順 2 に進みます。	プリンタの電源をオンにします。
手順 2 プリンタの IP アドレスが正しいかどうかを確認します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> ホーム画面で IP アドレスを確認します。 IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた数字の 4 セットで表示されます。 プリンタの IP アドレスは正しいですか？	手順 3 に進みます。	アドレスフィールドにプリンタの正しい IP アドレスを入力します。

アクション	はい	いいえ
手順 3 サポート対象のブラウザを使用しているかどうか確認します。 <ul style="list-style-type: none"> • Internet Explorer バージョン 11 以降 • Microsoft Edge • Safari バージョン 6 以降 • Google Chrome™ バージョン 32 以降 • Mozilla Firefox バージョン 24 以降 ブラウザはサポート対象ですか？	手順 4 に進みます。	サポート対象のブラウザをインストールします。
手順 4 ネットワーク接続が動作しているかどうかを確認します。 ネットワーク接続は動作していますか？	手順 5 に進みます。	管理者に問い合わせてください。
手順 5 プリンタおよびプリントサーバーへのケーブルの接続をチェックし、しっかり固定されているか確認します。詳細については、プリンタに付属のマニュアルを参照してください。 ケーブルはしっかりと接続されていますか？	手順 6 に進みます。	ケーブルをしっかりと接続します。
手順 6 Web プロキシサーバーが無効か確認します。 Web プロキシサーバーは無効ですか？	手順 7 に進みます。	管理者に問い合わせてください。
手順 7 EWS にアクセスします。 EWS を開きましたか？	問題は解決しました。	カスタマサポートに お問い合わせください 。

プリンタを Wi-Fi ネットワークに接続できません

対応	はい	いいえ
手順 1 アクティブアダプタが自動に設定されていることを確認します。 ホーム画面で、[設定] > [ネットワーク/ポート] > [ネットワークの概要] > [アクティブアダプタ] > [自動]をタッチします。 プリンタを Wi-Fi ネットワークに接続できますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 正しい Wi-Fi ネットワークが選択されていることを確認してください。 メモ: 一部のルーターは初期設定の SSID を共有する場合があります。 正しい Wi-Fi ネットワークに接続していますか？	手順 4 に進みます。	手順 3 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 3 正しい Wi-Fi ネットワークに接続してください。詳細については、「 プリンタを Wi-Fi ネットワークに接続する 」、162 ページ を参照してください。 プリンタを Wi-Fi ネットワークに接続できますか？	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。
手順 4 ワイヤレスセキュリティモードを選択してください。 ホーム画面で、[設定] > [ネットワーク/ポート] > [ワイヤレス] > [ワイヤレスセキュリティモード] をタッチします。 正しいワイヤレスセキュリティモードが選択されていますか？	手順 6 に進みます。	手順 5 に進みます。
手順 5 正しいワイヤレスセキュリティモードを選択してください。 プリンタを Wi-Fi ネットワークに接続できますか？	問題は解決しました。	手順 6 に進みます。
手順 6 ネットワークパスワードを正しく入力したことを確認します。 メモ: パスワードにはスペース、数字、大文字を使用するようにしてください。 プリンタを Wi-Fi ネットワークに接続できますか？	問題は解決しました。	カスタマサポートに お問い合わせください 。


プリンタの接続を確認する

- 1 ホーム画面で、[設定] > [レポート] > [ネットワーク] > [ネットワーク設定ページ] をタッチします。
- 2 ネットワーク設定ページの最初のセクションを確認し、状態が[接続]であることを確認します。
 状態が[未接続]の場合、LAN 破棄が有効ではない、またはネットワークケーブルが外れているか、正常に動作していない可能性があります。サポートが必要な場合は、管理者にお問い合わせください。

ハードウェアオプションの問題

内蔵オプションが検出されない

対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 内蔵オプションは正しく動作しますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 メニュー設定ページを印刷し、[インストール済みの機能] リストに内蔵オプションがあるかどうかを確認します。 内蔵オプションはメニュー設定ページに記載されていますか？	手順 4 に進みます。	手順 3 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 3 内蔵オプションがコントローラボードに正しく取り付けられていることを確認します。 a プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。 b 内蔵オプションがコントローラボードの適切なコネクタに取り付けられていることを確認します。 c 電源コードをコンセントに接続し、プリンタの電源をオンにします。  注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。 内蔵オプションは正しく動作しますか？	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。
手順 4 a 内蔵オプションがプリンタドライバで使用可能かどうか確認します。 メモ: 必要に応じて、プリンタドライバで内蔵オプションを手動で追加し、印刷ジョブで使用できるようにします。詳細については、「 プリントドライバの使用可能なオプションを追加する 」、308 ページ を参照してください。 b 印刷ジョブを再送信します。 内蔵オプションは正しく動作しますか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください。

フラッシュメモリ不良が検出された

次の手順を 1 つ以上実行します。

- 不良のフラッシュメモリを交換します。
- プリンタ操作パネルで[続行]を選択してメッセージを無視し、印刷を続行します。
- 実行中の印刷ジョブを中止します。

リソース用のフラッシュメモリ空領域が不十分

次の手順を 1 つ以上実行します。

- プリンタ操作パネルで[続行]を選択してメッセージを消去し、印刷を続行します。
- フラッシュメモリに保存されているフォント、マクロ、その他のデータを削除します。
- 容量が大きいフラッシュメモリを取り付けます。

メモ: フラッシュメモリに保存されていないダウンロード済みのフォントおよびマクロは削除されます。

未フォーマットフラッシュメモリが検出された

次の手順を 1 つ以上実行します。

- 操作パネルの[続行]を選択して、デフラグを停止し、印刷を続行します。
- フラッシュメモリをフォーマットします。

メモ: エラーメッセージがまだ表示される場合は、フラッシュメモリが不良の可能性があるので交換する必要があります。

消耗品の問題

カートリッジを交換、プリンタの地域設定が不一致

この問題を解決するには、プリンタの地域に一致する正しい地域でカートリッジを購入するか、世界標準のカートリッジを購入します。

- 42 の後ろに続くメッセージの最初の番号は、プリンタの地域を示します。
- 42 の後ろに続くメッセージの 2 番目の番号は、カートリッジの地域を示します。

プリンタおよびトナーカートリッジの地域

地域	数値コード
世界標準または未定義の地域	0
北米(米国、カナダ)	1
欧州経済領域、西ヨーロッパ、北欧諸国、スイス	2
アジア太平洋	3
中南米	4
その他の欧州諸国、中東、アフリカ	5
オーストラリア、ニュージーランド	6
無効な地域	9

メモ: プリンタとトナーカートリッジの地域設定を検索するには、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、次のメニューを選択します。[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]

Lexmark 以外の消耗品

プリンタに他社製の消耗品または部品が取り付けられています。

お使いの Lexmark プリンタは、Lexmark の純正の消耗品および部品を使用して最適に動作するように設計されています。サードパーティ製の消耗品や部品を使用すると、パフォーマンス、信頼性、プリンタの寿命およびイメージングコンポーネントに影響する場合があります。

すべての寿命インジケータは、純正の消耗品および部品を使用して機能するように設計されており、サードパーティ製の消耗品や部品を使用すると、予期せぬ結果になることがあります。想定された寿命を超えてイメージングコンポーネントを使用すると、Lexmark プリンタや関連するコンポーネントが損傷する可能性があります。

警告—破損の恐れあり: サードパーティ製の消耗品や部品の使用は、保証の対象に影響します。サードパーティ製の消耗品や部品の使用による損傷は、保証の対象外となる可能性があります。

これらのリスクをすべて許容し、純正でない消耗品や部品の使用をプリンタで続行するには、操作パネルで **X** と **#** を同時に 15 秒間押し続けます。

これらのリスクを許容しない場合は、サードパーティ製の消耗品や部品をプリンタから取り外し、Lexmark の純正の消耗品や部品を取り付けます。詳細については、[「Lexmark の純正部品と純正消耗品を使用する」](#)、180 ページを参照してください。

X と # を 15 秒間同時に押し続けても印刷されない場合、消耗品使用量カウンタをリセットします。

1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [構成メニュー] > [消耗品使用量とカウンタ]

2 リセットする部品または消耗品を選択して、[スタート]を選択します。

3 警告メッセージを確認して[続行]を選択します。

4 X と # を同時に 15 秒間押し続けて、メッセージをクリアします。

メモ: 消耗品使用量カウンタをリセットできない場合は、購入した場所に消耗品を返品します。

給紙の問題

印刷時に封筒の封が閉じられる

対応	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>a 乾燥した場所に保管されている封筒を使用してください。</p> <p>メモ: 含水率の高い封筒に印刷すると、封の部分が閉じられる可能性があります。</p> <p>b 次のように印刷ジョブを送信します。</p> <p>印刷時に封筒の封が閉じられますか。</p>	<p>手順 2 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 2</p> <p>a 用紙のタイプが[封筒]に設定されていることを確認します。</p> <p>操作パネルから、次のメニューを選択します。</p> <p>[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ]</p> <p>b 次のように印刷ジョブを送信します。</p> <p>印刷時に封筒の封が閉じられますか。</p>	<p>Contact カスタマサポートにお問い合わせください。</p>	<p>問題は解決しました。</p>


部単位印刷が動作しない

アクション	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>a 操作パネルから、次のメニューを選択します。</p> <p>[設定] > [印刷] > [レイアウト] > [部単位]</p> <p>b [オン「1,2,1,2,1,2」]をタッチします。</p> <p>c ドキュメントを印刷します。</p> <p>ドキュメントは正しく部単位になっていますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 2 に進みます。</p>

アクション	はい	いいえ
手順 2 a 印刷するドキュメントで、[印刷]ダイアログボックスを開いて[部単位]を選択します。 b ドキュメントを印刷します。 ドキュメントは正しく部単位になっていますか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 a 印刷するページ数を減らします。 b ドキュメントを印刷します。 ページは正しく部単位になっていますか？	問題は解決しました。	カスタマサポートに お問い合わせください 。

用紙のカール



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

アクション	はい	いいえ
手順 1 a セットした用紙に対応しているかどうかを確認します。 メモ: 用紙に対応していない場合は、対応している用紙をセットします。 b ドキュメントを印刷します。 用紙がカールしていますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 用紙がカールしていますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。

アクション	はい	いいえ
手順 3 a トレイのガイドを、セットされている用紙のサイズに合う正しい位置に調整します。 b ドキュメントを印刷します。 用紙がカールしていますか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 a オペレーティングシステム (OS) に応じて、[印刷設定] または [印刷] ダイアログから用紙サイズと用紙タイプを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> セットした用紙と設定が一致していることを確認します。 プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ] の順に移動します。 b ドキュメントを印刷します。 用紙がカールしていますか？	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 a 用紙を取り出して裏返し、セットし直します。 b ドキュメントを印刷します。 用紙がカールしていますか？	手順 6 に進みます。	問題は解決しました。
手順 6 a 新しいパッケージの用紙をセットします。 メモ: 湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 b ドキュメントを印刷します。 用紙がカールしていますか？	カスタマサポートに お問い合わせください 。	問題は解決しました。

トレイのリンクが動作しない

対応	はい	いいえ
手順 1 a トレイに同じサイズおよびタイプの用紙がセットされているか確認します。 b 用紙ガイドの位置が正しいか確認します。 c ドキュメントを印刷します。 トレイは正しくリンクしますか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 2 a コントロールパネルで、 【設定】 > 【用紙】 > 【トレイ構成設定】 > 【用紙サイズ/タイプ】 をタッチします。 b 接続されているトレイにセットされた用紙に合った用紙サイズと用紙のタイプを設定します。 c ドキュメントを印刷します。 トレイは正しくリンクしますか。	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 a 同一用紙サイズのトレイのリンクが自動に設定されていることを確認します。詳細については、 「トレイのリンク」、37 ページ を参照してください。 b ドキュメントを印刷します。 トレイは正しくリンクしますか。	問題は解決しました。	カスタマサポートに お問い合わせください 。

紙詰まりが頻繁に発生する

対応	はい	いいえ
手順 1 a トレイを取り外します。 b 用紙が正しくセットされていることを確認します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 用紙ガイドが正しい位置にあることを確認します。 重ねた用紙の高さが、指定されている高さの上限を超えないようにします。 推奨用紙サイズとタイプで印刷していることを確認します。 c トレイを挿入します。 d ドキュメントを印刷します。 紙詰まりが頻繁に発生しますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a 操作パネルから、次のメニューを選択します。 【設定】 > 【用紙】 > 【トレイ構成設定】 > 【用紙サイズ/タイプ】 b 用紙サイズとタイプを正しく設定します。 c ドキュメントを印刷します。 紙詰まりが頻繁に発生しますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a 新しいパッケージの用紙をセットします。 メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 b ドキュメントを印刷します。 紙詰まりが頻繁に発生しますか？	カスタマサポート にお問い合わせください 。	問題は解決しました。

紙詰まりが発生したページが再印刷されない

対応	はい	いいえ
<p>a 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [デバイス] > [通知] > [紙詰まりしたページの再印刷]</p> <p>b [紙詰まりしたページの再印刷]メニューで[オン]または[自動]を選択します。</p> <p>c ドキュメントを印刷します。</p> <p>紙詰まりが発生したページは再印刷されましたか？</p>	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

E メールの問題

E メールを送信できない

対応	はい	いいえ
<p>手順 1 プリンタの E メール SMTP 設定が正しいことを確認してください。詳細については、「E メール SMTP 設定を構成する」、55 ページ を参照してください。</p> <p>E メールを送信できますか？</p>	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
<p>手順 2 正しいパスワードを使用していることを確認してください。E メールサービスプロバイダに応じて、アカウントパスワード、アプリパスワード、または認証パスワードを使用します。詳細については、「E メール SMTP 設定を構成する」、55 ページ を参照してください。</p> <p>E メールを送信できますか？</p>	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
<p>手順 3 プリンタがネットワークに接続されていること、ネットワークがインターネットに接続されていることを確認してください。</p> <p>E メールを送信できますか？</p>	問題は解決しました。	次に問い合わせます： カスタマサポート 。

FAX に関するトラブル

発信者 ID が表示されない

メモ: これらの手順は、アナログ FAX をサポートしているプリンタにのみ適用されます。詳細については、「[プリンタを設定して FAX を送信する](#)」、[64 ページ](#) を参照してください。

対応	はい	いいえ
<p>発信者番号表示を有効化します。</p> <p>ホーム画面で、[設定] > [FAX] > [FAX 設定] > [FAX 受信設定] > [管理者用設定] > [発信者番号表示を有効化]の順にタッチします。</p> <p>発信者 ID が表示されますか？</p>	問題は解決しました。	次に問い合わせます: カスタマサポート 。

アナログ FAX を使用して FAX を送受信できない

対応	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>ディスプレイに表示されるエラーメッセージを解決します。</p> <p>FAX を送受信できますか？</p>	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
<p>手順 2</p> <p>以下の機器のケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電話 • ハンドセット • 留守番電話 <p>FAX を送受信できますか？</p>	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
<p>手順 3</p> <p>発信音を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • FAX 番号に電話をかけて、正しく機能していることを確認します。 • オンフックダイヤル機能をご使用の場合は、ボリュームを上げて発信音が聞こえるかどうかを確認してください。 <p>発信音が聞こえますか？</p>	手順 5 に進みます。	手順 4 に進みます。
<p>手順 4</p> <p>電話の差し込み口を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> a 差し込み口に直接アナログ電話を接続します。 b 発信音を聞いてください。 c 発信音が聞こえない場合は、別の電話ケーブルをご利用ください。 d やはり発信音が聞こえない場合は、アナログ電話を別の差し込み口に差し込んでください。 e 発信音が聞こえたら、その差し込み口にプリンタを接続してください。 <p>FAX を送受信できますか？</p>	問題は解決しました。	手順 5 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 5 プリンタがアナログ電話サービスまたは正しいデジタルコネクタに接続されていることを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> 統合サービスデジタル通信網 (ISDN) 電話サービスを使用している場合、ISDN ターミナルアダプタのアナログ電話ポートに接続します。詳細については、ISDN プロバイダにお問い合わせください。 DSL を使用している場合、アナログでの使用をサポートしている DSL フィルタまたはルーターに接続します。詳細については、DSL プロバイダにお問い合わせください。 構内交換機 (PBX) 電話サービスをご使用の場合は、PBX のアナログ接続部に接続しているか確認してください。アナログ接続部がない場合は、FAX 機用アナログ電話回線の設置をご検討ください。 FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	手順 6 に進みます。
手順 6 一時的に他の機器の接続を切断して、他の電話サービスを無効にします。 <ul style="list-style-type: none"> a プリンタと電話回線間の他の機器 (留守番電話、コンピュータ、モデムまたは電話回線スプリッタなど) を切断します。 b 割込通話およびボイスメールを無効にします。詳細については、電話会社にお問い合わせください。 FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	手順 7 に進みます。
手順 7 原稿を一度に 1 ページスキャンしてください。 <ul style="list-style-type: none"> a FAX 番号にダイヤルしてください。 b 原稿をスキャンします。 FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	次に問い合わせます： カスタマサポート 。

アナログ FAX を使用して FAX を受信できるが送信できない

対応	はい	いいえ
手順 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台に正しくセットします。 FAX を送信できますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 ショートカット番号を正しく設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ショートカット番号がダイヤルしたい電話番号に設定されていることを確認してください。 電話番号を手動でダイヤルします。 FAX を送信できますか？	問題は解決しました。	次に問い合わせます： カスタマサポート 。

アナログ FAX を使用して FAX を送信できるが受信できない

対応	はい	いいえ
手順 1 給紙源が空でないことを確認します。 FAX を受信できますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 着信音回数待機の設定をチェックします。 ホーム画面で、[設定] > [FAX] > [FAX 設定] > [FAX 受信設定] > [呼び出し回数]の順にタッチします。 FAX を受信できますか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 プリンタで空白のページが印刷される場合(⇒ 「空白または白のページ」、234 ページ)。 FAX を受信できますか？	問題は解決しました。	次に問い合わせます： カスタマサポート 。

etherFAX を設定できない

対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタの接続を確認します。 a ネットワーク設定ページを印刷します。ホーム画面で、[設定] > [レポート] > [ネットワーク] > [ネットワーク設定ページ]の順にタッチします。 b ネットワークの状態をチェックします。 プリンタはネットワークに接続されていますか？	手順 3 に進みます。	手順 2 に進みます。
手順 2 プリンタがネットワークに接続されていること、ネットワークがインターネットに接続されていることを確認してください。 etherFAX を設定できますか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 etherFAX が正しく設定されていることを確認します。詳細については、 「etherFAX を使用した FAX 機能の設定」、66 ページ を参照してください。 etherFAX を設定できますか？	問題は解決しました。	https://www.etherfax.net/lexmark

etherFAX を使用して FAX を送受信できない

対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタがネットワークに接続されていること、ネットワークがインターネットに接続されていることを確認してください。 etherFAX を使用して FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a ホーム画面で、[設定] > [FAX] > [FAX 設定] > [一般 FAX 設定] の順にタッチします。 b FAX 番号を正しく入力したことを確認します。 c [FAX の転送]は、必ず[etherFAX]に設定します。 etherFAX を使用して FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 大きいドキュメントを小さいファイルサイズに分割します。 etherFAX を使用して FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	https://www.etherfax.net/lexmark

FAX の印刷品質が悪い

対応	はい	いいえ
手順 1 印刷品質に問題がないことを確認します。 a 操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順にタッチします。 b あらゆる印刷品質の問題を修正します。詳細については、 「印刷品質が悪い」、234 ページ を参照してください。 FAX の印刷品質に問題はありますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 FAX の受信速度を下げてください。 a コントロールパネルで、[設定] > [FAX] > [FAX 設定] > [FAX 受信設定] > [管理者用設定]をタッチします。 b [送信最大ビット速度]メニューで、遅い送信速度を選択します。 FAX の印刷品質に問題はありますか？	問題は解決しました。	カスタマサポートに お問い合わせください 。

FAX 送付状ページに情報がない

対応	いいえ	はい
a プリンタの電源を切り、約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 b FAX を送信または取得します。 FAX 送付状ページに情報がありませんか？	問題は解決しました。	次に問い合わせます： カスタマサポート 。

コンピュータから FAX 送付状ページを送信できない

対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタドライバが更新されていることを確認します。詳細については、 「プリンタソフトウェアをインストールする」 、307 ページ を参照してください。 b FAX を送信します。 FAX 送付状ページを送信できますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a FAX するドキュメントで、[印刷]ダイアログを開きます。 b プリンタを選択し、[プロパティ]、[基本設定]、[オプション]、または [設定]をクリックします。 c [FAX]をクリックし、[FAX を送信する前に設定を常に表示]をオフにします。 d FAX を送信します。 FAX 送付状ページを送信できますか？	問題は解決しました。	次に問い合わせます： カスタマサポート 。

スキャンに関するトラブル

スキャンしてコンピュータに保存できない

対応	はい	いいえ
手順 1 コピージョブを実行します。 コピージョブが正常に完了しましたか？	手順 3 に進みます。	手順 2 に進みます。
手順 2 a プリンタの電源を切り、約 10 秒間待機してから、プリンタの電源を入れます。 b 原稿をスキャンします。 ドキュメントをスキャンしてコンピュータに保存できますか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 プリンタの接続を確認します。 a ネットワーク設定ページを印刷します。操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [レポート] > [ネットワーク] > [ネット設定ページ] b ネットワークの状態をチェックします。 プリンタはネットワークに接続されていますか？	手順 5 に進みます。	手順 4 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 4 a プリンタをネットワークに接続します。 b 原稿をスキャンします。 ドキュメントをスキャンしてコンピュータに保存できますか？	問題は解決しました。	手順 5 に進みます。
手順 5 a プリンタとコンピュータが同じネットワークに接続していることを確認します。 b 原稿をスキャンします。 ドキュメントをスキャンしてコンピュータに保存できますか？	問題は解決しました。	次に問い合わせます： カスタマサポート 。

スキャンしてネットワークフォルダに保存できない

対応	はい	いいえ
手順 1 a ネットワークフォルダのショートカットを作成します。 b ショートカットを使用して原稿をスキャンします。詳細については、「 スキャンしてネットワークフォルダに送信する 」、78 ページ を参照してください。 原稿をスキャンしてネットワークフォルダに保存できますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 ネットワークフォルダのパスと形式が正しいことを確認します。たとえば、 <code>//server_hostname/foldername/path</code> の場合、 <code>server_hostname</code> は、完全修飾ドメイン (FQDN) または IP アドレスです。 ネットワークフォルダのパスと形式は正しいですか？	手順 3 に進みます。	手順 4 に進みます。
手順 3 ネットワークフォルダへの書き込みアクセス権限があることを確認します。 原稿をスキャンしてネットワークフォルダに保存できますか？	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。

対応	はい	いいえ
<p>手順 4 ネットワークフォルダのショートカットを更新します。</p> <p>a Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> ホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。 プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。 <p>b [ショートカット]をクリックして、ショートカットを選択します。</p> <p>メモ: 複数のショートカットタイプがある場合は、[ネットワークフォルダ]を選択します。</p> <p>c [共有パス]フィールドに、ネットワークフォルダのパスを入力します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 共有パスが \\server_hostname\foldername\path の場合は、//server_hostname/foldername/path と入力します。 共有パスを入力するときは、必ずフォワードスラッシュを使用してください。 <p>d [認証]メニューから、認証方法を選択します。</p> <p>メモ: 認証が[割り当て済みのユーザー名とパスワードを使用]に設定されている場合は、[ユーザー名]フィールドと[パスワード]フィールドに資格情報を入力します。</p> <p>e [保存]をクリックします。</p> <p>原稿をスキャンしてネットワークフォルダに保存できますか？</p>	問題は解決しました。	手順 5 に進みます。
<p>手順 5 プリンタとネットワークフォルダが同じネットワークに接続していることを確認します。</p> <p>原稿をスキャンしてネットワークフォルダに保存できますか？</p>	問題は解決しました。	次に問い合わせます： カスタマサポート 。

文書や写真の一部しかコピーされない

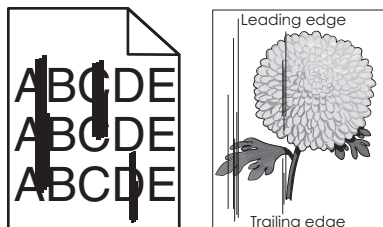
対応	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>a 文書または写真が原稿台ガラスの左上の角に表を下にしてセットされているか確認してください。</p> <p>b 文書または写真をコピーします。</p> <p>文書または写真は正しくコピーされていますか？</p>	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 2 a 用紙サイズの設定がトレイにセットした用紙と合っているか確認してください。 b 文書または写真をコピーします。 文書または写真は正しくコピーされていますか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

コピー品質が悪い

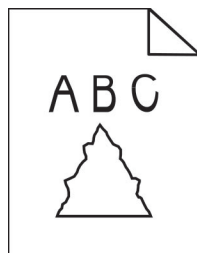
対応	はい	いいえ
手順 1 a 水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布で、スキャナ原稿台ガラスと ADF 原稿台ガラスを清掃してください。お使いのプリンタで、ADF 内部に 2 枚目の ADF 原稿台ガラスがある場合は、そのガラスも清掃してください。 詳細については、 「スキャナを清掃する」 、167 ページ を参照してください。 b 文書または写真が原稿台ガラスの左上の角に表を下にしてセットされているか確認してください。 c 文書または写真をコピーします。 コピーの品質に問題はありませんか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a 文書または写真の質を確認します。 b スキャン品質の設定を調整します。 c 文書または写真をコピーします。 コピーの品質に問題はありませんか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください。


ADF からスキャンした場合に、出力紙に発生する縦方向の黒いすじ



アクション	はい	いいえ
a スキャナカバーを開きます。 b 水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布で、ADF ガラスと ADF ガラスパッドを拭きます。 c スキャナカバーを閉じます。 d 原稿をスキャンします。 縦方向のすじがスキャン文書に発生しますか。	カスタマサポート にお問い合わせください 。	問題は解決しました。

ADF からスキャンするときに画像または文字がぎざぎざになる



対応	はい	いいえ
<p>a 50 枚のきれいな普通紙を ADF にセットします。</p> <p>メモ: 普通紙を使用すると、ADF 給紙ローラーの汚れやその他のコーティングを除去できます。</p> <p>b 操作パネルで  を押します。</p> <p>c ADF に原稿をセットします。</p> <p>d 原稿をスキャンします。</p> <p>ぎざぎざの画像や文字が出力に表示されますか？</p>	<p>次に問い合わせます： カスタマサポート。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

スキャンジョブが失敗しました

対応	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>ケーブル接続をチェック確認します。</p> <p>a イーサネットまたは USB ケーブルがコンピュータおよびプリンタにしっかりと接続されていることを確認してください。</p> <p>b スキャンジョブを再送信します。</p> <p>スキャンジョブが正常に完了しましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 2 に進みます。</p>
<p>手順 2</p> <p>スキャンするファイルを確認します。</p> <p>a ファイル名が保存先フォルダで既に使用されていないことを確認します。</p> <p>b スキャンする文書または写真が他のアプリケーションで開かれていないことを確認します。</p> <p>c スキャンジョブを再送信します。</p> <p>スキャンジョブが正常に完了しましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 3 に進みます。</p>
<p>手順 3</p> <p>a 保存先の設定で[タイムスタンプを追加]または[既存ファイルを上書き]チェックボックスが選択されていることを確認します。</p> <p>b スキャンジョブを再送信します。</p> <p>スキャンジョブが正常に完了しましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>カスタマサポート にお問い合わせください。</p>


スキャナが閉じない

アクション	はい	いいえ
スキャナカバーが閉じない原因となっている障害物を取り除きます。 スキャナカバーは正常に閉じましたか。	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

スキャンに時間がかかり過ぎる、またはコンピュータがフリーズする

対応	はい	いいえ
スキャンを妨害しているすべてのアプリケーションを閉じます。 スキャンに時間がかかる、またはコンピュータが停止してしまいますか？	カスタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

スキャナが反応しない

対応	はい	いいえ
手順 1 a 電源コードがプリンタと電源コンセントに接続されていることを確認します。  注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。 b 原稿をスキャンまたはコピーします。 スキャナは応答していますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。 b ディスプレイに表示されるエラーメッセージを解決します。 c 原稿をスキャンまたはコピーします。 スキャナは応答していますか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 a プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 b 原稿をスキャンまたはコピーします。 スキャナは応答していますか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください。

スキャナ登録の調整

- ホーム画面から[設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [設定メニュー] > [スキャナ設定] > [スキャナ手動登録]をタッチします。
- [印刷簡易テスト]メニューで[開始]をタッチします。
- 原稿台ガラスに印刷簡易テストページを配置し、[フラットベッド登録]をタッチします。

4 [コピー簡易テスト]メニューで[開始]をタッチします。

5 コピー簡易テストページを原稿と比較します。

メモ: テストページの余白が原稿と異なる場合は、[左余白]と[上余白]を調整します。

6 コピー簡易テストページの余白が原稿と一致するまで、[手順 4](#) および [手順 5](#) を繰り返します。

ADF 登録を調整する

1 ホーム画面から[設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [設定メニュー] > [スキャナ設定] > [スキャナ手動登録]をタッチします。

2 [印刷簡易テスト]メニューで[開始]をタッチします。

3 ADFトレイに印刷簡易テストページをセットします。

4 [正面 ADF 登録]または[背面 ADF 登録]をタッチします。

メモ:

- 前面 ADF 登録を調整するには、短辺方向から ADF ヘテストページ面を上にしてセットします。
- 背面 ADF 登録を調整するには、短辺方向から ADF ヘテストページ面を下にしてセットします。

5 [コピー簡易テスト]メニューで[開始]をタッチします。

6 コピー簡易テストページを原稿と比較します。

メモ: テストページの余白が原稿と異なる場合は、[水平方向調整]と[上余白]を調整します。

7 コピー簡易テストページの余白が原稿と一致するまで、[手順 5](#) および [手順 6](#) を繰り返します。

カスタマサポートに問い合わせる

カスタマサポートに連絡する前に、次の情報を確認してください。

- プリンタの問題
- エラーメッセージ
- プリンタ機種とシリアル番号

[http: E メール](http://support.lexmark.com)またはチャットによるサポートを受けるか、マニュアル、サポートドキュメント、ドライバ、およびその他のダウンロードのライブラリを参照するには、<http://support.lexmark.com> にアクセスしてください。

電話によるテクニカルサポートもご利用いただけます。米国またはカナダの場合、1-800-539-6275 までお電話ください。その他の国または地域については、[http: //support.lexmark.com](http://support.lexmark.com) を参照してください。


アップグレードと移行

ハードウェア

使用可能な内蔵オプション

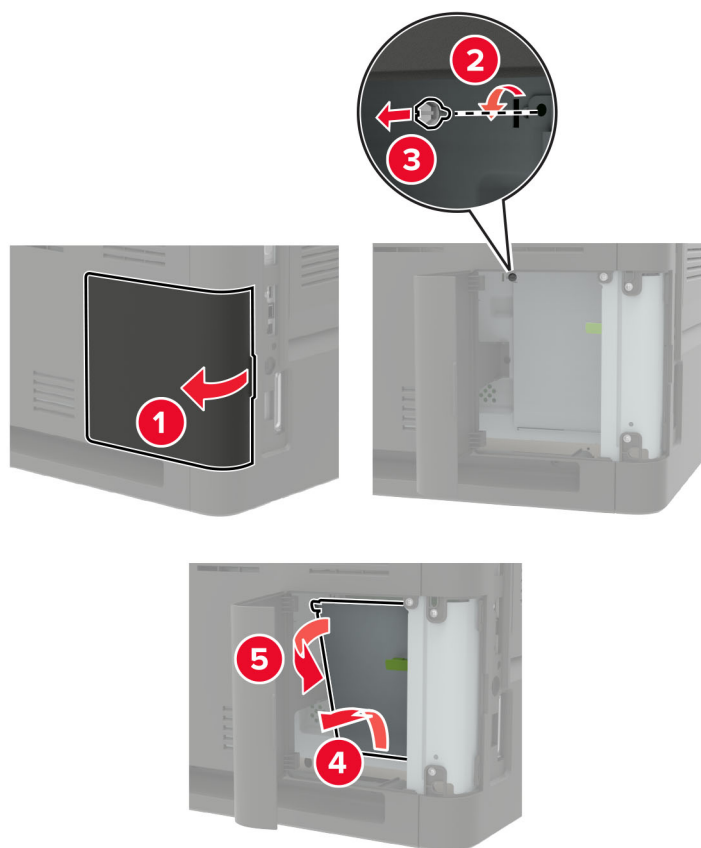
- メモリカード
 - DDR3 DIMM
 - フラッシュメモリ
- オプションカード
 - フォントカード
 - ファームウェアカード
 - 用紙とバーコード
 - 規定
 - IPDS
- プリンタハードディスク
- 内蔵ソリューションポート
 - パラレル 1284-B インターフェイスカード
 - RS-232C シリアルインターフェイスカード
 - ファイバインターフェイスカード
 - N8370 802.11a/b/g/n/ac ワイヤレスプリントサーバーインターフェイスカード

コントローラボードにアクセスする

 **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、プリンタの設定後コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前にプリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

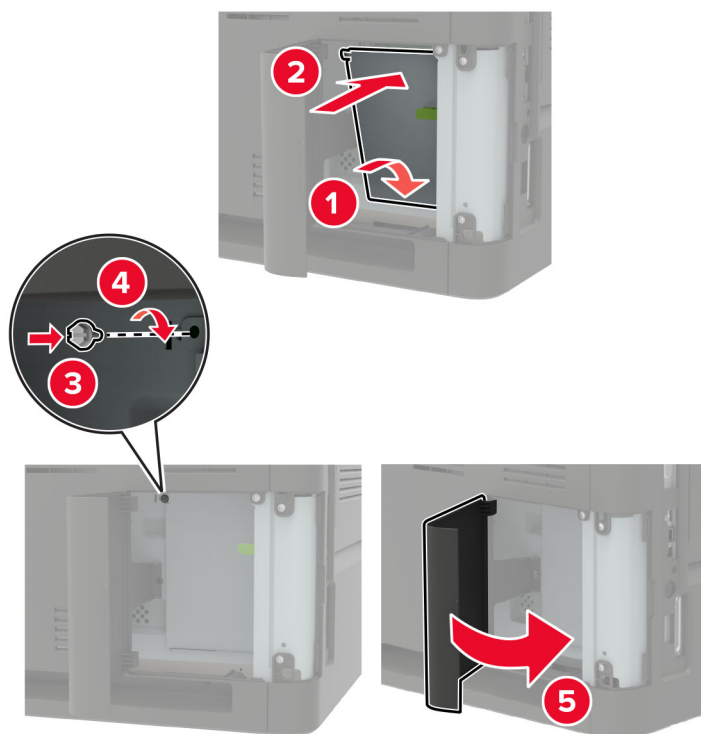
- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜いてください。
- 3 マイナスドライバを使用して、コントローラボードのアクセスカバーを開きます。

警告—破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コントローラボードのコンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。



- 4 サポートされている内蔵オプションを取り付けます。詳細については、オプションに同梱されているマニュアルを参照してください。

5 アクセスカバーを閉じます。



6 電源コードをプリンタに接続し、電源コンセントに接続します。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

7 プリンタの電源を入れます。

メモ리카ードを取り付ける

メモ: これらの手順は DDR3 DIMM メモ리카ードにのみ適用されます。

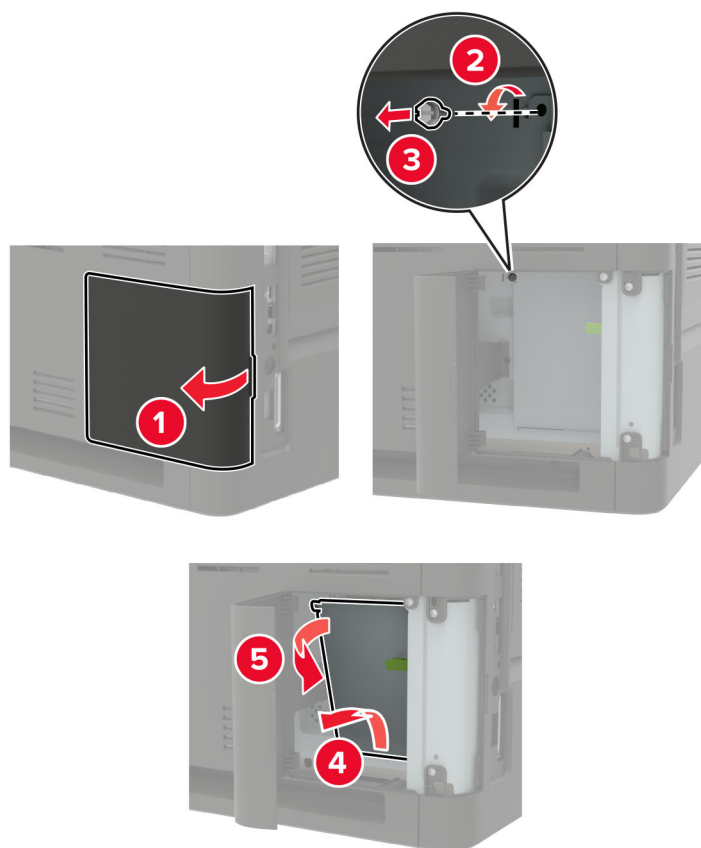
⚠ 注意—感電危険: 感電を避けるため、プリンタのセットアップ後にコントローラボードにアクセスする際や、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを取り付ける際には、作業を進める前にプリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

1 プリンタの電源を切ります。

2 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜きます。

3 マイナスドライバを使用して、コントローラボードのアクセスカバーを開きます。

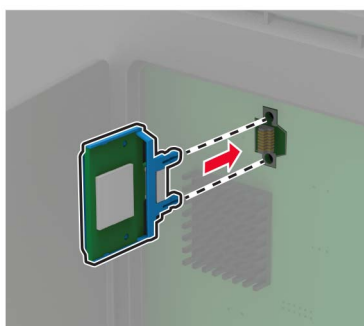
警告—破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コントローラボードのコンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。



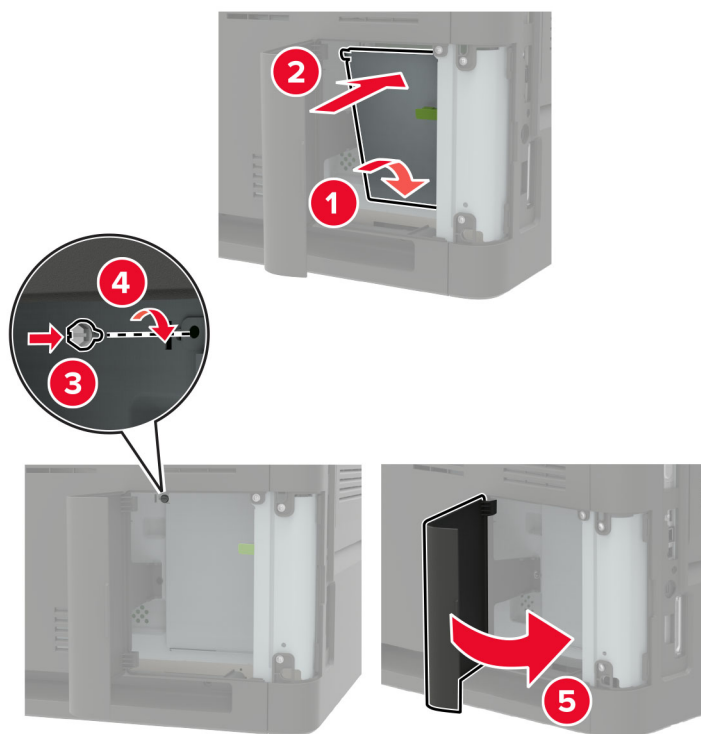
4 メモリカードを開梱します。

警告—破損の恐れあり: カードの端に沿った接点に触れないでください。

5 メモリカードを、所定の位置でカチッと音がするまで挿入します。



6 アクセスカバーを閉じます。



7 電源コードをプリンタに接続してから、電源コンセントに接続します。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くにある、アクセスしやすい、正しく接地されていて、適切な定格を持つコンセントに、電源コードを接続します。

8 プリンタの電源を入れます。

オプションカードを取り付ける

メモ: オプションカードは、フロントカード、ファームウェアカード、またはフラッシュメモリです。

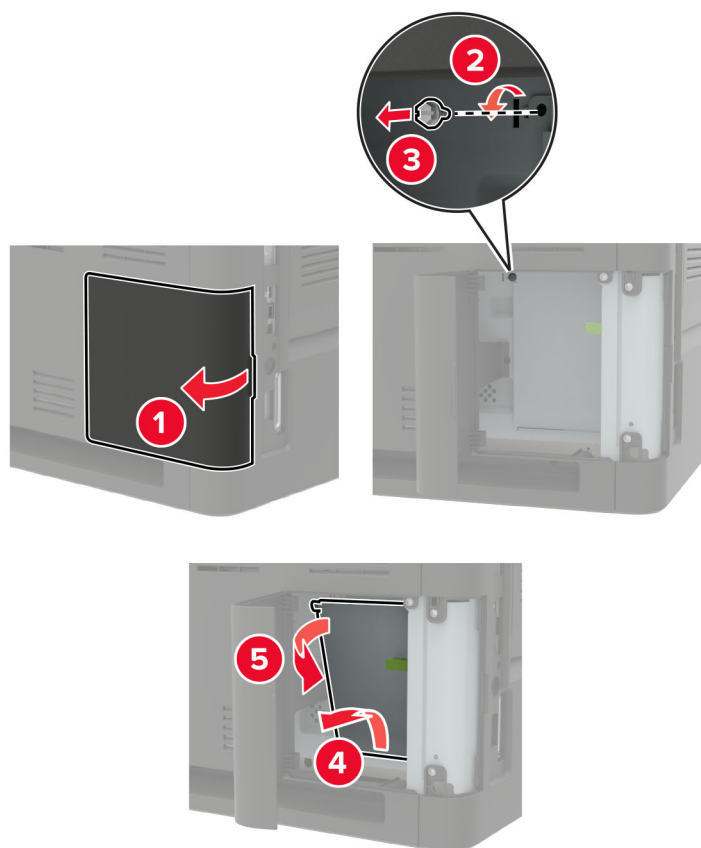
⚠ 注意—感電危険: 感電を避けるため、プリンタのセットアップ後にコントローラボードにアクセスする際や、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを取り付ける際には、作業を進める前にプリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

1 プリンタの電源を切ります。

2 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜きます。

3 マイナスドライバを使用して、コントローラボードのアクセスカバーを開きます。

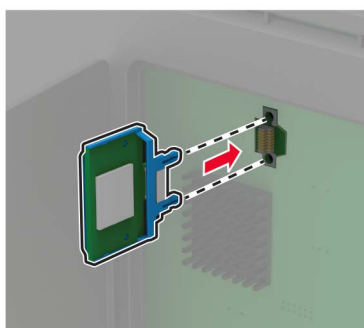
警告—破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。



4 オプションカードを開梱します。

警告—破損の恐れあり: カードの端に沿った接点に触れないでください。

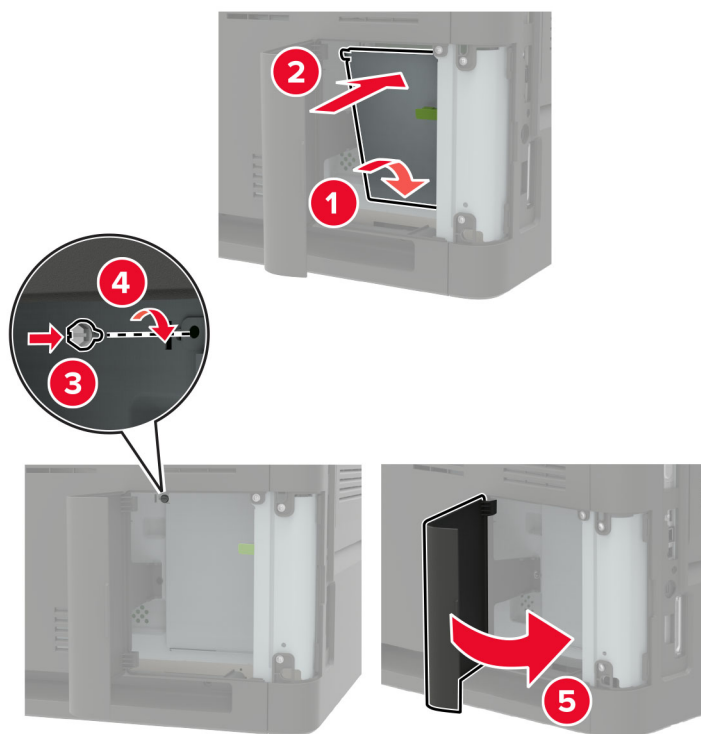
5 カードを所定の位置にしっかりと押し入れます。



メモ: カードのコネクタ全体がコントローラボードに触れ、水平になっている必要があります。

警告—破損の恐れあり: カードを正しく取り付けない場合、カードとコントローラボードが損傷するおそれがあります。

6 アクセスカバーを閉じます。



7 電源コードをプリンタに接続してから、電源コンセントに接続します。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くにある、アクセスしやすい、正しく接地されていて、適切な定格を持つコンセントに、電源コードを接続します。

8 プリンタの電源を入れます。

プリンタハードディスクを取り付ける

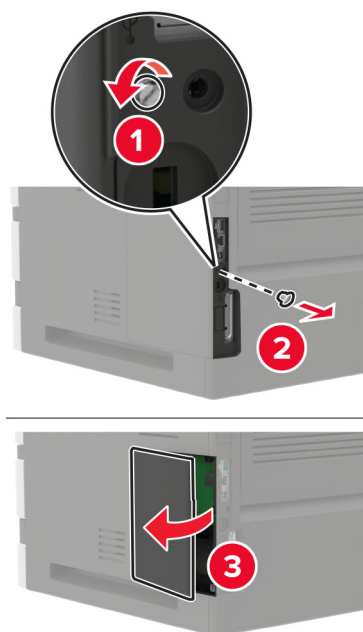
⚠ 注意—感電危険: 感電の危険を避けるため、プリンタの設定後コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前にプリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

1 プリンタの電源を切ります。

2 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜いてください。

3 マイナスドライバを使用して、コントローラボードのアクセスカバーを開きます。

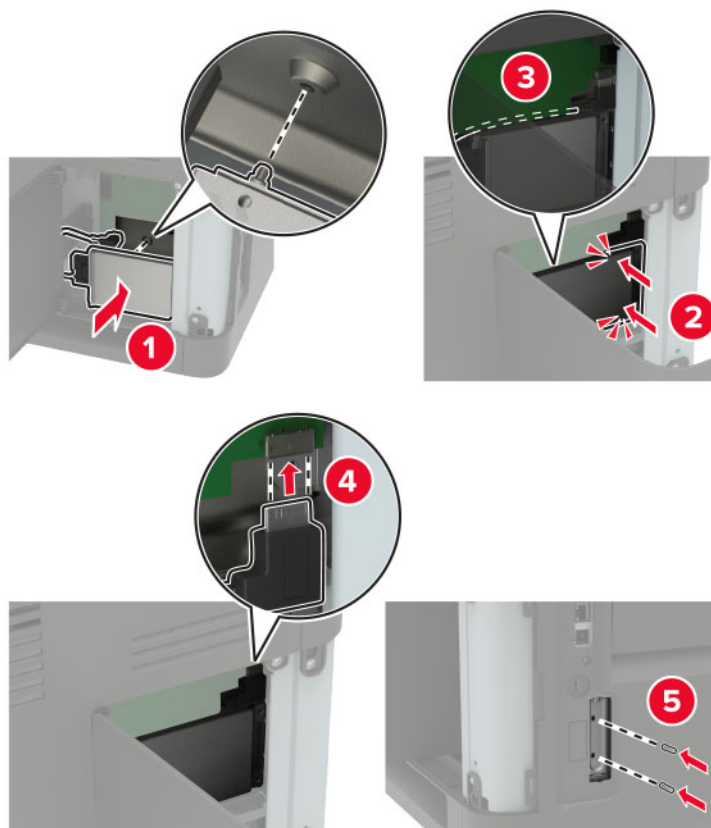
警告—破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コントローラボードのコンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。



4 ハードディスクを開梱します。

5 ハードディスクを接続し、次にハードディスクインターフェースケーブルをコントローラボードに接続します。

警告—破損の恐れあり: ハードディスクの中央に触れたり、押したりしないでください。



- 6 アクセスカバーを閉じます。
- 7 電源コードをプリンタに接続し、電源コンセントに接続します。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

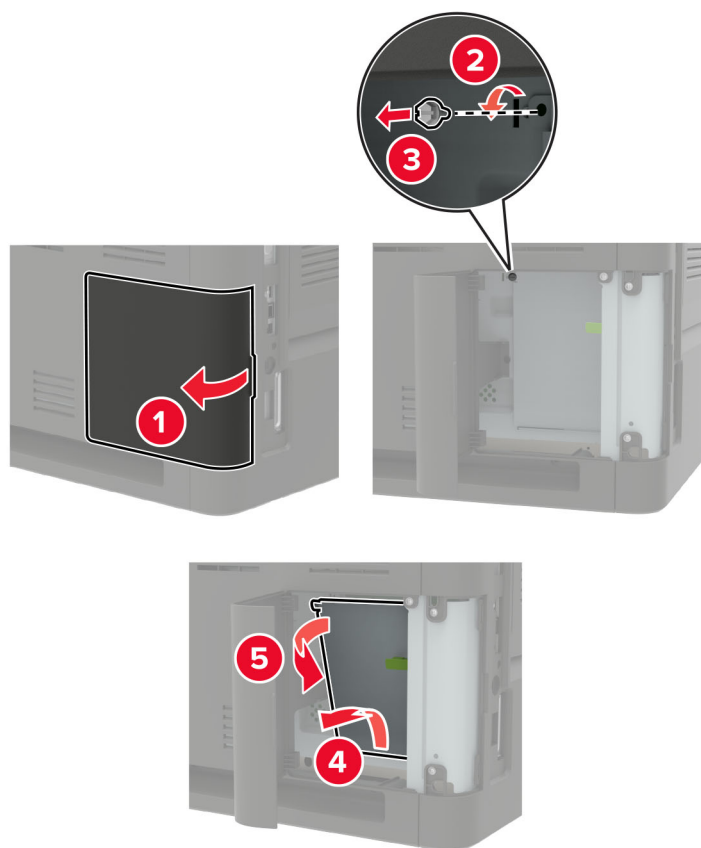
- 8 プリンタの電源を入れます。

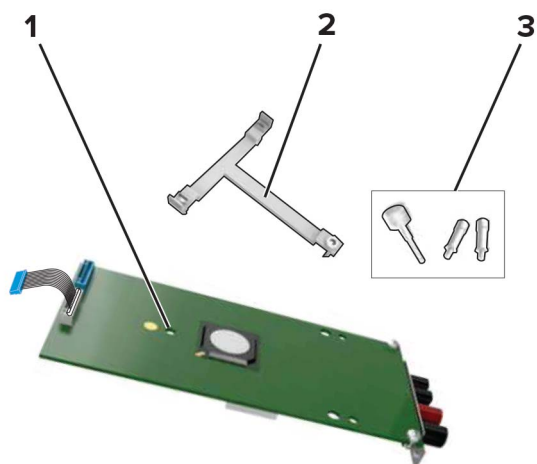
内蔵ソリューションポートを取り付ける

⚠ 注意—感電危険: 感電の危険を避けるため、プリンタの設定後コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前にプリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

- 1 プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。
- 2 マイナスドライバを使用して、コントローラボードのアクセスカバーを開きます。

警告—破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コントローラボードのコンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。

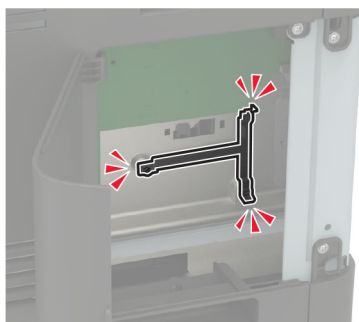
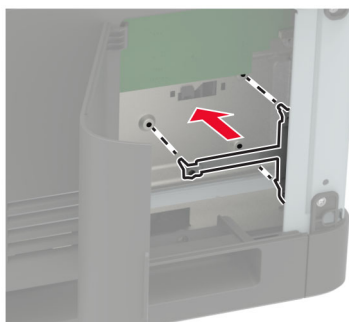


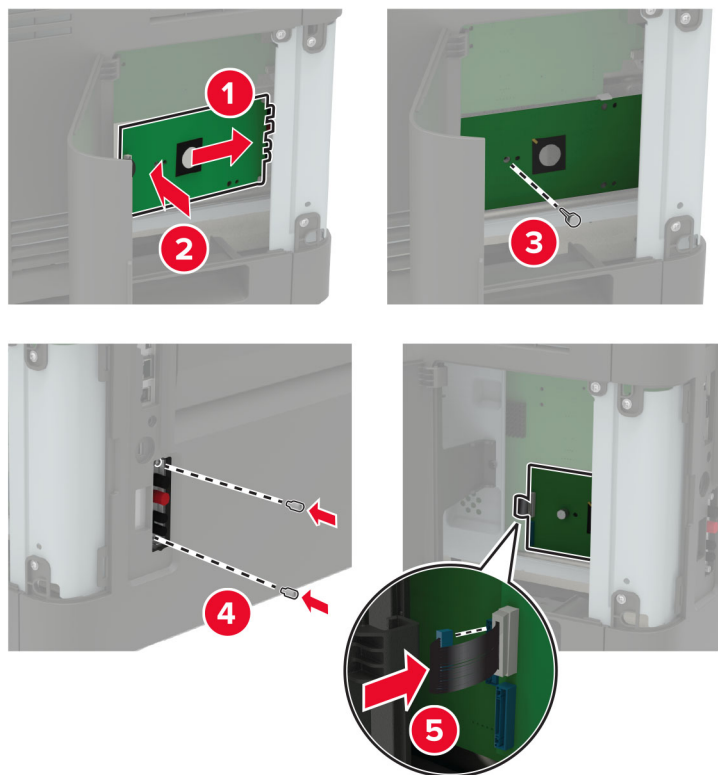
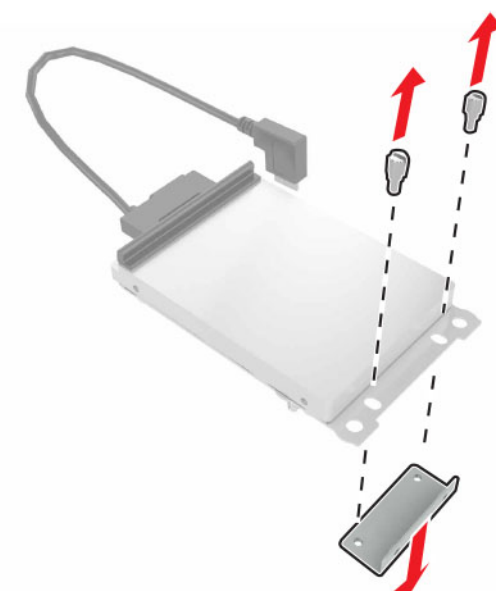
3 内蔵ソリューションポート(ISP)をパッケージから取り出す

1	ISP
2	取り付けブラケット
3	つまみネジ

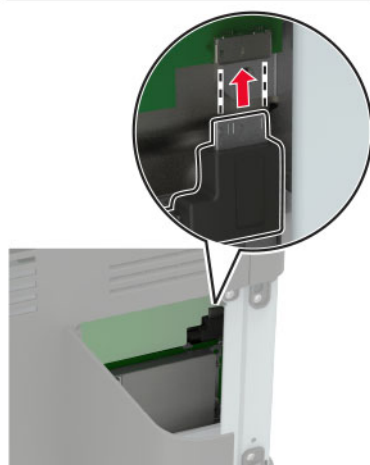
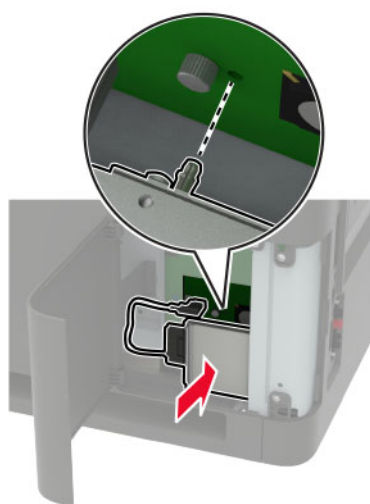
4 必要に応じて、プリンタハードディスクを取り外します。

5 ブラケットを、ボードユニットの所定の位置にカチッと音がするまで挿入します。

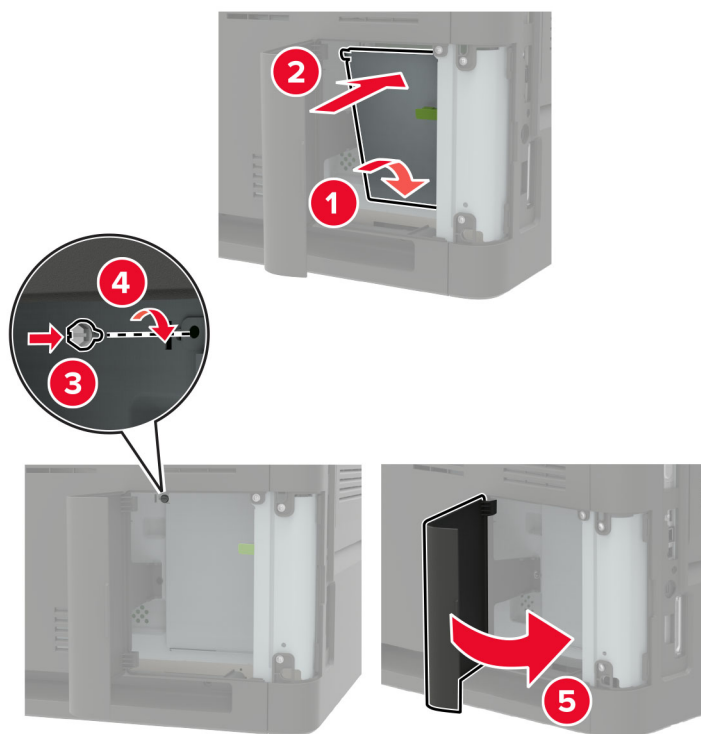


6 ブラケットに ISP を取り付けます。**7** 必要に応じて、ISP にハードディスクを取り付けます。**a** ハードディスクブラケットを取り外します。**b** ハードディスクを ISP に取り付けます。

警告—破損の恐れあり: ハードディスクの中央に触れたり、押したりしないでください。



8 アクセスカバーを閉じます。



9 電源コードをコンセントに接続し、プリンタの電源をオンにします。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

550 枚トレイを取り付ける

⚠ 注意—感電危険: 感電の危険を避けるため、プリンタのセットアップ後コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを取り付ける場合には、作業を進める前にプリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

⚠ 注意—転倒危険: プリンタまたは MFP に 1 つ以上のオプションを取り付ける場合は、けがを防ぐためにキャスタベース、ファニチャ、または他のフィーチャを使用して安定させる必要があります。サポートされる構成の詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。

1 プリンタの電源を切ります。

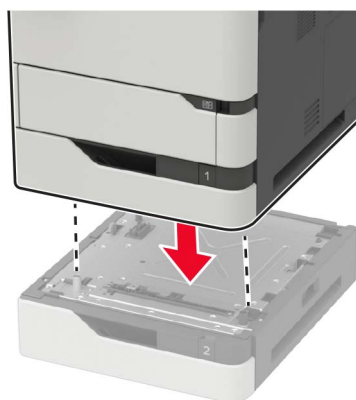
2 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜きます。

3 オプショントレイを梱包から取り出し、梱包材をすべて取り除きます。

メモ: オプショントレイがすでに取り付けられている場合は、プリンタを持ち上げる前にトレイのロックを解除してください。トレイとプリンタを同時に持ち上げないでください。

4 プリンタをオプショントレイに合わせ、プリンタユニットを所定の位置までカチッと音がするまで下ろします。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: プリンタの重さが 20 kg (44 ポンド) 以上ある場合、安全に持ち上げるには 2 名以上の人が必要になることがあります。



5 電源コードをプリンタに接続してから、電源コンセントに接続します。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くでアクセスしやすく、正しく接地され定格を守ったコンセントに電源コードを接続します。

6 プリンタの電源を入れます。

プリントドライバにトレイを追加し、印刷ジョブで使用できるようにします。詳細については、「[プリントドライバの使用可能なオプションを追加する](#)」、308 ページ を参照してください。

2100 枚トレイを取り付ける

⚠ 注意—感電危険: 感電の危険を避けるため、プリンタのセットアップ後コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを取り付ける場合には、作業を進める前にプリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

⚠ 注意—転倒危険: プリンタまたは MFP に 1 つ以上のオプションを取り付ける場合は、けがを防ぐためにキャスタベース、ファニチャ、または他のフィーチャを使用して安定させる必要があります。サポートされる構成の詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。

1 プリンタの電源を切ります。

2 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜きます。

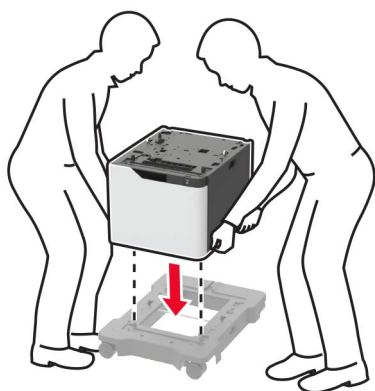
3 トレイを梱包から取り出し、梱包材をすべて取り除きます。

メモ: オプショントレイがすでに取り付けられている場合は、プリンタを持ち上げる前にトレイのロックを解除してください。トレイとプリンタを同時に持ち上げないでください。


4 キャスタベースにトレイを取り付けます。

メモ: キャスタベースのホイールがロックされていることを確認します。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: トレイの重量が 20 kg (44 ポンド) 以上ある場合、安全に持ち上げるには 2 名以上の人が必要になることがあります。



5 プリンタをトレイに合わせ、プリンタユニットを所定の位置までカチッと音がするまで下ろします。

 **注意—傷害の恐れあり:** プリンタの重さが 20 kg (44 ポンド) 以上ある場合、安全に持ち上げるには 2 名以上の人が必要になることがあります。



6 電源コードをプリンタに接続してから、電源コンセントに接続します。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くでアクセスしやすく、正しく接地され定格を守ったコンセントに電源コードを接続します。

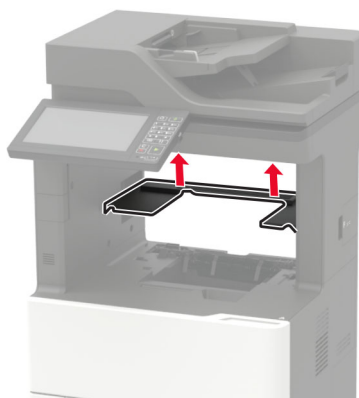
7 プリンタの電源を入れます。

プリントドライバにトレイを追加し、印刷ジョブで使用できるようにします。詳細については、[「プリントドライバの使用可能なオプションを追加する」](#)、308 ページ を参照してください。

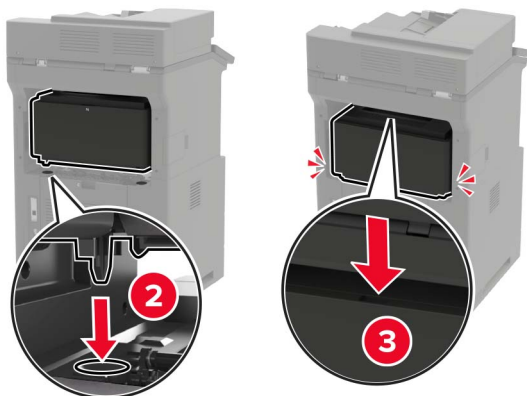
4 トレイメールボックスを取り付ける

 **注意—転倒危険:** プリンタまたは MFP に 1 つ以上のオプションを取り付ける場合は、けがを防ぐためにキャスタベース、ファニチャ、または他のフィーチャを使用して安定させる必要があります。サポートされる構成の詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜きます。
- 3 メールボックスを開梱します。
- 4 プリンタの上部カバーを取り外します。



- 5 メールボックスをプリンタに取り付けてから、プリンタにしっかりと接続されていることを確認するために、メールボックスを押し下げます。



- 6 電源コードをプリンタに接続してから、電源コンセントに接続します。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くでアクセスしやすく、正しく接地され定格を守ったコンセントに電源コードを接続します。

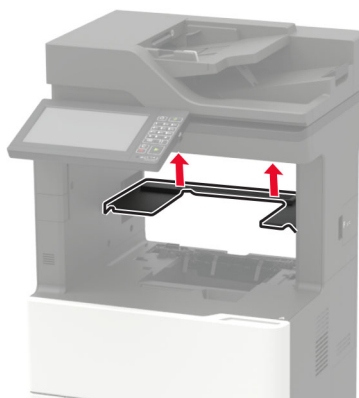
- 7 プリンタの電源を入れます。

プリンタドライバにメールボックスを追加し、印刷ジョブで使用できるようにします。詳細については、「[プリントドライバの使用可能なオプションを追加する](#)」、308 ページ を参照してください。

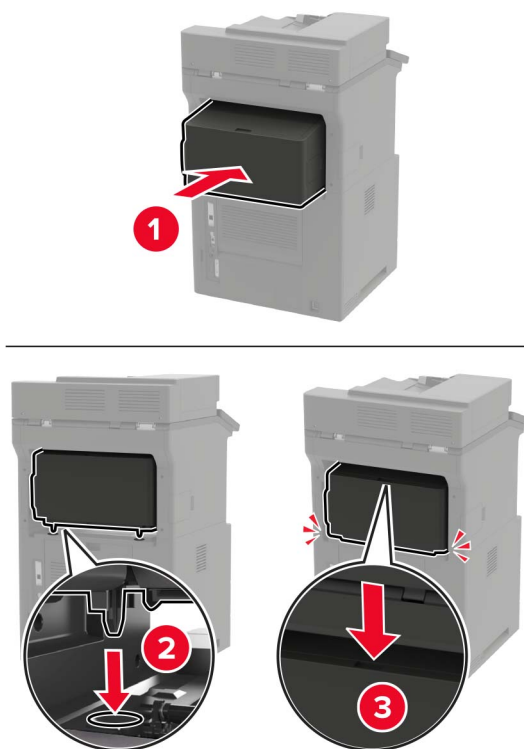
オフセットスタックを取り付ける

⚠ 注意—転倒危険: プリンタまたは MFP に 1 つ以上のオプションを取り付ける場合は、けがを防ぐためにキャスタベース、ファニチャ、または他のフィーチャを使用して安定させる必要があります。サポートされる構成の詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜きます。
- 3 オフセットスタックを開梱します。
- 4 プリンタの上部カバーを取り外します。



- 5 オフセットスタッカをプリンタに取り付けてから、プリンタにしっかりと接続されていることを確認するために、オフセットスタッカを押し下げます。



- 6 電源コードをプリンタに接続してから、電源コンセントに接続します。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くでアクセスしやすく、正しく接地され定格を守ったコンセントに電源コードを接続します。

- 7 プリンタの電源を入れます。

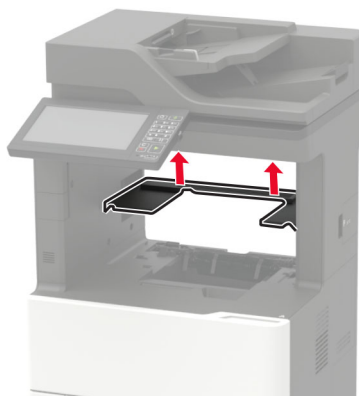
プリントドライバにオフセットスタッカを追加し、印刷ジョブで使用できるようにします。詳細については、[「プリントドライバの使用可能なオプションを追加する」](#)、308 ページ を参照してください。

ホチキスフィニッシャを取り付ける

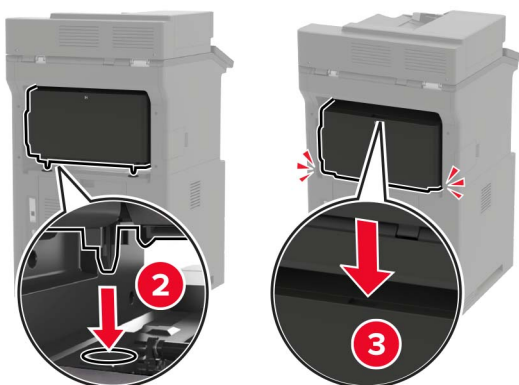
⚠ 注意—転倒危険: プリンタまたは MFP に 1 つ以上のオプションを取り付ける場合は、けがを防ぐためにキャスタベース、ファニチャ、または他のフィーチャを使用して安定させる必要があります。サポートされる構成の詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜きます。
- 3 ホチキスフィニッシャを取り出します。

- 4 プリンタの上部カバーを取り外します。



- 5 ホチキスフィニッシャをプリンタに取り付けてから、プリンタにしっかりと接続されていることを確認するために、ホチキスフィニッシャを押し下げます。



- 6 電源コードをプリンタに接続してから、電源コンセントに接続します。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くでアクセスしやすく、正しく接地され定格を守ったコンセントに電源コードを接続します。

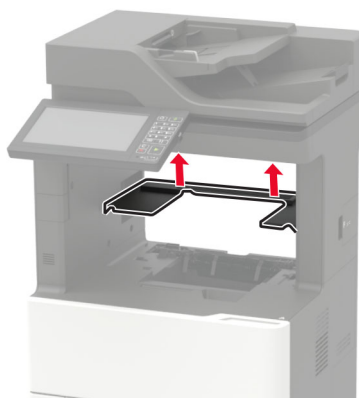
- 7 プリンタの電源を入れます。

プリントドライバにホチキスフィニッシャを追加し、印刷ジョブで使用できるようにします。詳細については、[「プリントドライバの使用可能なオプションを追加する」](#)、308 ページ を参照してください。

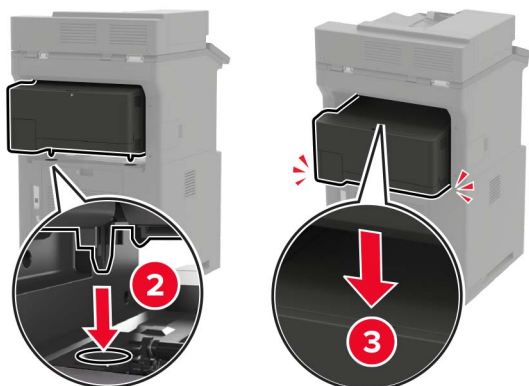
ホチキス、穴パンチフィニッシャを取り付ける

 **注意—転倒危険:** プリンタまたは MFP に 1 つ以上のオプションを取り付ける場合は、けがを防ぐためにキャスタベース、ファニチャ、または他のフィーチャを使用して安定させる必要があります。サポートされる構成の詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜きます。
- 3 ホチキス、穴パンチフィニッシャを取り出します。
- 4 プリンタの上部カバーを取り外します。



- 5 フィニッシャをプリンタに取り付けてから、プリンタにしっかりと接続されていることを確認するために、フィニッシャを押し下げます。



6 電源コードをプリンタに接続してから、電源コンセントに接続します。



注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くでアクセスしやすく、正しく接地され定格を守ったコンセントに電源コードを接続します。

7 プリンタの電源を入れます。

必要に応じて、プリントドライバにフィニッシャを追加し、印刷ジョブで使用できるようにします。詳細については、[「プリントドライバの使用可能なオプションを追加する」](#)、[308 ページ](#) を参照してください。

ソフトウェア

サポートされたオペレーティングシステム

ソフトウェア CD を使用して、以下のオペレーティングシステムにプリンタソフトウェアをインストールすることができます。

- Windows 10
- Windows 8.1
- Windows Server 2012 R2
- Windows Server 2012
- Windows 7 SP1
- Windows Server 2008 R2 SP1
- Windows Server 2008 SP2
- Windows Vista SP2
- Mac OS X バージョン 10.7 以降
- Red Hat Enterprise Linux WS
- openSUSE Linux
- SUSE Linux Enterprise Server
- Debian GNU/Linux
- Ubuntu
- Fedora
- IBM AIX
- Oracle Solaris SPARC
- Oracle Solaris x86

メモ:

- Windows オペレーティングシステムの場合、プリントドライバとユーティリティは、32 ビット版および 64 ビット版でサポートされます。
- Mac OS X バージョン 10.6 以前と互換性のあるプリントドライバとユーティリティ、およびサポート対象 Linux または UNIX オペレーティングシステムの特定のバージョンについては、[http: //support.lexmark.com](http://support.lexmark.com) を参照してください。
- その他のすべてのオペレーティングシステムとのソフトウェアの互換性の詳細については、カスタマーサポートにお問い合わせください。

プリンタソフトウェアをインストールする

メモ:

- プリンタドライバはソフトウェアインストーラパッケージに含まれています。
- macOS バージョン 10.7 以降が搭載されている Macintosh コンピュータの場合は、ドライバをインストールせずに AirPrint 対応プリンタで印刷できます。カスタム印刷機能が必要な場合は、プリンタドライバをダウンロードします。

- 1 ソフトウェアインストーラパッケージのコピーを取得します。
 - プリンタに付属のソフトウェア CD から
 - www.lexmark.com/downloads にアクセスします。
- 2 インストーラを実行して、コンピュータの画面の手順に従います。

FAX ドライバをインストールする

- 1 www.lexmark.com/downloads にアクセスし、プリンタ機種を検索して、適切なインストーラパッケージをダウンロードします。
- 2 コンピュータで、[プリンタのプロパティ]をクリックし、[設定]タブに移動します。
- 3 [FAX]を選択してから[適用]をクリックします。

コンピュータにプリンタを追加する

開始する前に、次のいずれかを実行します。

- プリンタとコンピュータを同じネットワークに接続します。詳細情報(⇒[「プリンタを Wi-Fi ネットワークに接続する」、162 ページ](#))。
- コンピュータをプリンタに接続します。詳細については、[「コンピュータをプリンタに接続する」、164 ページ](#) を参照してください。
- USB ケーブルを使用してプリンタをコンピュータに接続します。詳細については、[「ケーブルを接続する」、14 ページ](#) を参照してください。

メモ: USB ケーブルは付属していません。

Windows の場合

- 1 コンピュータから、プリントドライバをインストールします。

メモ: 詳細については、[「プリンタソフトウェアをインストールする」、307 ページ](#) を参照してください。
- 2 [プリンタとスキャナ]を開き、[プリンタまたはスキャナを追加]をクリックします。
- 3 プリンタ接続に応じて、次のいずれかを実行します。
 - 一覧からプリンタを選択し、[デバイスの追加]をクリックします。
 - [wi-fi ダイレクトプリンタを表示する]をクリックし、プリンタを選択して、[デバイスの追加]をクリックします。
 - [プリンタが一覧にない場合]をクリックして、[プリンタを追加]ウィンドウで次の手順を実行します。
 - a [TCP/IP アドレスまたはホスト名を使ってプリンタを追加する]を選択し、[次へ]をクリックします。
 - b [ホスト名または IP アドレス]フィールドにプリンタの IP アドレスを入力し、[次へ]をクリックします。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
 - プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。
- c プリンタドライバ選択してから、[次へ]をクリックします。
- d [現在インストールされているプリントドライバを使用する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。
- e プリンタ名を入力し、[次へ]をクリックします。
- f プリンタ共有オプションを選択し、[次へ]をクリックします。
- g [終了]をクリックします。

Macintosh の場合

- 1 コンピュータで、[プリンタとスキャナ]を開きます。
- 2 **+** をクリックし、プリンタを選択します。
- 3 [使用]メニューからプリントドライバを選択します。

メモ:

- Macintosh のプリントドライバを使用するには、[AirPrint]または[Secure AirPrint]のいずれかを選択します。
- カスタム印刷機能を使用する場合は、Lexmark のプリントドライバを選択します。ドライバをインストールするには、[「プリンタソフトウェアをインストールする」](#)、307 ページを参照してください。

- 4 プリンタを追加します。

プリントドライバの使用可能なオプションを追加する**Windows の場合**

- 1 プリンタフォルダを開きます。
- 2 更新するプリンタを選択して、次のいずれかを実行します。
 - Windows 7 以降の場合は、[プリンタのプロパティ]を選択します。
 - それ以前のバージョンの場合は、[プロパティ]を選択します。
- 3 [設定]タブに移動して、[今すぐ更新 - プリンタに照会]を選択します。
- 4 変更を適用します。

Macintosh の場合

- 1 アップルメニューの[システム環境設定]からお使いのプリンタに移動して、[オプションとサプライ]を選択します。
- 2 ハードウェアオプションの一覧に移動して、設置済みのオプションを追加します。
- 3 変更を適用します。

ファームウェア

設定ファイルをエクスポートまたはインポートする

プリンタの構成設定をテキストファイルにエクスポートしてから、それをインポートし、他のプリンタに設定を適用できます。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 EWS から、[構成をエクスポート]または[構成をインポート]をクリックします。

- 3 画面に表示される手順に従います。

- 4 プリンタがアプリケーションをサポートする場合は、次の手順を実行します。

- a [アプリ] > をクリックし、アプリケーションの > [設定]を選択します。
- b [エクスポート]または[インポート]をクリックします。

ファームウェアを更新する

一部のアプリケーションを正しく動作させるためには、デバイスファームウェアの最小レベルが必要になります。

デバイスファームウェアの更新の詳細については、Lexmark 担当者にお問い合わせください。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > > [デバイス] > [ファームウェアを更新]をクリックします。

- 3 次のいずれかを実行します。

- [更新を確認] > [同意します。更新を開始します]をクリックして、更新を開始します。
- フラッシュファイルをアップロードします。

メモ: 最新のファームウェアを入手するには、www.lexmark.com/downloads にアクセスし、使用しているプリンタ機種を検索します。

- a フラッシュファイルを参照します。

メモ: ファームウェアの zip ファイルが解凍されていることを確認します。

- b [アップロード] > [開始]をクリックします。

通知

製品情報

製品名:

Lexmark MX822ade、Lexmark MX822adtfe、Lexmark MX822adx、Lexmark MX822de、Lexmark MX826ade、Lexmark MX826adtfe、Lexmark MX826adx、Lexmark MX826de、Lexmark XM7355、Lexmark XM7355b、Lexmark XM7355bi、Lexmark XM7355i、Lexmark XM7370、Lexmark XM7370i MFP

機種番号:

7465

モデル:

436、496、836、896

版通知

2024 年 7 月

この章に記載された内容は、これらの条項と地域法とに矛盾が生じる国では適用されないものとします。Lexmark International, Inc. は本ドキュメントを「現状有姿」で提供し、明示的または黙示的であるかを問わず、商品性および特定目的に対する適合性の黙示的保証を含み、これに限定されないその他すべての保証を否認します。一部の地域では特定の商取引での明示的または黙示的な保証に対する免責を許可していない場合があります、これらの地域ではお客様に対して本条項が適用されない場合があります。

本ドキュメントには、不正確な技術情報または誤植が含まれている場合があります。ここに記載された情報は定期的に変更され、今後のバージョンにはその変更が含まれます。記載された製品またはプログラムは、任意の時期に改良または変更が加えられる場合があります。

本ドキュメントで特定の製品、プログラム、またはサービスについて言及している場合でも、すべての国々でそれらが使用可能であることを黙示的に意味しているものではありません。特定の製品、プログラム、またはサービスについてのすべての記述は、それらの製品、プログラム、またはサービスのみを使用することを明示的または黙示的に示しているものではありません。既存の知的財産権を侵害しない、同等の機能を持つすべての製品、プログラム、またはサービスを代替して使用することができます。製造元が明示的に指定した以外の製品、プログラム、またはサービスと組み合わせた場合の動作の評価および検証は、ユーザーの責任において行ってください。

Lexmark テクニカルサポートについては、<http://support.lexmark.com> にアクセスしてください。

本製品の使用に関する Lexmark のプライバシーポリシーの詳細については、www.lexmark.com/privacy にアクセスしてください。

消耗品およびダウンロードについては、www.lexmark.com にアクセスしてください。

© 2018 Lexmark International, Inc.

All rights reserved.

商標

Lexmark および Lexmark ロゴは、米国およびその他の国における Lexmark International, Inc. の商標または登録商標です。

Gmail、Android、Google Play、Google Chrome は Google LLC の商標です。

Macintosh, Safari, and AirPrint are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. App Store and iCloud are service marks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. Use of the Works with Apple badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Mopria® のワードマークは、米国およびその他の国における Mopria Alliance, Inc. の登録商標または未登録商標です。無断使用は固く禁じられています。

PCL® は Hewlett-Packard Company の登録商標です。PCL は、Hewlett-Packard Company のプリンタ製品に含まれるプリンタコマンド(言語)および機能のセットの表示です。このプリンタは PCL 言語に対応します。このことは、プリンタがさまざまなアプリケーションプログラムで使用される PCL コマンドを認識し、プリンタがコマンドに対応する機能をエミュレートすることを意味します。

PostScript は米国およびその他の国における Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

Wi-Fi® および Wi-Fi Direct® は、Wi-Fi Alliance® の登録商標です。

その他すべての商標は、それぞれの所有者の財産です。

ライセンスに関する通知

この製品に関連するライセンスについての通知はすべて、インストールソフトウェア CD の CD:\NOTICES ディレクトリから表示できます。

騒音レベル

次の計測は ISO 7779 に従って実施され、ISO 9296 に準拠した手順で報告されました。




メモ: 製品によっては適用されないモードがあります。

1 メートルの平均音圧 (dBA)	
印刷中	片面: 54 (MX822、XM7355)、56 (MX826、XM7370) 両面: 53 (MX822、XM7355)、55 (MX826、XM7370)
スキャン中	57
コピー中	58 (MX822、XM7355)、59 (MX826、XM7370)
レディ状態	14

値は変更される場合があります。最新の値については、www.lexmark.com をご覧ください。

Environmental labeling for packaging

Per Commission Regulation Decision 97/129/EC Legislative Decree 152/2006, the product packaging may contain one or more of the following symbols.

	This symbol indicates that the packaging may contain corrugated fiberboard.
	This symbol indicates that the packaging may contain non-corrugated fiberboard.
	This symbol indicates that the packaging may contain paper.

For more information, go to www.lexmark.com/recycle, and then choose your country or region. Information on available packaging recycling programs is included with the information on product recycling.

製品の廃棄

プリンタまたは消耗品は、一般の家庭ごみと一緒に捨てないでください。廃棄とリサイクルの方法については、お住まいの地方自治体にお問い合わせください。

静電気感知に関する通知



このマークは、静電気に敏感な部品であることを示します。このマークの周辺に触れる前に、マークから離れた場所のプリンタの金属フレームに触れてください。

紙詰まりの除去や消耗品の交換などのメンテナンス作業時に、静電気放電による損傷を防ぐため、マークがない場合でも、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。

国際エネルギースタープログラム (ENERGY STAR)

ENERGY STAR® のマークが付いている Lexmark 製品、または起動画面でこのマークが表示される Lexmark 製品は、製造日時点でアメリカ環境保護庁 (EPA) の ENERGY STAR 基準に準拠しています。



温度に関する情報

動作温度と相対湿度	10 ~ 32.2°C (50 ~ 90°F) および 15 ~ 80% RH
プリンタ/カートリッジ/イメージングユニットの長期保存 ¹	15.3 ~ 32.2°C (60 ~ 90°F) および 8 ~ 15% RH 最高湿球温度: 22.8°C (73°F)
プリンタ/カートリッジ/イメージングユニットの短期輸送	-40 ~ 43.3°C (-40 ~ 110°F)
¹ 消耗品棚の寿命は約 2 年です。これは 22°C (72°F)、湿度 45% の標準的なオフィス環境における保管に基づいています。	
² 湿球温度は空気温度と相対湿度によって決まります。	

レーザーについて

本機は、米国においてクラス I (1) レーザー製品に対する DHHS 21 CFR, Chapter I, Subchapter J の要件に準拠し、その他の国では IEC 60825-1 の要件に準拠するクラス I レーザー製品として認可されています。2014

クラス I レーザー製品は、危険性がないとみなされています。レーザーシステムとプリンタは、通常の操作、ユーザーによるメンテナンス、または所定のサービス条件の下で、ユーザーがクラス I レベルを超えるレーザー放射に絶対にさらされないように設計されています。プリンタには、以下の仕様のレーザーを含む、メンテナンス不可能なプリントヘッドアセンブリがあります。

クラス: IIIb (3b) AlGaAs

公称出力電力 (ミリワット): 25

波長 (ナノメートル): 755 ~ 800

電力消費量

製品の消費電力

次の表に、本製品の電力消費特性を示します。

メモ: 製品によっては適用されないモードがあります。

モード	説明	消費電力(W)
印刷	製品が入力データからハードコピー出力を生成しているとき。	片面: 690 (MX822、XM7355)、850 (MX826、XM7370) 両面: 490 (MX822、XM7355)、640 (MX826、XM7370)
コピー	製品が原稿のハードコピー出力を生成しているとき。	750 (MX822、XM7355)、900 (MX826、XM7370)
スキャン	製品が原稿のスキャンを行っているとき。	84 (MX822、XM7355)、86 (MX826、XM7370)
準備完了	印刷ジョブを待機中	高電力消費: 58 (MX822、XM7355)、50 (MX826、XM7370) 低電力消費: 36.5 (MX822、XM7355)、35 (MX826、XM7370)
スリープモード	製品が高レベルのパワーセーブモードの状態にあるとき。	1.78 (MX822、XM7355)、2.94 (MX826、XM7370)
休止モード	製品が低レベルのパワーセーブモードの状態にあるとき。	0.2
オフ	製品の電源コードがコンセントに差し込まれていて、電源スイッチはオフの状態のとき。	0.2

上記の表に示されている電力消費レベルは、時間的平均測定値です。瞬間的な電力は、この平均値を大きく上回る場合があります。

値は変更される場合があります。最新の値については、www.lexmark.com をご覧ください。

スリープモード

この製品には、スリープモードと呼ばれる省電力モードがあります。スリープモードでは、長時間アイドル状態になった場合、電力消費量を下げることによって電力を節約します。[スリープモードタイムアウト]という一定期間の間に本機が使用されない場合、自動的にスリープモードになります。

本機の工場出荷時のデフォルト[スリープモードタイムアウト](分): 15

設定メニューを使用し、[スリープモードタイムアウト]を1～120分の間に変更できます。印刷速度が1分あたり30ページ以下の場合、タイムアウトは60分まで設定できます。[スリープモードタイムアウト]を低い値に設定すると電力消費量を下げることができますが、本機の応答時間が長くなる場合があります。[スリープモードタイムアウト]を高い値に設定すると、応答が速くなりますが、電力消費量が多くなります。

休止モード

この製品には、休止モードと呼ばれる超低電力動作モードがあります。休止モードで動作中は、他のシステムやデバイスの電源を安全に切れる状態です。

休止モードに切り替えるには、次のいずれかの方法を使用します。

- 休止モードを使用する
- 電力モードの定期実行を使用する

すべての国または地域におけるこの製品の工場出荷時の休止タイムアウト値 3日

ジョブが印刷された後から休止モードに切り替わるまでプリンタが待機する時間は、1時間～1か月の範囲で設定できます。

EPEAT に登録されているイメージング機器製品に関する注意事項:

- 休止モードまたはオフモードの場合、待機電力レベルになります。
- 本製品は、自動的に待機電力レベル(1 W 以下)に下がります自動スタンバイ機能(休止またはオフ)は、製品出荷時に有効になっています。

オフモード

オフモードでも、わずかながら電力を消費します。製品の電力消費を完全になくすには、電源コードをコンセントから抜いてください。

総消費電力

本製品の総消費電力を見積もる必要がある場合があります。消費電力はワット単位で示されているので、総消費電力を計算するには、プリンタの各モードでの消費電力に使用時間を乗じます。プリンタの総消費電力は、各モードでの消費電力の合計です。

通信端末機器の規制に関する通知

このセクションでは、アナログファクシミリカードを含む製品の規制に関する情報を提供しています。

Lexmark 規制タイプ/モデル番号:

LEX-M14-002 または LEX-M03-002

日本における通信に関する通知

内蔵のオプションモデムは日本の電気通信法に準拠し、以下の証明書番号によって電気通信端末機器審査協会による認証を受けています。

A18-0046001 または A11-0160001

	Lexmark International, Inc.
	LEX-M14-002 または LEX-M03-002
	A18-0046001 または A11-0160001

ワイヤレス製品に関する規制通知

このセクションに記載されている規制情報はワイヤレスモデルにのみ適用されます。

お使いのモデルがワイヤレスモデルかどうかを判別できない場合は <http://support.lexmark.com> を参照してください。

モジュールコンポーネントに関する通知事項

ワイヤレス機能を搭載しているモデルには、次のモジュールコンポーネントが搭載されています。

Lexmark 規制タイプ/モデル番号: LEX-M07-001、FCC ID: IYLLEXM07001、Industry Canada IC: 2376A-M07001

高周波エネルギーの放射に対する被爆

この装置の高周波放射出力は、FCC およびその他の監督機関の高周波エネルギーに対する被爆制限値よりはるかに低いものです。アンテナおよび人体から本機器までの距離を最低 20 cm (8 インチ) 確保することにより、FCC の高周波エネルギーに対する被爆制限を満たすことができます。

日本の VCCI 規定

製品にこのラベルが表示されている場合、
次の要件を満たしています。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用する
と電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策
を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用す
ると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な
対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

電波障害について

警告

本製品は、EN 55032 のクラス A 制限の放射要件および EN55024 の電磁波耐性要件に準拠しています。本製品は、住宅環境での使用を目的としていません。

本製品はクラス A 製品です。本製品を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こす場合があります。この場合には使用者が適切な対策を講じる必要があります。

索引

数字

2100 枚トレイ
 設置 298
 用紙をセット 31
2100 枚トレイを取り付ける 298
4 トレイメールボックス内の紙詰まり 223
4 トレイメールボックスを取り付ける 301
4 排紙トレイメールボックス
 設置 301

アルファベット

ADF からスキャンしたときに出力に縦方向の濃い縞が入る 281
ADF からスキャンする
 ぎざぎざの画像 282
 ぎざぎざの文字 282
ADF 給紙ローラー
 交換 197
 清掃 175
ADF 給紙ローラーを交換する 197
ADF 給紙ローラーを清掃する 175
ADF 区切りローラーを交換する 200
ADF(自動原稿フィーダ)内の紙詰まり 221
ADF セパレーターローラー
 交換 200
ADF 登録
 調整 284
ADF 登録を調整する 284
ADF トルクリミッタ
 交換 203
ADF ピックローラー
 交換 194
 清掃 173
ADF ピックローラーを清掃する 173
ADF を使用
 コピー 52
AirPrint
 使用 45
etherFAX、使用する
 FAX 機能を設定する 66
etherFAX を使用した FAX 機能の設定 66
etherFAX を使用して FAX を送受信できない 277
EXT ポート 14
E メール
 送信 62
 原稿台ガラスを使用 55
 自動原稿フィーダ(ADF)の使用 55
E メールアラート
 セットアップ 161
E メールアラートをセットアップする 161
E メール機能
 セットアップ 55
E メールサーバー
 設定 55
E メールサーバー設定を構成する 55
E メールサービスプロバイダ 55
E メールショートカット
 作成 63
E メールに関するトラブルシューティング
 E メールを送信できない 273
E メールを送信する 62
E メールを送信できない 273
FAX
 送信 72
 送信日時のスケジュール 73
 転送 75
 保留 74
 原稿台ガラスを使用 64
 自動原稿フィーダ(ADF)の使用 64
 日付および時刻の設定 72
FAX 宛先のショートカット
 作成 73
FAX 解像度
 変更 74
FAX サーバー、使用
 FAX 機能の設定 67
FAX サーバーを使用した FAX 機能の設定 67
FAX スピーカーの設定
 設定 162
FAX スピーカーを設定する 162

FAX 送付状ページに情報が無い 277
FAX ドライバ
 設置 307
FAX ドライバをインストールする 307
FAX の印刷品質が悪い 277
FAX の初期設定
 国または地域固有 70
 標準電話回線接続 68
FAX の設定
 国または地域固有 70
 標準電話回線接続 68
FAX の濃度
 調整 74
FAX の濃度を調整する 74
FAX の保留 74
FAX の問題に対処する
 etherFAX を使用して FAX を送受信できない 277
 etherFAX を設定できない 276
 FAX 送付状ページに情報が無い 277
 アナログ FAX を使用して FAX を送受信できない 274
 アナログ FAX を使用して FAX を送信できない 275
 アナログ FAX を使用して FAX を送信できるが受信できない 276
 印刷品質が良くない 277
 コンピュータから FAX 送付状ページを送信できない 278
 発信者 ID が表示されない 274
FAX ログ
 表示 74
FAX ログの閲覧 74
FAX をスケジュール設定する 73
FAX を送信 72
FAX を転送する 75
FCC 通知 316
FTP アドレス
 ショートカットを作成する 78
FTP サーバー、スキャン先
 操作パネルを使用する 77
ISP の取り付け後にプリンタポート設定を変更する 165

Lexmark ScanBack ユーティリティ
使用 76
Lexmark 以外の消耗品 268
Lexmark の純正部品と純正消耗品 180
Lexmark の純正部品と純正消耗品を使用する 180
Lexmark モバイル印刷
使用 45
LINE ポート 14
Mopria プリントサービス 45
QR コード
追加する 22
QR コードジェネレータを使用する 22
RJ-11 アダプタ 70
SMB
スキャン 78
SMTP 設定
設定 55
USB ケーブル 14
USB ポート 14
有効化 264
USB ポートを有効にする 264
Wi-Fi Protected Setup
ワイヤレスネットワーク 163
wifi ダイレクト
設定 164
モバイルデバイスから印刷する 46
有効化 164
wifi ダイレクトを設定する 164
wifi ダイレクトを有効化 164
Wi-Fi ネットワーク
無効化 165
Wi-Fi ネットワークの無効化 165

あ行

明るさの調整
プリンタディスプレイ 211
アダプタプラグ 70
穴あき用紙
用紙をセット 36
穴パンチボックス
空にする 178
穴パンチボックスを空にする 178
アナログ FAX
セットアップ 65
アナログ FAX を使用して FAX を受信できない 276

アナログ FAX を使用して FAX を送受信できない 274
アプリケーション、サポートされている 19
暗号化
プリンタハードディスク 159
安全に関する情報 7, 8, 9
イーサネットケーブル 14
イーサネットポート 14
イメージングユニット
交換 184
注文 181
印刷
Mopria プリントサービスを使用する 45
wifi ダイレクトを使用する 46
クラウドコネクタプロファイルから 50
コンピュータから 45
コンフィデンシャル印刷ジョブ 49
ディレクトリリスト 50
フォントサンプルリスト 50
フラッシュドライブから 47
保持されたジョブ 49
メニュー設定ページ 157
モバイルデバイスから 45, 46
印刷が薄い 241
印刷が遅い 259
印刷が濃い 236
印刷が歪む 244
印刷後の背景がグレーになる 239
印刷ジョブ
コンピュータからキャンセルする 51
プリンタコントロールパネルから印刷ジョブをキャンセルする 51
印刷ジョブが印刷されない 258
印刷ジョブの保存 49
印刷ジョブを確認 49
印刷ジョブをキャンセルする
コンピュータから 51
プリンタコントロールパネルから 51
印刷ジョブを繰り返し 49
印刷の縦方向のすじ 255
印刷の問題に対処する
印刷が遅い 259
印刷時に封筒の封が閉じられる 269
印刷ジョブが印刷されない 258
紙詰まりが発生したページが再印刷されない 273

コンフィデンシャルドキュメントおよびその他の保留ドキュメントが印刷されない 261
ジョブが正しくないトレイから印刷される 261
ジョブが正しくない用紙で印刷される 261
正しくないマージン 240
トレイのリンクが動作しない 271
頻繁な紙詰まり 272
部単位印刷が動作しない 269
フラッシュメモリを読み取れない 264
印刷品質
スキャナを清掃する 167
印刷品質テストページ 157
印刷品質の問題 233
印刷品質の問題に対処する
印刷が薄い 241
印刷が濃い 236
印刷が歪む 244
印刷後の背景がグレーになる 239
印刷品質の問題 233
空白または白のページ 234
繰り返し発生する異常 258
細かい線が正しく印刷されない 237
縦方向の薄い帯 250
縦方向の黒い帯 251
縦方向の黒いすじが現れて印刷が抜ける 256
縦方向の黒い線 254
縦方向の黒い線またはすじ 255
縦方向の白い線 251
トナーが簡単にはがれ落ちる 248
ページが真っ黒になる 245
まだらな印刷やドット 243
文字または画像が切り取られる 247
歪んだ印刷 244
用紙が折れ曲がったりしわがよったりする 238
用紙が巻いてしまう 270
横方向の薄い帯 249
印刷物に縦の濃い線が出力される 255
インジケータランプ
状態について理解する 16
エコ設定
設定 22

オプションカード
 設置 289
オプションカードを取り付ける 289
オプションを取り付ける
 プリンタハードディスク 291
オフセットスタッカ
 設置 302
オフセットスタッカ排紙トレイの紙詰まり 224
オフセットスタッカを取り付ける 302
オペレーティングシステム
 サポート 306
音声ガイダンス
 スピーチ速度 26
 有効化 26
音声ガイダンスのスピーチ速度調整 26
音声ガイダンスの有効化 26
音声のパスワード
 有効化 27
音声のパスワードの有効化 27

か行

解像度を変更する
 FAX 74
拡大モード
 有効化 26
拡大モードを有効にする 26
カスタマサポート
 使用 22
 問い合わせ 284
カスタマサポートに問い合わせる 284
カスタマサポートを使用する 22
仮想キーボード
 使用 27
カードコピー
 セットアップ 19
カートリッジを交換してください。プリンタの地域設定が一致しません 268
壁紙を変更する 20
紙詰まり
 防止 212
 フューザー内 218
 両面印刷エリア 218
 設置場所 213
紙づまりが発生しているエリアにアクセスする 213
紙詰まり、取り除く
 標準排紙トレイ内 219

自動原稿フィーダ 221
紙詰まりの場所を特定する 213
紙詰まりを取り除く
 オフセットスタッカ排紙トレイ 224
 多目的フィーダ 220
 ドア A 内 215
 ドア H 224
 ドア N 223
 トレイ内 215
 フューザー内 218
 ホチキスフィニッシュ排紙トレイ 224
 ホチキス、ホールパンチフィニッシュ 226
 ホチキス、ホールパンチフィニッシュ排紙トレイ 226
 メールボックス排紙トレイ 223
 両面印刷ユニット内 218
 自動原稿フィーダ 221
 ホチキスフィニッシュ 227
紙詰まりを防止する 212
画面の操作
 ジェスチャを使用する 26
画面をカスタマイズする 20
環境設定 210
ぎざぎざの画像
 ADF からスキャンする 282
ぎざぎざの文字
 ADF からスキャンする 282
揮発性に関する記述 159
揮発性メモリ 159
 消去 158
空白ページ 234
クラウドコネクタプロファイル
 印刷 50
 作成 22
 スキャン 79
クラウドコネクタプロファイルを作成する 22
グループ
 削除 25
 追加する 24
 編集する 25
グループを削除する 25
グループを追加する 24
グループを編集する 25
ケーブルを接続する 14
原稿台ガラス
 使用 52, 55, 64, 76
原稿台ガラスを使用 52, 55, 64, 76
コピー 52

交換
 多目的フィーダのピックローラ
 ー 192
個人 ID 番号
 有効化 27
個人 ID 番号の有効化 27
個人 ID 番号方式 163
コピー
 原稿台ガラスを使用 52
 自動原稿フィーダ(ADF)の使用 52
 写真 52
 用紙の両面 53
 レターヘッド紙 52
コピーする
 選択したトレイ 52
コピーの拡大 53
コピーの区切りとしてセパレータ紙を挿入する
 コピー 53
コピーの縮小 53
コピーの問題に対処する
 コピー品質が悪い 281
 スキャナが応答しない 283
 文書や写真の一部分しかコピーされない 280
コピーを作成する 52
コントローラボード
 アクセス 285
コントローラボードにアクセスする 285
コントロールパネル
 使用 16
コンピュータ
 プリンタに接続する 164
コンピュータから FAX 送付状ページを送信できない 278
コンピュータから印刷する 45
コンピュータ、スキャン先 76
コンピュータにプリンタを追加する 307
コンピュータをプリンタに接続する 164
コンフィデンシャル印刷ジョブ 49
 印刷 49
コンフィデンシャルドキュメントが印刷されない 261

さ行

サイズの異なる用紙、コピー 52
サイズの異なる用紙をコピーする 52

- サポートされたオペレーティングシステム 306
 - サポートされている FAX 65
 - サポートされているファイルタイプ 48
 - サポートされているフラッシュドライブ 48
 - サポートされている用紙サイズ 38
 - サポートされている用紙タイプ 40
 - サポートされている用紙の重さ 42
 - サポートされるアプリケーション 19
 - ジェスチャを使用した画面操作 26
 - 自動原稿フィーダ (ADF)
 - 使用 52, 55, 64, 76
 - 自動原稿フィーダ (ADF) の使用 52, 55, 64, 76
 - 写真、コピー 52
 - 出荷時初期設定
 - 復元 159
 - 消去
 - プリンタメモリ 158
 - 消耗品
 - 節約 211
 - 消耗品使用量カウンタ
 - リセット 209, 268
 - 消耗品使用量カウンタをリセットする 209, 268
 - 消耗品通知
 - 設定 161
 - 消耗品通知を設定する 161
 - 消耗品の状態
 - 確認 180
 - 消耗品を交換する
 - イメージングユニット 184
 - ステープルカートリッジ 206, 208
 - トナーカートリッジ 183
 - 消耗品を節約する 211
 - 消耗品を注文する
 - イメージングユニット 181
 - ステープルカートリッジ 182
 - トナーカートリッジ 180
 - 初期設定の音量を調整する
 - ヘッドホン 162
 - 初期設定のヘッドホンの音量調整 162
 - ショートカット
 - E メール 20
 - FAX 20
 - FTP 20
 - コピー 20
 - 作成 20
 - ショートカット、作成
 - E メール 63
 - FAX 宛先 73
 - FTP アドレス 78
 - コピー 54
 - ショートカットの追加
 - E メール 63
 - FAX 宛先 73
 - FTP アドレス 78
 - コピー 54
 - ショートカットを作成する 20
 - コピー 54
 - E メール 63
 - Fax 宛先 73
 - FTP アドレス 78
 - シリアル印刷
 - セットアップ 166
 - シリアル印刷を設定する 166
 - シリアル番号、プリンタ確認 11
 - 白い線 251
 - 白のページ 234
 - スキャナ
 - 清掃 167
 - スキャナが閉じない 283
 - スキャナの清掃 157
 - スキャナを清掃する 167
 - スキャン
 - FTP サーバーへ 77
 - クラウドコネクタプロファイルへ 79
 - 原稿台ガラスを使用 76
 - コンピュータ 76
 - 自動原稿フィーダ (ADF) の使用 76
 - フラッシュメモリへ 78
 - スキャンして FTP サーバーに送信する
 - 操作パネルを使用する 77
 - スキャンしてネットワークフォルダに保存 78
 - スキャンしてネットワークフォルダに保存できない 279
 - スキャンセンター
 - セットアップ 21
 - スキャンの品質問題 281
 - スキャンの問題に対処する
 - ADF からスキャンしたときに出力に縦方向の濃い縞が入る 281
 - ADF からスキャンするときに画像がぎざぎざになる 282
 - ADF からスキャンするときに文字がぎざぎざになる 282
 - コピー品質が悪い 281
 - スキャナが応答しない 283
 - スキャンしてコンピュータに保存できない 278
 - スキャンしてネットワークフォルダに保存できない 279
 - スキャンジョブが失敗しました 282
 - スキャンに時間がかかりすぎる 283
 - スキャンによってコンピュータがフリーズする 283
 - 文書や写真の一部分しかコピーされない 280
 - スクリーンセーバーを管理する 20
 - ステープルカートリッジ交換 206, 208
 - 注文 182
 - スピーチ速度の調整
 - 音声ガイダンス 26
 - スライドショーを実行する 20
 - スリープモード
 - 設定 210
 - 清掃
 - ビックタイヤ 169
 - プリンタの外観 166
 - プリンタの内部 166
 - セキュリティスロット場所 158
 - セキュリティスロットの場所 158
 - 設定ファイルをインポートする
 - 内蔵 Web サーバーを使用する 309
 - 設定ファイルをエクスポートする
 - 内蔵 Web サーバーを使用する 309
 - 節電モード
 - 設定 210
 - セットアップ
 - アナログ FAX 65
 - 騒音レベル 311
 - 操作パネルを使用する 16
- ## た行
- 対処、印刷品質
 - 印刷が薄い 241
 - 印刷が濃い 236
 - 印刷が歪む 244
 - 印刷後の背景がグレーになる 239

空白または白のページ 234
繰り返し発生する異常 258
細かい線が正しく印刷されない 237
縦方向の薄い帯 250
縦方向の黒い帯 251
縦方向の黒いすじが現れて印刷が抜ける 256
縦方向の黒い線 254
縦方向の黒い線またはすじ 255
縦方向の白い線 251
トナーが簡単にはがれ落ちる 248
ページが真っ黒になる 245
まだらな印刷やドット 243
文字または画像が切り取られる 247
歪んだ印刷 244
用紙が折れ曲がったりしわがよったりする 238
用紙が巻いてしまう 270
横方向の薄い帯 249
正しくないマージン 240
タッチ画面を清掃する 167
タッチスクリーン
 清掃 167
縦方向の黒い線 254
多目的フィーダ
 用紙をセット 36
多目的フィーダ内の紙詰まり 220
多目的フィーダに用紙をセットする 36
多目的フィーダのピックアップローラー
 交換 192
 清掃 171
多目的フィーダのピックアップローラーを
 清掃する 171
着信識別サービス、FAX
 有効化 72
着信識別サービスへの接続 72
注文
 メンテナンスキット 182
丁合印刷する 53
調整
 スキャナ登録 283
通
 知 311, 312, 313, 314, 315, 316
ディスプレイのカスタマイズ
 使用 20
ディスプレイのカスタマイズを使用
 する 20

ディスプレイのキーボード
 使用 27
ディレクトリリスト
 印刷 50
ディレクトリリストを印刷する 50
デバيسクォータ
 セットアップ 21
デバيسクォータを設定する 21
電源コードソケット 14
電源ボタンのランプ
 状態について理解する 16
転写ローラー
 交換 188
ドア A 内の紙詰まり 215
ドア C の紙詰まり 218
ドア H の紙詰まり 224
ドア N の紙詰まり 223
ドキュメント、印刷
 コンピュータから 45
 モバイルデバイスから 45
トナーカートリッジ
 交換 183
 注文 180
トナーの濃さ
 調整 261
トナーの濃さを調整する 261
トナーの節約 53
トラブルシューティング、E メール
 E メールを送信できない 273
トレイ
 用紙をセット 28
 リンク 37
 リンク解除 37
トレイ内の紙詰まり 215
トレイのリンク 37
トレイのリンク解除 37
トレイを取り付ける 297

な行

内蔵 Web サーバーを開けない 264
内蔵オプション
 内蔵ソリューションポート 285
 ファームウェアカード 285
 フォントカード 285
 フラッシュメモリ 285
 プリンタハードディスク 285, 291
内蔵オプション、追加
 プリントドライバ 308
内蔵オプションを追加する
 プリントドライバ 308

内蔵ソリューションポート
 設置 293
内蔵ソリューションポートを取り付
 ける 293
内部オプションが検出されませ
 ん 266
夏時間
 設定 72
夏時間を設定する 72
二酸化炭素排出量に関する通
 知 311, 316
ネットワーク設定ページを印刷す
 る 266

は行

ハイバネートモード
 設定 210
ハードウェアオプション
 設置 298, 301, 302, 303, 305
 トレイ 297
 メモリカード 287
ハードウェアオプション、追加
 プリントドライバ 308
ハードウェアオプションを追加する
 プリントドライバ 308
ハードディスクメモリ
 消去 158
ハードディスクメモリを消去す
 る 158
ピックアップ
 清掃 169
ピックアップローラー
 交換 191
日付/時刻
 FAX 設定 72
ファームウェア、更新 309
ファームウェアを更新する 309
封筒
 用紙をセット 36
フォルダを作成する
 ブックマーク用 24
フォントサンプルリスト
 印刷 50
フォントサンプルリストを印刷す
 る 50
不揮発性メモリ 159
 消去 158
複数のページをコピーする
 1 枚の用紙へ 53
複数部をソートする 53
部単位印刷が動作しない 269

- ブックマーク
 - 作成 23
 - フォルダを作成する 24
 - ブックマークを作成する 23
 - プッシュボタン方式 163
 - 部品と消耗品の状況を確認する 180
 - 部品の状態
 - 確認 180
 - 部品を交換する
 - ADF セパレーターローラー 200
 - ADF トルクリミッタ 203
 - ADF ピックローラー 194
 - 転写ローラー 188
 - ピックアップローラー 191
 - フューザー 186
 - フューザー
 - 交換 186
 - フラッシュドライブ
 - 印刷 47
 - スキャン 78
 - フラッシュドライブから印刷する 47
 - フラッシュメモリ不良 267
 - フラッシュメモリを読み取れない問題に対処する、印刷 264
 - プリンタ
 - 最小スペース 11
 - 設置場所を選択する 11
 - 搬送 210
 - プリンタオプションの問題に対処する
 - 内蔵オプションが検出されない 266
 - プリンタが応答していない 263
 - プリンタ構成 12
 - プリンタ周辺の温度 313
 - プリンタ周辺の湿度 313
 - プリンタ情報
 - 確認 10
 - プリンタ設定
 - 工場出荷状態に復元する 159
 - プリンタソフトウェア
 - 設置 307
 - プリンタソフトウェアをインストールする 307
 - プリンタディスプレイ
 - 明るさの調整 211
 - プリンタディスプレイの明るさを調整する 211
 - プリンタに関する情報を見つける 10
 - プリンタの状況 16
 - プリンタのシリアル番号を確認する 11
 - プリンタの清掃 166
 - プリンタの接続を確認する 266
 - プリンタの設置場所を選択する 11
 - プリンタハードディスク
 - 暗号化 159
 - 設置 291
 - プリンタハードディスクメモリ 159
 - プリンタポート 14
 - プリンタポート設定
 - 変更 165
 - プリンタメッセージ
 - Lexmark 以外の消耗品 268
 - カートリッジを交換してください。プリンタの地域設定が一致しません 268
 - フラッシュメモリ不良 267
 - 未フォーマットフラッシュメモリ検出 267
 - リソース用のフラッシュメモリ空領域が不十分 267
 - プリンタメニュー 80
 - プリンタメモリ
 - 消去 158
 - プリンタメモリを消去する 159
 - プリンタメモリを保護する 159
 - プリンタを Wi-Fi に接続できない 265
 - プリンタを移動する 11, 209
 - プリンタを接続する
 - ワイヤレスネットワークに 162
 - プリンタを着信音に割り当てる 72
 - プリンタを搬送する 210
 - プリントドライバ
 - 設置 307
 - ハードウェアオプション、追加 308
 - プリントドライバをインストールする 307
 - ヘルプメニュー 156
 - 保持されたジョブ 49
 - 印刷 49
 - ホチキス、穴パンチフィニッシャー
 - 設置 305
 - ホチキス詰まりを取り除く 227, 230
 - ホチキス、ホールパンチフィニッシャー 230
 - ホチキスフィニッシャー
 - 設置 303
 - ホチキスフィニッシャー排紙トレイの紙詰まり 224
 - ホチキスフィニッシャーを取り付ける 303
 - ホチキス、ホールパンチフィニッシャーを取り付ける 305
 - ホーム画面
 - カスタマイズ 19
 - ホーム画面のアイコン
 - 使用 18
 - 表示 19
 - ホーム画面を使用する 18
 - 保留ドキュメントが印刷されない 261
- ## ま行
- 未フォーマットフラッシュメモリ検出 267
 - 迷惑 FAX
 - ブロック 74
 - 迷惑 FAX のブロック 74
 - メニュー
 - 802.1x 145
 - E メール初期値設定 122
 - E メール設定 120
 - FAX 156
 - FAX サーバー設定 118
 - FAX 設定 108
 - FAX モード 108
 - FTP 初期値設定 127
 - HTML 101
 - HTTP/FTP の設定 146
 - IPSec 144
 - LPD 設定 145
 - PCL 100
 - PDF 99
 - PostScript 99
 - SNMP 143
 - TCP/IP 141
 - ThinPrint 147
 - USB 147
 - USB デバイスのスケジュール 150
 - Web リンク設定 126
 - wifi ダイレクト 140
 - XPS 98
 - アクセシビリティ 87
 - イーサネット 140
 - 一時データファイルの消去 154
 - 印刷 155
 - 印刷品質 96
 - エコモード 82

遠隔操作パネル 83
外部ネットワークアクセスの制限 148
カスタムスキャンサイズ 103
画像 101
基本設定 81
権限を管理 148
工場出荷状態に復元 88
このプリンタについて 93
コピー初期設定 105
コンフィデンシャル印刷設定 153
仕上げ 95
ショートカット 156
ジョブアカウント 97
セキュリティ監査ログ 150
設定メニュー 88
セットアップ 96
その他 154
ソリューション LDAP 設定 154
通知 83
ディスク暗号化 153
デバイス 155
電源管理 86
匿名データの収集 87
トレイ構成設定 102
ネットワーク 156
ネットワークの概要 137
排紙トレイ構成設定 104
フラッシュドライブ印刷 135
フラッシュドライブスキャン 131
ホーム画面アイコンの表示 93
未使用時の消去 92
メニュー設定ページ 155
問題に対処する 157
ユニバーサル設定 103
用紙の種類 104
レイアウト 94
ローカルアカウント 149
ログイン制限 152
ワイヤレス 137
メニュー設定ページ
印刷 157
メモ리카ード
設置 287
メモ리카ードを取り付ける 287
メンテナンスキット
注文 182
モバイルデバイス
印刷 45, 46
プリンタに接続する 164
モバイルデバイスを接続する
プリンタに 164

問題に対処する
印刷品質の問題 233
内蔵 Web サーバーを開けない 264
プリンタが応答していない 263
プリンタを Wi-Fi に接続できない 265
問題に対処する、FAX
etherFAX を使用して FAX を送受信できない 277
etherFAX を設定できない 276
FAX 送付状ページに情報が無い 277
アナログ FAX を使用して FAX を送受信できない 274
アナログ FAX を使用して FAX を送信できない 275
アナログ FAX を使用して FAX を送信できるが受信できない 276
印刷品質が良くない 277
コンピュータから FAX 送付状ページを送信できない 278
発信者 ID が表示されない 274
問題に対処する、印刷
印刷が遅い 259
印刷時に封筒の封が閉じられる 269
印刷ジョブが印刷されない 258
紙詰まりが発生したページが再印刷されない 273
コンフィデンシャルドキュメントおよびその他の保留ドキュメントが印刷されない 261
ジョブが正しくないトレイから印刷される 261
ジョブが正しくない用紙で印刷される 261
正しくないマージン 240
トレイのリンクが動作しない 271
頻繁な紙詰まり 272
部単位印刷が動作しない 269
問題に対処する、コピー
コピー品質が悪い 281
スキャナが応答しない 283
スキャナが閉じない 283
文書や写真の一部分しかコピーされない 280
問題に対処する、スキャン
ADF からスキャンしたときに出力に縦方向の濃い縞が入る 281
ADF からスキャンするときに画像がぎざぎざになる 282

ADF からスキャンするときに文字がぎざぎざになる 282
コピー品質が悪い 281
スキャナが応答しない 283
スキャナが閉じない 283
スキャンしてコンピュータに保存できない 278
スキャンしてネットワークフォルダに保存できない 279
スキャンジョブが失敗しました 282
文書や写真の一部分しかコピーされない 280
問題に対処する、プリンタオプション
内蔵オプションが検出されない 266

や行

歪んだ印刷 244
ユニバーサル用紙サイズ
設定 28
ユニバーサル用紙サイズを設定する 28
用紙
ユニバーサルサイズ設定 28
用紙が巻いてしまう 270
用紙サイズ
設定 28
用紙サイズを設定する 28
用紙節約 53
用紙タイプ
設定 28
サポート 40
用紙タイプを設定する 28
用紙にしわがよる 238
用紙の折れ曲がり 238
用紙をセット
2100 枚トレイ 31
2100 枚トレイのレターヘッド紙 31
用紙をトレイにセットする 28

ら行

リサイクル
Lexmark 梱包 211
Lexmark 製品 211
リセット
消耗品使用量カウンタ 268
リソース用のフラッシュメモリ空領域が不十分 267

- 両面コピー 53
- 留守番電話
 - セットアップ 68
- レターヘッド
 - コピー 52
 - 用紙をセット 36
 - 用紙をセット、2100 枚トレイ 31
- レポート
 - プリンタ使用方法 161
 - プリンタの状況 161
- レポートを表示する 161
- 連絡先
 - 削除 25
 - 追加する 24
 - 編集する 25
- 連絡先を削除する 25
- 連絡先を追加する 24
- 連絡先を編集する 25

わ行

- ワイヤレスネットワーク 162
 - Wi-Fi Protected Setup 163
 - プリンタに接続する 162
- ワイヤレスネットワークに接続する
 - PIN 方式を使用する 163
 - プッシュボタン方式を使用する 163